NTT DoCoMo

取扱説明書 アプリケーション編

FOMA® P900iV

’05.1



i mode®

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P900iV」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
FOMA P900iVの取扱説明書は、
「基本編」、「アプリケーション編」の2冊から構成されています。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書「アプリケーション編」および
別冊の「基本編」をよくお読みいただき、
FOMA P900iVを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA P900iVは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- FOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。

  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ（充電器を含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○お問い合わせ先＜DoCoMo インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

※（FOMA）商品については一部取り扱っていない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

この「FOMA P900iV 取扱説明書 アプリケーション編」の本文中においては、「FOMA P900iV」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

著作権について／商標について

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影したもの、またサイト（番組）の情報やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）などは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製や編集、および複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法はお控えください。
また、FOMA端末を利用して写真等の画像データを複製、編集等する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人で楽しむなどの目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、撮影または記録したものをインターネットのホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

商標・登録商標について

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「Freedom Of Mobile multimedia Access」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「ｉメロディ／アイメロディ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「マルチアクセス」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「M-stage Vライブ」「クイックキャスト」および「FOMA」「mova」「i-mode」「WORLD CALL」「FirstPass」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ●MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  ●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  ●MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
- 本製品の赤外線通信機能は株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。

- JAVAおよびすべてのJAVA関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- NetFrontおよび NetFront は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- LCフォント/LCFONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
  T9 テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationおよびその他の国における登録商標または商標です。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307　5,490,165　5,056,109　5,504,773　5,101,501　5,506,865　5,109,390
  5,511,073　5,228,054　5,535,239　5,267,261　5,544,196　5,267,262　5,568,483
  5,337,338　5,600,754　5,414,796　5,657,420　5,416,797　5,659,569　5,710,784
  5,778,338
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の構成について

FOMA端末の取扱説明書は、「基本編」、「アプリケーション編」の2冊から構成されています。それぞれの取扱説明書では以下のことについて説明しています。

基本編

- ●各部の名称や機能
- ●FOMAカード
- ●電池パックの充電方法
- ●音声電話、テレビ電話のかけかたや受けかた
- ●電話帳の使いかた
- ●FOMA端末を便利に使うための各種設定方法
- ●スケジュール、ToDoの使いかた
- ●FOMA端末から利用できるネットワークサービス
- ●「故障かな？」と思ったときの対処方法
- ●保証とアフターサービス

アプリケーション編（本書）

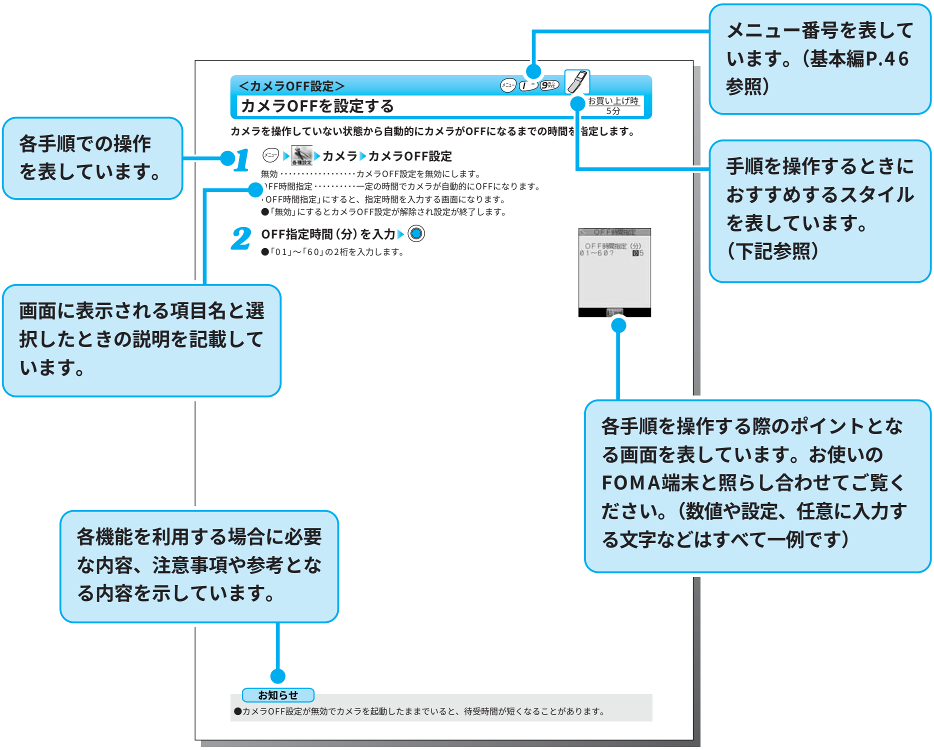
- ●ｉモードの使い方
- ●ｉアプリ、ｉモーションの取り込みかたや使いかた
- ●キャラ電の使いかた
- ●ｉモードメール、デコメール（デコレーションメール）の送信方法や受信方法
- ●ショートメッセージ（SMS）の送信方法や受信方法
- ●カメラ機能
- ●イメージビューア、ｉモーションプレーヤー、メロディプレーヤー
- ●AV出力
- ●赤外線通信
- ●miniSDメモリーカードの使いかた
- ●データ通信

■索引をご活用ください（P.506参照）
本書の索引は、重要な用語とともに「機能名称」もまとめております。本書をお読みいただくときに、わからない用語や「機能名称」が出てきたときは、索引をご参照いただくと、より詳しい説明をお読みいただけます。

■クイックマニュアルをご活用ください（基本編P.396参照）
基本的な操作をまとめたクイックマニュアルを基本編の巻末に記載しています。切り取り線でページを切り取り、折り畳んでお使いください。

本書の見かたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて以下のように説明しています。



マークの説明

マーク	説明
（ノーマルスタイル）	ノーマルスタイルで操作することをおすすめします。
P.13（ムービースタイル）	ムービースタイルで操作することをおすすめします。P.13のボタン割り当てを参考に操作してください。
P.13（ビューアスタイル）	ビューアスタイルで操作することをおすすめします。P.13のボタン割り当てを参考に操作してください。

ノーマルスタイル／ムービースタイル／ビューアスタイル：特におすすめするスタイルがある場合に、その操作を記載しています。マークが示すスタイルで操作するときにご覧ください。

※本書では主にノーマルスタイルのボタン操作で説明しています。おすすめしないスタイルについては、操作できる場合でもマークを記載していません。また、マークを記載していても、一部操作ができない場合があります。（文字入力、暗証番号入力が必要となる手順については、ムービースタイル・ビューアスタイルのマークは記載していません。）

目次

はじめに

●はじめに

iモード編

●iモードとは

●サイト（番組）接続

メール編

目次

マルチメディア編

●カメラ機能を利用する

●イメージビューア

●ｉモーションプレーヤー

●AV出力

FOMA端末データ交換編

データ通信編

付 録

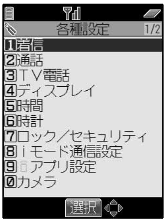
はじめに

スタイルとカメラについて

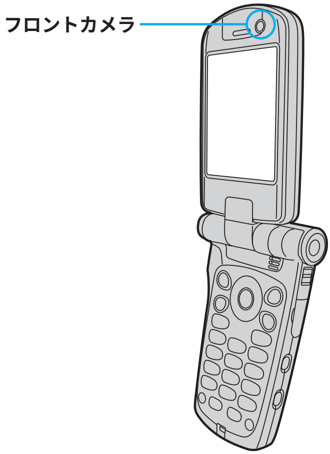
P900iVには3つのスタイルと2つのカメラがあります。
利用する機能やカメラなど、用途にあわせてスタイルを使い分けます。
スタイル切替についてはP.14参照。

ノーマルスタイル

FOMA端末を開いた状態で、基本となるスタイルです。
各設定やほとんどの機能が操作できます。また、フロントカメラを使って自分の顔などを撮影できます。



＜ノーマルスタイル画面＞



おすすめ機能
- 各種設定
- 電話帳
- 音声電話、テレビ電話
- iモード
- iモードメール、ショートメッセージ（SMS）
- iアプリ
- キャラ電
- スケジュール、ToDo
- メロディプレーヤー
- 画像編集

ムービースタイル

サイドカメラを使って人や風景などを撮影できます。
FOMA端末をしっかり持って落下などに注意してご使用ください。



＜ムービースタイル画面＞



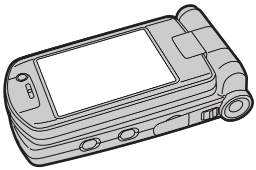
おすすめ機能
- カメラ撮影
- テレビ電話
- バーコードリーダー、テキストリーダー

ビューアスタイル

ディスプレイを外に向けてFOMA端末を閉じた状態です。
閉じた状態で静止画や動画を再生することができます。また、フロントカメラを使って自分の顔などを撮影できます。



＜ビューアスタイル画面＞



おすすめ機能

- イメージビューア
- ｉモーションプレーヤー
- AV出力

●各スタイルの基本的なボタン割り当て

この取扱説明書では、各機能をノーマルスタイルのボタンで説明しています。ただし、ムービースタイルやビューアスタイルで操作することをおすすめする機能は、各スタイルのボタン操作も記載しています。ムービースタイルやビューアスタイルについて特に記載がない場合は、下記のボタン割り当てを参考に操作してください。

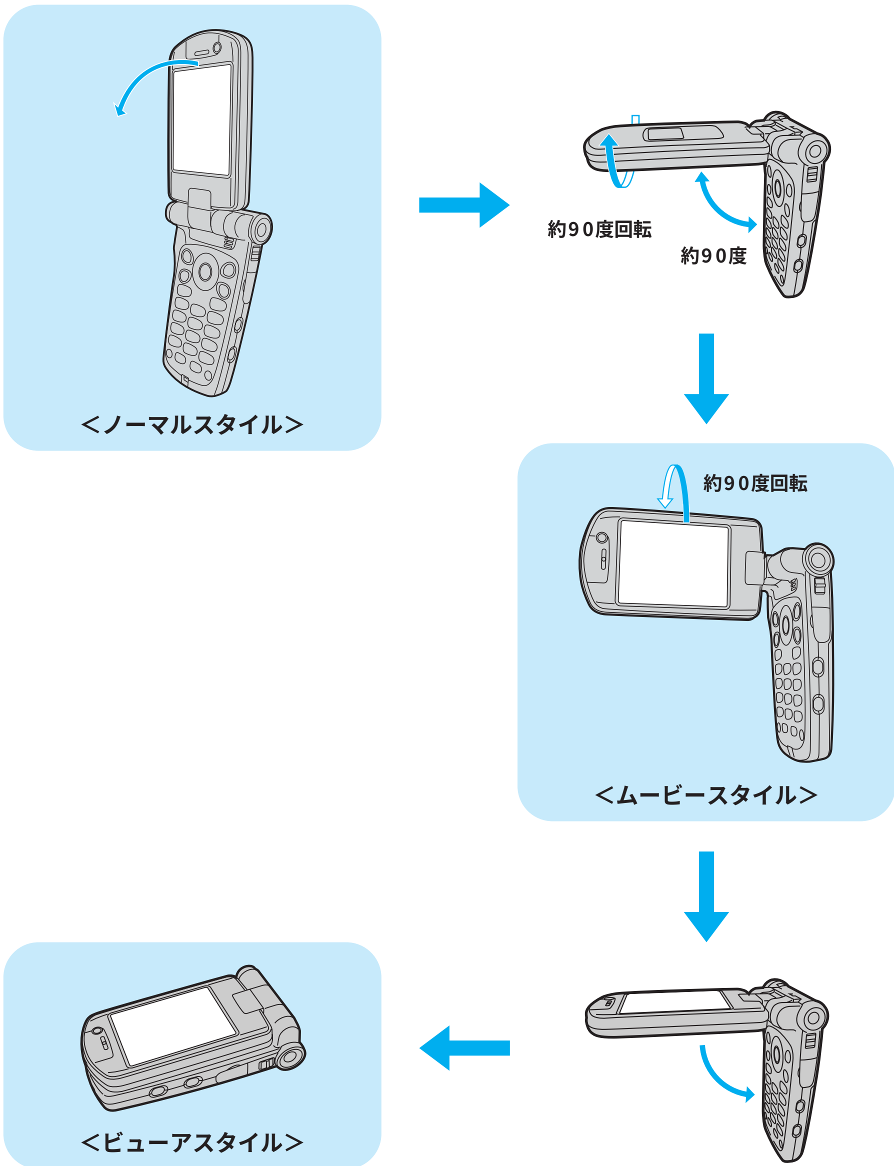
ノーマルスタイル	ムービースタイル	ビューアスタイル
	—	
、	—	T W 、 T W
、	—	▲ 、 ▼
	—	—
i	—	（機能／メニュー）
メニュー	—	（機能／メニュー）1秒以上押す
クリア	—	（クリア）
		—
HLD	HLD	—
0 わをん ～ 9 WXYZ 、# 、*	—	—
		—
マルチ	—	—
▲ 、 ▼	—	▲ 、 ▼

お知らせ

●上記のボタンの割り当ては基本的なものです。機能によっては異なる場合があります。
●ムービースタイルやビューアスタイルでは、使用できるボタンの関係上、利用できない機能があったり、一部の操作が行えないことがあります。それらの機能や操作はノーマルスタイルで利用してください。

スタイルの切り替えかた

待受画面でムービースタイルに切り替えると、サイドカメラが起動します。
カメラ起動中にビューアスタイルに切り替えると、イメージビューア・ｉモーションプレーヤーが起動します。
「スタイル連動設定」で起動しないように設定することもできます。



スタイル連動設定

お買い上げ時 連動する
P.13

FOMA端末のスタイルを切り替えたときに、スタイルに連動して自動的にカメラやイメージビューア・iモーションプレーヤーを起動させるかどうかを設定します。
ムービースタイルですぐに撮影したいときや、撮影した画像をビューアスタイルで簡単に確認したいときなどは「連動する」に設定します。
ビューアスタイルでその他の操作をしたいときや、画像を自動で表示したくないときは「連動しない」に設定します。

1 (メニュー)▶各種設定▶**その他▶スタイル連動設定**

連動する……………待受画面でムービースタイルに切り替えると、サイドカメラが起動します。カメラ起動中にビューアスタイルに切り替えると、イメージビューア・iモーションプレーヤーが起動します。

連動しない…………スタイルを切り替えてもカメラやイメージビューア・iモーションプレーヤーは起動しません。

お知らせ

●液晶部分の回転は約90度に開いた状態で回転させてください。また、ノーマルスタイルからムービースタイルに約30度回転すると画像が切り替わり、ムービースタイルからビューアスタイルに約90度折り畳むと画像が切り替わります。
●本機能の設定にかかわらず、以下の場合はカメラ起動中にビューアスタイルに切り替えても、イメージビューア・iモーションプレーヤーは起動しません。
・テレビ電話中……………………………フロントカメラに切り替わります。
・バーコードリーダーのコード読み取り……利用できません。
・テキストリーダーのテキスト読み取り……利用できません。
・音声電話中にカメラが起動しているとき……フロントカメラに切り替わります。
・64Kデータ通信中にカメラが起動しているとき‥フロントカメラに切り替わります。
・カメラ起動中のSDフォーマット……………フォーマット終了後にフロントカメラに切り替わります。
・カメラ起動中のSDチェックディスク………チェックディスク終了後にフロントカメラに切り替わります。

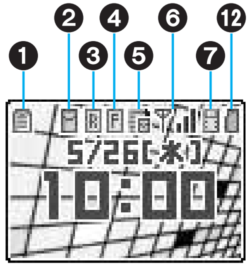
■「スタイル連動設定」が「連動する」に設定されている状態でカメラ起動中にビューアスタイルに変更すると
「カメラ」フォルダ内の最新の静止画または動画／iモーションが表示されます。
●スナップ撮影モードや連続撮影モードでカメラが起動していた場合は静止画が表示され、動画撮影モードでカメラが起動していた場合は動画／iモーションが表示されます。
●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定されている場合は、設定されているフォルダ内の最新の静止画または動画／iモーションが表示されます。

お知らせ

●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合はFOMA端末で作成した最新フォルダの最新の静止画または動画／iモーションを表示します。
・miniSDメモリーカードを挿入した直後の場合
・miniSDメモリーカードのチェックディスクを実行した直後の場合
・電源を入れた直後の場合
●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合は「カメラ」フォルダ内の静止画または動画／iモーションが表示されます。
・miniSDメモリーカードが挿入されていない場合
・miniSDメモリーカード内にファイルがない場合
・miniSDメモリーカードにエラーが発生した場合
●「カメラ」フォルダ内にファイルがない場合は、「イメージ」または「iモーション」のフォルダ一覧画面が表示されます。

ディスプレイの見かた





❶ ：電池レベルを表示します。
（基本編P.61参照）

❷ **（ピンク）：**
未読のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）がある場合に表示されます。（P.178、218参照）

（グレー）：
FOMA端末内のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）が一杯の場合に表示されます。（P.178、219参照）

：FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）が一杯の場合に表示されます。

：FOMA端末内とFOMAカード内の両方が一杯の場合に表示されます。

：未読のメールがあり、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）が一杯の場合に表示されます。

❸ **（黄色）：**
未読のメッセージR（リクエスト）がある場合に表示されます。（P.122参照）

（グレー）：
FOMA端末内のメッセージR（リクエスト）が一杯の場合に表示されます。（P.123参照）

❹ **（黄色）：**
未読のメッセージF（フリー）がある場合に表示されます。（P.122参照）

（グレー）：
FOMA端末内のメッセージF(フリー)が一杯の場合に表示されます。（P.123参照）

❺ （ピンク）：
iモードセンターにiモードメールが残っている場合に表示されます。（P.182参照）

（グレー）：
iモードセンターのiモードメールが一杯の場合に表示されます。（P.140参照）

（黄色）：
iモードセンターにメッセージR（リクエスト）が残っている場合に表示されます。（P.123参照）

（グレー）：
iモードセンターのメッセージR（リクエスト）が一杯の場合に表示されます。（P.123参照）

（黄色）：
iモードセンターにメッセージF（フリー）が残っている場合に表示されます。（P.123参照）

（グレー）：
iモードセンターのメッセージF（フリー）が一杯の場合に表示されます。（P.123参照）

：メール選択受信設定を「ON」に設定中にiモードセンターにiモードメールがある場合に表示されます。（P.179参照）

❻ ：電波の受信レベル（目安）が表示されます。

（弱い）　（普通）

FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところでは「圏外」と表示されます。

❼ ：iモード中に点滅します。iモード接続中にデータの送受信を行うと「」が表示されます。（P.39参照）

：パケット通信中に表示されます。通信状態によって表示は異なります。（P.459、491参照）

❽ ：SSL通信中に表示されます。（P.39参照）

❾ ：外部接続端子にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続すると表示されます。（P.428参照）

❿ ：赤外線通信中に表示されます。（P.399参照）

：赤外線リモコンを実行中に表示されます。（P.93参照）

⓫ ：64Kデータ通信中に表示されます。

⓬ ：miniSDメモリーカードを装着していると表示されます。（P.407参照）

：装着しているminiSDメモリーカードがライトプロテクトの場合に表示されます。（P.407参照）

：装着しているminiSDメモリーカードが使用できない場合に表示されます。（P.407参照）

⓭ ：マルチタスク中に表示されます。複数の機能が動作している場合は「」が表示されます。（P.23参照）

⓮ ：iアプリ実行中に表示されます。（P.94参照）

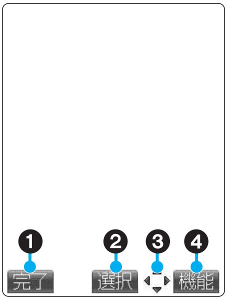
：iアプリを待受画面として実行した場合に表示されます。（P.104参照）

：iアプリDXを実行中に表示されます。（P.94参照）

：iアプリDXを待受画面として実行した場合に表示されます。（P.104参照）

ナビゲーション表示について

縦表示画面のディスプレイに表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。横表示画面のディスプレイには表示されません。



■主な表示例と基本的なボタン割り当て

	表示例		縦表示			横表示
			ノーマルスタイル	ムービースタイル	ビューアスタイル	ムービースタイル ビューアスタイル
❶	完了 文字			—	—	—
❷	選択 確定			—		
❸				—	T W	T W
				—	※	※
❹	機能 閉			—	(機能/メニュー)	(機能/メニュー)

— ナビゲーションが表示されていても、操作できません。
※ 画面によっては一部操作が行えないことがあります。

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウにはさまざまな情報が以下の例のように表示されます。



＜メール受信中＞



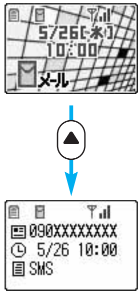
＜新着メール＞

■新着メールがあった場合

FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「新着メールあり」のアイコンが表示されます。

▲ を押すと受信したメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。複数のメールを同時に受信した場合、 ▲ を押すたびに3件までのメールが表示されます。

- 「プライベートウィンドウ」(基本編P.197参照)の「メール表示」を「ON」にしておく必要があります。
- セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「新着メールあり」のアイコンは削除されます。

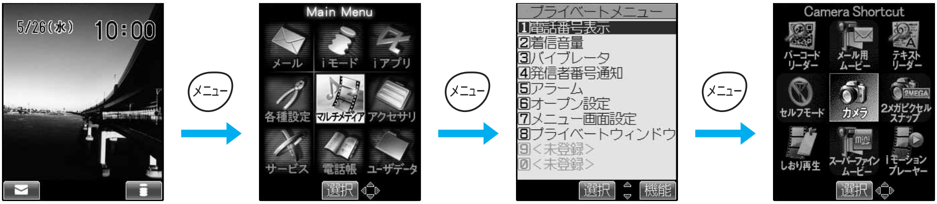


P.13

カメラショートカットを表示する

用途に合わせた設定でカメラを起動したり、イメージビューアやｉモーションプレーヤーなどを簡単な操作で起動できます。

待受画面からカメラショートカットを表示します。



待受画面　メインメニュー　プライベートメニュー　カメラショートカット

- [メニュー]を押すたびに「メインメニュー」→「プライベートメニュー」→「カメラショートカット」の順に画面が切り替わります。
- 15秒以上何もボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

■各アイコンについて



を押してアイコンを選択します。

●ビューアスタイルではを使用できません。

●1秒以上ボタンを押さなかった場合は選択しているアイコンの説明ガイダンスが表示されます。(「メニュー画面設定」(基本編P.206参照)で説明ガイダンスを表示しないようにすることができます。)


カメラ：カメラを起動します。


2メガピクセルスナップ：スナップ撮影モードでサイドカメラを起動します。また、「サイドカメラスナップサイズ」が「UXGA」に設定されています。


メール用ムービー：動画撮影モードでカメラを起動します。また、iモードメールに添付できるファイルサイズで動画の撮影ができるように、「録画制限」が「メール添付モード」に設定されています。(「フロントカメラ動画サイズ」や「サイドカメラ動画サイズ」は「Sub-QCIF(128×96)」に設定されます。)


スーパーファインムービー：動画撮影モードでカメラを起動します。また、動画をminiSDメモリーカードに保存するように「記録媒体選択」が「SDカード」に設定されています。(「SD録画画質」は「スーパーファイン」に設定されます。)


バーコードリーダー：バーコードを読み取ったり、読み取ったデータを見ることができます。(P.304参照)


テキストリーダー：英数字を読み取ったり、読み取ったデータを見ることができます。(P.312参照)


しおり再生：しおり一覧画面を表示します。しおり機能で登録した位置からiモーションを再生することができます。


iモーションプレーヤー：カメラで撮影した動画やサイトから取り込んだiモーションなどを見ることができます。


セルフモード：動画撮影中に電話などがかかってこないようにセルフモードを設定することができます。(セルフモードについては基本編P.221参照。)

お知らせ

●各アイコンでカメラを起動したときにあらかじめ設定されている撮影モードなどは、変更することもできます。

マルチアクセス・マルチタスクについて

マルチアクセスとは、音声電話（電話）とパケット通信（ｉモードやｉモードメール、パソコンをつないだデータ通信など）の2つの通信を同時に行うことのできる機能です。マルチアクセスとは別にショートメッセージ（SMS）も同時に使用することができます。
マルチアクセスで行える主な操作は以下のとおりです。詳しくは基本編P.274をご覧ください。

新たに発生した通信 / 現在の通信状態	電話をかける／受ける（音声電話）	ｉモードを始める	ｉモードメールの送受信	パソコンをつないでパケット通信
通話中（音声電話）	×※1	○	○	○
ｉモード中	○	×	○	×
パソコンをつないでパケット通信中	○	×	×※2	×

※1：キャッチホンを契約されていれば、組み合わせによっては処理ができます。（基本編P.356参照）
※2：ショートメッセージ（SMS）の送受信は可能です。

マルチタスクとは、複数の機能を同時に利用できる機能です。
マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使うことが可能になります。最大3つのタスクと音声電話またはテレビ電話を同時に使うことができます。

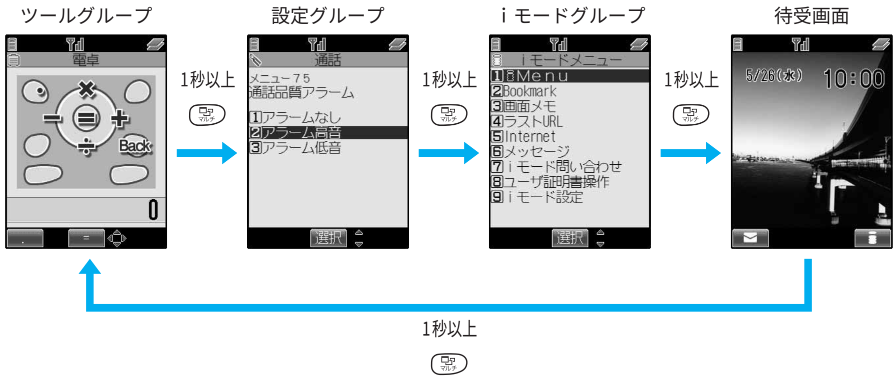
- ●メールグループ（ｉモードメール機能、ショートメッセージ（SMS）機能）
- ●ｉモードグループ（メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能）
- ●設定グループ（メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能）
- ●ツールグループ（メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能）
- ●その他グループに属さない機能（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など）

ｉモードグループ、設定グループとツールグループは、グループにつき1つのメニュー機能が使えます。
新しい機能を実行するには、（メニュー）を押してメインメニューを表示し、メインメニューの大項目のアイコンを選択するか、メニュー番号で呼び出します。
●ムービースタイルでは（メニュー）を使用できません。また、ビューアスタイルではメニュー番号を入力できません。
待受画面が表示されているときは、（ｉ）を押してｉモードメニューを、（✉）を押してメールメニューを直接呼び出すことができます。
●ビューアスタイルでは（✉）を使用できません。
詳しくは基本編P.278をご覧ください。

■複数のメニュー機能が動作しているときは

● を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。

●切り替わる順序は、最近選択したものから新しい順で表示されます。



●タスクメニューを表示し、切り替えることもできます。

■機能の使用状況を確認するには

・アイコンで確認します

「 」‥‥‥使用している機能が一つのときに表示されます。

「 」‥‥‥複数の機能を使用中に表示されます。

・タスクメニューで確認します

を押します。

現在使用中のメニューが一覧表示されます。

で選択し、 を押してメニューを切り替えることもできます。



お知らせ

●ムービースタイルやビューアスタイルでは を使用できません。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

FOMA端末では、送受信したショートメッセージ（SMS）やｉモードメール、受信したメッセージ（R/F）、ブックマーク、画面メモ、URL入力履歴、取り込んだｉアプリのソフト、ｉモーションなどを保存・登録、保護することができます。次の表は、それぞれの保存・登録、保護できる最大件数を示しています。（各機能の詳細については、表中の参照ページをご覧ください。）

		保存・登録件数	保護件数	参照先
メール （ショートメッセージ（SMS）とｉモードメールの合計）	受信メール	最大1000※1、※2、※4	最大500※1	P.184、221
	送信メール	最大400※1、※3、※4	最大200※1	P.175、214
	保存メール※5	10	－	P.177、217
	受信BOXフォルダ	30※6	－	P.228
	送信BOXフォルダ	6※7	－	－
メッセージ	リクエスト	最大100※1	最大50※1	P.125
	フリー	最大100※1	最大50※1	P.125
ブックマーク	ブックマーク	100	－	P.58
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	－	P.60
画面メモ		最大100※1	最大50※1	P.64
URL入力履歴		10	－	P.53
ｉアプリ		最大200※1	－	P.90
	メール連動型ｉアプリ	5	－	P.91
キャラ電		最大10※1	－	P.108
動画・ｉモーション		最大200※1、※8	－	P.118、192、281
メロディ		最大160※1	－	P.70、132、191
静止画		最大500※1、※8	－	P.69、133、189、274

※1：保存・登録、保護できる最大数は、データ量によって変わります。
※2：「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※3：ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※4：ショートメッセージ（SMS）は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存することができます。（P.227参照）
※5：作成中の未送信メールを保存できます。
※6：「受信BOX」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダも含めます。
※7：「送信BOX」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダの合計です。
※8：各フォルダの最大保存件数の合計です。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.405参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.494参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

FOMAカードについて

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やショートメッセージ（SMS）などのデータを保存することもできます。
FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用することができません。
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定することができます。（基本編P.209参照）
FOMAカードの詳しい取り扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードの付け外しについては、基本編P.50をご覧ください。

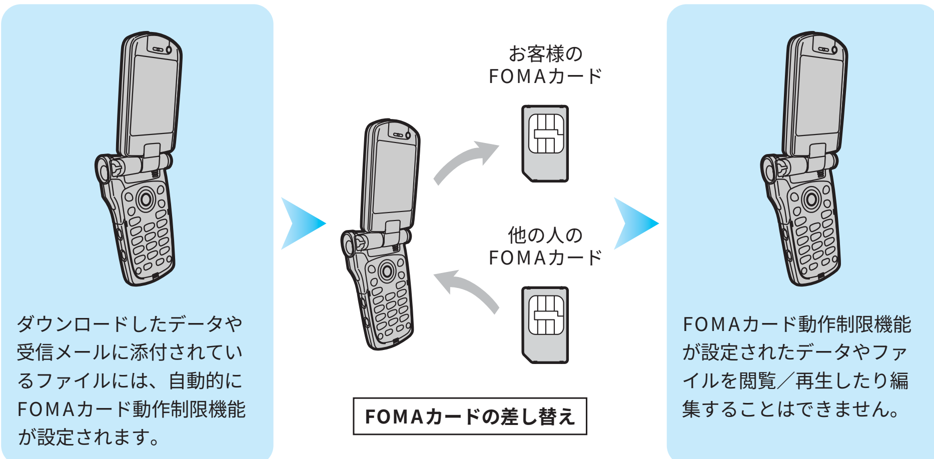
FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。

・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行することができます。
●データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能により保護されて、取得したデータやファイルは閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などがFOMA端末で実行できなくなります。

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



次ページにつづく

●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「」が表示されます。
・サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディ／画像／ｉアプリ／キャラ電
・サイトやインターネットホームページから取り込んだｉモーション
・ダウンロード辞書
・メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電イメージ／キャラ電ムービー）
・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電イメージ／キャラ電ムービー） ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除きます。
・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージ（R/F）
※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電は、サイトから再びインストールすると本機能の対象になります。
●FOMAカード動作制限機能が設定されている静止画／動画のプレビュー画像は右のように表示されます。



お知らせ

●FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することはできません。
●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
<例：FOMAカード動作制限機能が設定された「メロディA」を着信音に設定したとき>
FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに「着信音選択」で表示される設定内容は「メロディA」になりますが、実際に着信があったときにはお買い上げ時に設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。
●赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
●他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動／削除することは可能です。
●FOMAカード動作制限機能が設定されていると、ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動したりｉモーションを取り込むことができません。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード（緑色）」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	基本編P.130
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.81
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	基本編P.53

ｉモード編

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

●サイト（番組）接続

iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

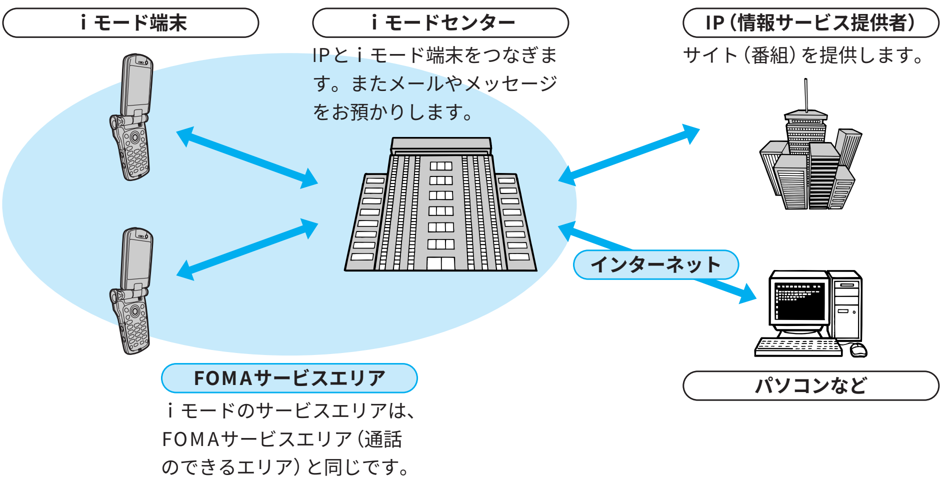
●インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

●iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

■サービスのしくみ



iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは

○お問い合わせ先＜DoCoMo インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

お知らせ

●新規でFOMAサービスをご契約いただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMA端末に「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。
●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、ｉモードメールアドレスはそのままご利用になれます。
●ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
●ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモードとは

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど様々なオンラインサービスがあります。

※銀行などの一部のサイトについては、別途IPへお申し込みが必要な場合があります。サイトとは、モバイルバンキングやニュース速報など、各IPが提供している番組のことです。

■サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenu画面が表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。
サイトの表示方法についてはP.38を参照してください。



1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（P.50参照） ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2 週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
5 ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。 ｉアプリサーチ：ｉアプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。 便利サイトサーチ：メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
9 お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
□ 料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
English	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

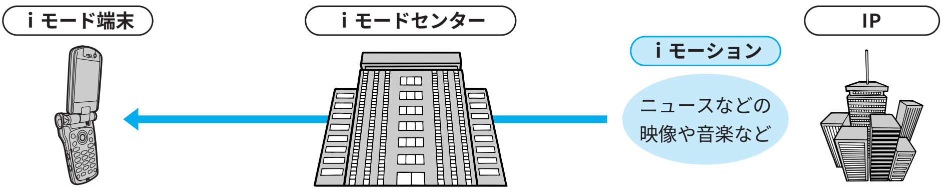
お知らせ

●送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
●サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
●IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
●「 」が点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
●デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

■こんなこともできます

・ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。
●ｉモーションを取り込む方法についてはP.118を参照してください。
●ｉモーションを再生する方法についてはP.356を参照してください。
●ｉモーションの自動再生設定についてはP.121を参照してください。



ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

・着モーション

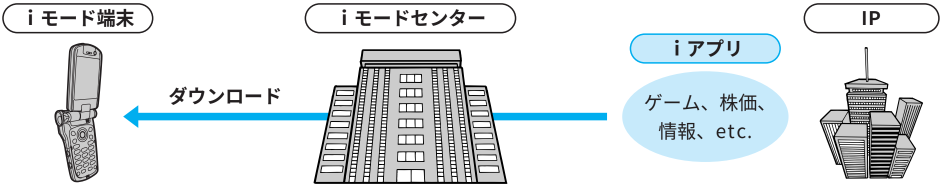
ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用頂けます。
●一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。設定できるファイルかどうかは、情報表示でご確認いただけます。（P.366参照）
●着モーションを設定する方法については基本編P.181を参照してください。

次ページにつづく

- **iアプリ**

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

●iアプリをダウンロードする方法についてはP.90を参照してください。
●iアプリを実行する方法についてはP.94を参照してください。
●iアプリを自動実行する方法についてはP.102を参照してください。



- **iアプリ待受画面**

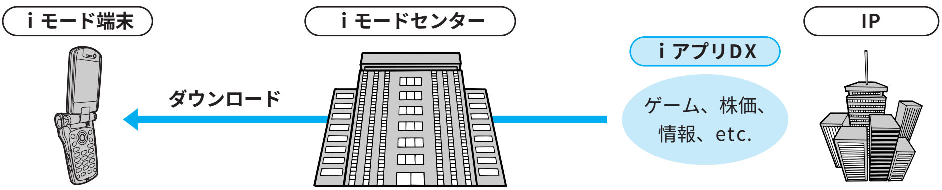
iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

●iアプリ待受画面を設定する方法についてはP.104を参照してください。

- **iアプリDX**

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

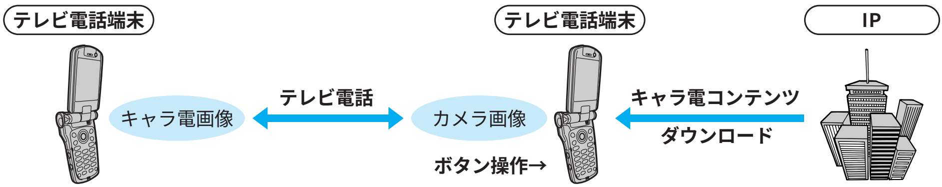
●iアプリDXについてはP.88を参照してください。
●iアプリDXを実行する方法についてはP.94を参照してください。



・**キャラ電**

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラクタを撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。)

●キャラ電をダウンロードする方法についてはP.108を参照してください。
●キャラ電を確認する方法についてはP.109を参照してください。
●キャラ電を設定する方法についてはP.112を参照してください。
●キャラクタの操作方法についてはP.110を参照してください。
●キャラ電を撮影する方法についてはP.113を参照してください。



・**赤外線通信機能**

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使い方ができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

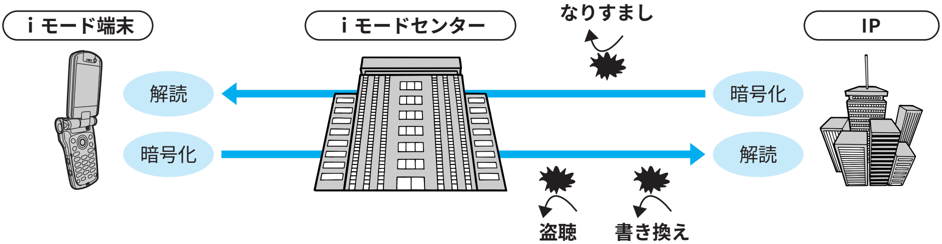
●赤外線通信をする方法についてはP.398を参照してください。



・SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信をする方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし（P.36参照）や書き換え（P.36参照）を防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。
SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSL（P.36参照）に対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。

●ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するにはP.80を参照してください。
●FirstPassセンターのユーザ証明書を利用するにはP.81を参照してください。



※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

・FOMAカード動作制限機能

お客様情報〔電話番号・電話帳（一部）など〕を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画等のファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

【動作制限対象となるファイル】

●静止画ファイル
●メロディファイル
●ｉアプリ
●動画ファイル
●キャラ電
●画面メモ内の画像（Flash画像を含む）
●メッセージ（R/F）に添付されているファイル
●ｉモードメールに添付されているファイル
●デコメール本文に挿入されている画像
●テレビ電話の録画機能を用いて保存した画像ファイル・動画ファイル

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
※着信音や待受画像設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

・ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音としてご利用になれます。ｉモーションも着モーションに設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声と動画なども着信音、着信画像としてご利用いただけます。（P.70参照）

・画像、ｉアニメ

サイトからお好みの画像やアニメーション画像をｉモード対応端末に取り込み、待受画面や着信画面などに表示できます。（P.69参照）

・Flash™

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。（P.40参照）

・**メッセージサービス**

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。
メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

●メッセージサービスの受信方法については、P.122を参照してください。

●メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

●お客様のｉモード端末がテレビ電話中、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージ（R/F）はｉモードセンターに保管されます。

お知らせ

●メッセージF（フリー）の設定方法についてはP.122参照。

●ｉモードセンターでの各メッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数や最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

●ｉモードセンターに保管されたメッセージ（R/F）は、「ｉモード問い合わせ」（P.182参照）により受信できます。

・**トクだねニュース便**

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

●メッセージRの画面の見かたについては、P.125を参照してください。

■ｉモードパスワード

有料サイトの申込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。（P.51参照）なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

●ムービースタイルやビューアスタイルではｉモードパスワードを入力できません。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。

●インターネットホームページの表示方法についてはP.52を参照してください。

お知らせ

●ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
　ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。詳しくはP.36を参照してください。

●パソコン上での表示とは異なる場合があります。

●URLが256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

■用語解説

●インターネットホームページ
情報を提供するサーバ（情報が登録されている場所）が情報の簡単な紹介をするページです。インターネットホームページから項目をたどって、詳細な情報を見ることができます。

●URL
インターネットホームページがインターネット上のどこにあるのかを表す「住所」のようなものです。
URLを指定することによりインターネットホームページを表示できます。

●ブックマーク（Bookmark）
頻繁に接続するインターネットホームページなどを登録しておくと、次回からすぐに表示することができる機能です。ブックマークには、お気に入りのインターネットホームページのURLを登録します。

●キャッシュ
一度表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶するFOMA端末内の場所です。
再度同じインターネットホームページを表示するときは、キャッシュ内のデータを呼び出すため、すぐにページを表示することができます。

●ダウンロード
サーバからインターネットを通じてデータやソフトを受け取り、FOMA端末に保存することです。

●リンク
他の場所にあるデータとのつながりを持つことです。たとえば、サイトのページの中に「目次」などと表示されていて、各項目を選択するとそのページへ移動できる場合があります。それは選択した項目がそのページのURLにリンクされているということです。他の部分と区別するため、色が変えられていたり下線が引かれている場合が多いです。

●SSL（Secure Sockets Layer）
インターネット上でサーバと情報をやりとりするときに情報を暗号化して、勝手に書き換えられたり、他人が見ることができないようにするセキュリティープロトコル（決まりごと）です。

●SSL証明書
第三者の認証機関が発行する電子的な書類です。SSL通信で接続するサーバとFOMA端末には、あらかじめ認証機関から発行、提供された証明書が保存されています。認証機関をCA（Certificate Authority）といいます。

●SSL認証
FOMA端末がSSL通信を始めるときに、接続先のサーバが同じ認証機関から発行された証明書を持つことを確認することにより、接続先サーバを認証することをいいます。

●なりすまし
第三者がサイトやお客様のふりをして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

●書き換え
インターネットを通じてサーバと情報をやりとりするときに第三者が勝手に情報の内容を変えてしまうことです。改ざんともいいます。

ｉモードのご使用にあたって

●サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やｉモード端末外へ出力することはできません。

●ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ（R/F）、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。（基本編P.373参照）

●ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにて取り込んだ情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージ（R/F）」などを表示・再生できません。

●FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

お知らせ

＜キャッシュに記憶されたページを表示するときは＞

●キャッシュとは、表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。 や を押すことで、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示することができます。（P.40参照）
ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしているか、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、 や を押した際、通信を行います。
※ビューアスタイル時は、 の代わりに ▲ を1秒以上、 の代わりに ▼ を1秒以上押します。

●キャッシュから読み込んだときでも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。

●ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。

●SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、「SSLページを表示します」というメッセージが表示されます。

<ｉMenu>

サイトに接続する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。
（IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

1 (メニュー)▶(iモード)▶ｉMenu

ｉモードメニューは9項目あります。
主な操作は右のような画面から始めます。
●待受画面で(i)（[i]）を押しても「ｉモードメニュー画面」が表示されます。



<ｉモードメニュー画面>

通信中は「⇆」が点滅します。
●ページを取得中に中止するときは(✉)（[中止]）を押します。



2 項目（リンク先）を選択▶(◉)

●リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続することができます。
（サイトによっては接続できない場合があります。）
このあと手順2を繰り返して目的のサイトを表示します。

ビューアスタイル

1 ( )（機能／メニュー）を1秒以上押す▶(T/W)で(iモード)を選択▶(◎)
●待受画面で( )（機能／メニュー）を押しても「ｉモードメニュー画面」が表示されます。

2 (T/W)で「ｉMenu」を選択▶(◎)

3 (T/W)で項目（リンク先）を選択▶(◎)

■スクロール機能（行単位と画面単位）
サイトなどのページを表示している場合で、一覧や文章が画面内におさまらず、続きがあるときは、(◎)を押すと下方向にスクロールされ、一覧や文章の続きが表示されます。また、一覧や文章の続きが表示されているときに、(◎)を押すと上方向にスクロールされ、前の一覧や文章が表示されます。
また(▼)や(▲)を押すと、画面単位でスクロールさせることができます。

■ｉモードを終了するには

1. ｉモード画面表示中に を押します。

2.「YES」を選択し、 を押します。

「 」が消灯し、ｉモードが終了します。

●ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。

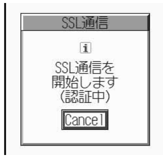
お知らせ

● を2秒以上押した場合は、電源が切れます。

●ビューアスタイルではｉモードを終了できません。

■SSLページを取得します

SSLに対応したサイトを取得するとき、右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、「 」が点灯します。



■通常のサイトに戻ります

SSLに対応していないサイトに戻るとき、右の画面が表示されます。「YES」を選択し を押すと、通常のサイトが表示され、「 」が消灯します。



お知らせ

●SSL通信を行う際は、あらかじめ日付・時刻を設定してください。（基本編P.62参照）

お知らせ

●「圏外」が点灯しているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。「 」など電波の受信レベル表示が点灯する場所まで移動してください。

●ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード待機中）は「 」が点滅します。

●サイトによっては、ご利用の前に別途書面などで申し込みが必要になることがあります。

●サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

●エリア内でｉモードのサービスを受けていないときに、サイトやインターネット（P.52参照）で情報の送受信やｉモードメールの送信（P.150参照）などをしようとしたときは、「 」が点滅し「ｉモード通信開始」というメッセージが表示され、ｉモード開始まで時間がかかることがあります。

●ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

●圏外でもｉモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。

●サイトによっては、画像を表示できない場合があります。

●サイトに接続中でも、電話をかけたり受けたりすることができます。また、メールを送受信することもできます。ただし、ｉモード通信中はテレビ電話を受けることはできません。

●「Receiving Page...」のメッセージが表示されているときでも で画面をスクロールすることができます。

●表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択することができます。選択された項目は反転表示されます。

●ｉモード対応のインターネットホームページ（サイト）によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。Flash画像を利用した画像をFOMA端末に取り込んで再生したり、待受画面に設定することもできます。

P.13

お知らせ

<Flash画像について>

●Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「効果音設定」を「効果音OFF」に設定してください。
●「リトライ」を実行すると、Flash画像を最初から再生できます。
●「画像表示設定」を「表示しない」に設定すると、Flash画像は表示されません。
●保存したFlash画像は、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
●Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
●Flash画像によっては ◎ や ◎ で操作できることがあります。「◀▲▼▶」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。
ビューアスタイル時は、 T/W 、 ▲ ▼（1秒以上）、 ◎ で操作できます。

前のページに戻る・進む

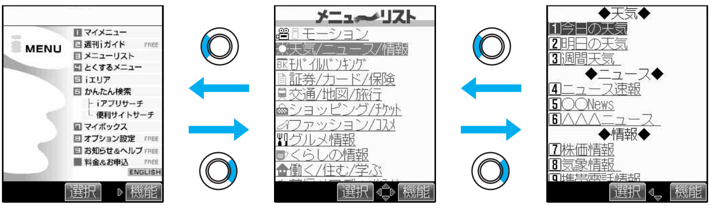
取得済みの前のページに戻ったり、取得済みのページへ進むことができます。

P.13

1 **前のページを表示させるときは◎を押す**
次のページを表示させるときは◎を押す

●ビューアスタイル時は、 ▲ を1秒以上押すと前のページを表示、 ▼ を1秒以上押すと次のページを表示します。

2つ前のページ　　1つ前のページ　　現在表示しているページ

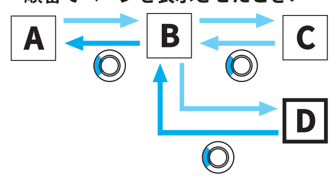


■**ページの移動**

◎ を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示することができます。ただし、途中で ◎ を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、現在表示している「D」から ◎ を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

※ビューアスタイル時は、 ◎ の代わりに ▲ を1秒以上押します。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>



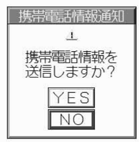
…ページの表示の順番
…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

■**携帯電話情報について**

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択し ◎ を押すと、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。

● 「携帯電話情報を送信しますか？」というメッセージが表示されるので、送信してもよいときは「YES」を選択し ◎ を押します。送信したくないときは「NO」を選択し ◎ を押します。

● 「携帯電話情報を送信しますか？」のメッセージ表示中に クリア を押すと前の画面に戻ります。



お知らせ

●送信される携帯電話情報は、お客様のFOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号です。これらの情報はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

●携帯電話情報は、送信される前に必ず携帯電話情報通知画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。

◆◇◆**機能メニュー**◆◇◆

サイト表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
Bookmark登録	P.58
画面メモ	P.64
i Menu	P.42
Bookmark一覧	P.59
URL入力	P.42
再読み込み	P.42
画像保存	P.69
電話帳登録	P.43
デスクトップ貼付	P.43
i モードメール作成	P.44
文字コード変換	P.44
ホーム登録	P.56
ホーム表示	P.56
タイトル表示	P.44
URL表示	P.45
証明書表示	P.45
画像表示設定	P.75
i モーションタイプ設定	P.121
リトライ	P.45
効果音設定	P.75

操作により実行できない項目があります。

i Menu

サイトの検索などをやり直したいときは「i Menu」に戻ることができます。

1 **サイト表示中▶ⓘ（機能）▶i Menu**

「i Menu」が表示されます。

URL入力

サイトの表示中に直接URLを入力し、新たなサイトを表示します。

1 **サイト表示中▶ⓘ（機能）▶URL入力**

2 **URL入力のテキストボックスを選択▶◉▶URLを入力▶◉**

●文字の入力方法については基本編P.314参照。

3 **OK▶OK**

●中止する場合は「Cancel」を選択し、◉を押します。

再読み込み

スポーツ番組など刻々と内容が変わるサイトを再読み込みすると、最新の情報に更新できます。

1 **サイト表示中▶ⓘ（機能）▶再読み込み**

サイトが更新されていれば、この操作のたびに表示されるサイトの内容が更新されます。

お知らせ

●文字入力後やID・パスワードなどを入力して閲覧しているときに実行すると、「入力したデータをもう一度送信しますか？」と表示される場合があります。（自動的に更新されるサイトでは「再読み込み」を実行していなくても表示されます。）「YES」を選択し、◉を押すとサイトが更新されます。

電話帳登録

サイト、画面メモ表示中に表示されているメールアドレスまたは電話番号を電話帳に保存することができます。

1 **サイト表示中・画面メモ詳細画面▶ⓘ(機能)▶電話帳登録▶YES**

本体 ………………… FOMA端末内の電話帳に登録します。
FOMAカード ………… FOMAカード内の電話帳に登録します。

2 **新規登録・追加登録**

新規登録･･･新たに電話帳を作成します。
追加登録･･･既にある電話帳に追加登録します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「2上書き登録」と表示されます。
●電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されているときは、それらも入力されます。
残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。
基本編P.122～128の操作を行って電話帳に登録します。
追加登録(上書き登録)については基本編P.132参照。

お知らせ

●「PIMロック」(基本編P.218参照)、「ダイヤル発信制限」(基本編P.219参照)を設定中や「指定発信制限」(基本編P.157参照)を指定した電話番号があるときは、電話帳登録はできません。
●電話帳に登録できない文字が含まれていた場合、その文字はスペースになることがあります。
●電話帳登録中はｉモードは接続されたままになります。
●電話番号やメールアドレス以外の反転表示された情報を使って電話帳登録ができる場合もあります。
●サイトによっては登録できない場合があります。

デスクトップ貼付

P.13

デスクトップ上に表示中のサイト、ブックマーク一覧およびURL入力履歴一覧のURLをアイコンとして貼り付けることができます。デスクトップには他の貼り付けアイコン(基本編P.201参照)と合わせて12件まで貼り付けることができます。

1 **サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴一覧画面▶ⓘ(機能)▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■デスクトップに貼り付けたアイコンからサイトを表示するには
1. 待受画面で◉を押します。
2. ◎で表示したいサイトのアイコンを選択し、◉を押します。
●ビューアスタイルでは◎を使用できません。



お知らせ

●サイトによっては、貼り付けアイコンとして貼り付けられないことがあります。
●貼り付けアイコンのタイトルは、全角16文字まで、半角32文字までが登録されます。タイトルの文字数がそれ以上あるときは、登録時に超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
●URLが半角256文字を超える場合は、デスクトップ貼付できません。
●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

ｉモードメール作成

表示中のサイトのURL、ブックマーク一覧およびURL入力履歴一覧で選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて送信します。



1 サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成

本文欄にURLが入力されています。
以降、P.150手順2から操作を行ってメールを作成します。

文字コード変換

文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して表示します。

1 サイト表示中▶ⓘ（機能）▶文字コード変換

お知らせ

- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

タイトル表示

表示中のサイトのタイトルを表示することができます。

1 サイト表示中▶ⓘ（機能）▶タイトル表示

- 確認が終われば「OK」を選択し、◉を押します。

お知らせ

- 表示されたタイトルの編集はできません。
- タイトルは半角128文字まで表示されます。

URL表示

表示中のサイトまたは画面メモのURLを表示することができます。

1 **サイト表示中・画面メモ詳細画面▶ⓘ（機能）▶URL表示**

●確認が終われば「OK」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●表示されたURLの編集はできません。
●URLは半角512文字まで表示されます。

証明書表示

SSL通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限および、シリアル番号を確認できます。

1 **サイト表示中・画面メモ詳細画面▶ⓘ（機能）▶証明書表示**

◎で画面をスクロールさせて確認できます。
●確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

●証明書が複数枚あるときは、◎で前後の証明書を確認できます。ビューアスタイル時は、▲ ▼ を1秒以上押して確認できます。
●証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定に関わらず1行スクロールで表示されます。

リトライ

表示中のアニメーションやFlash画像を最初から再生します。

1 **サイト表示中・画面メモ詳細画面▶ⓘ（機能）▶リトライ**

お知らせ

●再生途中に選択すると、はじめから再生されます。

サイトで入力・選択する

サイトでアンケートや申し込みをするときなどに、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスが表示されることがあります。

ラジオボタン

P.13

選択肢の中から1つだけ選べるマークです。「⦿」が選択した状態です。

1 **「○（枠）」を移動▶◎**

選択したい項目のラジオボタンが「⦿」になり、選択されます。



チェックボックス

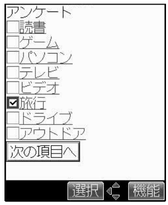
P.13

選択肢の中から複数を選べるマークです。「☑」が選択した状態です。

1 **「□（枠）」を移動▶◎**

選択したい項目のチェックボックスが「☑」になり、選択されます。

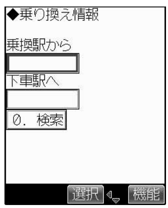
●すでにチェックが入っていた項目を選択した場合は、チェックが外れます。



テキストボックス

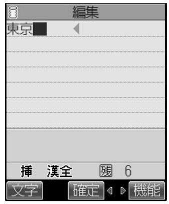
文字を入力するボックスです。

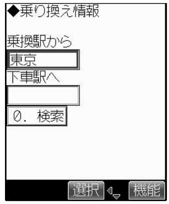
1 **テキストボックスを選択▶◎**



2 文字を入力▶◎

●入力できる文字や文字数は、テキストボックスにより異なります。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



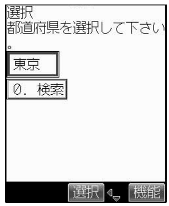


プルダウンメニュー

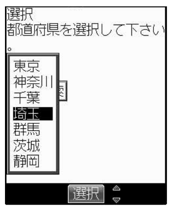
P.13

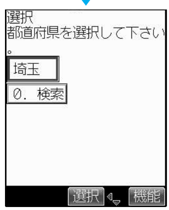
プルダウンメニューは選択肢が見えない状態で表示され、選ぶと選択肢一覧が表示されます。表示された選択肢の一覧から項目を選択します。

1 プルダウンメニューを選択▶◎



2 ◎で項目を選択▶◎





次ページにつづく

お知らせ

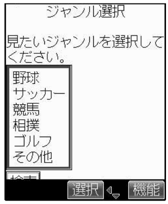
●プルダウンメニューでは、サイトなどのつくりによって複数の項目を選択できる場合があります。で項目を選択し、を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら（完了）を押します。

セレクトボックス

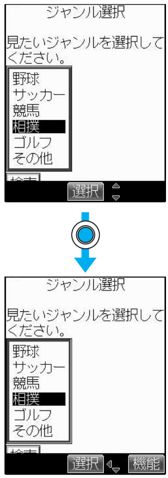
P.13

表示されている選択肢の一覧から項目を選択します。ページによっては、選択肢の一部のみ表示される場合もあります。

1 セレクトボックスを選択▶



2 で項目を選択▶



お知らせ

●セレクトボックスでは、サイトなどのつくりによって複数の項目を選択できる場合があります。で項目を選択し、を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら（完了）を押します。「完了」が表示されない場合は、を押します。

「OK」や「Cancel」などを実行する

P.13

サイトやインターネットホームページなどの画面に「OK」や「Cancel」などが表示されることがあります。

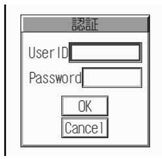
1 で「OK」や「Cancel」を選択する

表示が「OK」や「Cancel」に変わります。

2 を押す

■User IDやPasswordを入力するときは

サイトによっては右のような認証画面が表示されることがあります。
（サイトによって表示される画面が異なります。）

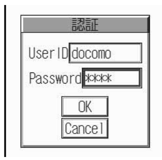


1.「User ID」を選択し、 を押します。

2. User IDを入力し、 を押します。
   ●文字の入力方法については基本編P.314参照。

3.「Password」を選択し、 を押します。

4. Passwordを入力し、 を押します。
   ●入力したPasswordは「＊」で表示されます。
   ●数字の入力方法については基本編P.314参照。



5.「OK」を選択し、 を押します。
   User ID、Passwordの認証を始めます。
   ●操作を中止するときは「Cancel」を選択し、 を押します。

お知らせ

●「文字入力方式」（基本編P.315参照）を「モード2」（2タッチ方式）に設定しているときは、Passwordを入力するときも、「モード2」の方法で文字を入力してください。
●ムービースタイルやビューアスタイルでは入力できません。

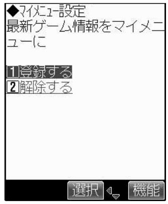
<マイメニュー>

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

マイメニューに登録する

1 **登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録**



2 **ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◉▶ｉモードパスワードを入力▶◉▶決定**

●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。



お知らせ

●各サイトによりページ構成が異なります。
●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていたマイメニューの内容は引き継がれます。サイトによって、FOMA端末にマイメニューが引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、マイメニュー引継サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。
●マイメニューに登録できないサイトもあります。
●ｉモードメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
●マイメニューは最大45件まで登録できます。
●マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要となります。

マイメニューからサイトを表示する

P.13

1 **(メニュー)▶(iモード)▶ｉMenu▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択▶◉**

お知らせ

●マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。
●デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

＜ｉモードパスワード変更＞

ｉモード用のパスワードを変更する

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ｉモードパスワードが変更されるまでは「0000」（数字のゼロ4つ）がｉモードパスワードとして設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 （メニュー）▶（iモード）▶ｉMenu▶オプション設定▶ｉモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶（決定）

2 ｉモードパスワード（4桁）を入力▶（決定）



●入力した数字は「＊」で表示されます。
●数字の入力方法については基本編P.314参照。
●ご契約時は「0000」となっていますので、初回は「0000」を入力します。

3 「新パスワード」のテキストボックスを選択▶（決定）▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶（決定）



4 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶（決定）▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶（決定）▶決定



●手順3で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

●ｉモードパスワードをお忘れの場合は、当社窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」へリセットさせていただくことになります。

<URL入力>
インターネットホームページに接続する

任意のURLを入力して、見たいインターネットホームページを表示できます。
URLは半角の英数字や記号で入力できます。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **Internet** ▶ **URL入力**

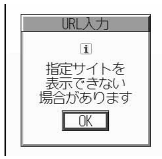
●サイト表示中は i（機能）を押して「URL入力」を選択します。

2 **新規入力** ▶ **URLを入力** ▶ ● ▶ **OK**



「http://」は自動的に挿入されます。
●半角256文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。
●中止する場合は「Cancel」を選択し、● を押します。

3 **OK**



●インターネットホームページが表示されます。

お知らせ

●ｉモード対応のインターネットホームページ以外では、正しく表示されない場合があります。
●接続するサイトによっては、正しく表示されないことがあります。
●受信したデータが取得可能な1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。
● を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。
●表示したページをブックマーク（P.58参照）、画面メモ（P.64参照）、貼り付けアイコン（P.43参照）、ホームURL（P.56参照）に登録することができます。

<URL入力履歴>

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として10件まで記録されます。

1 **(メニュー) ▶ (iモード) ▶ Internet ▶ URL入力 ▶ 表示したいURLを選択 ▶ ◎ ▶ OK**

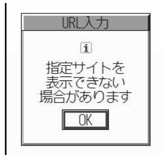


<URL入力履歴一覧画面>

- 「OK」を選択する前に、URLのテキストボックスを選択して◎を押すとURLを編集できます。
- 中止する場合は「Cancel」を選択し、◎を押します。

2 **OK**

インターネットホームページが表示されます。



お知らせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URL入力からのアクセスは同じURLでも上書きされずに、履歴として記録されます。
- URL入力履歴は「http://」または「https://」以下の半角22文字までが表示されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

URL入力履歴一覧画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

デスクトップ貼付	P.43
iモードメール作成	P.44
ホーム登録	P.56
1件削除	P.54
選択削除	P.54
全削除	P.54

操作により実行できない項目があります。

1件削除

P.13

選択しているURL入力履歴を削除します。

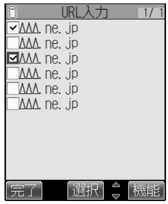
1 **URL入力履歴一覧画面▶ ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

選択削除

URL入力履歴を選択して削除します。

1 **URL入力履歴一覧画面▶ ⓘ（機能）▶選択削除▶削除したいURL入力履歴にチェック**



◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・削除します。

□・・・・・・・・削除しません。

● ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

2 **✉（完了）▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

全削除

すべてのURL入力履歴を削除します。

1 **URL入力履歴一覧画面▶ ⓘ（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

＜ホーム表示＞

ホーム登録したサイトを表示する

ホームURL設定

お買い上げ時
無効

待受画面で (▲) を押したり、サイト表示中に機能メニューから「ホーム表示」を選択したときに、ホームURLに設定したインターネットホームページを表示させるかどうかを設定します。また、表示させるインターネットホームページのURLも設定します。

例：URLを入力して「有効」に設定する場合

1 (メニュー)▶[iモード]▶ｉモード設定▶ホームURL設定

2 「ホームURL」のテキストボックスを選択▶(◉)



●無効に設定する場合は「無効」を選択し、(◉) を押します。
●既に入力されているホームURLを有効にする場合は「有効」を選択し、(◉) を押します。

3 URLを入力▶(◉)▶有効



「http://」は自動的に挿入されます。
●半角256文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

■ホームURLに設定したインターネットホームページを表示するには
ホーム設定をすると、待受画面で (▲) を押すだけでホームURLに設定したインターネットホームページを表示できます。サイト表示中は (i) (機能) を押して「ホーム表示」を選択し、(◉) を押すと表示できます。

お知らせ

●ブックマーク、URL入力履歴またはサイトのページのURLをホームURLに登録したときやホームURLを入力したときでも、「有効」に設定しないと待受画面で (▲) を押したり、サイト表示中に機能メニューから「ホーム表示」を選択して、インターネットホームページを表示することはできません。

ホーム登録

P.13

一番よく見るサイトのページは、ホームURLに登録しておくと便利です。待受画面で ▲ を押すだけで、そのページを表示することができるようになります。
ブックマーク一覧やURL入力履歴のURLをホームURLに登録することもできます。

1 **サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴一覧画面 ▶ i（機能）▶ ホーム登録 ▶ YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

お知らせ

●ホームURLを登録後、「ホームURL設定」を「有効」に設定しないと、▲ を押してもホームURLのページは表示されません。
●すでにホームURLが登録されている場合は、「すでに登録されています 上書きしますか？」というメッセージが表示されます。「YES」を選択し ◉ を押すと、上書きされます。上書きしたくない場合は「NO」を選択し ◉ を押します。

ホーム表示

P.13

「ホーム登録」や「ホームURL設定」で登録したURLからサイトを表示することができます。

1 **メニュー ▶ iモード ▶ Internet ▶ ホーム表示**

●サイト表示中は i（機能）を押して「ホーム表示」を選択します。
●待受画面で ▲ を押しても表示されます。

お知らせ

●「ホームURL設定」が「無効」に設定されている場合は、「ホーム表示」からサイトに接続することはできません。
●平型スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

＜ラストURL＞
最後に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

P.13

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。
ｉモードメニュー画面で「ラストURL」を選択すると、最後に見たページを表示することができます。
URLが半角2048文字を超えるページ、メロディやｉモーションの取り込み完了の画面、FirstPassセンターのページなど、ページによっては「ラストURL」に記憶されません。

1 (メニュー)▶ iモード ▶ラストURL

お知らせ

●ページを表示するたびに「ラストURL」は表示中のページのURLに更新されます。
●お買い上げのときや「ラストURL初期化」を行ったあとに「ラストURL」を選択するとｉMenu画面が表示されます。

ラストURL初期化

P.13

最後に見たサイトのURLを初期化（ｉMenuのURLに）します。

1 (メニュー)▶ iモード ▶ｉモード設定▶ラストURL初期化▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、(決定)を押します。

＜ブックマーク＞
ホームページやサイトを登録して素早く表示する

ブックマークに登録する

P.13

よく見るサイトのURLをブックマークに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。
ブックマークは100件まで登録できます。（全フォルダの合計）
また、登録したブックマークは、削除したり、タイトルを変更できます。

1 登録したいページを表示中▶ⓘ（機能）▶Bookmark登録▶YES

●同じURLを登録しようとした場合、「同じURLが登録されています 上書きしますか？」と表示されます。「YES」を選択し、◉を押すと上書き登録されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

2 登録したいフォルダを選択▶◉

●お買い上げ時は「Bookmark」のみ選択できます。

お知らせ

●登録できる1件あたりのURLの文字数は半角256文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
●タイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
●「PIMロック」（基本編P.218参照）を設定中は、ブックマークの登録や表示はできません。
●サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。
●すでにブックマークが最大保存件数まで登録されている場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

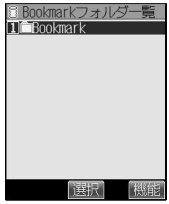
ブックマークからホームページやサイトを表示する

P.13

あらかじめよく見るサイトをブックマークに登録しておくと、簡単にそのページを表示することができます。

1 (メニュー) ▶ (iモード) ▶ Bookmark ▶ フォルダを選択 ▶ (●)

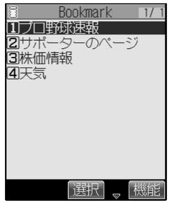
●サイト表示中は (i) (機能) を押して「Bookmark一覧」を選択します。
●お買い上げ時は「Bookmark」のみ選択できます。



<Bookmarkフォルダ一覧画面>

2 表示したいBookmarkを選択 ▶ (●)

●ブックマークが11件以上ある場合、(○) を押すと、次の10件や前の10件を表示することができます。



<Bookmark一覧画面>

お知らせ

●ブックマークを使ってサイトを表示させると、次回はそのブックマークがBookmark一覧画面の先頭に表示されます。
●情報が自動的に更新されない場合がありますので、その場合は「再読み込み」を行ってください。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

Bookmarkフォルダ一覧画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
フォルダ追加	P.60
フォルダ名編集	P.60
登録件数確認	P.61
フォルダ削除	P.61
Bookmark全削除	P.61

操作により実行できない項目があります。

フォルダ追加

新規フォルダを追加します。
「Bookmark」以外に9件までフォルダを追加することができます。

1 Bookmarkフォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力▶◉



●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

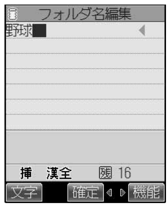
お知らせ

●新規フォルダはBookmarkフォルダ一覧画面の一番下に追加されます。
●フォルダ名を入力しなければ新規フォルダは追加できません。

フォルダ名編集

選択しているフォルダの名前を編集します。
「Bookmark」フォルダの名前は変更できません。

1 Bookmarkフォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ名編集▶フォルダ名を編集▶◉



●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

お知らせ

●同じ名前のフォルダも登録できます。

登録件数確認

全フォルダに登録されているブックマークの総件数を表示します。

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶登録件数確認**

●確認が終われば クリア を押します。

フォルダ削除

選択しているフォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。
「Bookmark」フォルダは削除できません。

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ削除▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

●端末暗証番号については基本編P.208参照。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

Bookmark全削除

すべてのブックマークを削除します。フォルダは削除されません。

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶Bookmark全削除▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

●端末暗証番号については基本編P.208参照。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

Bookmark一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

フォルダ移動

ブックマークを選択して、別のフォルダに移動することができます。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ(機能)▶フォルダ移動▶移動先のフォルダを選択▶◉▶移動したいブックマークにチェック**

◉を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・移動します。
☐・・・・・・・・移動しません。

●ⓘ(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

2 **✉(完了)▶YES**

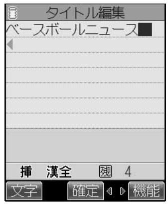
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

タイトル編集

選択しているブックマークのタイトルを編集します。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ(機能)▶タイトル編集▶タイトルを編集▶◉**

●全角12文字まで、半角24文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●タイトルを削除(空白)して◉を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

URLコピー

選択しているブックマークのURLをコピーします。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ(機能)▶URLコピー▶コピーする始点を選択▶◉▶コピーする終点を選択▶◉**

●コピーした文字を貼り付けるには基本編P.330参照。

登録件数確認

表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ（機能）▶登録件数確認**

●確認が終われば（クリア）を押します。

1件削除

選択しているブックマークを削除します。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

選択削除

表示しているフォルダ内のブックマークを選択して削除します。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ（機能）▶選択削除▶削除したいブックマークにチェック**



◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・削除します。
□・・・・・・・・削除しません。

●ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

2 **✉（完了）▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

全削除

表示しているフォルダ内に登録されているすべてのブックマークを削除します。

1 **Bookmark一覧画面▶ⓘ（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

●端末暗証番号については基本編P.208参照。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●「全削除」で削除されるのは表示しているフォルダ内のブックマークです。別のフォルダのブックマークは削除されません。

<画面メモ>
サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

P.13

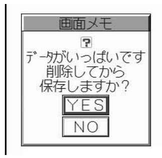
料理のレシピや乗り換え案内など、一度表示したページをあとから確認したいときなどは、そのページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。
画面メモは最大100件まで保存できます。(保存するページのデータ量により件数は変動します。)

1 保存したいページを表示中▶ⓘ(機能)▶画面メモ▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

■保存されている画面メモがいっぱいのとき

すでに画面メモが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要な画面メモを削除してから保存します。



1.「YES」を選択し、◎を押します。
2. 削除したい画面メモにチェックを付けます。
◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
●ⓘ(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
●ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。
3. ✉(完了)を押します。
●ビューアスタイルでは✉を使用できません。
4.「YES」を選択し、◎を押します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●タイトルは全角11文字まで、半角22文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。
●ダウンロード(取り込み)完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。(再生期限付きのｉモーションの取得完了画面は保存できません。)ダウンロード(取り込み)完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。
●SSL対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL証明書も保存されます。
●同じページを登録したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。

画面メモを表示する

P.13

画面メモとして保存されているページを表示します。

1 (メニュー) ▶ (iモード) ▶ **画面メモ ▶ 表示したい画面メモを選択**

●画面メモが11件以上ある場合、(◎)を押すと次の10件や前の10件を表示することができます。



＜画面メモ一覧画面＞



＜画面メモ詳細画面＞

(◎)で他の画面メモを確認することができます。

●ビューアスタイル時は(▲)(▼)を1秒以上押します。

お知らせ

●画面メモに保存されたページは保存したときの情報です。最新のサイトの情報と異なる場合があります。

●保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

画面メモ一覧画面を表示中に(i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
タイトル編集	P.66
保護／保護解除	P.66
保存件数確認	P.66
1件削除	P.67
選択削除	P.67
全削除	P.67

操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

選択している画面メモのタイトルを編集します。

1 **画面メモ一覧画面・画面メモ詳細画面▶(i)(機能)▶タイトル編集▶タイトルを編集▶◉**

●全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●タイトルを削除(空白)して◉を押した場合は、「無題」と登録されます。

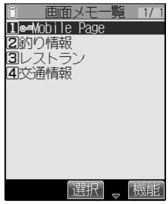
保護/保護解除

P.13

選択している画面メモを保護します。保護された画面メモは削除できません。
最大50件まで保護できます。(保護するページのデータ量により件数は変動します。)

1 **画面メモ一覧画面・画面メモ詳細画面▶(i)(機能)▶保護/保護解除**

保護すると「🔑」が表示されます。
●保護を解除する場合も同様の操作を行います。



保存件数確認

P.13

保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。

1 **画面メモ一覧画面▶(i)(機能)▶保存件数確認**

●確認が終われば(クリア)を押します。

1件削除

選択している画面メモを削除します。

1 **画面メモ一覧画面▶ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

選択削除

保存されている画面メモを選択して削除します。

1 **画面メモ一覧画面▶ⓘ（機能）▶選択削除▶削除したい画面メモにチェック**



◎を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。

☑ ・・・・・・・・削除します。

☐ ・・・・・・・・削除しません。

●ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

2 **✉（完了）▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●保護されている画面メモは選択できません。

全削除

保存されているすべての画面メモを削除します。

1 **画面メモ一覧画面▶ⓘ（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

画面メモ詳細画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

削除

P.13

表示している画面メモを削除します。

1 **画面メモ詳細画面▶ⓘ（機能）▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

画像を保存する

P.13

サイト、画面メモ表示中に表示されている画像を「ｉモード」フォルダ（P.318参照）に保存します。保存した画像は「画面表示設定」（基本編P.187参照）で待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面▶（機能）▶画像保存

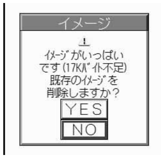
2 保存したい画像を選択▶▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●待受画面などに設定する場合は、基本編P.187参照。

■保存されている画像がいっぱいのとき

すでに画像が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要な画像を削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、を押します。
2. 削除したい画像をグレー表示にします。
   を押すとグレー表示に切り替わります。
3. （完了）を押します。
   ●ビューアスタイルではを使用できません。
4. 「YES」を選択し、を押します。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。



メモリ不足の場合

お知らせ

●「画像表示設定」（P.75参照）を「表示しない」に設定しているときは保存できません。

＜ｉメロディ＞

サイトからメロディを取り込む

ダウンロードサイトのメロディを「オリジナル着信音」（P.388参照）として保存すると、着信音などに設定できます。

1 メロディダウンロード可能なサイトを表示▶保存したいメロディを選択▶

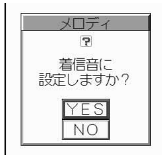


＜取り込み完了画面＞

2 保存▶YES

●「再生」を選択して を押すと、メロディが再生されます。
●「情報表示」を選択して を押すと、メロディの情報が表示されます。（P.120参照）
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

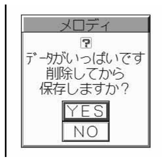
3 着信音に設定するには「YES」を選択▶



電話 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥音声電話がかかってきたときの着信音を設定します。
TV電話 ‥‥‥‥‥‥‥‥テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。
メール ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音を設定します。
メッセージリクエスト ‥メッセージリクエストを受信したときの着信音を設定します。
メッセージフリー ‥‥‥メッセージフリーを受信したときの着信音を設定します。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

■保存されているメロディがいっぱいのとき

すでにメロディが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要なメロディを削除してから保存します。



1.「YES」を選択し、 を押します。
2. 削除したいメロディにチェックを付けます。
　 を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
　●ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。
3. （完了）を押します。
　●ビューアスタイルでは を使用できません。
4.「YES」を選択し、 を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

取り込み完了画面を表示中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

画面メモ P.64

操作により実行できない場合があります。

お知らせ

●接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
●ダウンロードしたメロディ（オリジナル着信音に保存したときを含む）には、あらかじめ演奏部分が指定されていることがあります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは指定部分だけが再生されます。
●ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
●データ取得完了ページのURLは、「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はダウンロード完了の前に表示していたページのURLになります。
●タイトルが付けられていないメロディは一覧で「無題」と表示されます。
●ダウンロードしたメロディを再生する際、「着信音量」（基本編P.83参照）の「電話／TV電話」で設定された音量で演奏されます。
●通話中はメロディの演奏ができません。

＜辞書ダウンロード＞
サイトから辞書を取り込む

P.13

サイトの画面から辞書を取り込みます。辞書は5件まで保存できます。

1 **辞書ダウンロード可能なサイトを表示▶辞書を選択▶◎**

2 **保存▶YES**

●「情報表示」を選択して◎を押すと、辞書の情報が表示されます。（P.120参照）
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。



＜取り込み完了画面＞

3 **＜未登録＞**

●すでに登録されている辞書を選択した場合は、「辞書を上書きしますか？」と表示されます。
●取り込んだ辞書の操作方法については基本編P.342参照。

お知らせ

●接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

取り込み完了画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

画面メモ	P.64

操作により実行できない場合があります。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

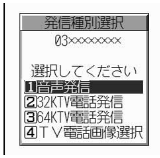
サイトのページやメールなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など）を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりすることができます。

●パソコンなどからメールを受信すると、Web To、Phone To、AV Phone To、Mail To 機能が使用できない場合があります。

Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、電話をかけることができます。

1 表示されている電話番号などの情報を選択▶◎



音声発信 ……………音声電話で発信します。
32KTV電話発信 ……32Kのテレビ電話で発信します。
64KTV電話発信 ……64Kのテレビ電話で発信します。
TV電話画像選択 ……テレビ電話中に相手に送信する画像を「自画像」「内蔵」「自作」「キャラ電」から選択します。

●電話番号の前に「tel:」があった場合などは、右上の画面が表示されないことがあります。手順2へ進みます。（サイトによっては右上の画面が表示される場合もあります。）

2 発信

●中止する場合は「中止」を選択し、◎を押します。
●発信者番号を通知する場合は「発番号通知する」を選択し、◎を押します。通知しない場合は「発番号通知しない」を選択し、◎を押します。「発信」を選択し、◎を押した場合は、「発信者番号通知設定」（基本編P.301参照）の設定に従います。
●電話をかけることを途中で中止するときは、HLDを押します。

お知らせ

●「指定発信制限」（基本編P.157参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）、「セルフモード」（基本編P.221参照）を設定しているときは、Phone To 機能で電話をかけることはできません。設定を解除してください。
●サイトによっては、Phone To 機能を利用できない場合があります。
●メールの送信元や宛先が電話番号のときもPhone To 機能がご利用できます。
●お話の途中で マルチ を1秒以上押すと、元の画面に戻ってｉモードの操作を続けることができます。
●電話番号を表す数字列以外の反転表示された情報を使ってPhone To 機能を利用できる場合もあります。

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ることができます。

1 表示されているメールアドレスなどの情報を選択▶◉

宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。
以降、P.150手順3から操作を行ってメールを作成します。



お知らせ

- 「PIMロック」（基本編P.218参照）や「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）を設定しているときは、Mail To 機能でメールを送ることができません。設定を解除してください。
- サイトによっては、Mail To 機能を利用できない場合があります。
- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。
- 反転表示されている表示に複数のメールアドレスが指定されている場合は、複数の宛先が入力されたメールを作成できます。（メール同報送信（P.141参照））
- メールアドレス以外の反転表示された情報を使ってMail To 機能を利用できる場合もあります。

Web To 機能

P.13

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報を使って、インターネットホームページに接続します。

1 表示されているURLなどの情報を選択▶◉

●ページを取得中に中止する場合は ✉（中止）または クリア を押します。

お知らせ

- サイトによっては、Web To 機能を利用できない場合があります。
- URLの表示はサイトにより異なります。
- URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To 機能を利用できる場合もあります。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL（リンク）からｉアプリを起動することができます。

1 **表示されているｉアプリの情報を選択▶◉▶YES**

ｉアプリが起動します。

●送信メール一覧画面や受信メール一覧画面で「 」が表示されている場合は、起動させることができません。

お知らせ

●「ｉアプリ To 設定」（P.98参照）でチェックを外していると、貼り付けられたデータを利用してのｉアプリ起動は不可となります。
●「ｉアプリ To 設定」（P.253参照）で無効に設定されている場合、ｉモードメール本文に貼り付けられたデータを利用してのｉアプリ起動は不可となります。
●複数のデータが貼り付けされている場合、「ｉアプリ To 設定」に関わらず、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
●ｉモードメール本文に、ｉアプリ To がある場合、返信や転送をするとｉアプリ To は引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時もｉアプリ To は引用できません。

詳細機能を設定する

スクロール設定

P.13

お買い上げ時 1行スクロール

サイトや画面メモやメッセージ（R/F）の本文を表示している画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。

1 **(メニュー)▶(ｉモード)▶ｉモード設定▶スクロール設定**

1行スクロール ········1行スクロールします。
3行スクロール ········3行スクロールします。
5行スクロール ········5行スクロールします。

お知らせ

●証明書表示時は、1行スクロールで表示されます。

文字サイズ設定

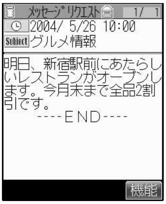
お買い上げ時 標準表示

サイト画面やメッセージ（R/F）の本文を表示している画面で表示される文字サイズを設定します。

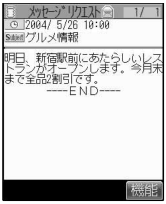
1 (メニュー)▶(iモード)▶**iモード設定▶文字サイズ設定**

標準表示･･･文字を通常サイズで表示します。
縮小表示･･･文字を縮小して表示します。
拡大表示･･･文字を拡大して表示します。

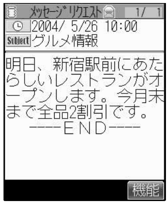
<表示例>メッセージ（R/F）の場合



標準表示



縮小表示



拡大表示

画像表示設定

お買い上げ時 表示する

サイトや画面メモ、メッセージ（R/F）などに含まれる画像やFlash画像を表示するか、表示しないかを設定します。

1 (メニュー)▶(iモード)▶**iモード設定▶画像表示設定**

表示する･･････････････画像やFlash画像を表示します。
表示しない････････････画像やFlash画像を表示しません。
●サイト表示中は、(i)（機能）を押して「画像表示設定」を選択します。

お知らせ

●「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。
●「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。
●サイト表示中に機能メニューの「画像表示設定」で設定することもできます。その場合、本機能の設定も変更されます。

効果音設定

お買い上げ時 効果音ON

Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

1 (メニュー)▶(iモード)▶**iモード設定▶効果音設定**

効果音ON ･･････････Flash画像の効果音を鳴らします。
効果音OFF ･････････Flash画像の効果音を鳴らしません。
●サイト表示中や画面メモ詳細画面表示中は、(i)（機能）を押して「効果音設定」を選択します。

お知らせ

●「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

ｉモード設定確認

ｉモード設定の各設定内容を確認します。

1 メニュー ▶ ｉモード ▶ **ｉモード設定** ▶ **ｉモード設定確認**

●確認が終われば クリア を押します。

ｉモード設定リセット

「ｉモード設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 メニュー ▶ ｉモード ▶ **ｉモード設定** ▶ **ｉモード設定リセット** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ◎ ▶ **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

■「ｉモード設定リセット」でリセットされる内容

リセット項目	リセット後の設定
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
画像表示設定	表示する
自動再生設定	自動再生する
ｉモーションタイプ設定	標準タイプ
メッセージ自動表示設定	メッセージリクエスト優先
開封時メロディ再生設定	自動再生する
メッセージ貼付メロディ設定	有効
ホームURL設定	無効（ホームURLは「http://」）
効果音設定	効果音ON
ラストURL	ｉMenuのURL

＜接続待ち時間設定＞

接続待ち時間を設定する

お買い上げ時
60秒間

サイトを取得するまでしばらく時間がかかることがあります。取得を中止するまでの時間を設定します。
「無制限」に設定すると、自動的に中止しません。

1 (メニュー) ▶ 各種設定 ▶ **iモード通信設定▶接続待ち時間設定**

60秒間‥‥60秒で取得を中止します。
90秒間‥‥90秒で取得を中止します。
無制限‥‥‥iモードセンターとの切断時間を設定しない。

お知らせ

●「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

接続先を変更する

メニュー 8 1　お買い上げ時 i-mode

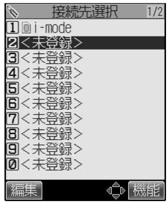
接続先を設定する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードをご利用できなくなります。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ ｉモード通信設定 ▶ 接続先選択 ▶ <未登録>を選択 ▶ ✉（編集）▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ●

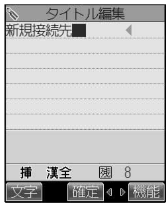
●<未登録>を選択し、機能メニューから「編集」を選択しても操作できます。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。



<接続先選択画面>

2 タイトル ▶ タイトルを入力 ▶ ●

●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



3 接続先名称 ▶ 接続先名称を入力 ▶ ●

●半角英数字で30文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



4 接続先アドレス ▶ 接続先アドレスを入力 ▶ ● ▶ ✉（完了）

●半角英数字で99文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●ｉモード待機中（「 」点滅中）は、接続先を設定することはできません。ｉモードを終了させたあと接続先を設定してください。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

接続先選択画面を表示中に (i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	本ページ参照
削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

編集

登録した接続先を編集します。

1 **接続先選択画面▶登録した接続先を選択▶(i)（機能）▶編集▶端末暗証番号を入力▶(●)**

以降、P.78手順2から操作を行って接続先を編集します。

●登録した接続先を選択して (✉)（編集）を押しても編集できます。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

削除

登録した接続先を削除します。

1 **接続先選択画面▶登録した接続先を選択▶(i)（機能）▶削除▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(●)を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

SSL証明書を操作する

SSL証明書を表示する

P.13



1 (メニュー) ▶ 各種設定 ▶ **iモード通信設定 ▶ 証明書 ▶ 証明書を選択 ▶ (i)（機能）▶ 証明書表示**

証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号が表示されます。
(○)で画面をスクロールさせて確認できます。

- (i)（機能）を押すかわりに(●)を押しても証明書を確認できます。
- 確認が終われば(クリア)を押します。

SSL証明書の有効／無効を設定する

P.13

お買い上げ時
すべて有効



1 (メニュー) ▶ 各種設定 ▶ **iモード通信設定 ▶ 証明書 ▶ 証明書を選択 ▶ (i)（機能）▶ 有効／無効設定**

無効に設定され、「(有効アイコン)」が「(無効アイコン)」になります。

- すでに無効に設定されている証明書を選択して実行した場合は、有効に設定されます。

お知らせ

- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているページは表示できなくなります。
- 「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

■SSL通信で使用する証明書について

証明書・・・・・・・・・・・・・・認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。
ドコモ証明書・・・・・・・・FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
ユーザ証明書・・・・・・・・iモードメニューから「ユーザ証明書操作」（P.83参照）を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色）内に保存されます。

<ユーザ証明書>

ユーザ証明書を操作する

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、そのユーザ証明書をFirstPassセンターから更新申請を行い、ダウンロードすることができます。

・FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。
・青色のFOMAカードではご利用になれません。
・FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
・FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
・FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ日付・時刻を設定してください。
（基本編P.62参照）

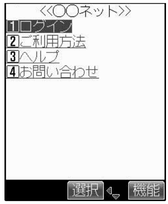
クライアント認証について

・FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
・クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには別添CD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビ システムズ 株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビ システムズ 株式会社のホームページを参照してください。
※AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標または登録商標です。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

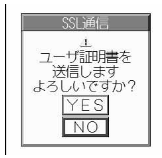
1 FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶◎





2 YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

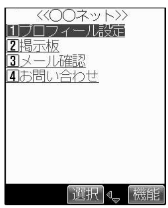


3 PIN2コード（4～8桁）を入力▶◎

●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN2コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN2コードを入力した場合は、PIN2コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除については基本編P.214を参照してください。
●PIN2コードが正しく入力されると、認証中の画面が表示され、続いてサイトの画面が表示されます。
●PIN2コードについては基本編P.209参照。







お知らせ

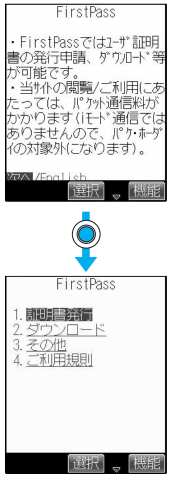
●ダウンロードしたユーザ証明書を使用してFirstPass対応サイトに接続するにはPIN2コードの入力が必要です。
●ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合、「ユーザ証明書がありません 継続しますか？」というメッセージが表示されます。「NO」を選択して ◉ を押すと元のページに戻りますので、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再度接続してください。
●ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、「ユーザ証明書の有効期限が切れています 継続しますか？」というメッセージが表示されます。「NO」を選択して ◉ を押すと元のページに戻りますので、FirstPassセンターからユーザ証明書を更新してから再度接続してください。

FirstPassセンターに接続する

P.13

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **ユーザ証明書操作** ▶ **次へ**



＜FirstPassセンターのサイト画面＞

お知らせ

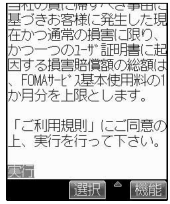
●FirstPassセンターに接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
●FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
●FirstPassセンターへ接続中は、次の機能が利用できません。
・テレビ電話（音声電話は利用可）
・えチャットの送信
・ｉモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
・ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
・メッセージリクエスト／フリー受信
・ｉモーションの取り込み
・Web To 機能

ユーザ証明書の発行を申請する

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。

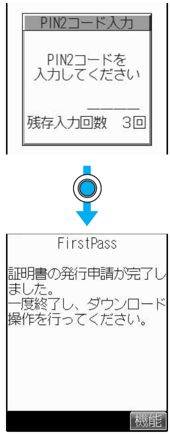
1 FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行

●更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。



2 PIN2コード(4〜8桁)を入力▶◎

●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN2コードは「_」で表示されます。
●3回誤ったPIN2コードを入力した場合は、PIN2コードがロックされて使えなくなります。
(入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます)
正しいPIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除については基本編P.214を参照してください。
●PIN2コードが正しく入力されると、発行申請完了の画面が表示されます。
●PIN2コードについては基本編P.209参照。



お知らせ

●ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。

ユーザ証明書をダウンロードする

P.13

発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶ダウンロード▶実行



ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES

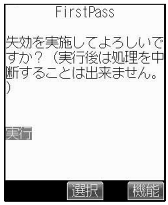


2 PIN2コード（4～8桁）を入力▶◎

●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN2コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN2コードを入力した場合は、PIN2コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除については基本編P.214を参照してください。
●PIN2コードが正しく入力されると、失効申請確認の画面が表示されます。
●PIN2コードについては基本編P.209参照。



3 実行▶次へ▶実行



お知らせ

●ユーザ証明書の発行申請、ダウンロード、失効申請は、連続して行うことはできません。それぞれの操作が終了後、いったんFirstPassセンターとの接続を終了させてください。
●失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトが表示できなくなります。
●失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
●ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合は、P.45参照。

＜証明書センター接続設定＞

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時
ドコモ

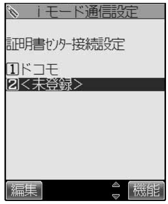
証明書発行接続先を設定する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 （メニュー）▶（各種設定）▶ｉモード通信設定▶証明書センター接続設定▶＜未登録＞を選択▶（✉）（編集）▶端末暗証番号を入力▶（●）

●＜未登録＞を選択し、機能メニューから「編集」を選択しても操作できます。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。



＜証明書センター接続設定画面＞

2 接続先名称▶接続先名称を入力▶（●）

●半角英数字で99文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



3 接続先アドレス▶接続先アドレスを入力▶（●）▶（✉）（完了）

●半角英数字で100文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



◆◇◆機能メニュー◆◇◆

証明書センター接続設定画面を表示中に（ｉ）（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	P.87
削除	P.87

操作により実行できない項目があります。

編集

ユーザ指定接続先を編集します。

1 **証明書センター接続設定画面▶登録した証明書センター接続先を選択▶(i)(機能)▶編集▶端末暗証番号を入力▶(●)**

以降、P.86手順2から操作を行ってユーザ指定接続先を編集します。

●登録した証明書センター接続先を選択して(✉)(編集)を押しても編集できます。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

削除

ユーザ指定接続先を削除します。

1 **証明書センター接続設定画面▶登録した証明書センター接続先を選択▶(i)(機能)▶削除▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(●)を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

FirstPassのご使用にあたって

●FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。

●ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。

●ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
PIN2コード入力後になされた全ての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。

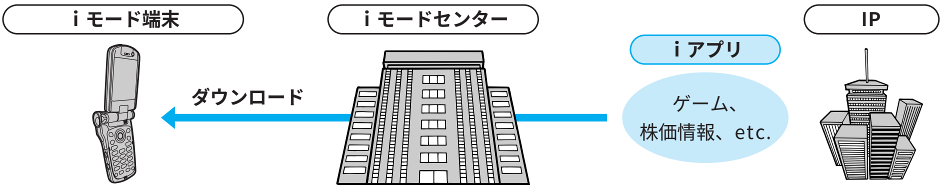
●FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。

●FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。

●FirstPass及びSSLのご利用にあたり、ドコモ及び認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用下さい。

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）をより便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のｉアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるｉアプリもあります。



●ｉアプリをダウンロードする方法についてはP.90を参照してください。
●ｉアプリを実行する方法についてはP.94を参照してください。
●ｉアプリを自動実行する方法についてはP.102を参照してください。
・ソフトによっては、ｉモード端末の携帯電話情報（FOMA端末の機種製造番号、FOMAカードの識別番号など）を利用する場合があります。
・ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

■登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作ができるものがあります。
登録データを利用してできることは以下のとおりです。

●電話帳登録　●アイコン情報利用　●ブックマーク登録
●スケジュール登録　●マルチメディアからの画像取得　●マルチメディアへの画像保存

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴・リダイヤル、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。
●ｉアプリDXを実行する方法についてはP.94を参照してください。

■登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

●電話帳登録
●電話帳参照
●アイコン情報利用
●ブックマーク登録
●スケジュール登録
●メールメニューの利用
●ｉモードメール作成画面利用
●最新のリダイヤル参照
●最新の着信履歴参照
●最新の未読メール参照
●着信音保存
●着信音変更（電話、メール、メッセージ）
●マルチメディアからの画像取得
●マルチメディアへの画像保存
●画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージ（R/F）受信）

・ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
・ｉアプリDXを起動するには、日付時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。
・メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。**（P.104）**

●ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。**（P.102）**

■カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。

●カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。**（P.398）**

●赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
●相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。**（P.93）**

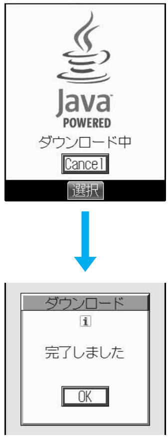
●赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

＜ｉアプリダウンロード＞

ｉアプリをダウンロードする

P.13

サイトからダウンロードしたソフトをFOMA端末のディスプレイ上で実行することができます。
ダウンロードしたソフトは10～最大200件まで登録できます。（ソフトのデータ量によって件数は変動します。）



1 ｉアプリダウンロード可能なサイトを表示▶ソフトを選択▶◉

●中止する場合は「Cancel」を選択し、◉を押します。

ダウンロードが完了したら◉を押します。

●ダウンロード完了後にソフト設定（通信設定、待受画面設定、待受画面通信）の画面が表示されることがあります。設定が終われば クリア を押します。各設定は、ソフト一覧からも設定することができます。（P.98、104、105参照）

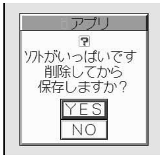
2 YES・NO

YES ……ｉアプリが起動します。
NO ………サイト画面に戻ります。
●ソフトを起動すると画面下に「 」が表示されます。

■サイトからすぐに起動するｉアプリ
ソフトによっては、ダウンロード完了後すぐに起動することがあります。この場合、ソフトはダウンロードされていますが保存はされていません。ソフトを終了すると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。ソフトを保存する場合は「YES」を選択し、◉を押します。

■保存されているソフトがいっぱいのとき

すでにソフトが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。



不要なソフトを削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、 を押します。

2. 削除したいソフトにチェックを付けます。

 を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

●不足バイト数が0になり、ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

3. （完了）を押します。

●ビューアスタイルでは を使用できません。

4. 「YES」を選択し、 を押します。

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

●削除したソフトは元に戻せません。

●電波状況などによりダウンロードに失敗した場合は保存されません。

■メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名がつき、変更することはできません。

ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に振り分けられます。

メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。

●同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。

●受信BOXまたは送信BOXにセキュリティを設定している場合、メール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

●送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

■メール連動型ｉアプリの再ダウンロード

ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用することができます。既存のｉアプリメール用フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除してｉアプリメール用フォルダを新規作成します。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

●既存のｉアプリメール用フォルダを利用する場合

1. フォルダを利用するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、 を押します。

●既存のフォルダを削除し、ｉアプリメール用フォルダを新規作成する場合

1. フォルダを利用するかどうかの確認画面で「NO」を選択し、 を押します。

2. フォルダを新規作成するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、 を押します。

お知らせ

●「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信・保存したメールや、メール連動型ｉアプリ用として送られてきたメールのことです。ｉアプリメールには、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されるよう、ｉアプリ利用データが設定されています。

次ページにつづく

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定（通信設定）」（P.98参照）での設定が必要です。
- SSL対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「SSL」が表示されます。
- お買い上げ時は「ソフト情報表示設定」は「表示しない」に設定されています。「表示する」に設定した場合、ダウンロードする前にソフトの情報を確認することができます。
  ◎を押すと「ダウンロードしますか？」と表示されます。
  「YES」を選択し、◎を押すとダウンロードを開始します。
- ダウンロード時に、「携帯電話情報を送信しますか？」と表示されることがあります。
  「YES」を選択し、◎を押すとダウンロードが開始されます。この場合、お客様の携帯電話情報（携帯電話機の機種や製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
  中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
- ダウンロード時に、登録データや携帯電話情報を利用する旨の確認画面が表示されることがあります。
  「YES」を選択し、◎を押すとダウンロードが開始されます。
  中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、「異なるFOMAカードでダウンロード済みです ソフトを上書きしますか？」と表示されます。
  「YES」を選択し、◎を押すとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは削除されます。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

ソフト情報表示設定

P.13
お買い上げ時 表示しない

ｉアプリをダウンロードするときにソフト情報を表示するかどうか設定します。

1 メニュー▶各種設定▶**ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定**

表示する ……………ダウンロード時にソフト情報を表示します。
表示しない …………ダウンロード時にソフト情報を表示しません。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時にあらかじめ登録されているソフトは次の5つです。



ファイナルファンタジー

世界的なロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジー」シリーズ。
その原点である第1作の完全移植版です。
「この世暗黒に染まりしとき、4人の光の戦士現れん」。
あなたの操る4人の戦士が、ある城にたどり着くところから物語は始まります。

- 詳しくは、「別冊 内蔵ｉアプリガイド」をご覧ください。



BombLink

爆弾を回転させ、画面の両側から落ちてくる炎で導火線に火をつけ、爆発させて消していきます。他の爆弾の導火線を爆発する爆弾に向けておくと、連鎖的に爆発させることができます。爆弾は下から次々に上がってきます。爆弾が画面の一番上まで積み重なるとゲームオーバーになります。

presented by Panasonic

●詳しくは、「別冊 内蔵ｉアプリガイド」をご覧ください。



くるくるフォトフィール

電話帳に写真やイラストを付けて、オリジナルの電話帳を作ります。誕生日・趣味・特技などの詳しい情報を電話帳に書き込み、簡単に見やすく管理します。登録された写真やイラストを選んですぐに電話をかけたりメールを送ることができます。相手が同じソフトを持っていると、赤外線でデータを送受信できます。

© Panasonic Mobile Communications

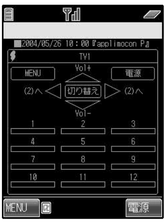
●詳しくは、「別冊 内蔵ｉアプリガイド」をご覧ください。



ｉ絵文字メール

メール内の顔文字に反応して、キャラクタ達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタ達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メールなどを伝えてくれます。

●詳しくは、「FOMA ｉモード操作ガイド」をご覧ください。



アプリモコンP

FOMA端末で、テレビのリモコン操作ができます。また、各局の番組表を取得することもできます。

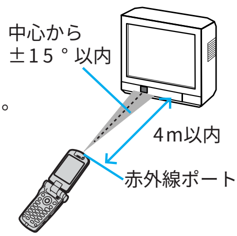
© NANO Media, Inc.

●「番組表」「カレンダー」の機能は、初めて番組を取得してから30日間しか利用できません。
●詳しくは、「別冊 内蔵ｉアプリガイド」をご覧ください。

■赤外線リモコンについて

FOMA端末を赤外線リモコン対応機器のリモコンとして使用できます。ｉアプリが赤外線を利用してリモコン信号を送信します。

●リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
●機器によっては操作できないものもあります。
●対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
●セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。
●機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面でおよそ4m以内です。
●赤外線放射角度は中心から±15°以内です。



お知らせ

●これらのソフトは削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードすることができます。
ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。（P.25参照）

<＜iアプリ実行＞

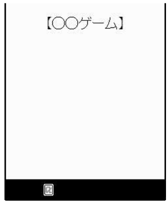
iアプリを起動する

ダウンロードしたiアプリやFOMA端末にあらかじめ登録されているiアプリを実行します。

1 (メニュー)▶(iアプリ)▶**ソフト一覧**▶**起動したいソフトを選択**▶(●)



●待受画面で(i)を1秒以上押しても「ソフト一覧画面」が表示されます。
●ソフトの起動を中止するときは「Cancel」を選択し、(●)を押します。
●「ソフト設定（通信設定）」を「起動ごとに確認」にしていると、「通信を許可しますか？」と表示される場合があります。接続するときは「YES」、接続しないときは「NO」を選択して(●)を押します。



iアプリ実行中は「(アイコン)」や「(アイコン)」が表示されます。

■iアプリDXを実行する

iアプリDXは、FOMA端末内の情報や機能を利用することができます。
iアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、(●)を押すと情報や機能を利用することができます。

お知らせ

●iアプリDXを実行するには、あらかじめ「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておいてください。（基本編P.62参照）

■メール連動型iアプリを起動する

メール連動型iアプリは、ソフト一覧のほかに、送信／受信フォルダ一覧画面からも起動できます。

1. 送信／受信フォルダ一覧画面でiアプリメール用フォルダを選択し、(●)を押します。
   ●iアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。



■ｉアプリを終了するには

1. ソフト実行中に クリア を1秒以上、または HLD を押します。
2. 「YES」を選択し、 を押します。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。



■ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合、その内容を確認することができます。

1. 待受画面で メニュー を押します。
2. iアプリ を選択し、 を押します。
3. 「ｉアプリ実行情報」を選択し、 を押します。
4. 「トレース情報」を選択し、 を押します。

トレース情報の画面が表示されます。

■セキュリティエラーが起こったときは

セキュリティエラーによりｉアプリが終了した場合、その内容を確認することができます。

1. 待受画面で メニュー を押します。
2. iアプリ を選択し、 を押します。
3. 「ｉアプリ実行情報」を選択し、 を押します。
4. 「セキュリティエラー履歴」を選択し、 を押します。

セキュリティエラー履歴の画面が表示されます。
デスクトップに「 エラー 」が表示されている場合は、アイコンを選択して を押してもセキュリティエラー履歴を表示することができます。

■情報をコピーまたは削除するときは

トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面に「機能」が表示されている場合は、情報をコピーまたは削除することができます。



情報コピー：
1. トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面で i （機能）を押します。
2. 「情報コピー」を選択し、 を押します。

情報削除：
1. トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面で i （機能）を押します。
2. 「情報削除」を選択し、 を押します。
3. 「YES」を選択し、 を押します。

お知らせ

●トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
●トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
●ｉアプリ作成者の方へ
　ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
　トレース情報の確認方法は、本ページ「■ソフトに異常があったときは」をご覧ください。

次ページにつづく

お知らせ

●「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定するとソフトを自動で起動させることもできます。
●サイトやメールから、端末内のｉアプリを起動させるリンクを選択して起動することもできます。
●ｉアプリ起動中や実行中でもメールやメッセージ（R/F）を受信することができます。その場合、ｉアプリは継続され「 （ピンク）」や「 （黄色）」や「 （黄色）」が表示されます。受信したメールやメッセージを確認するときは、ｉアプリを終了させるか、またはマルチタスク機能（基本編P.278参照）をご利用ください。
●ソフトの実行中に演奏されるメロディは、「着信音量」（基本編P.83参照）で設定した音量で鳴ります。ただし、通話中は演奏されません。
●ｉアプリ実行中に電話がかかってきた場合、ｉアプリは一時中断されます。通話が終わるとｉアプリの画面に戻ります。
●ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To 機能を利用することもできます。ただし、ｉアプリ待受画面からWeb To 機能はご利用になれません。
●ｉアプリ実行中にｉモーション（映像や音のデータ）が再生された場合は、P.358を参照して操作してください。再生を中止するとｉアプリの画面に戻ります。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
●ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータ等は、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ｉアプリで利用する画像とは
・カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像
・ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
●ソフトによっては「このソフトは携帯電話 情報を利用します ダウンロードしますか？」と表示される場合があります。「YES」を選択し、 を押します。中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
●ｉアプリ起動時に「最新ソフトにバージョンアップしますか？」と表示されることがあります。「YES」を選択し、 を押すとバージョンアップを開始します。（P.100参照）
●ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがあるため、ｉアプリ実行中に電池アラームが表示されたり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「 」のときは、 を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。

■ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動することができ、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

●起動するソフトが指定されている場合
ｉアプリ実行中に、指定されたソフトを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
1.「YES」を選択し、 を押すとソフトが起動されます。

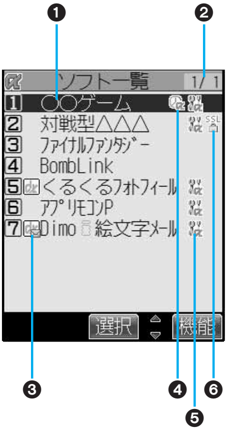
●起動するソフトが指定されていない場合
起動するソフトが指定されていない場合、ソフトを選択する必要があります。ｉアプリ実行中に、ソフトを選択するかどうかの確認画面が表示されます。
1.「YES」を選択し、 を押すとソフト一覧が表示されます。
2. ソフトを選択し、 を押します。

お知らせ

●指定されたソフトがソフト一覧にない場合、ダウンロードする必要があります。

ソフト一覧画面の説明

ソフト一覧画面は以下のように表示されます。



❶タイトル表示

iアプリのタイトルを表示します。

❷ページ数表示

ソフト一覧画面のページ数を表示します。
（現在のページ数／総ページ数）

❸ iアプリDX

メール連動型iアプリ

❹ 自動起動表示

自動起動を設定していることを表します。

iアプリ待受画面表示

iアプリ待受画面に設定していることを表します。

自動起動・iアプリ待受画面表示

自動起動とiアプリ待受画面の両方を設定していることを表します。

❺ 設定可能表示

「自動起動時刻設定」または「ソフト設定（待受画面設定）」での設定が可能であることを表します。

FOMAカード実行制限表示

異なるFOMAカードでダウンロードまたはバージョンアップされていることを表します。

❻ SSL表示

SSLページからダウンロードしたことを表します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ソフト一覧画面表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
iアプリ To 設定	P.98
自動起動時刻設定	P.102
ソフト設定	P.98、99、104、105
ソフト情報	P.99
バージョンアップ	P.100
デスクトップ貼付	P.100
1件削除	P.101
選択削除	P.101
全削除	P.101

操作により実行できない項目があります。

ｉアプリ To 設定

選択しているソフトのｉアプリ起動のしかたを設定します。ソフトごとに設定できます。

1 **ソフト一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉアプリ To 設定**

2 **設定する項目にチェック▶✉（完了）**

◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・起動します。

□・・・・・・・・起動しません。

サイトからｉアプリ To ・・・・・・ｉアプリ To のあるサイトからｉアプリを起動します。
メールからｉアプリ To ・・・・・・ｉアプリ To のあるメールからｉアプリを起動します。
赤外線からｉアプリ To ・・・・・・ｉアプリ起動可能な赤外線データを受信して外部機器からｉアプリを起動します。
バーコードからｉアプリ To ・・ｉアプリ起動可能なバーコードからｉアプリを起動します。

●ソフトによっては設定できない項目があります。

ソフト設定（通信設定）

P.13

選択しているソフトを起動したときに、通信するかどうかを設定します。

1 **ソフト一覧画面▶ⓘ（機能）▶ソフト設定▶通信設定**

起動ごとに確認・・・・ｉアプリを起動するたびにネットワーク接続を許可するかどうかを確認して起動します。
通信する・・・・・・・・・・確認メッセージを表示せずにｉアプリを起動します。
通信しない・・・・・・・・ネットワーク接続が許可されていない旨の確認メッセージを表示し、起動します。

ソフト設定（アイコン情報）

P.13

ｉアプリ実行中にｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報をｉアプリが利用してよいかどうかを設定します。

1 **ソフト一覧画面▶ⓘ（機能）▶ソフト設定▶アイコン情報**

利用する・・・・・・・・・・アイコン情報をｉアプリで利用します。
利用しない・・・・・・・・アイコン情報をｉアプリで利用しません。

お知らせ

●ｉアプリ待受画面の「ソフト設定（アイコン情報）」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカード識別番号）と同様にインターネットを経由してIP（情報提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

ソフト設定（着信音／画像変更）

ｉアプリによっては、着信音／画像変更を許可するかしないかを設定することができます。「許可する」に設定した場合、自動的に着信音や画像が変更されます。
ｉアプリDXにのみ設定できます。

1 **ソフト一覧画面▶ｉ（機能）▶ソフト設定▶着信音／画像変更**

変更ごとに確認････ｉアプリから着信音・待受画面などの設定を変更しようとするたびに、変更するかどうかを確認します。
許可する･･････････ｉアプリから着信音・待受画面などの設定が変更できます。
許可しない････････ｉアプリから着信音・待受画面などの設定が変更できません。

ソフト設定（電話帳／履歴参照）

ｉアプリによっては、電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照を許可するかしないかを設定することができます。「許可する」に設定した場合、自動的に電話帳・リダイヤル・着信履歴を参照します。
ｉアプリDXにのみ設定できます。

1 **ソフト一覧画面▶ｉ（機能）▶ソフト設定▶電話帳／履歴参照**

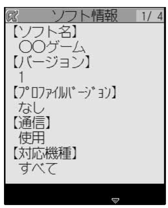
許可する･･････････ｉアプリから電話帳・着信履歴・リダイヤルなどが参照できます。
許可しない････････ｉアプリから電話帳・着信履歴・リダイヤルなどが参照できません。

ソフト情報

選択しているソフトの情報を確認します。

1 **ソフト一覧画面▶ｉ（機能）▶ソフト情報**

◎で画面をスクロールさせて確認できます。



お知らせ

●「ソフト情報」で表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

バージョンアップ

P.13

選択しているソフトをバージョンアップすることができます。

1 ソフト一覧画面▶i（機能）▶バージョンアップ▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●サイトで新しいソフトに更新されていない場合は、「そのソフトは最新です」と表示されます。
●SSL対応ページの場合は、「SSL通信を開始します（認証中）」と表示されます。

お知らせ

●メモリの空きが不足しているときは、「ソフトがいっぱいです 削除してから保存しますか？」と表示されます。バージョンアップする場合は、不要なソフトを削除してからバージョンアップします。
●バージョンアップ時に、「携帯電話情報を送信しますか？」と表示されることがあります。
「YES」を選択し、を押すとバージョンアップが開始されます。この場合、お客様の携帯電話情報（携帯電話機の機種や製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●バージョンアップ時に登録データや携帯電話情報を利用する旨の確認画面が表示されることがあります。
「YES」を選択し、を押すとバージョンアップが開始されます。
中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●バージョンアップするメール連動型ｉアプリに対応するｉアプリメール用フォルダを表示中は、そのｉアプリをバージョンアップすることはできません。
●メールセキュリティ設定中またはバージョンアップするメール連動型ｉアプリに対応するｉアプリメール用フォルダにセキュリティを設定している場合、そのｉアプリをバージョンアップすることはできません。
●メールセキュリティ設定中は、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップすることはできません。
●起動時にソフトが更新されていた場合は、自動でバージョンアップすることができます。

デスクトップ貼付

P.13

選択しているソフトをデスクトップに貼り付けます。
デスクトップには他の貼り付けアイコン（基本編P.201参照）と合わせて12件まで貼り付けることができます。

1 ソフト一覧画面▶i（機能）▶デスクトップ貼付▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

■デスクトップに貼り付けたアイコンからｉアプリを起動するには

1. 待受画面でを押します。
2. で起動したいｉアプリのアイコンを選択し、を押します。
　●ビューアスタイルではを使用できません。



お知らせ

●登録元のｉアプリが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンから起動することはできません。
●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

1件削除

選択しているソフトを削除します。

1 **ソフト一覧画面▶ i （機能）▶1件削除▶YES**

●待受画面や自動起動に設定されているソフトは確認の画面が表示されます。「YES」を選択し、 を押すと削除されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

選択削除

選択したソフトを削除します。

1 **ソフト一覧画面▶ i （機能）▶選択削除▶削除するソフトにチェック**

 を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
☑ ・・・・・・・・削除します。
□ ・・・・・・・・削除しません。

2 **✉（完了）▶YES**

●待受画面や自動起動に設定されているソフトがある場合は、確認の画面が表示されます。「YES」を選択し、 を押すと削除されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

全削除

すべてのソフトを削除します。

1 **ソフト一覧画面▶ i （機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES**

●待受画面や自動起動に設定されているソフトがある場合は、確認の画面が表示されます。「YES」を選択し、 を押すと削除されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

■メール連動型ｉアプリを削除する

メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたｉアプリメール用フォルダを削除するかどうかを選択できます。フォルダのみを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認することができます。

1.「1件削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う。
YES ・・・・・・削除するソフトに対応したｉアプリメール用フォルダを削除します。
NO ・・・・・・・ｉアプリメール用フォルダを削除せずソフトのみ削除します。
Cancel・・・・ソフト・ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。



1件削除の場合

お知らせ

●ｉアプリメール用フォルダに保護メールが含まれている場合、「YES」を選択しても、ソフト、フォルダともに削除することはできません。
●以下の場合は、ｉアプリメール用フォルダを削除することができません。
・フォルダの詳細を表示中
・メールセキュリティ設定中
・フォルダにセキュリティが設定されているとき
・フォルダに保護メールが含まれているとき

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に、自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

P.13
お買い上げ時
許可しない

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 メニュー ▶ ｉアプリ ▶ **自動起動設定**

許可する ‥‥ｉアプリの自動起動を許可します。
許可しない ‥ｉアプリの自動起動を許可しません。

自動起動時刻設定

選択しているソフトの自動起動のしかたを設定します。

1 **ソフト一覧画面▶ｉ（機能）▶自動起動時刻設定**

2 **設定する項目にチェック▶✉（完了）**

● を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑‥‥‥‥起動します。
□‥‥‥‥起動しません。

時間間隔設定‥‥‥‥ソフトに設定された間隔で起動します。
起動時刻設定‥‥‥‥設定した時刻に自動的に起動します。
起動時刻設定を選択した場合、手順3に進みます。

3 **起動時刻を選択▶●▶設定する日付・時刻を入力▶●**

○ でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
●年は西暦で入力します。
●時刻は24時間で入力します。

4 **繰り返しなし**

設定なし‥‥繰り返しなし（1回のみ）設定になります。
毎日‥‥‥‥毎日起動する設定になります。
曜日指定‥‥指定した曜日に自動起動します。手順5へ進みます。

5 **設定する曜日にチェック▶✉（完了）**

● を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑‥‥‥‥起動します。
□‥‥‥‥起動しません。

●少なくとも1つの曜日を選択してください。

自動起動情報

P.13

ソフトが正しく自動起動したかどうか確認することができます。

1 メニュー ▶ iアプリ ▶ **iアプリ実行情報▶自動起動情報**

起動○・・・・・正常に自動起動しました。
起動×・・・・・自動起動しませんでした。
未起動・・・・・まだ自動起動していません。



<自動起動情報画面>

お知らせ

●次の場合、ソフトは自動起動しません。
・FOMA端末の電源がOFFの場合
・日付・時刻が設定されていない場合
・他のタスクが起動している場合
・通話中の場合
・オールロック、PIMロック設定中
・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合

●自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示され、これを選択すると「未起動ソフトあり」と表示されます。アイコンを選択して ◎ を押すと、自動起動情報画面が表示されます。

●iモード中やその他のソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。

＜ｉアプリ待受画面＞

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定（待受画面設定）

P.13

ｉアプリ待受画面に設定できるソフトを待受画面として実行します。
一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 **ソフト一覧画面▶　（機能）▶ソフト設定**

待受画面に設定すると「　」が表示されます。
●待受画面で　を1秒以上押しても「ソフト一覧画面」が表示されます。

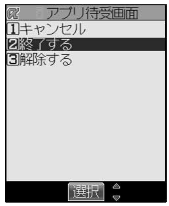
2 **待受画面設定**

設定する・・・・・・・ｉアプリ待受画面に設定します。
設定しない・・・・・ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

ｉアプリ待受画面実行中は「　」や「　」が表示されます。
●ソフトの起動を中止するときは「Cancel」を選択し、　を押します。

■ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作できます。

ｉアプリ待受画面表示中に　を押します。
「　」や「　」が「　」や「　」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作することができます。



●ｉアプリ待受画面に戻る場合は、　を1秒以上押すか、　を押して「終了する」を選択し、　を押します。「解除する」を選択し、　を押して「YES」を選択し、　を押すとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

●ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻すことができるものもあります。ただし、他のメニュー機能が動作中はｉアプリ待受画面の状態に戻すことはできません。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択し、◉を押します。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- 「ソフト設定（待受画面通信）」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況等により正しく動作しない場合があります。
- ｉアプリ待受画面を設定すると「画面表示設定」（基本編P.187参照）の「待受画面」で設定した画像は表示されません
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」（基本編P.187参照）の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面から「Web To 機能」はご利用になれません。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了します。オールロックを設定すると待受画面設定で設定した待受画面が表示され、PIMロックを設定するとお買い上げ時の待受画面が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定（待受画面通信）

P.13

選択しているソフトを待受画面に設定したとき、ネットワークに接続するかしないかを設定します。

1 **ソフト一覧画面▶ⓘ（機能）▶ソフト設定▶待受画面通信**

通信する‥‥‥‥‥ｉアプリ待受画面実行中のネットワーク接続を許可します。
通信しない‥‥‥‥ｉアプリ待受画面実行中のネットワーク接続を許可しません。

待受画面終了情報

P.13

iアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合、その日時と理由を確認できます。

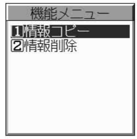
1 (メニュー) ▶ (iアプリ) ▶ **iアプリ実行情報▶待受画面終了情報**



<待受画面終了情報画面>

■情報をコピーまたは削除するときは

待受画面終了情報画面に「機能」が表示されている場合は、情報をコピーまたは削除することができます。



情報コピー

1. 待受画面終了情報画面で (i)（機能）を押します。
2. 「情報コピー」を選択し、(●)を押します。

終了情報がコピーされます。

情報削除

1. 待受画面終了情報画面で (i)（機能）を押します。
2. 「情報削除」を選択し、(●)を押します。
3. 「YES」を選択し、(●)を押します。

終了情報が削除されます。

お知らせ

● iアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリ起動中の照明やバイブレータを設定する

α照明設定

お買い上げ時　システム依存

ｉアプリ起動中のバックライト点灯のしかたを設定します。

1 （メニュー）▶（各種設定）▶ **ｉアプリ設定▶α照明設定**

システム依存 ･･････････「照明設定」（基本編P.195参照）に従います。
ソフト依存 ････････････ソフトの設定に従います。

αバイブレータ

お買い上げ時　システム依存

ｉアプリ起動中のバイブレータ動作のしかたを設定します。

1 （メニュー）▶（各種設定）▶ **ｉアプリ設定▶αバイブレータ**

システム依存 ･･････････「バイブレータ」（基本編P.153参照）の設定に関わらず動作しません。
ソフトによっては動作する場合があります。
ソフト依存 ････････････ソフトの設定に従います。

お知らせ

●ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらが動作しませんので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

＜キャラ電＞

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送ることができるお客様の分身キャラクタのことです。
また、キャラ電プレーヤーでキャラ電を再生したり、キャラ電を撮影することもできます。

■**お買い上げ時に登録されているキャラ電**



＜クラウド※＞



＜ティファ※＞



＜エアリス※＞

■**お買い上げ時に登録されているキャラ電の操作**

ボタン	クラウド	ティファ・エアリス
1	手を振る	手を振る
2	笑う	笑う
3	悲しむ	悲しむ
4	髪をかきあげる	喜ぶ
5	怒る	怒る

ボタン	クラウド	ティファ・エアリス
6	うなずく	うなずく
7	首を振る	首を振る
8	拍手する	拍手する
9	驚く	慌てる

●お買い上げ時に登録されているキャラ電にはパーツアクションはありません。

●これらのキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードすることができます。

＜キャラ電ダウンロード＞

P.13

キャラ電をダウンロードする

サイトからダウンロードしたキャラ電をFOMA端末に保存します。
キャラ電は5～最大10件まで登録できます。（データ量によって件数は変動します。）

1 キャラ電ダウンロード可能なサイトを表示▶保存したいキャラ電を選択▶◎▶保存

●「再生」を選択し◎を押すと、キャラ電が再生されます。



＜取り込み完了画面＞

2 YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

取り込み完了画面を表示中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
画面メモ	P.64

操作により実行できない場合があります。

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示する

P.13

1 メニュー ▶ マルチメディア ▶ **キャラ電** ▶ **表示したいキャラ電を選択** ▶ ●

選択したキャラ電が表示されます。

●キャラ電の操作についてはP.110参照。



※

<キャラ電表示画面>

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

キャラ電表示画面を表示中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
キャラ電撮影	P.113
代替画像設定	P.112
デスクトップ貼付	P.116
アクション一覧	P.111
アクション切替	P.111
情報表示	P.116
画像表示設定	P.116

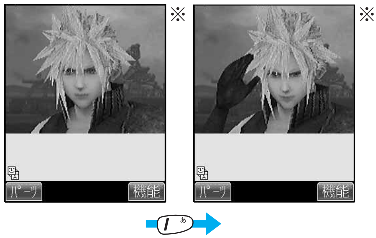
操作により実行できない項目があります。

キャラ電を操作する

ボタンを押したり、送話口に向かって話すだけで、キャラ電を操作することができます。「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9 （全体アクションモード時）	全体アクション
11～99 （パーツアクションモード時）	パーツアクション
0	実行中のアクションを中断します。
##	入力したアクションを中断します。
*	「アクション一覧」を表示します。
✉	アクションモードを切り替えます。

（例）1に「手を振る」アクションが設定されているとき



お知らせ

●お買い上げ時に登録されているキャラ電は、9種類の全体アクションを操作できます。パーツアクションはありません。
●操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

キャラ電切替

表示するキャラ電を切り替えます。

テレビ電話中

1 **テレビ電話中▶i（機能）▶キャラ電設定▶キャラ電切替▶表示したいキャラ電を選択▶●**

キャラ電撮影画面（P.113参照）

P.13

1 **キャラ電撮影画面▶i（機能）▶キャラ電切替▶表示したいキャラ電を選択▶●**

お知らせ

●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。

アクション一覧

操作できるアクションの一覧を表示します。

テレビ電話中

1 **テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶キャラ電設定▶アクション一覧**

●アクションを選択して◎を押すとアクションを実行することができます。
●（✱）を押してもアクション一覧を表示できます。

キャラ電表示画面・キャラ電撮影画面

P.13

1 **キャラ電表示画面・キャラ電撮影画面▶ⓘ（機能）▶アクション一覧**

●アクションを選択して◎を押すとアクションを実行することができます。
●（✱）を押してもアクション一覧を表示できます。

アクション切替

操作するアクションを、全体アクションモードまたはパーツアクションモードに設定します。
全体アクションモードとは、「わらう」や「泣く」などキャラクタが全体で表現するアクションを操作するモードです。
パーツアクションモードとは、「右手を挙げる」などキャラクタが一部分で表現するアクションを操作するモードです。

お買い上げ時
全体アクションモード



※

（全体アクションモード）
（パーツアクションモード）

テレビ電話中

1 **テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶キャラ電設定▶アクション切替**

●パーツアクションモード中に切り替えると全体アクションモードに、全体アクションモード中に切り替えるとパーツアクションモードになります。
●✉を押しても切り替えることができます。

キャラ電表示画面・キャラ電撮影画面

P.13

1 **キャラ電表示画面・キャラ電撮影画面▶ⓘ（機能）▶アクション切替**

●パーツアクションモード中に切り替えると全体アクションモードに、全体アクションモード中に切り替えるとパーツアクションモードになります。
●ノーマルスタイルでは✉を押しても切り替えることができます。

キャラ電を利用してテレビ電話をかける

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話をかけます。
あらかじめ「発信時自画像送信設定」を「OFF」にしておく必要があります。（基本編P.102参照）

1 （メニュー）▶（マルチメディア）▶キャラ電▶表示したいキャラ電を選択▶（i）（機能）▶代替画像設定

テレビ電話中の代替画像がキャラ電に設定されました。

2 （HLD）を押して待受画面に戻る

3 相手の電話番号を入力▶（テレビ電話）▶相手が出たら話す

自分のカメラ画像に、手順1で選択したキャラ電が表示されます。
●テレビ電話の操作については基本編P.85参照。



※

4 お話が終わったら（HLD）で通話を終了する

代替画像設定

お買い上げ時 クラウド　P.13

選択しているキャラ電をテレビ電話中の代替画像に設定します。
あらかじめ代替画像をキャラ電に設定しておくと、キャラ電の代替画像でテレビ電話をかけたり、かかってきたテレビ電話をキャラ電の代替画像で受けることができます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶（i）（機能）▶代替画像設定

お知らせ

●以下の場合は、「内蔵」の代替画像が送信されます。
・代替画像に設定しているキャラ電を削除したとき
・PIMロック中のとき

＜キャラ電撮影＞

キャラ電を撮影する

P.13

キャラ電を撮影します。

1 (メニュー) ▶ マルチメディア ▶ キャラ電 ▶ 撮影したいキャラ電を選択 ▶ (i)(機能) ▶ キャラ電撮影

●キャラ電一覧画面の機能メニューからも選択できます。


※

＜キャラ電撮影画面＞

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

キャラ電撮影画面を表示中に (i)(機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
キャラ電切替	P.110
代替画像設定	P.112
アクション一覧	P.111
アクション切替	P.111
画像表示設定	P.116
記録サイズ設定	P.114
映像／音声選択	P.114
記録品質設定	P.114

操作により実行できない項目があります。

静止画を撮影する

P.13

撮影した静止画は「キャラ電イメージ」フォルダ（P.318参照）に保存されます。

1 キャラ電撮影画面でスナップアイコンを表示する

●動画撮影モードの場合は (▲) を押してスナップアイコンを表示します。


※

スナップアイコン

2 (●)を押す

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。
以降、P.275の手順4から操作を行います。

お知らせ

●マナーモードに設定中の場合、シャッター音は鳴りません。

動画を撮影する

P.13

撮影した動画は「キャラ電ムービー」フォルダ(P.356参照)に保存されます。

1 キャラ電撮影画面で録画アイコンを表示する

スナップ撮影モードの場合は ▲ を押して録画アイコンを表示します。



※

録画アイコン

2 ◎を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。
以降、P.282の手順4から操作を行います。

お知らせ

- 画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。
- ボタン操作音が録音される場合があります。
- マナーモードに設定中の場合、撮影開始音は鳴りません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。

記録サイズ設定

P.13

お買い上げ時
QCIF(176×144)

スナップ撮影モード時にキャラ電を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。

1 キャラ電撮影画面▶ⓘ(機能)▶記録サイズ設定

QCIF(176×144)‥‥‥‥176×144ドットでキャラ電を撮影します。
縮小サイズ(117×96)‥‥117×96ドットでキャラ電を撮影します。

映像/音声選択

P.13

お買い上げ時
映像+音声

キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像・音声の設定をします。
動画撮影モード時のみ設定できます。

1 キャラ電撮影画面▶ⓘ(機能)▶映像/音声選択

映像+音声‥‥‥‥‥‥‥‥映像と音声を録画・録音します。
映像のみ‥‥‥‥‥‥‥‥‥映像のみ録画します。

記録品質設定

P.13

お買い上げ時
標準モード

キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。
動画撮影モード時のみ設定できます。

1 キャラ電撮影画面▶ⓘ(機能)▶記録品質設定

長時間モード‥‥‥‥‥‥‥低画質/撮影可能時間は長くなります。
標準モード‥‥‥‥‥‥‥‥標準画質
高品質モード‥‥‥‥‥‥‥高画質/撮影可能時間は短くなります。

キャラ電の一覧を表示する

本体に保存されているキャラ電を一覧表示します。

1 (メニュー) ▶ マルチメディア ▶ **キャラ電**



<キャラ電一覧画面>

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

キャラ電一覧画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

キャラ電撮影	P.113
代替画像設定	P.112
タイトル編集	本ページ参照
情報表示	P.116
保存容量確認	P.116
デスクトップ貼付	P.116
1件削除	P.117
全削除	P.117
複数選択	P.117
画像表示設定	P.116
タイトル初期化	P.117

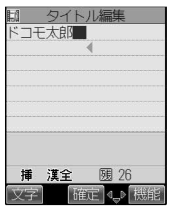
操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

選択しているキャラ電のタイトルを編集します。

1 **キャラ電一覧画面** ▶ (i) (機能) ▶ **タイトル編集** ▶ **タイトルを入力** ▶ (●)

●全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



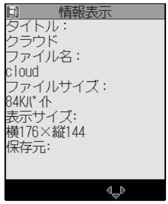
情報表示

P.13

選択しているキャラ電の情報を表示します。

1 **キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面▶ i （機能）▶情報表示**

で画面をスクロールして確認できます。
- 確認が終われば クリア を押します。
- ビューアスタイルでは を使用できません。



お知らせ
- 「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

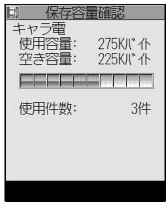
保存容量確認

P.13

キャラ電の使用容量と保存可能容量を確認します。

1 **キャラ電一覧画面▶ i （機能）▶保存容量確認**

- 確認が終われば クリア を押します。



お知らせ
- 表示される容量は目安です。

デスクトップ貼付

P.13

選択しているキャラ電をデスクトップに貼り付けアイコンとして貼り付けます。

1 **キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面▶ i （機能）▶デスクトップ貼付▶YES**

- 中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

お知らせ
- 元のキャラ電を削除すると、貼り付けアイコンは残りますが表示はできません。
- 貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

画像表示設定

P.13

お買い上げ時
画面サイズで表示

キャラ電の表示方法を設定します。

1 **キャラ電撮影画面・キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶ i （機能）▶画像表示設定**

等倍表示 ・・・・・・・・・・・・・・等倍で表示されます。
画面サイズで表示 ・・・・・・画面サイズに合わせて表示されます。

タイトル初期化

P.13

選択しているキャラ電のタイトルを初期化します。タイトルを初期化すると、変更していたタイトルが元のタイトルに戻ります。

1 **キャラ電一覧画面▶ (機能)▶タイトル初期化▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

キャラ電を削除する

1件削除

P.13

選択しているキャラ電を1件削除します。

1 **キャラ電一覧画面▶ (機能)▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

全削除

キャラ電一覧画面に表示中の全てのキャラ電を削除します。

1 **キャラ電一覧画面▶ (機能)▶全削除▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●お買い上げ時にインストールされているキャラ電も削除されますのでご注意ください。

複数選択

P.13

複数のキャラ電を選択し、削除することができます。

1 **キャラ電一覧画面▶ (機能)▶複数選択▶ファイルを選択▶**



●カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
● を押し続けると、連続スクロールします。
●すでに選択されているファイルを選択して を押すと、選択を解除することができます。

2 **(機能)▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

お知らせ

●テレビ電話代替画像に設定しているキャラ電を削除すると、「内蔵」の代替画像となります。

ｉモーションを取り込む

サイトの画面からｉモーション（映像や音のデータ）を取り込みます。
ｉモーションには、次のような種類があります。どの種類になるかは、取得するｉモーションごとにあらかじめ決められており、選択できません。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
スタンダード（標準）タイプ（保存可※）	データ取得後の再生（最大300Kバイトまで）	ｉモーションのデータをすべて受信してから再生します。
	データ取得中の再生（最大300Kバイトまで）	ｉモーションのデータを受信しながら再生します。受信完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中の再生（最大2Mバイトまで）	ｉモーションのデータを受信しながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※ｉモーションによっては、保存できないものもあります。

サイトからｉモーションを取り込み再生する

P.13

1 ｉモーション取り込み可能なサイトでｉモーションを選択 ▶◉▶再生

再生中の操作についてはP.358参照。

- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取り込んだあとにｉモーションが自動再生されます。
- 選択したｉモーションが取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取り込み中にｉモーションが再生されます。



<取り込み完了画面>

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、取り込みまたはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- スタンダード（標準）タイプの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取り込んだあとに自動再生はされません。
- 「自動再生設定」が「自動再生しない」に設定されている場合は、取り込み完了後にｉモーションは自動再生されず、取り込み完了の画面が表示されます。
- 再生回数・再生期間・再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションについては、再生をすることができません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できない場合があります。
- 回線速度・回線状況・電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。スタンダードタイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生することができますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。
- ASF形式のｉモーションを取り込むことはできません。

ｉモーションを保存する

P.13

取り込んだｉモーションはFOMA端末に保存しておくことができます。保存したｉモーションは、ｉモーションプレーヤーで再生したり、情報を表示することなどができます。
ｉモーションは「ｉモード」フォルダ（P.356参照）に保存され、最大50件まで保存できます。（最大保存件数は、ｉモーションのデータ量によって変動します。）

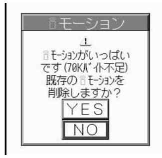
1 取り込み完了画面▶保存▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■保存されているｉモーションがいっぱいのとき

すでにｉモーションが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要なｉモーションを削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、◉を押します。
2. 削除したいｉモーションをグレー表示にします。
◉を押すとグレー表示に切り替わります。
3. ✉（完了）を押します。
●ビュースタイルでは✉を使用できません。
4. 「YES」を選択し、◉を押します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



メモリ不足の場合

お知らせ

●タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movie」と表示されます。
●ｉモーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
●サイトなどから取得したｉモーションなどを待受画面に設定することができます。（基本編P.187参照）
ｉモーションによっては待受画面に設定できないものがあります。
●待受画面に設定したｉモーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To 機能は利用できません。

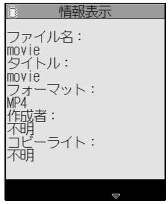
情報を表示する

P.13

取り込んだデータの情報を表示します。タイトル、再生制限などを確認できます。

1 **取り込み完了画面▶情報表示**

●確認が終われば クリア を押します。



ｉモーションの場合

テロップ中にリンクが設定されていたとき

P.13

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。
テロップに下線が付いている電話番号やメールアドレス、サイトのURLなどが設定されていたときは、再生終了後にPhone To 機能やMail To 機能、Web To 機能（P.72参照）を実行することができます。

<例>テロップ中のURLに接続する場合

1 **再生終了画面▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。



<再生終了画面>

■ｉモーションを保存していないときは

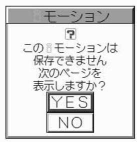
ｉモーションをまだ保存していないときにWeb To 機能を実行すると、右の画面が表示され、ｉモーションを保存します。

1.「YES」を選択し、◉ を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。



保存できないｉモーションの場合は、右の画面が表示されます。

1.「YES」を選択し、◉ を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。



◆◇◆機能メニュー◆◇◆

取り込み完了画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない場合があります。

＜ｉモーション自動再生設定＞

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時
自動再生する

サイトの画面からスタンダード（標準）タイプのｉモーションを取り込んだ場合や、画面メモに登録されているスタンダード（標準）タイプのｉモーションを画面メモ一覧で選択した場合に、ｉモーションを自動的に再生するか、再生しないかを設定します。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **ｉモード設定 ▶ ｉモーション設定 ▶ 自動再生設定**

自動再生する ‥‥‥‥‥ｉモーションを自動的に再生します。
自動再生しない ‥‥‥‥ｉモーションを手動で再生します。

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定すると、サイトからスタンダード（標準）タイプのｉモーションを取り込んだあとや画面メモ一覧でスタンダード（標準）タイプのｉモーションを選択した場合に、自動再生を行わず取り込み完了の画面を表示します。
- 「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されますので、ご注意ください。

＜ｉモーションタイプ設定＞

取り込むｉモーションのタイプを設定する

お買い上げ時
標準タイプ

ｉモーションを取り込むときに、スタンダード（標準）タイプのｉモーションのみを取り込むか、スタンダード（標準）タイプおよびストリーミングタイプのｉモーションを取り込むかを設定します。ｉモーションの種類についてはP.118参照。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **ｉモード設定 ▶ ｉモーション設定 ▶ ｉモーションタイプ設定**

標準タイプ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥スタンダード（標準）タイプのｉモーションのみ取得します。
標準・ストリーミングタイプ ‥スタンダード（標準）タイプ・ストリーミングタイプ両方のｉモーションを取得します。

●サイト表示中は、ｉ（機能）を押して「ｉモーションタイプ設定」を選択します。

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合は、「ｉモーションタイプ設定」を「標準・ストリーミングタイプ」にする必要があります。設定していない場合は、「このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください」と表示され、ストリーミングタイプのｉモーションを取得できません。

＜メッセージ（R/F）受信＞

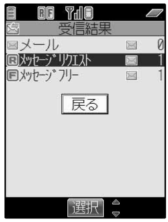
メッセージ（R/F）を自動的に受信する

**メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
受信したメッセージ（R/F）は、それぞれ最大100件まで保存できます。
ｉモードセンターに保管されているメッセージ（R/F）を受信するには「ｉモード問い合わせ」（P.182参照）を行います。
「着信音選択」（基本編P.179参照）でメッセージ（R/F）を受信したときの着信音をお好みの音に設定したり、「着信イルミネーション」（基本編P.170参照）でメッセージ（R/F）を受信したときの着信／充電ランプの点滅パターンを変更したりすることができます。**

1 **メッセージ（R/F）を受信すると「R（黄色）」または「F（黄色）」のアイコンが点滅し、「メッセージリクエスト受信中･･･」または「メッセージフリー受信中･･･」と表示される**



受信が終わると、受信したメールとメッセージ（R/F）の件数が表示されます。
- 「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選択し、◉を押すと、メッセージ（R/F）一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動受信設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージ（R/F）の内容が自動で表示されます。



何も操作しないで15秒経過すると元の画面に戻ります。
（「ｉモード鳴動時間」の設定により、秒数は異なります。）



待受画面の場合

■**メッセージF（フリー）の設定方法**
ｉMenu→オプション設定→メッセージ［F］設定→「受信する／受信しない」を選択後、ｉモードパスワード（数字4桁）を入力し「決定」

お知らせ

●メッセージ（R/F）の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。自動表示させたくない場合は「自動表示しない」に設定してください。

●新しいメッセージ（R/F）が届いたときは、ｉモードメールセンターに保管されているメッセージ（R/F）やｉモードメールもあわせて受信します。

●待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、ドライブモード中、オールロック中、PIMロック中は、メッセージ（R/F）を受信しても自動表示しません。

●FOMA端末がこれ以上メッセージ（R/F）を受信できない場合は、「（グレー）」または「（グレー）」が表示されます。未読のメッセージ（R/F）を読むか、保護を解除してください。

●「（黄色）」または「（黄色）」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージ（R/F）が保管されています。未読のメッセージ（R/F）を読むか、保護を解除したあとに、「ｉモード問い合わせ」を行ってください。

●「（グレー）」または「（グレー）」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージ（R/F）がいっぱいです。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージ（R/F）を受信してください。

●ｉモードセンターでのメッセージ（R/F）の保管期間は3日間（72時間）です。ただし最大保管件数（メッセージリクエスト300件、メッセージフリー300件）を超えたときは、ｉモードセンターに保管されている各メッセージの最も古いものから削除され、最新のメッセージ（R/F）が保管されます。

●自動表示後も、メッセージ（R/F）一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは、メッセージ（R/F）一覧画面では既読となります。

●複数のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R／F）を同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R／F）に設定されている条件で着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

●待受画面以外を表示しているときにメッセージ（R/F）を受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。（P.252参照）

●FOMA端末を閉じているときにメッセージ（R/F）を受信した場合は、プライベートウィンドウに表示されます。



●ｉモーションの再生中にメッセージ（R/F）を受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

メッセージ自動表示設定

お買い上げ時
メッセージリクエスト優先

待受中にメッセージ（R/F）を受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **iモード設定▶メッセージ自動表示設定**

メッセージリクエスト優先 ････メッセージリクエストを優先して自動表示します。
メッセージフリー優先 ････････メッセージフリーを優先して自動表示します。
メッセージリクエストのみ ････メッセージリクエストのみ自動表示します。
メッセージフリーのみ ････････メッセージフリーのみ自動表示します。
自動表示しない ･･････････････メッセージ（R/F）を自動表示しません。

開封時メロディ再生設定

お買い上げ時
自動再生する

受信したメッセージ（R/F）開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **iモード設定▶開封時メロディ再生設定**

自動再生する ･･････････メッセージ（R/F）開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生します。
自動再生しない ････････メッセージ（R/F）開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生しません。

メッセージ貼付メロディ設定

お買い上げ時
有効

メッセージ（R/F）に貼り付けられたメロディを有効（再生、登録が可能）にするかどうかを設定します。

1 メニュー ▶ iモード ▶ **iモード設定▶メッセージ貼付メロディ設定**

有効 ････････････メロディを再生（登録可能）します。
無効 ････････････メロディを再生しません。

＜メッセージ（R/F）表示＞

受信したメッセージ（R/F）を見る

P.13

FOMA端末が通話圏内にあるときには、ｉモードセンターから自動的にメッセージ（R/F）が送られてきます。
メッセージ（R/F）が届くと画面の上部に「R（黄色）」や「F（黄色）」が表示されます。

1 （メニュー）▶（iモード）▶**メッセージ**

メッセージリクエスト‥メッセージリクエスト一覧画面を表示します。
メッセージフリー‥‥‥メッセージフリー一覧画面を表示します。

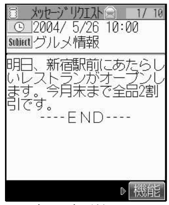
2 表示したいメッセージ（R/F）を選択▶

●未読のメッセージ（R/F）を選択した場合は「✉」が「✉」に変わります。
●メッセージ（R/F）が6件以上ある場合、を押して前後のページを確認できます。



＜メッセージ（R/F）一覧画面＞

●で他のメッセージ（R/F）を確認することができます。
●メッセージ（R/F）の本文が長い場合はで画面をスクロールさせて確認できます。また、やを押すと、画面単位でスクロールさせることができます。



＜メッセージ（R/F）詳細画面＞

ビューアスタイル

1 （機能／メニュー）を1秒以上押す▶で（iモード）を選択▶
●待受画面で（機能／メニュー）を押しても「ｉモードメニュー画面」が表示されます。

2 で「メッセージ」を選択▶

3 で「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選択▶

4 で表示したいメッセージ（R/F）を選択▶

■バックライト
FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、メッセージ（R/F）を受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します。ただしメッセージ（R/F）の本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
（「照明設定」（基本編P.195参照）の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。）

お知らせ

●メッセージ（R/F）に「OK」や「Cancel」などが表示されることがあります。表示された場合は、サイトなどと同様の操作を行ってください。（P.49参照）

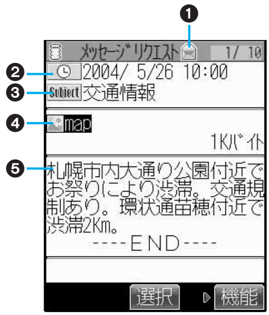
次ページにつづく

メッセージ(R/F)一覧画面とメッセージ(R/F)詳細画面の説明

メッセージ(R/F)一覧画面とメッセージ(R/F)詳細画面は以下のように表示されます。



<メッセージ(R)一覧画面>



<メッセージ(R)詳細画面>

❶メッセージ(R/F)の状態を表示します。

：未読のメッセージ(R/F)
：既読のメッセージ(R/F)
：未読で保護されているメッセージ(R/F)
：既読で保護されているメッセージ(R/F)

❷受信した時刻や日付を表示します。

一覧画面では、当日受信したメッセージ(R/F)は時刻が表示され、前日までに受信したメッセージ(R/F)は日付が表示されます。
詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名を表示します。

❹メロディや画像が添付または貼り付けられている場合に表示します。
添付または貼り付けられているデータが正しくないときにも表示されます。
詳細画面では添付または貼り付けられているデータの容量も表示されます。

＜メッセージ（R/F）一覧画面またはメッセージ（R/F）詳細画面の場合＞

- ：メロディが添付または貼り付けられています。（詳細画面は添付のみ）
- ：メロディが貼り付けられています。（詳細画面のみ）
- ：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。（一覧画面のみ）
- ：添付または貼り付けられているすべてのメロディが正しくないときに表示されます。
- ：画像が添付されています。
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。（一覧画面のみ）
- ：添付されているすべての画像データが正しくないときに表示されます。
- ：複数のデータが貼り付けられています。

❺本文を表示します。

お知らせ

●FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合は、時刻や日付が「−−：−−」、「−−／−−」で表示されます。

次ページにつづく

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メッセージ（R/F）一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

全表示	本ページ参照
ソート	本ページ参照
フィルタ	P.129
保護／保護解除	P.129
保護全解除	P.129
保存件数確認	P.130
1件削除	P.130
選択削除	P.130
既読削除	P.131
全削除	P.131

操作により実行できない項目があります。

全表示

P.13

ソート機能やフィルタ機能を行ったあと、すべてのメッセージ（R/F）を表示したいときに使います。ソート機能やフィルタ機能が解除され、すべてのメッセージが日付の「新しい順」に表示されます。

1 メッセージ（R/F）一覧画面▶ ⓘ（機能）▶全表示

ソート

P.13

メッセージ（R/F）一覧画面で表示されるメッセージ（R/F）の順番を変更します。

1 メッセージ（R/F）一覧画面▶ ⓘ（機能）▶ソート

新しい順・・・日付・時刻の新しい順に並べ替えます。
古い順・・・・日付・時刻の古い順に並べ替えます。

お知らせ

●フィルタ機能とソート表示を併用することができます。例えば未読メッセージ（R/F）のみ古い順に表示させたい場合は、フィルタ機能の「未読のみ」を選択したあと「古い順」を選択します。（元に戻す場合は「全表示」を選択します。）
●ソート表示でメッセージ（R/F）一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。

フィルタ

メッセージ（R/F）一覧画面で表示されるメッセージ（R/F）の種類を変更します。

1 メッセージ（R/F）一覧画面▶ⓘ（機能）▶フィルタ

未読のみ……………未読のメッセージ（R/F）だけを表示します。
既読のみ……………既読のメッセージ（R/F）だけを表示します。
保護のみ……………保護されたメッセージ（R/F）だけを表示します。
メロディのみ…………メロディが添付されたメッセージ（R/F）だけを表示します。
画像のみ……………画像が添付されたメッセージ（R/F）だけを表示します。

お知らせ

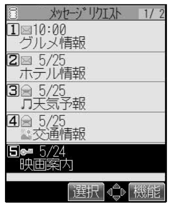
●フィルタ機能でメッセージ（R/F）一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。

保護／保護解除

メッセージ（R/F）を上書きされないように保護します。
すでに保護されているメッセージ（R/F）を選択した場合は、保護を解除できます。
最大50件（メッセージリクエストとメッセージフリーそれぞれ）まで保護することができます。

1 メッセージ（R/F）一覧画面・メッセージ（R/F）詳細画面▶ⓘ（機能）▶保護／保護解除

保護されると「🔑」や「🔑」が表示されます。



お知らせ

●FOMA端末に保存されているメッセージ（R/F）が最大保存件数を超えた場合、保護されていない既読のメッセージ（R/F）から古い順に上書きされます。

保護全解除

保護されているメッセージ（R/F）を全て解除します。

1 メッセージ（R/F）一覧画面▶ⓘ（機能）▶保護全解除▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

保存件数確認

P.13

FOMA端末に保存されているメッセージ（R/F）の総件数、未読件数、保護件数を表示します。

1 **メッセージ（R/F）一覧画面▶ⓘ（機能）▶保存件数確認**

全件・・・・・・・受信した全てのメッセージ（R/F）件数
未読・・・・・・・未読メッセージ（R/F）件数
保護・・・・・・・保護メッセージ（R/F）件数
●確認が終われば クリア を押します。

1件削除

P.13

選択しているメッセージ（R/F）を削除します。

1 **メッセージ（R/F）一覧画面▶ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

お知らせ

●未読のメッセージ（R/F）も削除されます。
●保護されているメッセージ（R/F）は削除できません。保護を解除してから削除してください。

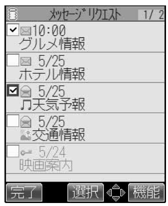
選択削除

メッセージ（R/F）を選択して削除します。

1 **メッセージ（R/F）一覧画面▶ⓘ（機能）▶選択削除▶削除したいメッセージ（R/F）にチェック**

◉ を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・削除します。
☐・・・・・・・・削除しません。
●ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。



2 **✉（完了）▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

お知らせ

●保護されているメッセージ（R/F）は削除できません。保護を解除してから削除してください。

既読削除

既に読んだメッセージ(R/F)を削除します。

1 **メッセージ(R/F)一覧画面▶(i)(機能)▶既読削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●保護されていない既読のメッセージ(R/F)はすべて削除されます。
●フィルタ機能(P.129参照)で指定したメッセージ(R/F)だけを表示しているときは、「既読削除」を行うと一覧画面に表示されている保護されていない既読のメッセージ(R/F)のみが削除されます。

全削除

FOMA端末に保存されているすべてのメッセージ(R/F)を削除します。

1 **メッセージ(R/F)一覧画面▶(i)(機能)▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●未読のメッセージ(R/F)も削除されます。
●保護されているメッセージ(R/F)は削除できません。保護を解除してから削除してください。
●フィルタ機能(P.129参照)で指定したメッセージ(R/F)だけを表示しているときは、「全削除」を行うと一覧画面に表示されている保護されていないすべてのメッセージ(R/F)のみが削除されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メッセージ(R/F)詳細画面を表示中に(i)(機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

電話帳登録

メッセージ(R/F)の本文中に表示されているメールアドレスまたは電話番号を電話帳に登録することができます。

1 メッセージ(R/F)詳細画面▶ i (機能)▶電話帳登録▶YES

本体・・・・・・・・・・・・・・・・・FOMA端末にメールアドレスまたは電話番号を登録します。
FOMAカード・・・・・・・・・・FOMAカードにメールアドレスまたは電話番号を登録します。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

2 新規登録・追加登録



「新規登録」の場合

新規登録・・・新規に電話帳を登録します。
追加登録・・・既にある電話帳に追加します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「2上書き登録」と表示されます。
●電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されているときは、それらも入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。
基本編P.122～128の操作を行って電話帳に登録します。
追加登録については基本編P.132参照。

お知らせ

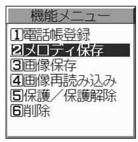
●「PIMロック」(基本編P.218参照)、「ダイヤル発信制限」(基本編P.219参照)を設定中や「指定発信制限」(基本編P.157参照)を指定した電話番号があるときは、電話帳登録はできません。
●電話帳に登録できない文字が含まれていた場合、その文字はスペースになることがあります。
●電話番号やメールアドレス以外の反転表示された情報を使って電話帳登録ができる場合もあります。

メロディ保存

P.13

メッセージ(R/F)に添付または貼り付けられたメロディを「オリジナル着信音」に保存できます。保存したメロディは着信音に設定できます。

1 メッセージ(R/F)詳細画面▶メロディを選択▶ i (機能)▶メロディ保存▶YES



以降、P.70手順3から操作を行って着信音に設定します。
●複数のメロディが添付されているときは、 で登録するメロディを選択してから操作してください。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

お知らせ

●添付されているメロディを反転表示させて を押すと、指定したメロディを演奏できます。
●通話中はメロディの演奏ができません。
●添付されているメロディのファイル名は登録されません。タイトルが設定されていない場合、添付されているメロディのファイル名が登録されます。
●保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

画像保存

P.13

メッセージ(R/F)に添付された画像を「ｉモード」フォルダ(P.318参照)に保存します。保存した画像は「画面表示設定」(基本編P.187参照)で待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 **メッセージ(R/F)詳細画面▶画像を選択▶ⓘ(機能)▶画像保存▶画像を選択▶◉**

2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

●待受画面などに設定する場合は、基本編P.187参照。

■保存されている画像がいっぱいのとき

すでに画像が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。

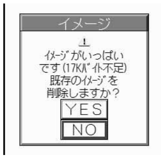
不要な画像を削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、◉を押します。

2. 削除したい画像をグレー表示にします。
　◉を押すとグレー表示に切り替わります。

3. ✉(完了)を押します。
　●ビューアスタイルでは✉を使用できません。

4.「YES」を選択し、◉を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



メモリ不足の場合

お知らせ

●「画像表示設定」を「表示しない」に設定しているときは保存できません。

画像再読み込み

P.13

メッセージ（R/F）の本文中で画像の代わりに「」が表示されているときに、画像の再読み込みを行い、画像を表示させることができます。

1 メッセージ（R/F）詳細画面▶ （機能）▶画像再読み込み

お知らせ

●再読み込みを行っても画像を表示できないことがあります。

削除

P.13

表示しているメッセージ（R/F）を削除します。

1 メッセージ（R/F）詳細画面▶ （機能）▶削除▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

お知らせ

●保護されているメッセージ（R/F）は削除できません。保護を解除してから削除してください。

メール編

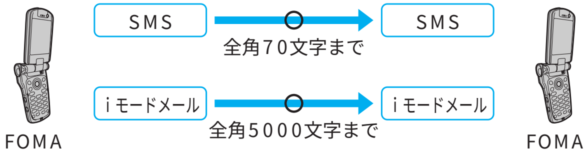
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末はｉモードメールとショートメッセージ（SMS）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。

メール機能の送受信について

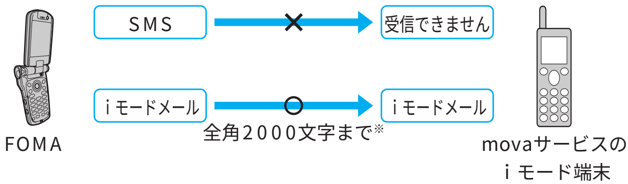
FOMA端末→FOMA端末へ

ショートメッセージ（SMS）は、相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます。



FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ

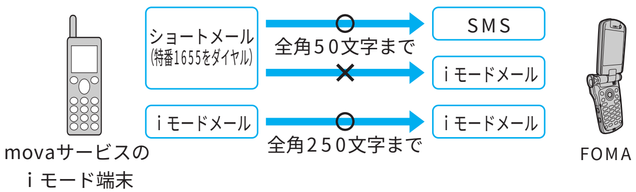
FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信時は、ｉモードメールを利用します。



※movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末のショートメッセージ（SMS）で受信できます。



※ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
・FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルして送信することもできません。
・FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末などから送られてきたショートメールをショートメッセージ（SMS）として受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
ｉモードメールの送信、受信方法についてはP.150、178を参照してください。
メールの各種設定について、詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

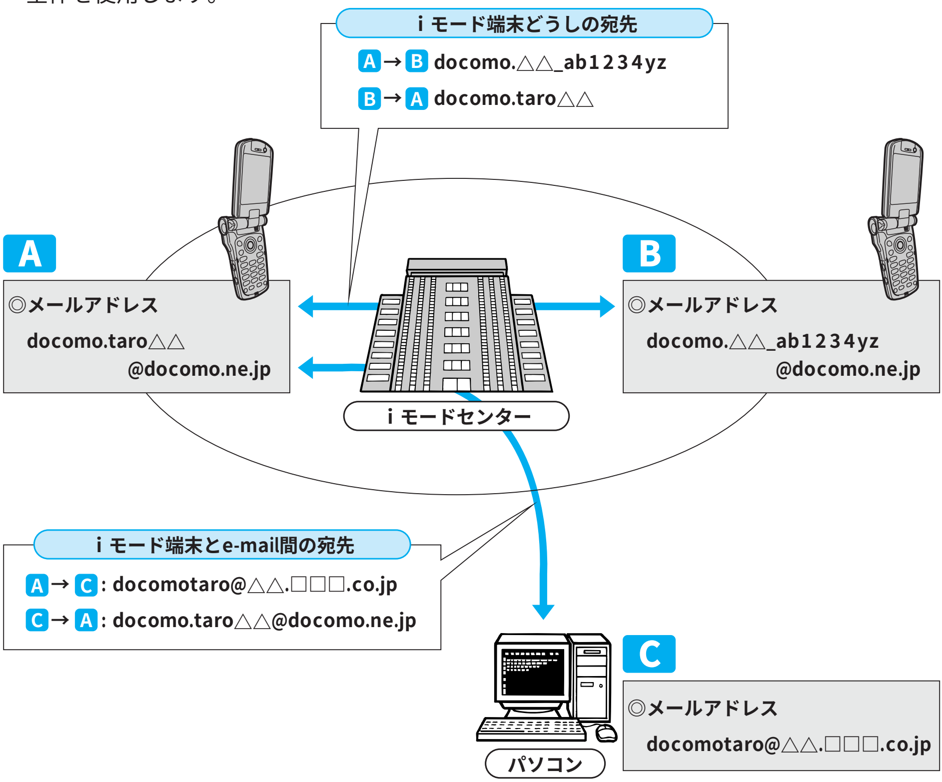
○新規にｉモードをご契約の場合

● 「@」マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスを確認してください。

（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

〈お客様のメールアドレスの確認方法〉詳しくはP.200を参照してください。
ｉMenu画面→8 オプション設定→1 メール設定→アドレス確認

● ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、「@」マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。



次ページにつづく

- **メール選択受信**
  ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。（P.180参照）
- **メールアドレス変更**
  たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分をお好みのアドレスに変更することができます。（P.198参照）
- **シークレットコード登録**
  電話番号のアドレス利用時に、電話番号に加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないｉモードメールは受信されなくなるため、不要なｉモードメールの受信を避けられます。（P.200参照）
- **メールアドレスリセット**
  メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。（P.202参照）
- **メールアドレス確認**
  現在設定されているメールアドレスを確認することができます。（P.200参照）
- **メール受信／拒否設定**
  以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。（P.204参照）
  ①ドメイン指定受信
  - au、ボーダフォン、TU-KA、DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
  - また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。（P.207参照）
    ※ NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

  ②アドレス指定受信／拒否
  - 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。（P.206参照）

  ③ｉモードメールのみ受信／拒否
  - ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。（P.204参照）

  ④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
  - 1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

  ⑤未承諾広告※メール拒否
  - 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要がありません。
    <u>（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）</u>

  ※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

  ⑥SMS拒否
  - すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

- **メール設定状況確認**
  現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。（P.209参照）
- **メールサイズ制限**
  あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。（P.203参照）
- **メール機能停止**
  メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。（P.210参照）

■迷惑メールを防ぐために

メールアドレス変更（P.198参照）や、メールアドレス指定受信・指定拒否（P.206参照）などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

■送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は、次のとおりです。

項目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）	バイト数
題名	15	30	30
宛先	―	50	50
本文	5000※	10000※	10000
添付	メロディ、画像、大容量画像、ｉモーション		―

※メロディ、画像、ｉモーションなどのファイルを添付した場合や本文をデコレーションした場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。ｉモードメールで対応していない添付ファイルの送受信はできません。ｉモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。このとき本文の先頭に［添付ファイル削除］の文字が追加されます。（［添付ファイル削除］も含めて、受信可能な文字数まで受信できます。）
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角2000文字までです。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。
- ｉモードメールの題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしでのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

次ページにつづく

■ｉモードメールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の、電源が入っていない、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送されます。その他設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選択して受信することもできます。

お知らせ

●ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 （約2メガバイトまで）	720時間

●保管期間が超過したｉモードメールは自動的に削除されます。

●最大保管件数はｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には「（グレー）」（センター保管件数が満杯になったマーク）が表示されます。なお、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても「（グレー）」（センター保管件数が満杯になったマーク）は表示されません。

●ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、「ｉモード問い合わせ」（P.182参照）や「メール選択受信」（P.180参照）により受信できます。また新しいｉモードメールが届いたときは、保管されているほかのｉモードメール、メッセージ（R/F）も合わせて受信できます。

●ｉモード端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。（P.178参照）

●メール機能を停止（P.210参照）している場合は、ｉモードセンターで新しいメールの保管は行いません。

●極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

■こんなこともできます

■ファイル添付メール

・メロディ添付メール（送信P.173参照、受信P.191参照）

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。）

●送受信した相手がFOMA P900iV以外の場合は、メロディが正しく再生できない場合があります。

・画像添付メール（送信P.172参照、受信P.189参照）

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。）ｉショット以外の添付ファイルをmovaサービスのｉモード端末へ送信した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

■デコメール（デコレーションメール）

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選ぶことにより、デコメールを閲覧できます。

●デコメール編集方法についてはP.161～171を参照してください。

●デコメール送信方法についてはP.158を参照してください。

●対応機種…90Xiシリーズ、800iES（デコメール受信のみ対応）

■ｉショット（送信P.172参照、受信P.189参照）

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末へ送信した場合、また、mova端末へ送信した場合は、添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。

10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークのあとに「p.」を付与してください。

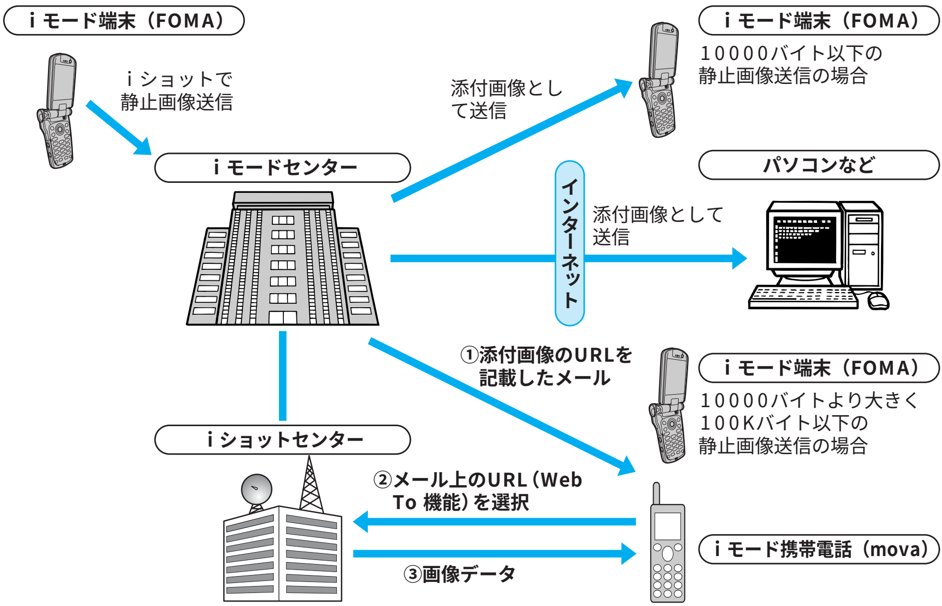
（例）　10000バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@docomo.ne.jp

10000バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@p.docomo.ne.jp

mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。



●ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

■メール同報送信

同じｉモードメールを一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。（P.155参照）

5件の宛先をメールメンバーに登録することもできます。（P.262参照）

※通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

■Cc、Bcc送受信

PCと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。（P.155参照）

■ｉアプリ貼付メール（受信P.74参照）

受信したｉモードメールに貼り付けられているURL（リンク）からｉアプリを起動することができます。

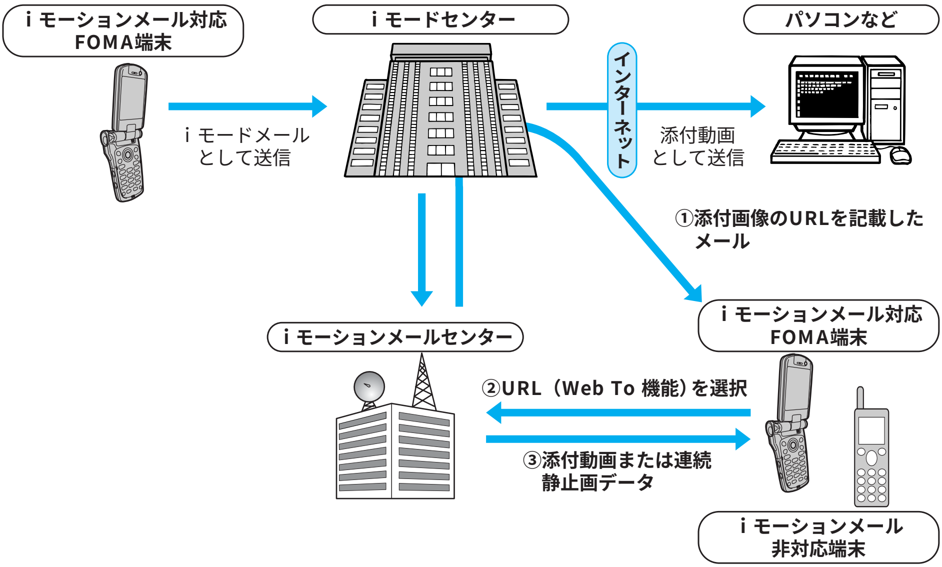
ｉモーションメールについて

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメールとして送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

●ｉモーションメールの送信方法については、P.174を参照してください。
●ｉモーションメールの受信方法については、P.192を参照してください。

◯サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選ぶことにより、動画を取り込むことができます。
●ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選ぶことにより、連続静止画を取り込みます。



●ｉモーションセンターでは最大10日間まで画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

お知らせ

●ｉモーションメールをパソコンなどに送信すると添付ファイルとして届きます。
●ｉモーションメールでは、撮影した動画などを本文を除き最大100Kバイトまで添付して送信できます。最大サイズを超えたｉモーションは添付できません。
●ｉモーションメールに添付されたｉモーションについては、受信者のみ取り込むことができます。
●最大保管件数を超えた場合は、ｉモーションメールセンターでは新しいｉモーションメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。
●ｉモード端末でｉモーションを取り込むと、ｉモーションメールセンターに保管されていたｉモーションは削除されます。
●ｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となりなります。詳細は、ドコモのホームページをご参照ください。

ショートメッセージ（SMS）について

ｉモードを契約しなくても、ショートメッセージ（SMS）の送受信ができます。FOMA端末との間で文字メッセージのやりとりができます。
ショートメッセージ（SMS）の送信、受信方法についてはP.212、218を参照してください。

お知らせ

●海外からはショートメッセージ（SMS）の文字メッセージを送受信できません。
●FOMA端末が受信したショートメッセージ（SMS）は、FOMAカードに保存することもできます。（P.227参照）

■ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

■送受信できる文字数

ショートメッセージ（SMS）で送受信できる文字数は、次のとおりです。

項目	全角文字（漢字、ひらがななど）	半角文字（英字、数字など）	バイト数
宛先	―	20（数字のみ）	20
本文	70	160※	140

※半角の英数字や記号（｡｢｣{}[]｜､･-ﾞﾟ ^`~ を除く）のみの場合

■ショートメッセージ（SMS）を受信できないとき

ショートメッセージセンターに届いたショートメッセージ（SMS）は、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、センターに保管されます。

お知らせ

●ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は72時間です。保管期間は「SMS有効期間設定」で設定することができます。
●保管期間が経過したショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。
●ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、「SMS問い合わせ」（P.220参照）により受信できます。
●FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）はFOMA端末に保存されます。（P.218参照）

受信フォルダ一覧画面の説明

受信フォルダ一覧画面は以下のように表示されます。



❶フォルダの状態を表示します。

- ：未読のメールが無いフォルダ
- ：未読のメールがあるフォルダ
- ：未読のメールが無くセキュリティが設定されているフォルダ
- ：未読のメールがありセキュリティが設定されているフォルダ
- ：未読のメールが無いｉアプリメール用フォルダ
- ：未読のメールがあるｉアプリメール用フォルダ
- ：未読のメールが無くセキュリティが設定されているｉアプリメール用フォルダ
- ：未読のメールがありセキュリティが設定されているｉアプリメール用フォルダ
- ：ゴミ箱フォルダ
- ：セキュリティが設定されているゴミ箱フォルダ

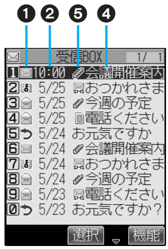
❷フォルダ名を表示します。

受信メール一覧画面と受信メール詳細画面の説明

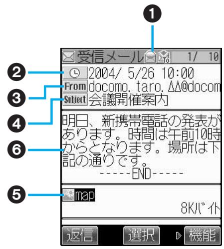
受信メール一覧画面と受信メール詳細画面は以下のように表示されます。



＜受信メール一覧画面
（2行表示の場合）＞



＜受信メール一覧画面
（1行表示の場合）＞



＜受信メール詳細画面＞

❶メールの状態やタイプを表示します。

- ：未読のメール
- ：既読のメール
- ：転送したメール
- ：返信したメール
- ：未読で保護されているメール
- ：既読で保護されているメール
- ：転送して保護されているメール
- ：返信して保護されているメール
- ：Toタイプで受信したメール
- ：Ccタイプで受信したメール
- ：Bccタイプで受信したメール

❷受信した時刻や日付を表示します。

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。

詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸送信元・同報先の電話番号またはメールアドレスを表示します。

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.149参照）

- From：送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
- ：返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
- To Cc：同報メールアドレス（詳細画面のみ）
- ：返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名を表示します。

ショートメッセージ（SMS）の場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

：ショートメッセージ（SMS）を示します。

：ショートメッセージ（SMS）がFOMAカード内にあるときに表示されます。

❺メロディ、画像、ｉアプリ、ｉモーションが添付または貼り付けられている場合やｉアプリメールの場合に表示します。

添付または貼り付けられているデータが正しくないときにも表示されます。
詳細画面では添付または貼り付けられているデータの容量も表示されます。

＜受信メール一覧画面（2行表示の場合）と受信メール詳細画面＞

：メロディが添付または貼り付けられています。

：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。（一覧画面のみ）

：添付または貼り付けられているすべてのメロディデータが正しくないときに表示されます。

：メロディが貼り付けられています。（詳細画面のみ）

：貼り付けられているメロディデータが正しくないときに表示されます。（詳細画面のみ）

：画像が添付されています。

：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。（一覧画面のみ）

：添付されているすべての画像データが正しくないときに表示されます。

：ｉアプリの起動情報が貼り付けられています。（一覧画面のみ）

：「ｉアプリ To 設定」が「無効」に設定されているときに表示されます。（一覧画面のみ）

：ｉモーションのURLが記載されています。（詳細画面のみ）

：ｉモーションが添付されています。

：添付されているｉモーションのデータが正しくないときに表示されます。

：取得前のｉモーションが添付されています。

：添付されている取得前のｉモーションのデータが正しくないときに表示されます。また、「貼付ｉモーション設定」が「無効」に設定されているときにも表示されます。

：複数のデータが貼り付けられています。

：ｉアプリメールを示します。（一覧画面のみ）

＜受信メール一覧画面（1行表示の場合）＞

：メロディ・画像が1個または複数添付されています。

：複数のメロディ・画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。

：複数のメロディ・画像が添付されていて、すべてのデータが正しくないときに表示されます。

：ｉモーションを含む、1個または複数のファイルが添付されています。

：ｉモーションを含む複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないときに表示されます。

：ｉモーションを含む複数のファイルが添付されていて、すべてのデータが正しくないときに表示されます。

：ｉアプリメールを示します。

❻本文を表示します。

次ページにつづく

送信フォルダ一覧画面の説明

送信フォルダ一覧画面は以下のように表示されます。



❶フォルダの状態を表示します。

- ：通常のフォルダ
- ：セキュリティが設定されているフォルダ
- ：通常のｉアプリメール用フォルダ
- ：セキュリティが設定されているｉアプリメール用フォルダ

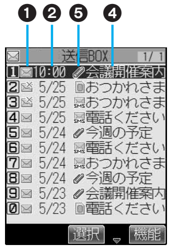
❷フォルダ名を表示します。

送信メール一覧画面と送信メール詳細画面の説明

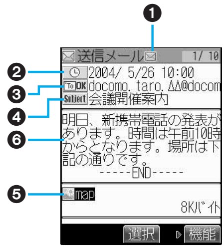
送信メール一覧画面と送信メール詳細画面は以下のように表示されます。



＜送信メール一覧画面
（2行表示の場合）＞



＜送信メール一覧画面
（1行表示の場合）＞



＜送信メール詳細画面＞

❶メールの状態を表示します。

- ：送信に成功したメール
- ：送信に失敗したメール
- ：すべてまたは一部の宛先に送信できた同報メール
- ：すべての宛先に送信できなかった同報メール
- ：保護されているメール

❷送信した時刻や日付を表示します。

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。

詳細画面では、送信した日時が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレスを表示します。

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.149参照）

- To OK ：Toタイプで送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
- Cc OK ：Ccタイプで送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
- Bcc OK ：Bccタイプで送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
- To × ：Toタイプで送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）
- Cc × ：Ccタイプで送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）
- Bcc × ：Bccタイプで送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名を表示します。

ショートメッセージ（SMS）の場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

：ショートメッセージ（SMS）を示します。

：ショートメッセージ（SMS）がFOMAカード内にあるときに表示されます。

：SMS report受信済みのメールを示します。（一覧画面（2行表示）と詳細画面のみ）

❺メロディ、画像、ｉモーションが添付されている場合に表示します。

詳細画面では添付されているデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面（2行表示の場合）と送信メール詳細画面>

：メロディが添付されています。

：画像が添付されています。

：大容量画像が添付されています。

：ｉモーションが添付されています。

：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータが添付されています。

：ｉアプリ用メールを示します。（一覧画面のみ）

<送信メール一覧画面（1行表示の場合）>

：メロディ・画像が1個または複数添付されています。

：大容量画像やｉモーションを含む、1個または複数のファイルが添付されています。

：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータが添付されています。

：ｉアプリ用メールを示します。

❻本文を表示します。

メール機能について

FOMA端末のメール機能について

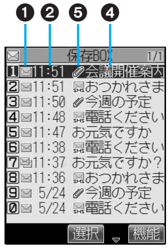
次ページにつづく

保存メール一覧画面の説明

保存メール一覧画面は以下のように表示されます。



＜2行表示の場合＞



＜1行表示の場合＞

❶メールの状態を表示します。

：保存しているメール

：保存している同報メール

❷保存した時刻や日付を表示します。

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレスを表示します。

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.149参照）

❹題名を表示します。

ショートメッセージ（SMS）の場合は、本文の最初の部分が表示されます。

：ショートメッセージ（SMS）を示します。

❺メロディ、画像、ｉモーションが添付されている場合に表示します。

＜2行表示の場合＞

：メロディが添付されています。

：画像が添付されています。

：大容量画像が添付されています。

：ｉモーションが添付されています。

：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータが添付されています。

＜1行表示の場合＞

：メロディ・画像が1個または複数添付されています。

：大容量画像やｉモーションを含む、1個または複数のファイルが添付されています。

：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータが添付されています。

お知らせ

- FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合は、時刻や日付が「－－：－－」、「－－／－－」で表示されます。
- 題名がないｉモードメールは、「無題」と表示されます。
- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、◎を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。本書では、説明のため画像表示ではなくファイル名表示で記載している画面があります。

■送信元や送信先の名前表示について

電話帳に登録する内容によって、送信元や送信先のメールアドレスが名前で表示されます。

電話帳登録内容	電話帳登録箇所	
	電話番号欄	メールアドレス欄
電話番号（0から始まる11桁以上の数字） 例：090XXXXXXXX	○	○
英数記号文字（@docomo.ne.jpを除いた文字） 例：abc1234～789xyz	－	×
電話番号@docomo.ne.jp 例：090XXXXXXXX@docomo.ne.jp	－	×※
英数記号文字@docomo.ne.jp 例：abc1234@docomo.ne.jp	－	○
電話番号@△△.□□□.ne.jp（@以降がdocomo.ne.jp以外の場合） 例：090XXXXXXXX@△△.□□□.ne.jp	－	○
上記以外の一般メールアドレス	－	○

○・・・・・・・・・・・・・名前で表示されます。

×・・・・・・・・・・・・・名前で表示されません。

※電話番号のみ登録すると名前表示されます。

お知らせ

●送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。
送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。

ｉモードメールを作成して送信する

新しくｉモードメールを作成して送信します。
デコメールを作成して送信するにはP.158を参照してください。

<作成例>
●宛先：docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
●題名：会議開催案内

1 メニュー ▶ メール ▶ ｉモードメール作成

●保存BOXに保存メールが10件あると、ｉモードメールを作成できません。保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
●待受画面で ✉（✉）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



<メール作成画面>

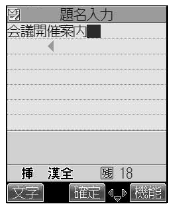
2 宛先欄を選択 ▶ ● ▶ 宛先を入力 ▶ ●

●半角50文字まで入力できます。
●宛先を電話帳や履歴、メールメンバーから呼び出す場合はP.153、154参照。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。
●送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
●複数の宛先に送信する場合はP.155参照。
●追加した宛先を削除する場合はP.155参照。



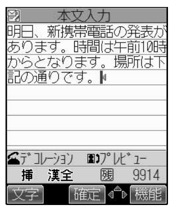
3 題名欄を選択 ▶ ● ▶ 題名を入力 ▶ ●

●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



4 本文欄を選択 ▶ ● ▶ 本文を入力

●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。
●冒頭文／署名を貼り付けるときはP.156参照。
●入力した本文をすべて削除する場合はP.156参照。
●ファイルを添付する場合はP.172〜174参照。
●デコメールについてはP.158参照。



<メール本文入力画面>

5 を押す

プレビュー画面が表示されます。
送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認してください。

● (送信)を押すとｉモードメールを送信できます。



6 を押す

7 (送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

● (機能)を押して機能メニューから「送信」を選択し、 を押しても送信できます。
●送信を途中で中止する場合は クリア を1秒以上押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。



8 OK



お知らせ

●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
●ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
●FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
●送信を行わずに クリア または を押すと、「内容を破棄して編集を終了します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 を押すとそれまで入力した文字は消去されます。「NO」を選択し、 を押すと元の画面に戻ります。
●宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「発番号設定を削除して送信します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 を押すと、「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択し、 を押すと元の画面に戻ります。
●宛先に「,（カンマ）」やスペースが入力されている場合は送信できません。
●宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信することができます。ただし、Toを設定せずにｉモードメールを送信することはできません。
●入力した宛先がシークレットコード（基本編P.142参照）を設定して電話帳に登録されている場合、送信するときに自動的にシークレットコードが添付されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときはシークレットコードは添付されません。
●相手がｉモードの契約をしている場合は、movaサービスのｉモード端末に対してもFOMA端末からｉモードメールを送信することができます。（P.136参照）
●本文編集中に改行することができます。改行は全角1文字としてカウントされます。
●スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

次ページにつづく

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メール作成画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

送信	P.151
送信プレビュー	本ページ参照
保存	P.177
宛先参照入力	P.153、154
宛先追加	P.155
宛先削除	P.155
宛先タイプ変更	P.155
添付ファイル追加	P.172〜174
添付ファイル削除	P.174
冒頭文貼付	P.156
署名貼付	P.156
本文消去	P.156
メール削除	P.156

操作により実行できない項目があります。

送信プレビュー

送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルの内容を確認できます。

1 メール作成画面▶ (i) (機能) ▶送信プレビュー

●確認が終われば (◎) を押します。

● (✉) (送信) を押すとメールを送信することができます。

● (i) (機能) を押すと、以下の操作が行えます。

送信 ・・・・・・・・・・・・・・・・ i モードメールを送信します。

保存 ・・・・・・・・・・・・・・・・ i モードメールを保存します。



宛先参照入力(電話帳)

電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を呼び出して入力します。あらかじめ電話帳にメールアドレスまたは電話番号を入力しておいてください。(基本編P.122参照)

1 **メール作成画面・ショートメッセージ(SMS)作成画面▶ⓘ(機能)▶宛先参照入力▶電話帳**

●すでに宛先が入力されていた場合は、「宛先を上書きしますか?」と表示されます。「YES」を選択し、◎を押してください。中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

2 **目的の電話帳を呼び出す▶メールアドレスまたは電話番号を表示▶◎**

宛先が入力されます。
以降、P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。
●電話帳の検索方法については基本編P.133参照。



お知らせ

●「指定発信制限」(基本編P.157参照)を設定中は、「指定発信制限」に指定されている電話番号のみ呼び出すことができます。

宛先参照入力(送信・受信アドレス一覧)

送受信したiモードメールやショートメッセージ(SMS)のメールアドレスや電話番号は、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧としてそれぞれ30件まで記憶されます。
送信アドレス一覧や受信アドレス一覧から宛先を呼び出して入力することができます。
また、リダイヤルや着信履歴から宛先を呼び出すこともできます。

1 **メール作成画面・ショートメッセージ(SMS)作成画面▶ⓘ(機能)▶宛先参照入力▶送信アドレス一覧・受信アドレス一覧**

●すでに宛先が入力されていた場合は、「宛先を上書きしますか?」と表示されます。「YES」を選択し、◎を押してください。中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

2 **目的のメールアドレスまたは電話番号を選択▶◎**

次ページにつづく

3 ◉を押す

宛先が入力されます。
以降、P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。



お知らせ

●「履歴表示設定」(基本編P.220参照)の「リダイヤル／発信履歴」や「着信履歴」を「OFF」に設定している場合は、呼び出せません。

宛先参照入力(メールメンバー)

メールメンバーに登録されているメールアドレスを呼び出して入力します。
あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。(P.262参照)

1 メール作成画面▶ⓘ(機能)▶宛先参照入力▶メールメンバー

●すでに宛先が入力されていた場合は、「宛先をすべて上書きしますか？」と表示されます。「YES」を選択し、◉を押してください。中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

2 目的のグループを選択▶◉

宛先が入力されます。
以降、P.150、158手順3から操作を行ってメールを作成します。



宛先追加

宛先を追加すると、同じ内容のｉモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。

1 **メール作成画面▶(i)（機能）▶宛先追加**

以降の操作はそれぞれのページをご覧ください。

電話帳・・・・・・・・・・・・・・・・P.153「宛先参照入力（電話帳）」手順2
送信アドレス一覧・・・・・・P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2
受信アドレス一覧・・・・・・P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2
直接入力・・・・・・・・・・・・・・P.150、158手順2

お知らせ

●送信できなかった宛先があると、「送信できなかった宛先があります」と表示されます。
●すでに宛先が5件入力されているときや宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加することはできません。
●同じ宛先を複数入力して送信しようとすると、「同じ宛先があります 削除して送信しますか？」と表示されます。「YES」を選択して（●）を押すと、重複しているアドレスを削除して送信します。中止する場合は「NO」を選択し、（●）を押します。

宛先削除

宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。

1 **メール作成画面▶(i)（機能）▶宛先削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、（●）を押します。

宛先タイプ変更

選択している宛先を「Cc」や「Bcc」、「To」に変更します。

1 **メール作成画面▶(i)（機能）▶宛先タイプ変更**

To・・・・・・・・宛先を「To」に変更します。
Cc・・・・・・・・宛先を「Cc」に変更します。
Bcc・・・・・・・宛先を「Bcc」に変更します。

■To、Cc、Bccについて

・「To」に設定した電話番号やメールアドレスは通常の宛先です。
・「Cc」に設定した電話番号やメールアドレスは受信した相手に表示されます。
・「Bcc」に設定した電話番号やメールアドレスは受信した相手に表示されません。

（例）「To」設定でAさん、「Cc」設定でBさん、「Bcc」設定でCさんに同報メールを送信した場合

Aさんが受信したメールでは… Bさんの電話番号やメールアドレスが表示されます。（Aさん・Cさんの電話番号やメールアドレスは表示されません。）

Bさんが受信したメールでは… Aさんの電話番号やメールアドレスが表示されます。（Bさん・Cさんの電話番号やメールアドレスは表示されません。）

Cさんが受信したメールでは… Aさん・Bさんの電話番号やメールアドレスが表示されます。（Cさんの電話番号やメールアドレスは表示されません。）

お知らせ

●宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。
●「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

冒頭文貼付・署名貼付

冒頭文や署名をｉモードメールの本文に貼り付けます。
あらかじめ冒頭文や署名を登録しておいてください。（P.254参照）

1 **メール作成画面▶ⓘ（機能）▶冒頭文貼付・署名貼付**

冒頭文は本文の先頭に、署名は本文の最後に入力されます。
以降、P.150、158手順2から操作を行ってメールを送信します。

お知らせ

●「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」にチェックが付いていれば、ｉモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。
●冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。
●デコレーションが設定されている本文に署名を貼り付けた場合、署名も合わせてデコレーションされます。
●冒頭文はデコレーションされずに「黒色」で貼り付けられるため、背景色によっては見えなくなることがあります。

本文消去

本文に入力されている文章をすべて削除します。
宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。

1 **メール作成画面・ショートメッセージ（SMS）作成画面▶ⓘ（機能）▶本文消去▶YES**

本文が削除されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

メール削除

編集中のｉモードメールを削除できます。

1 **メール作成画面▶ⓘ（機能）▶メール削除▶YES**

編集中のｉモードメールが削除されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メール本文入力画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
デコレーション	P.163～169、171
絵文字記号入力	基本編P.328
大文字／小文字切替	基本編P.329
全角／半角切替	基本編P.329
コピー	基本編P.329
切り取り	基本編P.330
貼り付け	基本編P.330
スペース入力	基本編P.332
改行入力	基本編P.332
記号入力	基本編P.332
絵文字入力	基本編P.332
定型文入力	基本編P.331
プロパティ	本ページ参照
電話帳引用	基本編P.334
個人データ引用	基本編P.335
JUMP	基本編P.335
元に戻す	本ページ参照
プレビュー	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

プロパティ

デコメールで挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

1 メール本文入力画面▶挿入した画像を選択▶ⓘ（機能）▶プロパティ

●確認が終われば ◎ を押します。

元に戻す

文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。

1 メール本文入力画面▶ⓘ（機能）▶元に戻す

お知らせ

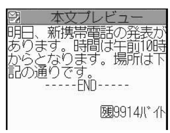
●「元に戻す」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。
●メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す」でひとつ前の状態には戻せません。（「プレビュー」でプレビューを表示後の場合は戻すことができます。）

プレビュー

送信する前に本文の内容を確認できます。

1 メール本文入力画面▶ⓘ（機能）▶プレビュー

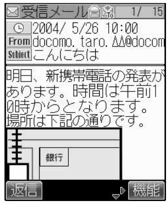
●メール本文入力画面で 📖 を押してもプレビューを表示できます。
●確認が終われば ⓘ（閉）を押します。



iモードメール

iモードメール作成

デコメール（デコレーションメール）を作成して送信する



ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
デコレーションには、文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置、ライン挿入、画像挿入、背景色があります。
1つの文に複数のデコレーションを指定することができます。

●テロップ・スウィング・文字位置は、どれか1つしか指定できません。
●ライン挿入は文字色、画像挿入は文字位置とのみ組み合わせることができます。

※デコレーションするには、「デコレーションパレット」を使う方法と「機能メニュー」から実行する方法があります。本書では主に「デコレーションパレット」を使った方法で説明しています。



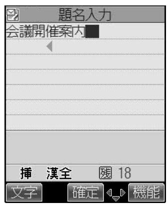
1 （メニュー）▶（メール）▶ｉモードメール作成

●保存BOXに保存メールが10件あると、デコメールを作成できません。保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
●待受画面で（✉）（　）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



2 宛先欄を選択▶（●）▶宛先を入力▶（●）

●半角50文字まで入力できます。
●宛先を電話帳や履歴、メールメンバーから呼び出す場合はP.153、154参照。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。
●送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
●複数の宛先に送信する場合はP.155参照。
●追加した宛先を削除する場合はP.155参照。



3 題名欄を選択▶（●）▶題名を入力▶（●）

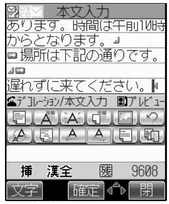
●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

4 本文欄を選択▶（●）



＜メール本文入力画面＞

5 デコレーションパレットを使って本文をデコレーションする



入力例（デコレーションパレットを使った場合）

を押すとデコレーションパレットが表示されます。

●デコレーションパレットの使い方についてはP.161参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

▶デコレーションを選択▶本文を入力

●各デコレーションの詳しい操作についてはP.163～169参照。

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶▶

以降、P.162「範囲選択」の操作を行ってください。

●機能メニューからデコレーションする場合は、
P.171「デコレーション（デコレーション変更）」の操作を行ってください。

●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。
（デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。）

●メール本文をデコレーションすると、「」が表示されます。

● を押すと、本文のプレビューを表示できます。
（閉）または を押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。

●文字の入力方法については基本編P.314参照。

●冒頭文／署名を貼り付けるときはP.156参照。

●入力した本文をすべて削除する場合はP.156参照。

●ファイルを添付する場合はP.172～174参照。

6 を押す



プレビュー画面が表示されます。
送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認してください。

7 （送信）を押す



● （機能）を押して機能メニューから「送信」を選択し、 を押しても送信できます。
送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

●送信を途中で中止する場合は を1秒以上押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

8 OK



お知らせ

●電波状況により、相手に正しく表示されない場合があります。
●ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
●FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
●受信したデコメールを引用返信、転送した場合、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
●送信を行わずに クリア または HLD を押すと、「内容を破棄して編集を終了します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 を押すとそれまで入力した文字は消去されます。「NO」を選択し、 を押すと元の画面に戻ります。
●宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「発番号設定を削除して送信します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 を押すと、「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択し、 を押すと元の画面に戻ります。
●宛先に「,（カンマ）」やスペースが入力されている場合は送信できません。
●宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信することができます。ただし、Toを設定せずにｉモードメールを送信することはできません。
●入力した宛先がシークレットコード（基本編P.142参照）を設定して電話帳に登録されている場合、送信するときに自動的にシークレットコードが添付されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときはシークレットコードは添付されません。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

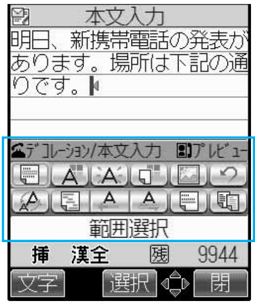
メール本文入力画面を表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
デコレーション	P.163〜169、171
絵文字記号入力	基本編P.328
大文字／小文字切替	基本編P.329
全角／半角切替	基本編P.329
コピー	基本編P.329
切り取り	基本編P.330
貼り付け	基本編P.330
スペース入力	基本編P.332
改行入力	基本編P.332
記号入力	基本編P.332
絵文字入力	基本編P.332
定型文入力	基本編P.331
プロパティ	P.157
電話帳引用	基本編P.334
個人データ引用	基本編P.335
JUMP	基本編P.335
元に戻す	P.157
プレビュー	P.157

操作により実行できない項目があります。

デコレーションパレットの使い方

デコレーションパレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。
複数のデコレーションを一度に設定することもできます。



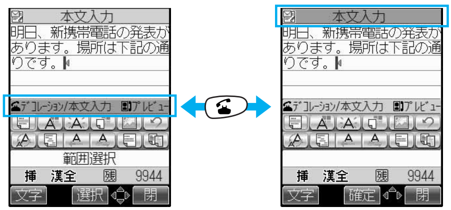
デコレーションパレット

メール本文入力画面で（電話キー）を押すとデコレーションパレットが表示されます。

● ⓘ（閉）を押すと、デコレーションパレットを閉じます。

■操作を切り替える

（電話キー）を押すごとに、デコレーションパレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。デコレーションパレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力することができます。



デコレーションパレット操作　　本文入力操作

●文字を入力後は「本文入力操作」になります。続けてデコレーションパレットを操作する場合は、（電話キー）を押してから操作します。

■アイコンの状態



●デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンがへこんで表示されます。
へこんだアイコンを選択して ◉ を押すとデコレーションを変更または解除できます。
範囲選択中は（クリア）を押して解除することもできます。

●グレーで表示されているアイコンは選択できません。

デコレーション(範囲選択)

入力済みの文字を選択してデコレーションを設定できます。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除することができます。

P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択

始点を選択

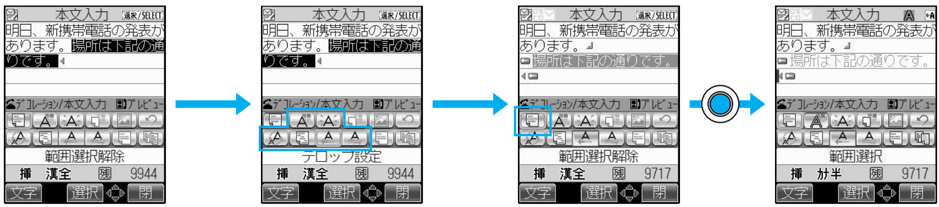
● (全選択) を押すと全文を選択できます。

終点を選択

●範囲選択中は「選択/SELECT」が表示されます。

各デコレーションを設定、変更、追加します。

デコレーションを設定、変更、追加する



デコレーションを設定、変更、追加したい文字を範囲選択する

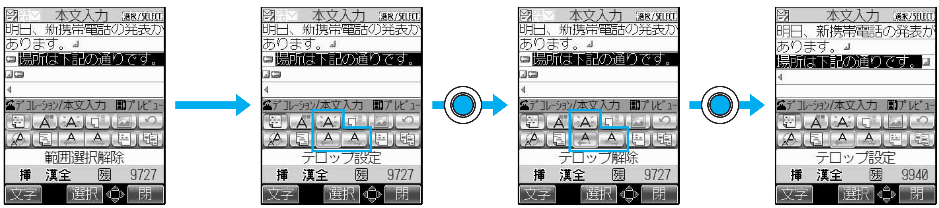
アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加する

●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、つづけて他のアイコンを選択します。

を選択

●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、範囲選択を解除したあとにそれぞれのアイコンを選択して終了位置を決定してください。

点滅、テロップ、スウィングを解除する



点滅、テロップ、スウィングを解除したい文字を範囲選択する

点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択

再度同じアイコンを選択

※機能メニューから入力済みの文字を選択して、デコレーションを設定、変更、解除する場合はP.171参照。

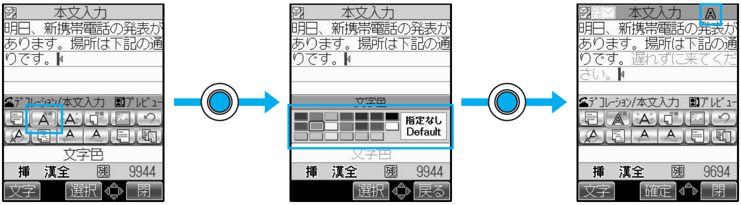
お知らせ

●範囲選択で「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」のデコレーションを設定することはできません。

デコレーション（文字色）

文字の色、ラインの色を変更することができます。

P.159手順5で（ボタン）を押してデコレーションパレットを表示する。



（アイコン）を選択　　色を選択　　文字を入力

- 文字色を変更中は「（アイコン）」が表示されます。
- 他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。
- 範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
- ラインを挿入するにはP.169参照。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶（i）（機能）▶デコレーション▶文字色▶色を選択▶（決定）
2. 文字を入力▶（決定）

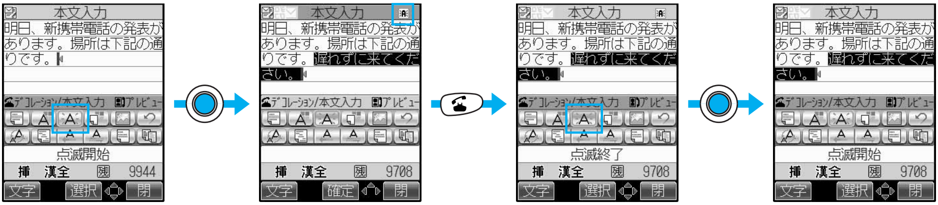
お知らせ

- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

デコレーション（点滅）

文字を点滅表示させることができます。

P.159手順5で ☎ を押してデコレーションパレットを表示する。



[A] を選択

文字を入力

- 点滅を設定中は「[A]」が表示されます。
- 文字が反転表示されます。
- 他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。

[A] を選択

- [プレビュー] を押すと点滅表示をプレビューで確認できます。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面 ▶ ⓘ（機能）▶ デコレーション ▶ 点滅 ▶ 開始
2. 文字を入力 ▶ ◎ ▶ ⓘ（機能）▶ デコレーション ▶ 点滅 ▶ 終了

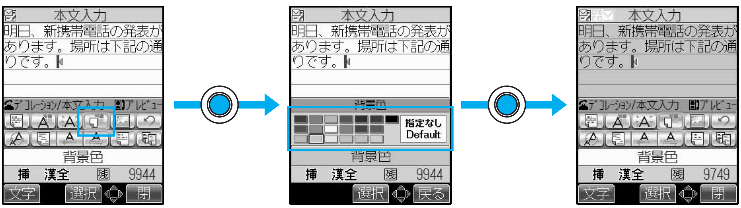
お知らせ

- 点滅は、一定の時間が経過すると通常の表示になります。
- 設定済みの点滅を解除する場合は、P.162参照。

デコレーション（背景色）

メール本文の背景色を変更することができます。

P.159手順5で ☎ を押してデコレーションパレットを表示する。



[□] を選択

色を選択

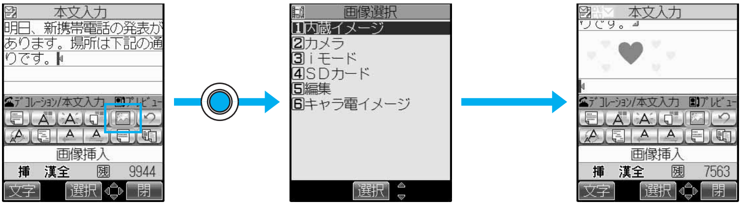
■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面 ▶ ⓘ（機能）▶ デコレーション ▶ 背景色 ▶ 色を選択 ▶ ◎

デコレーション(画像挿入)

メール本文に画像を挿入することができます。画像はカーソルの位置に挿入されます。
「文字位置」で画像の表示位置を変更することもできます。

P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択

画像を選択

自動的に改行が入力され、画像が挿入されます。

●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、 を押します。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶ (機能)▶デコレーション▶画像挿入

内蔵イメージ･････････内蔵イメージフォルダ内の画像を挿入します。
カメラ･･････････････カメラフォルダ内の画像を挿入します。
ｉモード･････････････ｉモードフォルダ内の画像を挿入します。
SDカード････････････miniSDメモリーカード内の画像を挿入します。
編集････････････････編集フォルダ内の画像を挿入します。
キャラ電イメージ･････キャラ電イメージフォルダ内の画像を挿入します。

2. 画像を選択▶

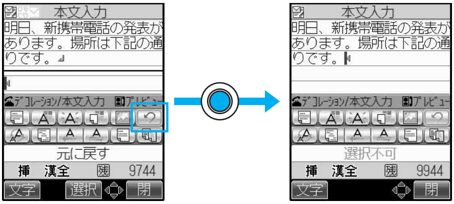
お知らせ

●メール本文と画像の合計が10000バイトまでとなるJPEGまたはGIF画像を挿入することができます。
●すでに挿入されている画像と異なる画像を挿入する場合、挿入できる画像は10件までです。ただし10件以下でも操作によっては、「メモリ不足です 送信プレビューに移り 再編集してください」の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、 (確定)を押して編集中のメールの送信プレビューを表示して、再度本文の編集を行ってください。
●同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度 (確定)を押して再編集で画像挿入を行う場合は、別途1件と扱われます。
●編集画面上で既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされコピー元と合わせて1件として扱われます。(再編集時も有効です。)
●アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。
●画像に文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィングを設定することはできません。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は挿入できません。

デコレーション(元に戻す)

設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。

P.159手順5で ✉ を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択

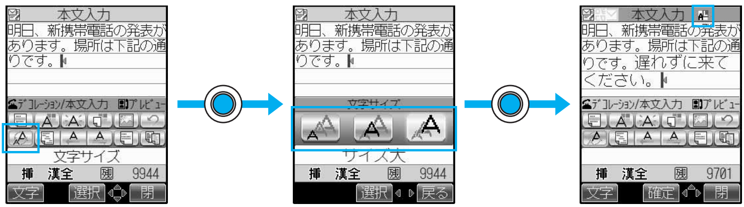
(例) ライン挿入を元に戻す場合

※機能メニューから「元に戻す」を実行する場合は、P.157参照。

デコレーション(文字サイズ)

文字のサイズを変更することができます。

P.159手順5で ✉ を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択　**サイズを選択**　**文字を入力**

●文字サイズを変更中は「」「」が表示されます。

●他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。

●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶ (i) (機能)▶デコレーション▶文字サイズ

　大…………文字サイズを大(24ドット)にします。

　標準………文字サイズを標準(20ドット)にします。

　小…………文字サイズを小(16ドット)にします。

2. 文字を入力▶ ◎

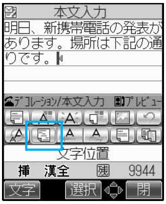
お知らせ

●別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

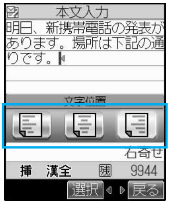
デコレーション（文字位置）

入力する文字、挿入する画像の位置を段落ごとに変更することができます。

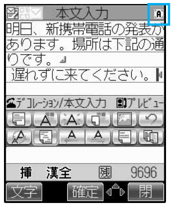
P.159手順5で （メールキー）を押してデコレーションパレットを表示する。



（アイコン）を選択



文字位置を選択



文字を入力

自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。

- ●文字位置を設定中は「（アイコン）」が表示されます。
- ●他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。
- ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
- ●画像を挿入する場合はP.165参照。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶（i）（機能）▶デコレーション▶文字位置

　左寄せ･･･････････文字・画像を左寄せにします。

　センタリング･････文字・画像を中央揃えにします。

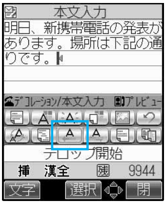
　右寄せ･･･････････文字・画像を右寄せにします。

2. 文字を入力▶（決定）

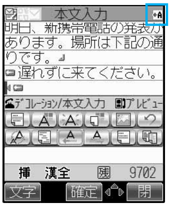
デコレーション（テロップ）

入力する文字をテロップ表示（右から左へ流れる表示）させることができます。

P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。

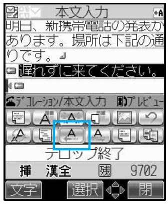


を選択

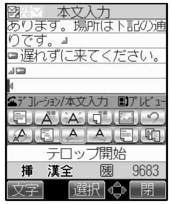


文字を入力

●テロップを設定中は「」が表示されます。
●他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。



を選択



自動的に改行が挿入され、文字が「」と「」で囲まれます。

● を押すとテロップ表示をプレビューで確認できます。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶ （機能）▶デコレーション▶テロップ▶開始
2. 文字を入力▶ ▶ （機能）▶デコレーション▶テロップ▶終了

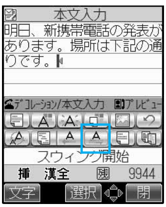
お知らせ

●テロップの動作は、一定の時間が経過すると停止します。
●設定済みのテロップを解除する場合は、P.162参照。

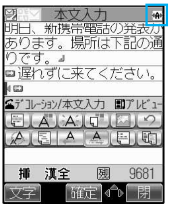
デコレーション（スウィング）

文字をスウィング表示（左右を往復する表示）させることができます。

P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。

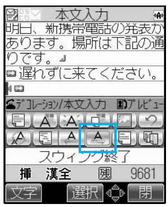


を選択

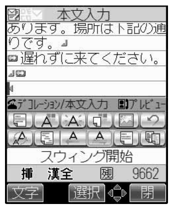


文字を入力

●スウィングを設定中は「」が表示されます。
●他のデコレーションも設定する場合、つづけて他のデコレーションを設定します。



を選択



自動的に改行が挿入され、文字が「」と「」で囲まれます。

● を押すとスウィング表示をプレビューで確認できます。

■機能メニューから設定する場合

1. メール本文入力画面▶ （機能）▶デコレーション▶スウィング▶開始
2. 文字を入力▶ ▶ （機能）▶デコレーション▶スウィング▶終了

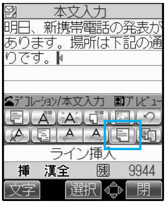
お知らせ

●スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。
●設定済みのスウィングを解除する場合は、P.162参照。

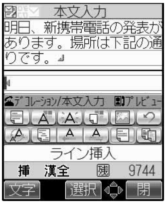
デコレーション（ライン挿入）

メール本文にライン（水平線）を挿入することができます。ラインはカーソルの位置に挿入されます。「文字色」で色を変更することもできます。

P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択



自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。

●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、クリアを押します。

■**機能メニューから設定する場合**

1. メール本文入力画面▶ i（機能）▶デコレーション▶ライン挿入

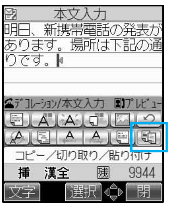
お知らせ

●ラインに文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置を設定することはできません。

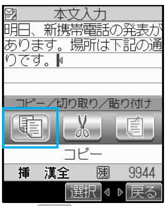
デコレーション（コピー）

文字をコピーします。

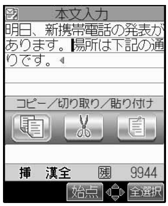
P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択

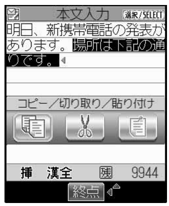


を選択

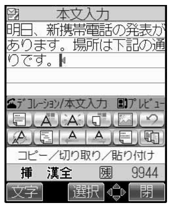


始点を選択

● i（全選択）を押すと全文をコピーできます。



終点を選択

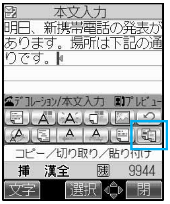


※機能メニューから「コピー」を実行する場合は、基本編P.329参照。

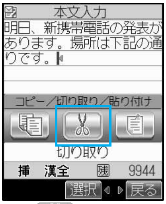
デコレーション（切り取り）

文字を切り取ります。

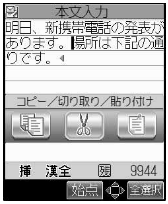
P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択

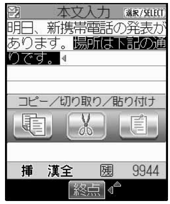


を選択

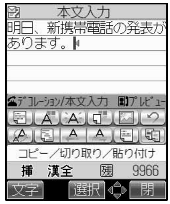


始点を選択

● （全選択）を押すと全文を切り取ることができます。



終点を選択

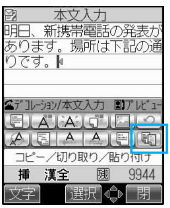


※機能メニューから「切り取り」を実行する場合は、基本編P.330参照。

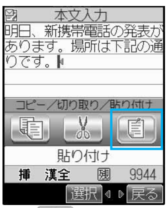
デコレーション（貼り付け）

コピーまたは切り取った文字を貼り付けます。文字はカーソルの位置に挿入されます。

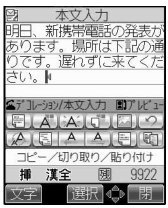
P.159手順5で を押してデコレーションパレットを表示する。



を選択



を選択



※機能メニューから「貼り付け」を実行する場合は、基本編P.330参照。

デコレーション(デコレーション変更)

文字を入力してからデコレーションを設定できます。また、入力済みのデコレーションを変更することができます。

1 **メール本文入力画面▶ⓘ(機能)▶デコレーション▶デコレーション変更**

2 **始点を選択▶◉▶終点を選択▶◉**

●ⓘ(全選択)を押してメール本文を全選択することもできます。

3 **変更するデコレーションを選択▶◉**

文字色・・・・・・・・・・・・・・・・文字色・ライン色を変更します。(P.163参照)
文字サイズ・・・・・・・・・・・・文字サイズを変更します。(P.166参照)
点滅・・・・・・・・・・・・・・・・・・点滅表示を設定/解除します。(P.164参照)
テロップ・・・・・・・・・・・・・・テロップ表示を設定/解除します。(P.168参照)
スウィング・・・・・・・・・・・・スウィング表示を設定/解除します。(P.168参照)
文字位置・・・・・・・・・・・・・・文字位置・画像位置を変更します。(P.167参照)
戻る・・・・・・・・・・・・・・・・・・変更したい部分を選択し直します。

※デコレーションパレットからデコレーションを変更、解除する場合は、P.162参照。

お知らせ

●「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」のデコレーションを設定することはできません。

デコレーション(全解除)

メール本文すべてのデコレーションを解除します。

1 **メール本文入力画面▶ⓘ(機能)▶デコレーション▶全解除▶YES**

●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。
◉を押すとメール本文入力画面に戻ります。

※デコレーションパレットから「全解除」を実行することはできません。

お知らせ

●デコレーションを設定したときに自動的に挿入された改行は削除されません。

画像やメロディ、動画／ｉモーションを添付して送信する

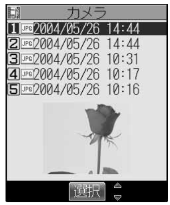
画像添付

10000バイト以下の通常画像や10000バイトを超える大容量画像をｉモードメールに添付することができます。
通常画像を添付した場合、本文を合わせたデータ量が全角5000文字分（10000バイト）までであれば、最大10件（通常画像とメロディを合わせて）まで添付できます。大容量画像は1件のみ添付することができます。（別途、メロディや通常画像は添付できます。）

1 メール作成画面▶ⓘ（機能）▶添付ファイル追加▶画像添付

カメラ················カメラフォルダ内の画像を添付します。
ｉモード··············ｉモードフォルダ内の画像を添付します。
SDカード·············miniSDメモリーカード内の画像を添付します。
編集··················編集フォルダ内の画像を添付します。
キャラ電イメージ······キャラ電イメージフォルダ内の画像を添付します。

2 画像を選択▶◉



「カメラ」の場合



画像が添付されました。
● ◉ を押すと画像を表示することができます。
　もう一度 ◉ を押すと元の画面に戻ります。
以降、P.150、158手順2から操作を行ってメールを作成します。

お知らせ

●データ量によっては、添付できる件数が10件より少なくなる場合があります。
●データ量が100Kバイトを超える画像は添付できません。「ｉモードメール作成」（P.323参照）や「メール用サイズ変更」（P.344参照）を行うと100Kバイト以下に変更して添付できます。
●大容量画像を添付した場合、パソコンに送ることはできますがFOMA端末およびｉモード端末に送ることはできません。

お知らせ

- 大容量画像はJPEG画像のみ添付できます。GIF画像は添付できません。
- 大容量画像を添付した場合、ｉモーションは添付できません。
- 大容量画像を添付した場合、本文に入力できる文字数が全角100文字分(半角200文字分)少なくなります。
- FOMA端末に画像が1件も登録されていない場合は、画像を添付することはできません。
- ｉモードメールからの画像表示とイメージビューアからの画像表示は異なる場合があります。その際、送信相手にはイメージビューアで表示される画像が送信されるため、送信相手が画像を正しく表示するには、画像を端末内に保存したあとイメージビューアで表示する必要があります。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は添付できません。ただし、カメラで撮影した画像や赤外線で受信した画像は、ファイル制限(P.296参照)の設定に関わらず、添付できます。
- 自端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末およびパソコンや他社携帯電話へ送信できます。ただし、movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLをクリックすることで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

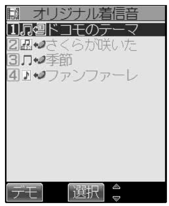
メロディ添付

ｉモードメールに「オリジナル着信音」(P.388参照)を添付することができます。
添付ファイルと本文を合わせたデータ量が全角5000文字分(10000バイト)までであれば、最大10件(メロディと画像を合わせて)まで添付できます。

1 メール作成画面▶ⓘ(機能)▶添付ファイル追加▶メロディ添付

2 メロディを選択▶◉

- 右の画面で✉(デモ)を押すとメロディを演奏することができます。





メロディが添付されました。
- ◉を押すとメロディを演奏することができます。何かボタンを押すと演奏は停止します。

以降、P.150、158手順2から操作を行ってメールを作成します。

お知らせ

- データ量によっては、添付できる件数が10件より少なくなる場合があります。
- データ量が10000バイトを超えるメロディは添付できません。
- オリジナル着信音が1件も登録されていない場合は、メロディを添付することはできません。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディは添付できません。
- 受信側がFOMA P900iV以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。

ｉモーション添付（ｉモーションメール）

ｉモード端末で撮影した動画やサイトなどから取得したｉモーションなどをｉモードメールに添付して送信することができます。ｉモーションは1件のみ添付することができます。（別途、メロディや10000バイト以下の画像は添付できます。）

1 メール作成画面▶ⓘ（機能）▶添付ファイル追加▶ｉモーション添付

カメラ ················カメラフォルダ内のｉモーションを添付します。
ｉモード ··············ｉモードフォルダ内のｉモーションを添付します。
編集 ··················編集フォルダ内のｉモーションを添付します。
キャラ電ムービー ······キャラ電ムービーフォルダ内のｉモーションを添付します。

2 ｉモーションを選択▶◉

●右の画面で ✉（デモ）を押すとｉモーションを再生することができます。



「カメラ」の場合



ｉモーションが添付されました。
●◉を押すとｉモーションを再生することができます。
　再生中に ✉（■）を押すと元の画面に戻ります。
以降、P.150、158手順2から操作を行ってメールを作成します。

お知らせ

●データ量が100Kバイトを超えるｉモーションは添付できません。
●ｉモーションを添付した場合、大容量画像は添付できません。
●ｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字分（半角200文字分）少なくなります。
●FOMA端末にｉモーションが1件も登録されていない場合は、ｉモーションを添付することはできません。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションは添付できません。ただし、カメラで撮影した動画や赤外線で受信した動画は、ファイル制限（P.296参照）の設定に関わらず、添付できます。
●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
●miniSDメモリーカードに保存されている動画は添付できません。動画をインポートしてください。（P.326参照）

添付ファイル削除

選択している添付ファイル（メロディ、画像、大容量画像、ｉモーション）を削除します。

1 メール作成画面▶ⓘ（機能）▶添付ファイル削除▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

＜送信メール＞

送信／未送信ｉモードメールを見る

送信したｉモードメールはショートメッセージ（SMS）と合わせて最大400件まで保存されます。送信したｉモードメールを確認できます。

1 メニュー ▶ メール ▶ 送信BOX ▶ 表示したいフォルダを選択 ▶ ●

●待受画面で ✉ （メール）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



＜送信フォルダ一覧画面＞

2 表示したいｉモードメールを選択 ▶ ●

●メールが6件以上（1行表示のときは11件以上）ある場合、○を押して前後のページを確認できます。



＜送信メール一覧画面＞



＜送信メール詳細画面＞

●○で他のメールを確認することができます。

●メールの本文が長い場合は○で画面をスクロールさせて確認できます。
　また、▼や▲を押すと画面単位でスクロールさせることができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信フォルダ一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

自動振分設定	P.245
セキュリティ設定／解除	P.229
フォルダ削除	P.230
保存件数確認	P.237
フォルダ内表示	P.230
送信メール全削除	P.238

操作により実行できない項目があります。

次ページにつづく

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信メール一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ移動	P.231
全表示	P.233
ソート	P.233
フィルタ	P.234
一覧表示切替	P.234
保護／保護解除	P.235
保護全解除	P.236
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
FOMAカード操作	P.227
保存件数確認	P.237
1件削除	P.239
選択削除	P.239
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信メール詳細画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

再編集	本ページ参照
フォルダ移動	P.231
コピー	P.241
アドレス登録	P.241
電話帳登録	P.242
データ保存	P.189、191、193
本文中画像保存	P.189
デスクトップ貼付	P.243
保護／保護解除	P.235
外部出力	P.243
FOMAカード操作	P.227
SMS report表示	P.216
スクロール設定	P.250
文字サイズ設定	P.250
削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

送信したｉモードメールを編集・送信する

送信したメールを再編集して送信することができます。

1 **送信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶再編集**

以降、P.150手順2から操作を行ってメールを作成します。

＜保存メール＞
作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールを保存する

作成中や編集中のメールを保存BOXに保存できます。

1 **メール作成画面▶ⓘ（機能）▶保存**

●宛先、題名、本文のすべてが未入力で、添付ファイルもない場合は保存できません。

保存したｉモードメールを編集・送信する

送信せずに保存してあるｉモードメールを編集して送信できます。
ショートメッセージ（SMS）と合わせて10件まで保存できます。

1 **(メニュー)▶(メール)▶保存BOX**

●待受画面で ✉（✉）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



＜保存メール一覧画面＞

2 **編集したいｉモードメールを選択▶◉**

以降、P.150手順2から操作を行ってメールを作成します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

保存メール一覧画面を表示中にⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
一覧表示切替	P.234
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
保存件数確認	P.237
1件削除	P.239
選択削除	P.239
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

＜メール自動受信＞
iモードメールを自動的に受信する

受信したiモードメールは、ショートメッセージ（SMS）と合わせて最大1000件保存できます。
「着信音選択」（基本編P.179参照）でiモードメールを受信したときの着信音をお好みの音に設定したり、「着信イルミネーション」（基本編P.170参照）でiモードメールを受信したときの着信／充電ランプの点滅パターンを変更したりすることができます。

movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信することができます。

1 iモードメールを受信すると「 （ピンク）」のアイコンが点滅し、「メール受信中・・・」と表示される



受信が終わると、受信したiモードメールとメッセージ（R/F）の件数が表示されます。

● 「メール」を選択して ◉ を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。



何も操作しないで15秒経過すると元の画面に戻ります。
（「iモード鳴動時間」の設定により、秒数は異なります。）

●デスクトップに「 メール 」が表示されます。
◉ を押して「 メール 」を選択し、◉ を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。



待受画面の場合

お知らせ

●FOMA端末に保存されている受信メール（ショートメッセージ（SMS）とiモードメールの合計）が1000件を超えたときなど、受信メールの最大保存件数を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール②古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。

●FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信することができず、「 （グレー）」が表示されます。iモードメールを受信できるようにするには、「 （グレー）」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護解除を行い、「iモード問い合わせ」を行ってください。

お知らせ

●ｉモードメールを選択受信するように設定すると、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。（画面上部に「 」が表示されます。）センターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認してから選択して受信することができます。（P.180参照）

●新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されているほかのｉモードメールやメッセージ（R/F）も合わせて受信します。

●ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。

●極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに、エラーメッセージとともに送信者へ返信されることがあります。

●FOMA端末がｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。

●あらかじめ、受信するｉモードメールのサイズを制限することができます。（P.203参照）

●あらかじめ、受信する添付ファイルの種類を制限することができます。（P.196参照）

●To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、Bccのどれにあてはまるかを FOMA端末で確認することができます。

●ｉモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです。

①メールアドレスごとの設定（基本編P.182参照）

②グループごとの設定（基本編P.183参照）

③着信音選択（基本編P.179参照）、着信イルミネーション（基本編P.170参照）

●複数のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）を同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）に設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

●待受画面以外を表示しているときにｉモードメールを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。（P.252参照）

●FOMA端末を閉じているときにｉモードメールを受信した場合は、プライベートウィンドウに表示されます。



●ｉモーションの再生中にｉモードメールを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

●FOMA端末で、movaサービスのｉモード端末からのｉショットメールを受信したときは、添付ファイルとして受信します。

メール選択受信設定

P.13

お買い上げ時 OFF

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 (メニュー) ▶ メール ▶ **メール設定** ▶ **メール選択受信設定**

ON ・・・・・・・ｉモードメールを選択して受信します。

OFF・・・・・・・ｉモードメールを自動で受信します。

お知らせ

●「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信することができません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、「 」が表示されます。受信するには、「ｉモード問い合わせ」や「メール選択受信」を行ってください。

●メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。（P.183参照）

●ショートメッセージ（SMS）を選択して受信することはできません。

i モードメールを選択して受信する

P.13

i モードセンターに保管されている i モードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前に i モードセンターでメールを削除することができます。
メール選択受信をご利用になるには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

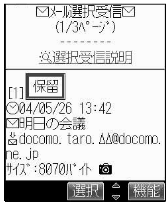
1 メニュー ▶ メール ▶ メール選択受信



📷：画像ファイルが添付されています。
♪：メロディファイルが添付されています。
🎥：i モーションが添付されています。

●ページが複数ある場合は「前ページ」または「次ページ」でページを前後させ、選択することができます。
●「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。◎を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
●「メニュー ▶ iモード ▶ i Menu ▶ メニューリスト ▶ メール選択受信」を実行しても右の画面を表示できます。

2 i モードメールごとにプルダウンメニューを選択 ▶ ◎



受信・・・・・・・受信する i モードメールを選択して受信します。
削除・・・・・・・受信したくない i モードメールを選択して削除します。
保留・・・・・・・i モードメールはそのまま i モードセンターに保管されます。

3 受信／削除



●ページが複数ある場合は、ページの途中で「受信／削除」を選択し ◎ を押すと、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、i モードセンターですべて保管されます。
●2ページ目へアクセスした場合は、1ページ目の選択内容は有効です。

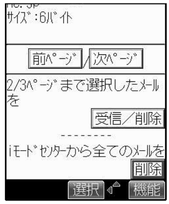
4 決定



●中止する場合は「キャンセル」を選択し、◎ を押します。
確認画面が表示されますと完了です。
受信を選択したメールはすぐに受信します。

■ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを全削除するには

全削除を選択した場合は、ページ数にかかわらずｉモードセンターに保管されているメールを全部削除します。



1. P.180手順1のあとで「削除」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。（P.183参照）

＜ｉモード問い合わせ＞

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

P.13

ｉモードセンターに届いたｉモードメールやメッセージ(R/F)は自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはｉモードセンターに保管されます。
そのことを示すアイコン「 (ピンク)」が表示されたら、ｉモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。

1 メニュー ▶ メール・ｉモード ▶ **ｉモード問い合わせ**



ｉモードメールのアイコン((ピンク))とメッセージのアイコン((黄色)、 (黄色))が点滅して「問い合わせ中」と表示され、ｉモードメールやメッセージ(R/F)を受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したｉモードメールとメッセージ(R/F)の件数を表示します。

●待受画面で ✉ を1秒以上押しても右の画面が表示されます。
●受信を途中で中止する場合は、 クリア を1秒以上押します。ただしタイミングにより、受信されることがあります。

お知らせ

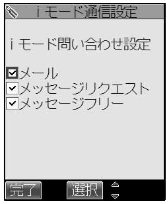
●圏外のときは問い合わせできません。
●ｉモードを開始していない(「 」消灯中)状態から問い合わせを行ったときは、ｉモードを開始してから問い合わせをしますので、問い合わせ終了後はｉモード待機中(「 」点滅中)になります。
●「 (グレー)」「 (グレー) (グレー)」「 」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージ(R/F)を受信できません。不要なｉモードメールやショートメッセージ(SMS)やメッセージ(R/F)を削除するか、未読のｉモードメールやショートメッセージ(SMS)やメッセージ(R/F)を読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージ(R/F)は、古いものから順に自動的に上書きされます。)
●ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「 (ピンク)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
●問い合わせをする項目を「ｉモード問い合わせ設定」で選択することもできます。
●本機能でショートメッセージ(SMS)は受信できません。ショートメッセージ(SMS)は「SMS問い合わせ」で受信してください。

iモード問い合わせ設定

お買い上げ時
すべてON

「iモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をiモードメール、メッセージR（リクエスト）、メッセージF（フリー）の中から設定します。

1 メニュー▶各種設定▶**iモード通信設定▶iモード問い合わせ設定▶問い合わせる項目にチェック**



◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・問い合わせます。

□・・・・・・・・問い合わせません。

2 ✉（完了）**を押す**

お知らせ

●お買い上げ時は、「☑メール」、「☑メッセージリクエスト」、「☑メッセージフリー」となっています。メッセージR（リクエスト）やメッセージF（フリー）の配信を希望されない場合は、「□（チェックなし）」にしてご利用ください。

<受信メール>

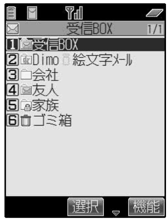
受信したｉモードメールを見る

FOMA端末が通話圏内にあるときには、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。（選択して受信することもできます。P.180参照）

ｉモードメールが届くと画面の上部に「（ピンク）」が表示されます。

1 メニュー ▶ メール ▶ **受信BOX ▶ 表示したいフォルダを選択 ▶**

- 待受画面で（）を押しても「メールメニュー」が表示されます。
- お買い上げ時は「受信BOX」、「Dimo ｉ 絵文字メール」、「ゴミ箱」フォルダのみ選択できます。



<受信フォルダ一覧画面>

2 **表示したいｉモードメールを選択 ▶**

- 未読のｉモードメールを選択した場合は「」が「」に変わります。
- メールが6件以上（1行表示のときは11件以上）ある場合、を押して前後のページを確認できます。



<受信メール一覧画面>



<受信メール詳細画面>

- で他のメールを確認することができます。
- メールの本文が長い場合はで画面をスクロールさせて確認できます。
  また、やを押すと画面単位でスクロールさせることができます。
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。（「開封時メロディ再生設定」で変更することができます。）

ビューアスタイル

1. （機能／メニュー）を1秒以上押す ▶ でメールを選択 ▶
2. で「受信BOX」を選択 ▶
3. で表示したいフォルダを選択 ▶
4. で表示したいｉモードメールを選択 ▶

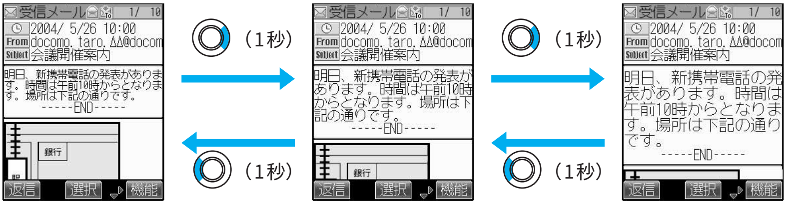
■バックライト

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、ｉモードメールを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します。ただしｉモードメールの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。

（「照明設定」（基本編P.195参照）の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。）

■ｉモードメール表示切替機能

ｉモードメールの詳細画面（本文）を表示しているとき、表示する文字の大きさを変更できます。



縮小表示　標準表示　拡大表示

お知らせ

- 詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。
- 上記の操作により表示を切り替えたときには、「文字サイズ設定」の設定も変更されます。
- ビューアスタイルではこの機能を利用できません。

お知らせ

- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。また、表示できる画像サイズは、横176ドット、縦396ドットまでです。サイズを超えた場合は、縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- パソコンなどからメールを受信すると、Web To、Phone To、AV Phone To、Mail To 機能が使用できない場合があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信フォルダ一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
フォルダ追加	P.228
自動振分設定	P.245
フォルダ名編集	P.228
セキュリティ設定／解除	P.229
フォルダ削除	P.230
保存件数確認	P.237
フォルダ内表示	P.230
既読メール全削除	P.238
受信メール全削除	P.239

操作により実行できない項目があります。

次ページにつづく

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信メール一覧画面を表示中に (i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ移動	P.231
全表示	P.233
ソート	P.233
フィルタ	P.234
一覧表示切替	P.234
全件既読	P.235
保護／保護解除	P.235
保護全解除	P.236
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
FOMAカード操作	P.227
メール情報	P.236
保存件数確認	P.237
ゴミ箱へ捨てる	P.232
1件削除	P.239
選択削除	P.239
既読削除	P.240
SMS report全削除	P.224
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信メール詳細画面を表示中に (i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

返信	P.187
引用返信	P.187
転送	P.188
フォルダ移動	P.231
コピー	P.241
アドレス登録	P.241
電話帳登録	P.242
データ保存	P.189、191、193
本文中画像保存	P.189
貼付URL表示	P.194
デスクトップ貼付	P.243
保護／保護解除	P.235
外部出力	P.243
FOMAカード操作	P.227
スクロール設定	P.250
文字サイズ設定	P.250
ゴミ箱へ捨てる	P.232
削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

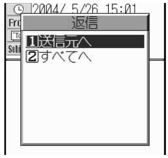
受信したｉモードメールに返信する

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）の送信元に返信することができます。「引用返信」では、受信ｉモードメールの本文を引用して返信できます。ショートメッセージ（SMS）は引用返信することはできません。

1 受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶返信・引用返信

■宛先が複数あるメールに返信（引用返信）する場合は

右のような画面が表示され、送信元のみに返信（引用返信）するか、全ての宛先に返信（引用返信）するかを選択できます。



「送信元へ」または「すべて」を選択し、◉を押します。

以降、手順2から操作を行ってください。

● ✉（返信）を押し、返信することもできます。

2 題名、本文を入力して送信する

P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。
送信すると「✉」が「↩」に変わります。



「返信」の場合

お知らせ

- ショートメッセージ（SMS）には冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。
- 返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「Fm×↩」が表示されます。
- 保存BOXに保存メールが10件ある場合は返信できません。
- 返信または引用返信するｉモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（受信したｉモードメールの題名に「Re:」がついているときは「Re2:」となります。「Re2:」～「Re98:」がついているときは「Re3:」～「Re99:」となります。）
- 引用符（P.254参照）は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。本文のすべての行には付きません。
- ｉモードメールの本文に引用符が追加されて、引用符と本文を合わせて全角文字で5000文字を超えると、文字数が超えていることを伝える表示がされます。その後、本文入力画面が表示され、規定文字数まで文字を削除する必要があります。
- 引用返信するｉモードメールにファイルが添付されているときは、警告音が鳴り「添付ファイルが削除されます」と表示されます。◉を押すとファイルが削除されメール返信画面が表示されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.145参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

<転送>

受信したｉモードメールを転送する

FOMA端末で受信したｉモードメールやショートメッセージ（SMS）を他の人に転送できます。

1 **受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶転送**

2 **宛先を入力して送信する**

P.150、212手順2から操作を行ってメールを作成します。
送信すると「 」が「 」に変わります。



お知らせ

●ショートメッセージ（SMS）には冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。
●保存BOXに保存メールが10件ある場合は、転送できません。
●転送するｉモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（受信したｉモードメールの題名に「Fw:」がついているときは「Fw2:」となります。「Fw2:」～「Fw98:」がついているときは「Fw3:」～「Fw99:」となります。）
●本文を追加、編集し直したり、題名を編集し直すこともできます。受信したｉモードメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて全角5000文字分まで、半角10000文字分まで転送することができます。
●転送するｉモードメールにメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディや画像などが添付（または本文に挿入）されているときは、メロディや画像などが削除される旨の警告画面が表示されます。
　◉を押すとメロディや画像などが削除されメール転送画面が表示されます。
●ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.145参照。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて転送されます。

<画像表示><画像保存>

添付画像を表示・保存する

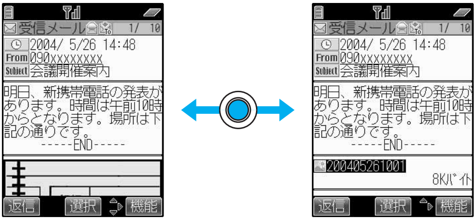
画像表示

P.13

添付されている画像を表示したり、画像のファイル名を表示したりできます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付画像を選択▶◉**

● ◉ を押すごとに、画像表示とファイル名表示が切り替わります。



お知らせ

●デコメールの本文に挿入されている画像は自動的に表示されます。デコメールに添付された画像は自動的には表示されません。
●ｉモードメールからの画像表示とイメージビューアからの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、画像を「ｉモード」フォルダに保存したあとイメージビューアで表示する必要があります。
●本書では、説明のため画像表示ではなくファイル名表示で記載している画面があります。

データ保存

P.13

ｉモードメールに添付された画像を「ｉモード」フォルダ（P.318参照）に保存することができます。保存した画像は待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付画像を選択▶ⓘ（機能）▶データ保存▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。
●待受画面などに設定する場合は、基本編P.187参照。

本文中画像保存

P.13

デコメールの本文に挿入された画像を「ｉモード」フォルダ（P.318参照）に保存することができます。保存した画像は待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶本文中画像保存▶画像を選択▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。
●待受画面などに設定する場合は、基本編P.187参照。

次ページにつづく

■**保存されている画像がいっぱいのとき**

すでに画像が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。

不要な画像を削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、 を押します。

2. 削除したい画像を含むフォルダを選択し、 を押します。

3. 削除したい画像をグレー表示にします。

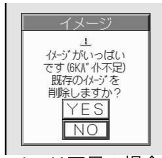
   を押すとグレー表示に切り替わります。

4. (完了)を押します。

   ●ビューアスタイルでは を使用できません。

5. 「YES」を選択し、 を押します。

   ●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。



メモリ不足の場合

<メロディ再生><メロディ保存>

添付メロディを再生・保存する

メロディ再生

P.13

添付または貼り付けられているメロディを再生できます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付または貼り付けメロディを選択▶◉**

お知らせ

●通話中はメロディの演奏ができません。

データ保存

P.13

iモードメールに添付または貼り付けられたメロディを「オリジナル着信音」（P.388参照）に保存できます。保存したメロディは着信音に設定できます。
送信元がFOMA P900iV以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付または貼り付けメロディを選択▶ⓘ（機能）▶データ保存▶YES**

以降、P.70手順3から操作を行って着信音に設定します。
●複数のメロディが添付または貼り付けられているときは、登録するメロディを◎で選択してから操作してください。

お知らせ

●「貼付メロディ設定」を「無効」に設定すると、iモードメール本文に貼り付けられたデータを利用してのメロディ再生／保存は不可となります。
●貼り付けられているメロディが10000バイトを超えているときは、「 」が表示され、再生や保存はできません。
●複数のデータが貼り付けされている場合、「貼付メロディ設定」を「有効」に設定していてもその貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

ｉモーションメールからｉモーションを取り込む

ｉモーション取得

P.13

受信したｉモーションメール中のURLを選択することにより、ｉモーションメールセンターに保管されているｉモーションを取得することができます。

1 (メニュー)▶(メール)▶受信BOX▶表示したいフォルダを選択▶(●)▶ｉモーションメールを選択▶(●)



2 URLを選択▶(●)▶YES

ｉモーション取得が始まります。

- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取り込んだあと自動的にｉモーションが再生されます。
- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取り込み中にｉモーションが再生されます。



3 保存▶YES

- 中止する場合は「NO」を選択し、(●)を押します。
- 保存されているｉモーションがいっぱいのときはP.118参照。

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- ｉモーションのURLは引用返信や転送することができます。
- ｉモーションの取り込み・再生・保存の詳細についてはP.118～120参照。

データ保存

ｉモードメールに貼り付けられた取得済みのｉモーションを「ｉモード」フォルダ（P.356参照）に保存することができます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶取得済みのｉモーションを選択▶ⓘ（機能）▶データ保存▶YES

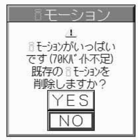
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



■保存されているｉモーションがいっぱいのとき

すでにｉモーションが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要なｉモーションを削除してから保存します。

1.「YES」を選択し、◉を押します。
2. 削除したいｉモーションを含むフォルダを選択し、◉を押します。
3. 削除したいｉモーションをグレー表示にします。
　◉を押すとグレー表示に切り替わります。
4. ✉（完了）を押します。
　●ビューアスタイルでは✉を使用できません。
5.「YES」を選択し、◉を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



メモリ不足の場合

ｉモードメール
ｉモーションメール

貼付URL表示

ｉモードメールに貼り付けられているｉモーションのサイトのURLを表示します。
半角100文字まで表示できます。



1 **受信メール詳細画面▶ｉモーションを選択▶ⓘ（機能）▶貼付URL表示**

- 「」または「」が表示されているときは、URLを表示させることができません。
- 「OK」を選択し、◎を押すと元の画面に戻ります。



ｉモーション自動再生設定

お買い上げ時 自動再生する

P.13

ｉモーション取得後にｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。また、取得中に再生するかどうかも設定します。

（2004年11月末以降は、本機能の設定にかかわらず、「自動再生設定」（P.121参照）の設定に従って動作します。）

1 （メニュー）▶（メール）▶**メール設定**▶**ｉモーション自動再生設定**

自動再生する・・・・・・・・・・取得後または取得中に自動的に再生します。

自動再生しない・・・・・・・・・取得後または取得中に自動的に再生しません。

添付ファイルを受信するかどうかを設定する

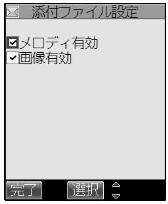
お買い上げ時
すべてON

添付ファイルを受信するかどうかを設定します。添付ファイルの受信については、画像とメロディそれぞれ個別に設定します。

1 (メニュー)▶(メール)▶メール設定▶添付ファイル設定▶受信したい添付ファイルにチェック

(◎)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・受信します。
□・・・・・・・・受信しません。



2 (✉)（完了）を押す

お知らせ

- チェックボックスが「□」に設定されているときに添付ファイルを受信した場合は、ｉモードセンターで添付ファイルが削除されます。
- 「メロディ有効」にチェックを付けていると、メロディを受信できますが、FOMA P900iV以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

<開封時メロディ再生設定>

メロディを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時
自動再生する

P.13

受信メールの本文を表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうか設定します。

1 メニュー ▶ メール ▶ **メール設定** ▶ **開封時メロディ再生設定**

自動再生する ･･････････メロディを自動再生します。
自動再生しない ････････メロディを自動再生しません。

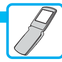
お知らせ

●「自動再生する」に設定していても、FOMA P900iV以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜ｉモードメール設定＞

ｉモードメールのアドレスや受信拒否などを設定する

メールアドレスを変更する

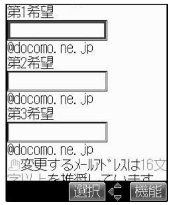


「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、@マークより前の部分（下線部分）をお客様のお好みのメールアドレスに変更することができます。なお、変更可能部分で、半角英数字および「_」（アンダーバー）、「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）の記号にて、3字以上30字まで（先頭は英字）で設定することができます。

変更時にはなるべく桁数を増やし、英字と数字の組み合わせにより、簡単に想定できないアドレスにされることをおすすめします。

1 メニュー ▶ iモード ▶ ｉMenu ▶ オプション設定 ▶ メール設定 ▶ アドレス変更

2 「第1希望」のテキストボックスを選択 ▶ ◎ ▶ 第1希望のメールアドレスを入力 ▶ ◎





@マーク以降の変更はできません。

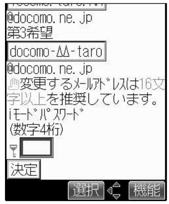
- 文字の入力方法については基本編P.314参照。
- 半角英字・数字、「_」、「.」、「-」の記号をご利用いただけますが、先頭文字は必ず英字で入力してください。また、「.」をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定すると一部のプロバイダからメールを送受信できない場合があります。
- 英字を入力する場合、大文字・小文字の区別はありません。
- 入力できるのは3字以上30字までです。
- スペース（空白）はご利用になれません。

3 同様の手順で第2希望、第3希望のメールアドレスを入力する



第2希望、第3希望が不要の場合は、手順4へ進みます。

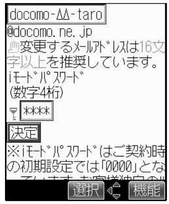
4 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◎▶ｉモードパスワードを入力▶◎





●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

5 決定





変更となったメールアドレスが表示されますと変更が完了です。
●変更が完了しますと、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれ、変更前のメールアドレスではメールが届かなくなり送信者には宛先不明のエラーメッセージが返送されますのでご注意ください。
●ｉモードメールアドレス変更前にｉモードセンターに保管されたメールは、メールアドレス変更後も受信可能です。

お知らせ

●メールアドレスを変更すると、変更前に利用していたメールアドレスを再び使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。
●メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更するときは「アドレスリセット」を行ってください。
●movaサービスでｉモードをご利用いただいていた場合、メールアドレスはそのままご利用になれます。

メールアドレスを確認する

P.13

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

1 メニュー▶iモード▶ i Menu▶オプション設定▶メール設定▶アドレス確認



シークレットコードを登録する

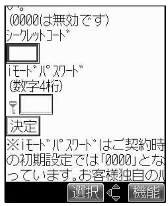
「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレス利用時に、あらかじめ登録されたシークレットコード（数字4桁）がついたメール以外を受信せず、送信者には宛先不明のエラーとして返信します。そのため不要なメールの受信を避けることができます。シークレットコード登録後のメール送信時にはシークレットコード部分は隠されるため、送信先にシークレットコードが表示されることはありません。

※シークレットコードは、メールアドレスが電話番号の時のみ、登録可能です。
　メール設定画面にて、「アドレスリセット」を行ってから、再度登録してください。

1 メニュー▶iモード▶ i Menu▶オプション設定▶メール設定▶その他設定（メールアドレス設定）▶シークレットコード登録

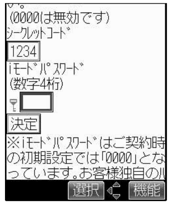
2 シークレットコードのテキストボックスを選択▶◉▶シークレットコードを入力▶◉

- 入力モードは「数字」入力モードになっています。
- シークレットコードは数字4桁で設定してください。
- 「0000」は設定できません。
- メールの送信時にはシークレットコード部分は隠されていますので、受信者はそのまま返信メールを差出人に送ることができません。





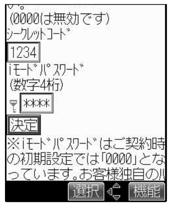
3 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◎▶ｉモードパスワードを入力▶◎

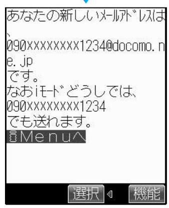




●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードはご契約時には「００００」となっています。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

4 決定





新しいメールアドレスが表示されます。
電話番号以下の4桁の数字がお客様の設定されたシークレットコードとなります。
●変更が完了しますと、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれ、変更前のメールアドレスではメールが届かなくなり送信者には宛先不明のエラーメッセージが返送されますのでご注意ください。
●シークレットコード登録前にｉモードセンターに保管されたメールは、シークレットコード登録後も受信可能です。

お知らせ

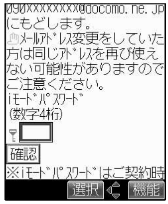
●シークレットコード登録を取り消す場合は、「アドレスリセット」を行ってください。
●ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
●シークレットコード登録を行っていてもショートメッセージ（SMS）は受信できます。

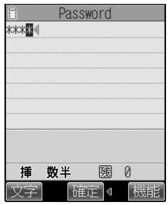
電話番号をメールアドレスにする

メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更する場合にご利用いただけます。
※アドレスリセットを行いますと、それまで利用していたメールアドレスを再び使えない可能性がありますのでご注意ください。

1 （メニュー）▶（iモード）▶ｉMenu▶オプション設定▶メール設定▶その他設定（メールアドレス設定）▶アドレスリセット

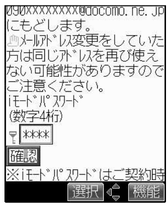
2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶（決定）▶ｉモードパスワードを入力▶（決定）

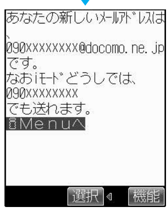




●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

3 確認





確認画面が表示されますと、アドレスリセット完了です。
●変更が完了しますと、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれ、変更前のメールアドレスではメールが届かなくなり送信者には宛先不明のエラーメッセージが返送されますのでご注意ください。
●アドレスリセット前にｉモードセンターに保管されたメールは、アドレスリセット後も受信可能です。

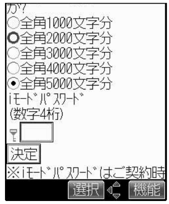
受信するｉモードメールのサイズを制限する

ｉモードメールを受信する際、受信する本文のデータサイズを制限することができます。

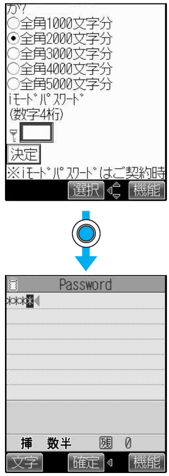
1 (メニュー)▶(ｉモード)▶ｉMenu▶オプション設定▶メール設定▶メールサイズ制限▶受信を制限するサイズを選択▶◎

◎を押すと「⦿」に替わります。

●初期設定では、「全角5000文字分」となっています。

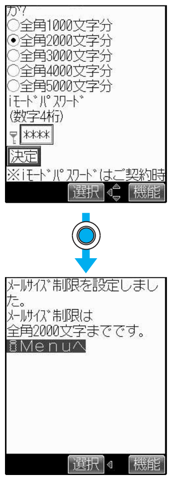


2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◎▶ｉモードパスワードを入力▶◎



●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

3 決定



確認画面が表示され、メールサイズ制限が設定されます。

お知らせ

- ●設定された文字数を超えた場合は、ｉモードセンターで本文の最後に「/」か「//」を入れて、超えた部分のメールを削除します。削除された部分を見ることはできません。
- ●受信したメールの本文が設定された文字数を超えた場合、ｉモードメール本文に貼り付けられたメロディデータ、ｉアプリデータ、ｉモーションデータはｉモードセンターで削除されます。また、受信したメールに貼り付けられているデータの容量が設定された文字数分の容量を超えた場合も削除されます。

ｉモードメールの受信を拒否する

メールの受信拒否を行うと、メールの受信を拒否することができます。

未承諾広告※メール拒否

- **メールの表題部の最前部に未承諾広告※と記載されているメールを受信／拒否できます。受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否することができます。<u>初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。</u>（送信者はメール件名欄の最前列に「未承諾広告※（全角6文字）」と記載することが法律で義務づけられています。）**
  - ●詳細については、『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
  - ●設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限

- **一日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。<u>初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者のメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。</u>**
  - ●詳細については、『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモードメールのみ受信／拒否

- **ｉモード携帯電話からのメールだけを受信する（インターネット経由のメールを拒否）**
- **ｉモード携帯電話からのメールは受信しない（ｉモード間のメールを拒否）**

アドレス指定受信／拒否

- **指定のメールアドレスからのメールだけを受信する**
- **指定のメールアドレスからのメールは受信しない**

ドメイン指定受信

- **ｉモード、他携帯電話、PHS（PHSはドコモのパルディオEメールとアステルグループを除く）からのメールと指定するドメインからのメールを受信する**
  - ●他社携帯電話、PHSについては、受信しないように個別に設定できます。
  - ●ドメインとは、□□□□@<u>△△△.ne.jp</u> の下線部のような、メールアドレスの@（アットマーク）よりうしろの部分のことです。

ｉモードメールのみ受信／拒否

1 **（メニュー）▶（iモード）▶ｉMenu▶オプション設定▶メール設定▶受信／拒否設定▶ｉモードメールのみ受信・ｉモードメールのみ拒否▶次へ**

（決定キー）を押すと「◉」に替わります。

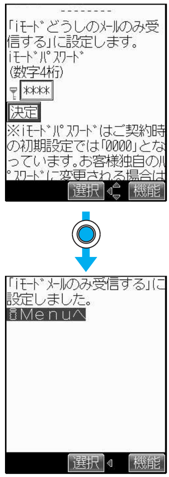


2 **ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◉▶ｉモードパスワードを入力▶◉**



●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

3 **決定**



確認画面が表示されましたら、設定完了です。
●設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

お知らせ

●設定が完了しますと、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージとともにメールが返送されます。
●「ｉモードメールのみ受信／拒否」「アドレス指定受信／拒否」「ドメイン指定受信」は同時にはご利用になれません。「未承諾広告※メール拒否」は同時にご利用いただけます。
●「ｉモードメールのみ受信」に設定すると、NTTドコモの一定額到達通知サービス、eビリング請求額お知らせメールが受信できなくなります。
●「ｉモードメールのみ拒否」を設定した場合にも、「ｉモードメールplus」の「フレンドメール12」からのメールは受信します。

次ページにつづく

アドレス指定受信／拒否

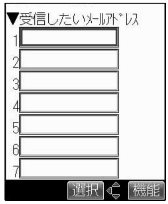
1 (メニュー)▶(iモード)▶**iMenu▶オプション設定▶メール設定▶受信／拒否設定▶アドレス指定受信・アドレス指定拒否▶次へ**

(決定)を押すと「(選択)」に替わります。



2 **指定メールアドレスのテキストボックスを選択▶(決定)▶指定するメールアドレスを入力▶(決定)▶登録**

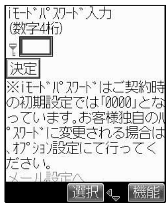
●「リストをクリア」を選択し、(決定)を押すと指定したアドレスをクリアできます。



●文字の入力方法については基本編P.314参照。



3 **iモードパスワードのテキストボックスを選択▶(決定)▶iモードパスワードを入力▶(決定)**



●入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。
●iモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●iモードパスワードについてはP.35参照。



4 決定



確認画面が表示されましたら、設定完了です。

●設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

お知らせ

●ｉモード対応携帯電話どうしの際は、@より後ろの記入の必要はありません。

●日本語のアドレスやドメインは設定できません。

●「ｉモードメールのみ受信／拒否」「アドレス指定受信／拒否」「ドメイン指定受信」は同時にはご利用になれません。「未承諾広告※メール拒否」は同時にご利用いただけます。

●設定が完了しますと、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージとともにメールが返送されます。

●メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用している場合は、アドレス指定受信の設定にともないメールが届かなくなりますので、メールアドレスの設定を行ってください。

●ｉモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合がありますので、これらのメールを受信するために、各サイトのメールアドレスなどを事前に指定してご利用ください。

●ショートメッセージ（SMS）の受信拒否は設定できません。

ドメイン指定受信

1 (メニュー)▶(iモード)▶ｉMenu▶オプション設定▶メール設定▶受信／拒否設定▶ドメイン指定受信▶次へ

(決定キー)を押すと「◉」に替わります。



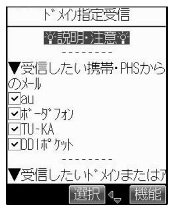
2 受信したい他社携帯電話、PHSにチェック

(決定キー)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑‥‥‥‥受信します。

□‥‥‥‥受信しません。

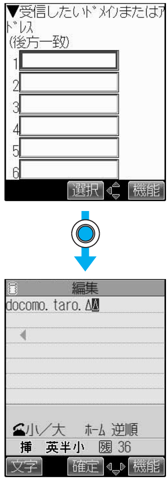
●受信したいドメインまたはメールアドレスを指定しない場合は、「登録」を選択し、(決定キー)を押して手順4へ進みます。



次ページにつづく

3 **受信したいドメインまたはアドレスのテキストボックスを選択▶◎▶受信したいドメインやメールアドレスを入力▶◎▶登録**

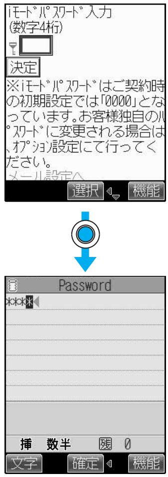
●「リストをクリア」を選択し、◎を押すと指定したアドレスをクリアできます。



●ドメインを入力する場合は、メールアドレスの@マークより後ろの部分を入力します。

●文字の入力方法については基本編P.314参照。

4 **iモードパスワードのテキストボックスを選択▶◎▶iモードパスワードを入力▶◎**

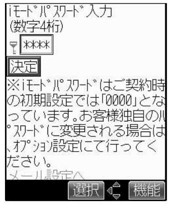


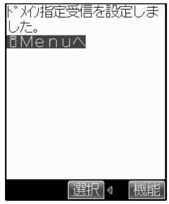
●入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。

●iモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。

●iモードパスワードについてはP.35参照。

5 決定





確認画面が表示されましたら、設定完了です。
●設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

お知らせ

●日本語のアドレスやドメインは設定できません。
●「ｉモードメールのみ受信／拒否」「アドレス指定受信／拒否」「ドメイン指定受信」は同時にはご利用になれません。「未承諾広告※メール拒否」は同時にご利用いただけます。
●ドメイン指定した場合は、NTTドコモのｉモード・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメールはすべて受信しますので、「docomo.ne.jp」のドメインを指定する必要はありません。上記のドメインを指定すると、ｉモード対応携帯電話から送信したようにみえる迷惑メールが届いてしまいます。
●ドメインを指定した場合は、指定したドメインで終わるメールのみ受信します。
●設定が完了しますと、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージとともにメールが返送されます。
●メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用している場合は、ドメイン指定受信の設定にともないメールが届かなくなりますので、メールアドレスやドメインの設定を行ってください。
●ｉモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合がありますので、これらのメールを受信するために、各サイトのドメインやメールアドレスなどを事前に指定してご利用ください。
●ショートメッセージ（SMS）の受信拒否は設定できません。

現在の拒否設定を確認する

P.13

現在設定されているメール拒否などの設定状況を確認できます。

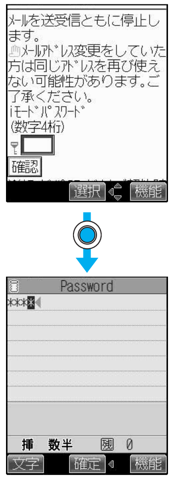
1 (メニュー) ▶ iモード ▶ **ｉMenu ▶ オプション設定 ▶ メール設定 ▶ 設定状況確認**

iモードメール機能を停止する

iモードではメール機能を利用されない場合、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。メール機能を停止した場合、メールの送信者には宛先不明のエラーメッセージが返送されます。

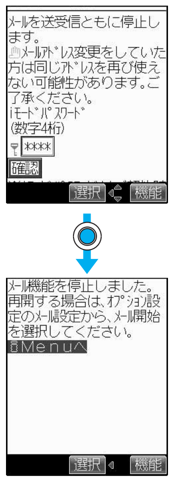
1 (メニュー) ▶ (iモード) ▶ **iMenu▶オプション設定▶メール設定▶メール機能停止**

2 **iモードパスワードのテキストボックスを選択▶◉▶iモードパスワードを入力▶◉**



●入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。
●iモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
●iモードパスワードについてはP.35参照。

3 **確認**



確認画面が表示されますと、メール機能停止完了です。
●設定が完了しますと、すぐにメール機能が停止します。
●メール機能停止設定中はメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが返信されますので、ご注意ください。

お知らせ

- ●メール機能停止前にｉモードセンターで保管されたｉモードメールはそのまま保管されますので（受信時から30日間（720時間））「ｉモード問い合わせ」にて受信してください。
- ●メール機能停止中は、ｉモードセンターにて新しいメールの保管は行いません。
- ●メール機能停止中にメールの送信や「ｉモード問い合わせ」を行った場合、センターとの通信を行うため、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- ●メール機能を停止されますと、メール再開時に停止前に利用されていたメールアドレスを再び使えない可能性があります。

メール機能を再開するには

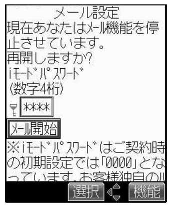
メール機能を停止したあと再びメール機能を使用したいときは、メール機能の再開を行います。メール機能再開をした直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」となっています。

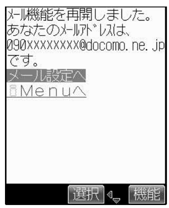
1 (メニュー) ▶ (ｉモード) ▶ **ｉMenu▶オプション設定▶メール設定**

2 **ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◎**
▶ｉモードパスワードを入力▶◎

- ●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ●ｉモードパスワードはご契約時には「0000」となっています。
- ●ｉモードパスワードについてはP.35参照。

3 **メール開始**





確認画面が表示され、メール機能が再開します。

お知らせ

- ●メール拒否の設定については、メール機能停止前の設定のままとなっています。

＜SMS作成＞

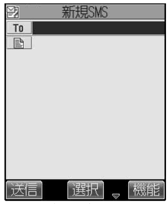
ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

新しくショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。
（ショートメッセージ（SMS）は、相手がFOMA端末の場合のみ送信できます。）

＜作成例＞
●宛先：090XXXXXXXX

1 (メニュー) ▶ (メール) ▶ SMS作成

●保存BOXに保存メールが10件あると、ショートメッセージ（SMS）を作成できません。保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
●待受画面で (✉)（ ）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



＜ショートメッセージ（SMS）作成画面＞

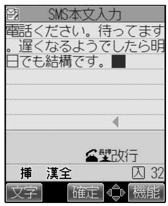
2 宛先欄を選択 ▶ ◉ ▶ 相手の電話番号を入力 ▶ ◉

宛先は1件しか指定できません。
●宛先を電話帳や履歴から呼び出す場合はP.153参照。



3 本文欄を選択 ▶ ◉ ▶ 本文を入力 ▶ ◉

●本文は70文字（半角の英数字だけなら160文字）まで送信できます。
●全角80文字まで、半角160文字まで入力できますが、送信できるのは全角文字で70文字、半角の英数字や記号（｡｢ ｣{ } [ ] | 、･ - ﾞ ﾟ ^ ` ~ を除く）のみでは160文字までです。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



4 (✉)（送信）を押す

●(i)（機能）を押して機能メニューから「送信」を選択し、◉ を押しても送信できます。

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。



5 OK



SMS作成 ショートメッセージ（SMS）

お知らせ

- ●電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- ●FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- ●送信を行わずに クリア または HLD を押すと、「内容を破棄して編集を終了します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 ● を押すとそれまで入力した文字は消去されます。「NO」を選択し、 ● を押すと元の画面に戻ります。
- ●宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているメールをショートメッセージ（SMS）として送信しようとした場合、「発番号設定を削除して送信します よろしいですか？」と表示されます。「YES」を選択し、 ● を押すと、「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択し、 ● を押すと元の画面に戻ります。
- ●「発信者番号通知設定」（基本編P.301参照）を「通知しない」に設定していても、ショートメッセージ（SMS）を送信した相手には発信者番号が通知されます。
- ●宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- ●本文編集中に改行することができます。改行は全角1文字としてカウントされます。
- ●スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ショートメッセージ（SMS）作成画面を表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
送信	P.212
送信プレビュー	本ページ参照
保存	P.217
宛先参照入力	P.153
SMS report設定	P.225
SMS有効期間設定	P.225
本文消去	P.156
SMS削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

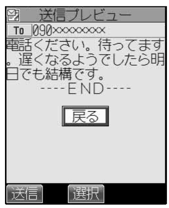
送信プレビュー

送信する前に宛先、本文の内容を確認できます。

1 **ショートメッセージ（SMS）作成画面▶ i （機能）▶送信プレビュー**

確認が終われば ● を押します。

● ✉ （送信）を押すとメールを送信することができます。



SMS削除

編集中のショートメッセージ（SMS）を削除できます。

1 **ショートメッセージ（SMS）作成画面▶ i （機能）▶SMS削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 ● を押します。

送信／未送信ショートメッセージ（SMS）を見る

送信したショートメッセージ（SMS）はｉモードメールと合わせて最大400件まで保存されます。送信したショートメッセージ（SMS）を確認できます。

1 **(メニュー) ▶ (メール) ▶ 送信BOX ▶ 表示したいフォルダを選択 ▶ (●)**

●待受画面で (✉) (■) を押しても「メールメニュー」が表示されます。



＜送信フォルダ一覧画面＞

2 **表示したいショートメッセージ（SMS）を選択 ▶ (●)**

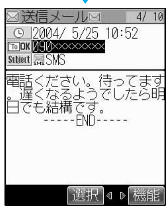
●メールが6件以上（1行表示のときは11件以上）ある場合、(◎) を押して前後のページを確認できます。



＜送信メール一覧画面＞

●(◎) で他のメールを確認することができます。

●メールの本文が長い場合は (◎) で画面をスクロールさせて確認できます。
また、(▼) や (▲) を押すと画面単位でスクロールさせることができます。



＜送信メール詳細画面＞

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信フォルダ一覧画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信メール一覧画面を表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ移動	P.231
全表示	P.233
ソート	P.233
フィルタ	P.234
一覧表示切替	P.234
保護／保護解除	P.235
保護全解除	P.236
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
FOMAカード操作	P.227
保存件数確認	P.237
1件削除	P.239
選択削除	P.239
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信メール詳細画面を表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

再編集	P.216
フォルダ移動	P.231
コピー	P.241
アドレス登録	P.241
電話帳登録	P.242
データ保存	P.189、191、193
本文中画像保存	P.189
デスクトップ貼付	P.243
保護／保護解除	P.235
外部出力	P.243
FOMAカード操作	P.227
SMS report表示	P.216
スクロール設定	P.250
文字サイズ設定	P.250
削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

送信したショートメッセージ（SMS）を編集・送信する

送信したショートメッセージ（SMS）を再編集して送信することができます。

1 **送信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶再編集**

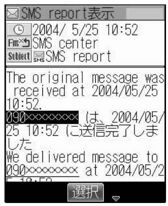
以降、P.212手順2から操作を行ってメールを作成します。

送信したショートメッセージ（SMS）の送信結果を確認する

P.13

送信したショートメッセージ（SMS）の送信結果や相手に届いた日時などを確認することができます。
SMS reportを受信するには、「SMS report設定」を「要求する」に設定してください。

1 **送信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶SMS report表示**



お知らせ

●選択しているメールに対応するSMS reportがない場合は、この機能は利用できません。
●「SMS report設定」を「要求する」に設定していても、メールが送信できなかった（相手に届かなかった）場合は、SMS reportは付きません。

＜保存メール＞

作成中のショートメッセージ（SMS）を保存しておき、あとで送信する

ショートメッセージ（SMS）を保存する

作成中や編集中のメールを保存BOXに保存できます。

1 **ショートメッセージ（SMS）作成画面▶ⓘ（機能）▶保存**

●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。

保存したショートメッセージ（SMS）を編集・送信する

送信せずに保存してあるショートメッセージ（SMS）を編集して送信できます。
ｉモードメールと合わせて10件まで保存できます。

1 **（メニュー）▶（メール）▶保存BOX**

●待受画面で（✉）を押しても「メールメニュー」が表示されます。



＜保存メール一覧画面＞

2 **編集したいショートメッセージ（SMS）を選択▶◉**

以降、P.212手順2から操作を行ってメールを作成します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

保存メール一覧画面を表示中にⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
一覧表示切替	P.234
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
保存件数確認	P.237
1件削除	P.239
選択削除	P.239
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

＜SMS受信＞
ショートメッセージ（SMS）を自動的に受信する

受信したショートメッセージ（SMS）は、ｉモードメールと合わせて最大1000件保存できます。
「着信音選択」（基本編P.179参照）でショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音をお好みの音に設定したり、「着信イルミネーション」（基本編P.170参照）でショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信／充電ランプの点滅パターンを変更したりすることができます。

1 ショートメッセージ（SMS）を受信すると「 （ピンク）」のアイコンが点灯し、「メール受信中･･･」と表示される



受信が終わると、受信したショートメッセージ（SMS）の件数が表示されます。
●「メール」を選択して を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。



何も操作しないで15秒経過すると元の画面に戻ります。
（「ｉモード鳴動時間」の設定により、秒数は異なります。）
●デスクトップに「 メール 」が表示されます。
を押して「 メール 」を選択し、 を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。



待受画面の場合

お知らせ

- FOMA端末に保存されている受信メール（ショートメッセージ（SMS）とｉモードメールの合計）が1000件を超えたときなど、受信メールの最大保存件数を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール②古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信することができず、「（グレー）」が表示されます。ショートメッセージ（SMS）を受信できるようにするには、「（グレー）」が消えるまでFOMA端末に保存されている受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護解除を行い、「SMS問い合わせ」を行ってください。
- ショートメッセージ(SMS)を受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです。
  ①電話番号ごとの設定（基本編P.182参照）
  ②グループごとの設定（基本編P.183参照）
  ③着信音選択（基本編P.179参照）、着信イルミネーション（基本編P.170参照）
- 複数のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）を同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）に設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにショートメッセージ（SMS）を受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。（P.252参照）
- FOMA端末を閉じているときにショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、プライベートウィンドウに表示されます。



- ｉモーションの再生中にショートメッセージ（SMS）を受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

＜SMS問い合わせ＞

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

ショートメッセージセンターに届いたショートメッセージ（SMS）は自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはショートメッセージセンターに保管されます。
ショートメッセージセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 メニュー▶メール▶**SMS問い合わせ**

センターにショートメッセージ（SMS）が保管されていれば、自動的に受信されます。



2 ◉**を押す**



お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにショートメッセージ（SMS）が届かない場合があります。
- 圏外のときは問い合わせできません。
- 「 （グレー）」「 」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ショートメッセージ（SMS）を受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。）
- 本機能でｉモードメールやメッセージ（R/F）を受信することはできません。ｉモードメールやメッセージ（R/F）を受信するには、「ｉモード問い合わせ」で受信してください。

<受信メール>

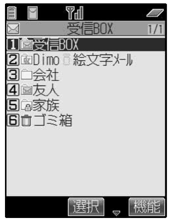
受信したショートメッセージ（SMS）を見る

P.13

FOMA端末が通話圏内にあるときには、ショートメッセージセンターから自動的にショートメッセージ（SMS）やSMS reportが送られてきます。
ショートメッセージ（SMS）が届くと画面の上部に「 （ピンク）」が表示されます。

1 メニュー ▶ メール ▶ 受信BOX ▶ 表示したいフォルダを選択 ▶ ◎

●待受画面で ✉（ ）を押しても「メールメニュー」が表示されます。
●お買い上げ時は「受信BOX」、「Dimo i 絵文字メール」、「ゴミ箱」フォルダのみ選択できます。



<受信フォルダ一覧画面>

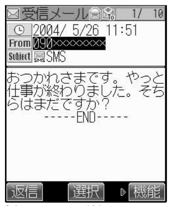
2 表示したいショートメッセージ（SMS）を選択 ▶ ◎

●未読のショートメッセージ（SMS）を選択した場合は「 」が「 」に変わります。
●メールが6件以上（1行表示のときは11件以上）ある場合、 を押して前後のページを確認できます。



<受信メール一覧画面>

● で他のメールを確認することができます。
●メールの本文が長い場合は、 、 や で画面をスクロールさせて確認できます。



<受信メール詳細画面>

ビューアスタイル

1 （機能／メニュー）を1秒以上押す ▶ で メール を選択 ▶ ◎
2 で「受信BOX」を選択 ▶ ◎
3 で表示したいフォルダを選択 ▶ ◎
4 で表示したいショートメッセージ（SMS）を選択 ▶ ◎

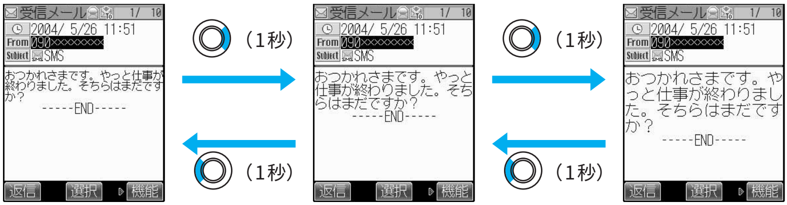
次ページにつづく

■バックライト

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、ショートメッセージ(SMS)を送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します。
(「照明設定」(基本編P.195参照)の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。)

■ショートメッセージ(SMS)表示切替機能

ショートメッセージ(SMS)の詳細画面(本文)を表示しているとき、表示する文字の大きさを変更できます。



縮小表示　標準表示　拡大表示

お知らせ

- ●詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。
- ●上記の操作により表示を切り替えたときには、「文字サイズ設定」の設定も変更されます。
- ●ビューアスタイルではこの機能を利用できません。

お知らせ

- ●受信したショートメッセージ(SMS)に半角の英数字や記号(。「」 {} [] |、・ - ゛゜ ^ ` ~を除く)以外のロシア文字、ギリシャ文字、記号、または区点コード一覧表(基本編P.350参照)にない全角文字が含まれている場合はスペースで表示されます。
- ●表示したショートメッセージ(SMS)の送信元(電話番号)を反転表示した状態で◉を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。(Phone To 機能)
  また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- ●SMS reportは、SMS report設定で要求するように設定した場合のみ送られてきます。
  また、送信メールの「送信したショートメッセージ(SMS)の送信結果を確認する」(P.216参照)で確認することもできます。
- ●FOMA端末では、ショートメールをショートメッセージ(SMS)として受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、送信元に通知されない理由が表示されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信フォルダ一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ追加	P.228
自動振分設定	P.245
フォルダ名編集	P.228
セキュリティ設定／解除	P.229
フォルダ削除	P.230
保存件数確認	P.237
フォルダ内表示	P.230
既読メール全削除	P.238
受信メール全削除	P.239

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信メール一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ移動	P.231
全表示	P.233
ソート	P.233
フィルタ	P.234
一覧表示切替	P.234
全件既読	P.235
保護／保護解除	P.235
保護全解除	P.236
赤外線送信	P.402
SDカードへエクスポート	P.410
FOMAカード操作	P.227
メール情報	P.236
保存件数確認	P.237
ゴミ箱へ捨てる	P.232
1件削除	P.239
選択削除	P.239
既読削除	P.240
SMS report全削除	P.224
全削除	P.240

操作により実行できない項目があります。

SMS report全削除

「受信BOX」フォルダ内のSMS reportを全て削除します。

1 **受信メール一覧画面▶ (i) (機能) ▶SMS report全削除▶端末暗証番号を入力▶ (●) ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(●) を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●保護されているSMS reportは削除されません。
●フィルタ機能でSMS reportを表示させたあとに「SMS report全削除」を行うと、表示されているSMS reportのみ削除されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信メール詳細画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

ショートメッセージ（SMS）の設定を行う

SMS report設定

お買い上げ時
要求しない

ショートメッセージ（SMS）の送信時に、SMSレポート（送達通知）を要求するかどうかを設定します。
SMSレポートとは、ショートメッセージ（SMS）が相手に届いたことをお知らせするメールです。

1 (メニュー) ▶ (メール) ▶ **メール設定 ▶ SMS report設定**

要求する ……ショートメッセージ（SMS）が相手に届いたことをお知らせします。
要求しない ….ショートメッセージ（SMS）が相手に届いたことをお知らせしません。
●ショートメッセージ（SMS）作成中は、(i)（機能）を押して「SMS report設定」を選択します。

お知らせ

●受信したSMS reportは「受信BOX」フォルダで確認できます。
●ショートメッセージ（SMS）作成中に機能メニューの「SMS report設定」で設定することもできます。

SMS有効期間設定

お買い上げ時
3日

ショートメッセージ（SMS）がショートメッセージセンターに保存される期間を設定します。

1 (メニュー) ▶ (メール) ▶ **メール設定 ▶ SMS有効期間設定**

0日 ……ショートメッセージセンターに保存しません。
1日 ……1日間ショートメッセージセンターに保存します。
2日 ……2日間ショートメッセージセンターに保存します。
3日 ……3日間ショートメッセージセンターに保存します。
●ショートメッセージ（SMS）作成中は、(i)（機能）を押して「SMS有効期間設定」を選択します。

お知らせ

●ショートメッセージ（SMS）作成中に機能メニューの「SMS有効期間設定」で設定することもできます。

SMS center設定

お買い上げ時
ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ショートメッセージセンターのアドレスと「Type of Number」の設定をします。
現在ご利用されているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 **メニュー ▶ 各種設定 ▶ iモード通信設定 ▶ SMS center設定 ▶ ユーザ設定 ▶ アドレスを入力 ▶ ◉**

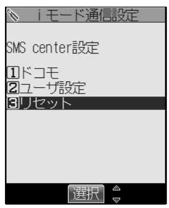


●半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

2 **International・Unknown**

■ユーザー設定をリセットするには

1. 上記手順1で「リセット」を選択し、◉を押します。
2. 端末暗証番号を入力し、◉を押します。
3. 「YES」を選択し、◉を押します。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



お知らせ

●リセットした場合は、接続先は「ドコモ」になります。

ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存する

P.13

受信または送信したショートメッセージ（SMS）をFOMA端末からFOMAカードへ、FOMAカードからFOMA端末へ移動したりコピーしたりすることができます。
FOMAカードには受信メールと送信メールを合わせて20件まで保存できます。

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶FOMAカード操作

FOMAカードへ移動･････FOMA端末内のショートメッセージ（SMS）をFOMAカードへ移動します。
FOMAカードへコピー･･･FOMA端末内のショートメッセージ（SMS）をFOMAカードへコピーします。
FOMAカードから移動･･･FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）をFOMA端末へ移動します。
FOMAカードからコピー･FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）をFOMA端末へコピーします。

2 YES

「SMS」はFOMA端末内のショートメッセージ（SMS）を表します。
「 」はFOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



＜FOMAカードへ
コピーした場合＞

お知らせ

●FOMAカードへ移動またはコピーしたショートメッセージ（SMS）は保護できません。保護されているショートメッセージ（SMS）をFOMAカードへ移動もしくはコピーした場合、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）は保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
●すでにFOMAカードに20件のショートメッセージ（SMS）が保存されている場合は、FOMAカードへ移動やコピーはできません。
●すでにFOMA端末にｉモードメールやショートメッセージ（SMS）が最大保存件数まで保存されている場合は、FOMA端末へ移動やコピーはできません。
●追加したフォルダや「ゴミ箱」フォルダ内のショートメッセージ（SMS）をFOMA端末からFOMAカードへ移動もしくはコピーした場合は、「受信BOX」フォルダで確認できます。
●FOMAカードからFOMA端末へ移動もしくはコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動もしくはコピーされます。

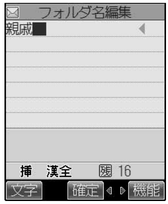
メールを管理する

フォルダ追加

受信フォルダ一覧に新規フォルダを追加します。フォルダを追加すると、「自動振分け設定」で設定したメールアドレスや電話番号からのメールを自動的に指定のフォルダに保存できます。
「受信BOX」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ・ｉアプリメール用フォルダ以外に23件までフォルダを追加することができます。

1 受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力▶◉

- 全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
- 文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

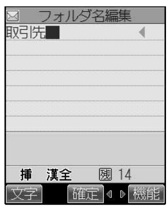
- 送信フォルダ一覧には、上記の手順でフォルダを追加することはできません。ただし、メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、ｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。

フォルダ名編集

選択しているフォルダ名を編集します。

1 受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ名編集▶フォルダ名を編集▶◉

- 全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
- 文字の入力方法については基本編P.314参照。



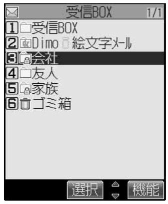
お知らせ

- 「受信BOX」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ・ｉアプリメール用フォルダのフォルダ名は編集できません。

セキュリティ設定／解除

選択しているフォルダを人に見られないように、セキュリティ設定をします。
すでにセキュリティ設定しているフォルダを選択した場合は、設定を解除できます。

1 送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面 ▶ i（機能）▶ セキュリティ設定／解除 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ◉ ▶ YES



セキュリティ設定したフォルダが「🔒」に変わります。

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

■セキュリティ設定されたフォルダ内を表示するときは

セキュリティ設定されたフォルダ内を表示するには、端末暗証番号の入力が必要になります。

1. 表示したいフォルダを選択し、◉ を押します。
2. 端末暗証番号を入力し、◉ を押します。
   ●端末暗証番号については基本編P.208参照。

フォルダ内が表示されます。

お知らせ

●メールメニュー内の受信BOXや送信BOXがセキュリティ設定（P.252参照）されている場合、受信フォルダ一覧画面や送信フォルダ一覧画面を表示するときに端末暗証番号の入力をするので、セキュリティ設定されたフォルダ内を表示するときには、端末暗証番号を入力する必要はありません。

お知らせ

●セキュリティ設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

フォルダ削除

選択しているフォルダを削除します。フォルダ内のメールもすべて削除されます。

1 **送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

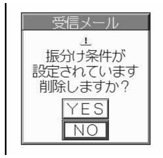
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

■「自動振分設定」が設定されている場合

フォルダに「自動振分設定」が設定されているときは、右の画面が表示されます。

1.「YES」を選択し、◎を押します。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。



お知らせ

●削除したフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

お知らせ

●フォルダ内のメールが保護されているときやセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはセキュリティを解除してから削除してください。
●対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

フォルダ内表示

P.13

選択しているフォルダ内にあるメールを表示します。ｉアプリ用メールフォルダを「フォルダ内表示」すると、メール連動型ｉアプリを起動することなく、フォルダ内のメールを表示することができます。

1 **送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ内表示**

フォルダ移動

P.13

受信メールまたは送信メールを選択して、別のフォルダに移動することができます。

1 **送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶フォルダ移動▶移動先のフォルダを選択▶◉**

■送信メール一覧画面・受信メール一覧画面の場合

1. 移動したいメールにチェックをつけます。
   ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
   ☑ ……移動します。
   □ ……移動しません。
   - ⓘ（機能）を押して「全選択」を選択し、◉を押すとすべてのメールにチェックが付きます。「全選択解除」を選択し、◉を押すとすべてのチェックが外れます。
   - ⓘ（機能）を押して「一覧表示切替」を選択し、◉を押すと、名前表示とメールアドレス（電話番号）表示を切り替えることができます。



2. ✉（完了）を押して「YES」を選択し、◉を押します。
   - ビューアスタイルでは✉を使用できません。
   - 中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

- FOMAカードに保存されているショートメッセージ（SMS）やSMS reportはフォルダ移動できません。

ゴミ箱へ捨てる

P.13

メールを選択して、「ゴミ箱」フォルダに移動することができます。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶ゴミ箱へ捨てる

2 YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■受信メール一覧画面の場合

1. ゴミ箱に捨てたいメールにチェックをつけます。
   ◉を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。
   ☑……ゴミ箱に捨てます。
   ☐……ゴミ箱に捨てません。
   ●ⓘ（機能）を押して「全選択」を選択し、◉を押すとすべてのメールにチェックが付きます。「全選択解除」を選択し、◉を押すとすべてのチェックが外れます。
   ●ⓘ（機能）を押して「一覧表示切替」を選択し、◉を押したあと、名前表示とメールアドレス（電話番号）表示を切り替えることができます。



2. ✉（完了）を押して「YES」を選択し、◉を押します。
   ●ビューアスタイルでは✉を使用できません。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●保護されたメール、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）、SMS reportはゴミ箱に捨てることはできません。
●未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。
●フィルタ機能でメールを表示させたあとに「ゴミ箱に捨てる」を行うと、表示されているメールのみゴミ箱に移動します。

全表示

ソート機能やフィルタ機能を行ったあと、全てのメールを表示したいときに使います。
実行後は、「新しい順」で表示されます。

1 **送信メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶全表示**

ソート

受信メール一覧または送信メール一覧画面で表示されるメールの順番を変更します。

1 **送信メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶ソート**

新しい順・・・・・・・・・・・・・・・日付・時刻の新しい順に並べ替えます。
古い順・・・・・・・・・・・・・・・・日付・時刻の古い順に並べ替えます。
アドレス順（昇順）・・・・・・宛先または送信元のアドレスの、数字→英字の順（昇順）に並べ替えます。
アドレス順（降順）・・・・・・宛先または送信元のアドレスの、英字→数字の順（降順）に並べ替えます。
題名順（昇順）・・・・・・・・・・題名の、無題→数字→英字→カナ→かな→漢字→絵文字の順（昇順）に並べ替えます。
題名順（降順）・・・・・・・・・・題名の、絵文字→漢字→かな→カナ→英字→数字→無題の順（降順）に並べ替えます。

お知らせ

●フィルタ機能とソート表示を併用することができます。例えば未読メールのみ古い順に表示させたい場合は、フィルタ機能の「未読のみ」を選択したあと「古い順」を選択します。（元に戻す場合は「全表示」を選択します。）
●ソート表示でメールを表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。

フィルタ

受信メール一覧または送信メール一覧画面で表示されるメールの種類を変更します。3回まで重ねてメールの種類を設定することができます。

1 送信メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ(機能)▶フィルタ

未読のみ※1※2 ………未読のメールだけを表示します。
既読のみ※1※2 ………既読のメールだけを表示します。
保護のみ※2 …………保護されたメールだけを表示します。
メロディのみ…………メロディが添付されたメールだけを表示します。
画像のみ………………画像が添付されたメールだけを表示します。
ｉモーションのみ……ｉモーションが添付されたメール(「▤」のついたもの)だけを表示します。
ｉアプリのみ※1 ……ｉアプリが貼り付けられたメールだけを表示します。
SMSのみ ……………SMSやSMS reportだけを表示します。
送信失敗のみ※3 ……送信に失敗したメールだけを表示します。
※1　送信メール一覧画面を選択した場合は表示されません。
※2　受信メール一覧画面で「ゴミ箱」フォルダを選択した場合は選択できません。
※3　受信メール一覧画面を選択した場合は表示されません。

お知らせ

●受信メール、送信メールでそれぞれ選択できるフィルタ機能が異なります。
●フィルタ機能でメールを表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。

一覧表示切替

受信メールの送信元または送信メールや保存メールの宛先を、電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えることができます。

1 送信メール一覧画面・保存メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ(機能)▶一覧表示切替

<2行表示の場合>
名前表示…………電話帳に登録している名前で表示します。
アドレス表示………メールアドレスや電話番号で表示します。

<1行表示の場合>
題名表示…………題名で表示します。
名前表示…………電話帳に登録している名前で表示します。
アドレス表示………メールアドレスや電話番号で表示します。

お知らせ

●受信メール一覧画面や送信メール一覧画面や保存メール一覧画面で#を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

全件既読

P.13

表示しているフォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。

1 **受信メール一覧画面▶ ⓘ（機能）▶全件既読▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●フィルタ機能でメールを表示させたあとに「全件既読」を行うと、表示されているメールのみ既読メールになります。

保護／保護解除

P.13

選択しているメールを上書き・削除されないように保護します。
すでに保護されているメールを選択した場合は、保護を解除します。
受信メールは最大500件、送信メールは最大200件（いずれもショートメッセージ（SMS）とｉモードメールの合計で）まで保護することができます。

1 **送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶ ⓘ（機能）▶保護／保護解除**



保護されると「🔑」が表示されます。

お知らせ

●FOMA端末に保存されている受信メールや送信メール（いずれもショートメッセージ（SMS）とｉモードメールの合計）が最大保存件数を超えた場合、保護されていない既読の受信メールや送信メールのうちから古い順に上書きされます。
●FOMAカードに保存したショートメッセージ（SMS）は保護できません。
●「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。

保護全解除

P.13

保護されているメールを全て解除します。

1 **送信メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶保護全解除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●フィルタ機能でメールを表示させたあとに「保護全解除」を行うと、表示されているメールのみ保護が解除されます。

メール情報

P.13

受信メール一覧画面で選択しているメールの送信元のメールアドレスや電話番号、題名、受信日時を確認することができます。

1 **受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶メール情報**

●確認が終われば クリア を押します。

保存件数確認

受信フォルダ、ゴミ箱フォルダ、送信フォルダ、保存BOX内またはFOMAカード内のメール保存件数を確認できます。

1 送信メール一覧画面・保存メール一覧画面・受信メール一覧画面 ▶ (i)(機能) ▶ 保存件数確認

受信メール

フォルダ内・・・・・フォルダ内の総メール件数※1
未読・・・・・・・・・・・フォルダ内の未読メール件数※1
保護・・・・・・・・・・・フォルダ内の保護メール件数

送信メール

フォルダ内・・・・・フォルダ内の総メール件数※2
保護・・・・・・・・・・・フォルダ内の保護メール件数

保存メール

全件・・・・・・・・・・・保存BOX内の総メール件数

FOMAカード

受信・・・・・・・・・・・FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）件数
送信・・・・・・・・・・・FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）件数

※1「受信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のショートメッセージ（SMS）件数を含みます。
※2「送信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のショートメッセージ（SMS）件数を含みます。

●確認が終われば (クリア) を押します。

保存件数確認（総メール件数）

全受信フォルダ内の総メール件数・全送信フォルダ内の総メール件数、未読メール件数、保護メール件数、FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）件数、FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）件数を表示します。

1 送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面 ▶ (i)(機能) ▶ 保存件数確認

受信メール

全件・・・・・・・・・・・全受信フォルダ内の総メール件数※1
未読・・・・・・・・・・・全受信フォルダ内の未読メール件数※1
保護・・・・・・・・・・・全受信フォルダ内の保護メール件数

送信メール

全件・・・・・・・・・・・全送信フォルダ内の総メール件数※1
保護・・・・・・・・・・・全送信フォルダ内の保護メール件数

FOMAカード

受信・・・・・・・・・・・FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）件数
送信・・・・・・・・・・・FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）件数

※1 FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）件数、「ゴミ箱」フォルダ・ｉアプリ用メールフォルダのメール件数を含みます。

●確認が終われば (クリア) を押します。

メールを削除する

受信BOX、送信BOX、保存BOXのメールを削除できます。削除方法には以下の種類があります。フィルタ機能でメールを表示させたあとに削除を行うと、表示しているメールのみ削除されます。

削除方法	削除されるメール	実行する画面
送信メール全削除	全送信フォルダ内のメール	フォルダ一覧画面
既読メール全削除	全受信フォルダ内の既読メール	フォルダ一覧画面
受信メール全削除	全受信フォルダ内のメール	フォルダ一覧画面
1件削除	メール一覧画面で選択しているメール	メール一覧画面
選択削除	選択したメール	メール一覧画面
既読削除	表示している受信フォルダ内の既読メール	メール一覧画面
全削除	表示しているフォルダ内の全メール	メール一覧画面
削除	メール詳細画面で表示しているメール	メール詳細画面

送信メール全削除

全送信フォルダ内の送信メールを全て削除します。FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）も全て削除されます。

1 **送信フォルダ一覧画面▶ i （機能）▶送信メール全削除▶端末暗証番号を入力▶ ◉ ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）も削除されます。保護されているｉモードメールやショートメッセージ（SMS）は削除されません。

既読メール全削除

P.13

全受信フォルダ内の既読メールを全て削除します。FOMAカード内の既読ショートメッセージ（SMS）も全て削除されます。

1 **受信フォルダ一覧画面▶ i （機能）▶既読メール全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

お知らせ

●保護されていない既読のｉモードメールとショートメッセージ（SMS）はすべて削除されます。

受信メール全削除

全受信フォルダ内の受信メールを全て削除します。FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）も全て削除されます。

1 **受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶受信メール全削除▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●未読のメールも削除されます。FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）も削除されます。保護されているｉモードメールやショートメッセージ（SMS）は削除されません。

1件削除

P.13

選択しているメールを削除します。

1 **送信メール一覧画面・保存メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●未読のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）も削除されます。
●保護されているｉモードメールやショートメッセージ（SMS）（受信、送信）は削除できません。保護を解除してから削除してください。

選択削除

メールを選択して削除します。

1 **送信メール一覧画面・保存メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶選択削除▶削除したいメールにチェック**



◉を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。
☑ ········削除します。
☐ ········削除しません。
●ⓘ（機能）を押して「全選択」を選択し、◉を押すとすべてのメールにチェックが付きます。「全選択解除」を選択し、◉を押すとすべてのチェックが外れます。
●ⓘ（機能）を押して「一覧表示切替」を選択し、◉を押すと、名前表示とメールアドレス（電話番号）表示を切り替えることができます。

2 **✉（完了）▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●保護されているｉモードメールやショートメッセージ（SMS）（受信、送信）は選択できません。

既読削除

既に読んだ受信メールを削除します。

1 **受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶既読削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●保護されていない既読のｉモードメールとショートメッセージ（SMS）はすべて削除されます。

全削除

表示しているフォルダ内のメールをすべて削除します。

1 **送信メール一覧画面・保存メール一覧画面・受信メール一覧画面▶ⓘ（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●未読のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）も削除されます。
●保護されているｉモードメールやショートメッセージ（SMS）は削除されません。

削除

表示しているメールを削除します。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶ⓘ（機能）▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

便利な機能

コピー

本文などをコピーすることができます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶ (i) (機能) ▶コピー

本文・・・・・・・本文をコピーします。
題名・・・・・・・題名をコピーします。
アドレス・・・メールアドレスや電話番号をコピーします。

●コピーの方法については基本編P.329参照。
●送信元（同報先）や宛先が複数ある場合は、◎でコピーしたいメールアドレスや電話番号を選択し、◉を押します。

お知らせ

●デコメールの本文を作成中にコピーした場合は、デコレーションの情報もコピーされます。

アドレス登録

受信メールの送信元（同報先）や送信メールの宛先を電話帳に登録できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶ (i) (機能) ▶アドレス登録 ▶YES

本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・FOMA端末内の電話帳に登録します。
FOMAカード・・・・・・・・・・FOMAカード内の電話帳に登録します。

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■送信元（同報先）や宛先が複数ある場合は

右のような画面が表示され、それらの送信元や宛先を登録することができます。



◎で登録したいメールアドレスや電話番号を選択し、◉を押します。

以降、手順2から操作を行ってください。

次ページにつづく

2 新規登録・追加登録



「新規登録」の場合

新規登録･･･新たに電話帳に登録します。
追加登録･･･既にある電話帳に追加登録します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「2上書き登録」と表示されます。
電話帳新規登録画面に、メールアドレスや電話番号が入力されているので、残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

基本編P.122～128の操作を行って電話帳に登録します。
追加登録（上書き登録）については基本編P.132参照。

お知らせ

●送信元や宛先のメールアドレスを登録する場合、半角50文字を超えているメールアドレスは登録できません。

電話帳登録

メールの本文中に書かれたメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶(i)（機能）▶電話帳登録▶YES

本体･･････････････････FOMA端末内の電話帳に登録します。
FOMAカード･･････････FOMAカード内の電話帳に登録します。
●本文中のメールアドレスや電話番号を選択してから操作を行ってください。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

2 新規登録・追加登録



「新規登録」の場合

新規登録･･･新たに電話帳に登録します。
追加登録･･･既にある電話帳に追加登録します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「2上書き登録」と表示されます。
電話帳新規登録画面に、メールアドレスや電話番号が入力されているので、残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

基本編P.122～128の操作を行って電話帳に登録します。
追加登録（上書き登録）については基本編P.132参照。

お知らせ

●「PIMロック」（基本編P.218参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）を設定中や「指定発信制限」（基本編P.157参照）を指定した電話番号があるときは、電話帳登録はできません。
●電話帳に登録できない文字が含まれていた場合、その文字はスペースになることがあります。

デスクトップ貼付

受信メールの送信元や送信メールの宛先をアイコンとしてデスクトップに貼り付けておくと、簡単な操作でそのメールアドレスや電話番号が宛先に入力された新規メールを作成することができます。詳しくは基本編P.201を参照してください。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶(機能)▶デスクトップ貼付▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

■送信元（同報先）や宛先が複数ある場合は

右のような画面が表示され、それらの送信元や宛先を貼り付けることができます。

で貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択し、を押します。

以降、YESを選択してください。



■デスクトップに貼り付けたアイコンから新規メールを作成するには

1. 待受画面でを押します。
2. でアイコンを選択し、を押します。
   ●ビューアスタイルではを使用できません。
   ●ショートメッセージ（SMS）の送信元や宛先を貼り付けた場合は「」が表示されます。

以降、P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。



お知らせ

●貼り付けできるのはメールの送信元と宛先だけです。本文中のメールアドレスや電話番号を貼り付けることはできません。
●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

外部出力

表示しているメールを赤外線で送信したり、miniSDメモリーカードに保存することができます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶(機能)▶外部出力

赤外線送信 ……………………赤外線で送信します。（P.402参照）
SDカードへエクスポート ……miniSDメモリーカードに保存します。（P.410参照）

<ｉモード鳴動時間>

メニュー 6 8

メールやメッセージ（R/F）の着信音が鳴る時間を設定する

お買い上げ時 5秒

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）を受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **着信** ▶ **ｉモード鳴動時間**

ON ･･･････ｉモード鳴動時間を設定します。

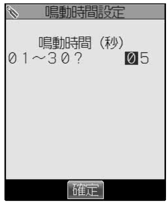
OFF･･･････着信音・バイブレータ・着信／充電ランプ・バックライトを無効にします。

●「OFF」に設定した場合はこれで操作終了です。

2 **鳴動時間（秒）を入力する**

●「01」〜「30」の2桁を入力します。

ｉモード鳴動時間が設定されます。



お知らせ

●「OFF」に設定したときは、待受画面に「 」が表示され、着信音・バイブレータ・着信／充電ランプ・バックライトは動作しません。

＜自動振分け設定＞

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

P.13

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存することができます。
※あらかじめ「受信フォルダ一覧」に新規フォルダを追加しておく必要があります。

1 送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶自動振分設定

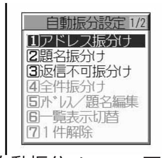


＜自動振分け設定画面
（全件振分けの場合）＞



＜自動振分け設定画面
（アドレス振分けの場合）＞

振り分け条件が1件も設定されていないフォルダを選択した場合は、
自動振分メニュー画面が表示されます。

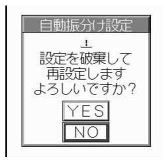


＜自動振分メニュー画面＞

以降の操作は、P.246～249をご覧ください。

■条件を変更したいときは

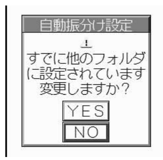
すでに設定している条件を変更する場合は、確認画面が表示されます。
「YES」を選択して◉を押すと、以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。



■同じ条件が他のフォルダに設定されていると

指定した条件が、すでに他のフォルダに設定されていた場合は、確認画面が表示されます。
「YES」を選択して◉を押すと、他のフォルダに設定されていた条件は解除され、設定を変更します。

●セキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。



お知らせ

●送信フォルダ一覧画面からは、ｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分ける「全件振分け」のみ操作できます。

お知らせ

- ●1フォルダあたり700件までのアドレスを登録できます。また、各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
- ●受信フォルダ一覧画面にある「受信BOX」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダに自動振分け設定を行うことはできません。
- ●メールメニューの送信BOXや受信BOXにセキュリティが設定されている場合（P.252参照）、メールメニューの「送信BOX」や「受信BOX」に「」が表示されます。その場合は端末暗証番号の入力が必要になります。
- ●追加したフォルダにセキュリティが設定されている場合（P.229参照）、手順1のあとに端末暗証番号の入力が必要になります。
- ●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
  ①全件振分け
  ②題名振分け
  ③返信不可振分け
  ④アドレス振分け（アドレス参照入力・直接入力）
  ⑤アドレス振分け（グループ参照）

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

自動振分け設定画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
アドレス振分け	本ページ参照、P.247
題名振分け	P.247
返信不可振分け	P.248
全件振分け	P.248
アドレス／題名編集	P.248
一覧表示切替	P.248
1件解除	P.249
選択解除	P.249
全解除	P.249

操作により実行できない項目があります。

アドレス振分け（アドレス参照入力）

P.13

選択したフォルダに、設定したメールアドレス、電話番号からのメールを振り分けます。電話帳や送信・受信アドレス一覧からメールアドレスや電話番号を入力します。

1 自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶アドレス振分け▶アドレス参照入力

●自動振分メニュー画面表示中は、「アドレス振分け」を選択し、「アドレス参照入力」を選択します。

以下の操作はそれぞれのページをご覧ください。

電話帳 ････････････････P.153「宛先参照入力（電話帳）」手順2
受信アドレス一覧 ･･････P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2
送信アドレス一覧 ･･････P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2

アドレス振分け（グループ参照）

P.13

選択したフォルダに、設定したグループに登録されたメールアドレス、電話番号からのメールを振り分けます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶アドレス振分け▶グループ参照▶グループを選択▶◎**

●自動振分メニュー画面表示中は、「アドレス振分け」を選択し、「グループ参照」を選択します。

お知らせ

●「グループ00」やFOMAカード内のグループを設定することはできません。

アドレス振分け（直接入力）

選択したフォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶アドレス振分け▶直接入力▶メールアドレスや電話番号を入力▶◎**



●自動振分メニュー画面表示中は、「アドレス振分け」を選択し、「直接入力」を選択します。
●メールアドレスや電話番号は半角50文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

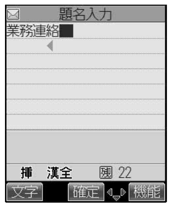
お知らせ

●メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

題名振分け

選択したフォルダに、設定した題名のｉモードメールを自動的に振り分けます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶題名振分け▶YES▶題名を入力▶◎**



●自動振分メニュー画面表示中は、「題名振分け」を選択し、題名を入力します。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

お知らせ

●題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、受信BOXに最も近いフォルダに振り分けられます。
●1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
●「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
●ショートメッセージ（SMS）は題名振り分けできません。

返信不可振分け

P.13

選択したフォルダに、返信不可のメールを自動的に振り分けます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶返信不可振分け▶YES**

●自動振分メニュー画面表示中は、「返信不可振分け」を選択します。

お知らせ

●SMS reportは振り分けされません。
●「返信不可振分け」は1つのフォルダにしか設定できません。

全件振分け

P.13

選択したｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶全件振分け▶YES▶YES**

●自動振分メニュー画面表示中は、「全件振分け」を選択し、「YES」を選択します。

お知らせ

●SMS reportやFOMAカードに直接受信したショートメッセージ（SMS）は振り分けされません。
●「全件振分け」は、受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにしか設定できません。
●「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。

アドレス／題名編集

選択したメールアドレス、電話番号、題名を編集します。
また、メールアドレス、電話番号、題名を新しく登録することもできます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶アドレス／題名編集▶メールアドレス、電話番号、題名を編集▶◉**



一覧表示切替

P.13

フォルダ内のメールの宛先を、電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えることができます。

1 **自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶一覧表示切替**

名前表示 ･･････････････宛先を名前で表示します。
アドレス表示 ･･････････宛先をメールアドレスまたは電話番号で表示します。

お知らせ

●自動振分け設定画面で#を押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

1件解除

選択しているメールアドレス、電話番号、題名を1件ずつ解除します。(「自動振分け設定画面」から削除されます。)

1 **自動振分け設定画面▶ (i) (機能) ▶1件解除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

選択解除

メールアドレス、電話番号、題名を選択して解除します。(「自動振分け設定画面」から削除されます。)

1 **自動振分け設定画面▶ (i) (機能) ▶選択解除▶解除したいメールアドレス、電話番号、題名にチェック**



◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑……解除します。

□……解除しません。

● (i) (機能) を押して「全選択」を選択し、◉を押すとすべてのメールにチェックが付きます。「全選択解除」を選択し、◉を押すとすべてのチェックが外れます。

● (i) (機能) を押して「一覧表示切替」を選択し、◉を押すと、名前表示とメールアドレス(電話番号)表示を切り替えることができます。(# を押して切り替えることもできます。)

2 **✉ (完了) ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

全解除

メールアドレス、電話番号、題名を全て解除します。(「自動振分け設定画面」から削除されます。)

1 **自動振分け設定画面▶ (i) (機能) ▶全解除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

iモードメールやショートメッセージ（SMS）の詳細設定について

スクロール設定

P.13 お買い上げ時 1行スクロール

iモードメールやショートメッセージ（SMS）の本文を表示している画面で ◎ を押したときにスクロールする行数を設定します。

1 メニュー ▶ メール ▶ **メール設定 ▶ スクロール設定**

1行スクロール ········1行スクロールします。
3行スクロール ········3行スクロールします。
5行スクロール ········5行スクロールします。
●送信メールや受信メール表示中は、 i （機能）を押して「スクロール設定」を選択します。

お知らせ

●メール本文表示中に機能メニューの「スクロール設定」で設定することもできます。その場合、本機能の設定も変更されます。

文字サイズ設定

P.13 お買い上げ時 標準表示

iモードメールやショートメッセージ（SMS）の本文を表示している画面で表示される文字のサイズを設定します。

1 メニュー ▶ メール ▶ **メール設定 ▶ 文字サイズ設定**

標準表示･･･文字を標準の大きさで表示します。
縮小表示･･･文字を縮小して表示します。
拡大表示･･･文字を拡大して表示します。
●送信メールや受信メール表示中は、 i （機能）を押して「文字サイズ設定」を選択します。



標準表示



縮小表示



拡大表示

お知らせ

●メール本文表示中に ◎ を1秒以上押して、文字サイズを変更することもできます。（P.185、222参照）
また、機能メニューの「文字サイズ設定」で設定することもできます。その場合、本機能の設定も変更されます。
●詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。

メール一覧表示設定

お買い上げ時 2行表示

送信メール一覧画面・受信メール一覧画面・保存メール一覧画面でメールを表示する行数を設定します。

1 (メニュー) ▶ メール ▶ **メール設定** ▶ **メール一覧表示設定**

2行表示 ･･･2行で表示します。
1行表示 ･･･1行で表示します。

お知らせ

- 「2行表示」に設定した場合、一覧表示は「名前表示」に切り替わります。
- 「1行表示」に設定した場合、一覧表示は「題名表示」に切り替わります。

本文表示設定

お買い上げ時 通常表示

受信メールを通常表示（先頭から表示）するか、本文から表示するか設定します。

1 (メニュー) ▶ メール ▶ **メール設定** ▶ **本文表示設定**

通常表示･･････････････先頭から表示します。
本文から表示･･････････本文から表示します。



通常表示



本文から表示

お知らせ

- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

セキュリティ設定

お買い上げ時
すべてOFF

メールを人に見られないように、メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定することができます。
セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。



1 **(メニュー)▶(メール)▶メール設定▶セキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶(◎)▶セキュリティを設定するBOXにチェック**

(◎)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・セキュリティを設定します。

□・・・・・・・・セキュリティを設定しません。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

2 **(✉)(完了)を押す**

お知らせ

●セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXの前に「(アイコン)」が表示されます。
●送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。
●受信BOX内の各フォルダにセキュリティを設定することもできます。（P.229参照）

受信表示設定

P.13

お買い上げ時
通知優先

メールを受信するとき、他の機能を操作中でも受信中や受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。

1 **(メニュー)▶(メール)▶メール設定▶受信表示設定**

通知優先・・・メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。
操作優先・・・メール受信時に操作中の画面を優先します。

えチャット表示設定

P.13

お買い上げ時
自動表示する

えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかの設定をします。

1 **(メニュー)▶(メール)▶メール設定▶えチャット表示設定**

自動表示する・・・・・・・・・・えチャットの静止画を自動で表示します。
自動表示しない・・・・・・・・えチャットの静止画を自動で表示しません。

貼付メロディ設定

お買い上げ時
有効

ｉモードメールに貼り付けられたメロディを有効（再生、登録が可能）にするかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶メール▶**メール設定▶貼付メロディ設定**

有効・・・・・・・メロディを再生（登録可能）します。
（メール一覧画面に「 」、メール詳細画面に「 」が表示されます。）

無効・・・・・・・メロディを再生しません。保存することもできません。（メール一覧画面に「 」、メール詳細画面には本文のあとに文字列が表示されます。）

お知らせ

- 「有効」に設定していても、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 複数のデータが貼り付けされている場合は、「有効」に設定していてもその貼付データ自体が表示されません。

貼付ｉモーション設定

お買い上げ時
有効

ｉモーションメールからのｉモーション取り込みを有効にするかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶メール▶**メール設定▶貼付ｉモーション設定**

有効・・・・・・・取り込みできます。（メール一覧画面や詳細画面に「 」が表示されます。）

無効・・・・・・・取り込みできません。（メール一覧画面や詳細画面に「 」が表示されます。貼り付けられたデータは文字として表示されません。）

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合は、「有効」に設定していてもその貼付データ自体が表示されません。

ｉアプリ To 設定

お買い上げ時
有効

ｉモードメール本文にあるｉアプリ起動可能なURL（リンク）からのｉアプリ起動を有効にするかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶メール▶**メール設定▶ｉアプリ To 設定**

有効・・・・・・・ｉアプリを起動できます。（メール一覧画面に「 」が表示されます。）

無効・・・・・・・ｉアプリを起動できません。（メール一覧画面に「 」が表示されます。貼り付けられたデータは文字として表示されません。）

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合は、「有効」に設定していてもその貼付データ自体が表示されません。

冒頭文／署名設定

お買い上げ時
冒頭文･･･未入力、自動貼付する 署名･････未入力、自動貼付する 引用符･･･〉

冒頭文・署名・引用符を登録します。
冒頭文や署名をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で貼り付けることができます。
また、「自動貼付」にチェックを付けると、新規ｉモードメール作成時や返信、転送などをするときに自動的に冒頭文や署名を貼り付けます。

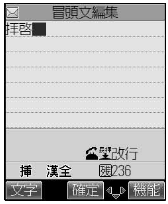
1 (メニュー)▶(メール)▶メール設定▶冒頭文／署名設定

2 冒頭文の欄を選択▶(決定)

冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文などのことです。
●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択し、(決定)を押して「☑」を「□」にします。
●冒頭文を作成しない場合は、手順4へ進みます。

3 冒頭文を入力▶(決定)

●全角120文字まで、半角240文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

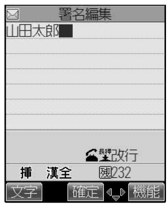


4 署名の欄を選択▶(決定)

署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。
●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択し、(決定)を押して「☑」を「□」にします。
●署名を作成しない場合は、手順6へ進みます。

5 署名を入力▶(決定)

●全角120文字まで、半角240文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



6 引用符の欄を選択▶(決定)

引用符とは、返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。
●引用符を作成しない場合は、手順8へ進みます。

7 引用符を入力▶(決定)

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



8 (完了)を押す

●中止する場合は クリア または HLD を押して「YES」を選択し、 を押します。

お知らせ

●「自動貼付」にチェックを付けていても、えチャットやｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

メール設定確認

P.13

メール設定の各設定内容を確認します。

1 メニュー ▶ メール ▶ メール設定 ▶ メール設定確認

●確認が終われば クリア を押します。

メール設定リセット

メール設定の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 メニュー ▶ メール ▶ メール設定 ▶ メール設定リセット ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ◎ ▶ YES

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

■「メール設定リセット」でリセットされる内容

リセット項目	リセット後の設定
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
メール一覧表示設定	2行表示
本文表示設定	通常表示
セキュリティ設定	すべてOFF
開封時メロディ再生設定	自動再生する
添付ファイル設定	すべてON
メール選択受信設定	OFF
冒頭文／署名設定	冒頭文：空白（自動貼付する） 署名　：空白（自動貼付する） 引用符 :>
受信表示設定	通知優先
ｉモーション自動再生設定	自動再生する
えチャット表示設定	自動表示する
貼付メロディ設定	有効
貼付ｉモーション設定	有効
ｉアプリ To 設定	有効
SMS report設定	要求しない
SMS有効期間設定	3日

＜送信アドレス一覧＞
送信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）を送信すると、送信アドレス一覧に記憶され、相手のメールアドレスや電話番号が確認できます。
送信アドレス一覧には30件まで記憶されます。

1 （メニュー）▶（ユーザデータ）▶**発信履歴**▶（ｉ）（機能）▶**送信アドレス一覧**

●待受画面で（◎）を押して「リダイヤル一覧画面」を表示したあと、「送信アドレス一覧画面」を表示することもできます。

（SMS）･･･送信に成功したショートメッセージ（SMS）を表します。
（ｉ）･･･送信に成功したｉモードメールを表します。
（×SMS）･･･送信に失敗したショートメッセージ（SMS）を表します。
（×ｉ）･･･送信に失敗したｉモードメールを表します。

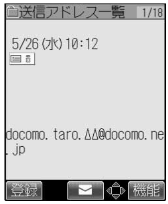


＜送信アドレス一覧画面＞

2 **表示したい履歴を選択**▶（◎）

●表示されたメールアドレスや電話番号にメールを送る場合は、（◎）を押します。（P.257参照）

●電話帳に登録する場合は、（✉）（登録）を押します。（基本編P.132参照）



＜送信アドレス詳細画面＞

お知らせ

●表示されているメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されているときは、名前で表示されます。
●「履歴表示設定」（基本編P.220参照）の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定している場合は表示できません。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

送信アドレス一覧画面または送信アドレス詳細画面を表示中に（ｉ）（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
電話帳登録	基本編P.132
デスクトップ貼付	P.257
ｉモードメール作成	P.257
SMS作成	P.257
リダイヤル表示	P.258
発信履歴表示	P.258
1件削除	P.258
全削除	P.258
電話発信	P.259

操作により実行できない項目があります。

デスクトップ貼付

P.13

選択しているメールアドレスや電話番号をアイコンとしてデスクトップに貼り付けることができます。貼り付けアイコンについては基本編P.201参照。

1 **受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面・送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面▶(i)（機能）▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■デスクトップに貼り付けたアイコンから新規メールを作成するには

1. 待受画面で◉を押します。
2. ◎でアイコンを選択し、◉を押します。
 ●ビューアスタイルでは◎を使用できません。
 ●ショートメッセージ（SMS）の電話番号を貼り付けた場合は「✉S1」が表示されます。

以降、P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。



お知らせ

●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

ｉモードメール作成・SMS作成

選択しているメールアドレスや電話番号にｉモードメールまたはショートメッセージ(SMS)を送ることができます。

1 **受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面・送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面▶(i)（機能）▶ｉモードメール作成・SMS作成**

宛先欄にメールアドレスや電話番号が入力されています。

以降、P.150、158、212手順3から操作を行ってメールを作成します。

●受信アドレス詳細画面や送信アドレス詳細画面で◉を押しても右の画面が表示されます。



「ｉモードメール作成」の場合

お知らせ

●選択している履歴がｉモードメールの場合はｉモードメール作成画面が表示され、ショートメッセージ（SMS）の場合はショートメッセージ（SMS）作成画面が表示されます。

リダイヤル表示・発信履歴表示

P.13

リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。

1 **送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面▶ⓘ(機能)▶リダイヤル表示・発信履歴表示**

1件削除

P.13

選択している受信アドレス履歴または送信アドレス履歴を削除します。

1 **受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面・送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面▶ⓘ(機能)▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

全削除

P.13

受信アドレス履歴または送信アドレス履歴をすべて削除します。

1 **受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面・送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面▶ⓘ(機能)▶全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

電話発信

選択しているメールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳に登録された電話番号に電話をかけることができます。

1 送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面・受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面▶ (機能)▶電話発信

■電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

右のような画面が表示されます。

で発信したい電話番号を選択し、 を押します。

以降、手順2から操作を行ってください。



2 音声発信・32KTV電話発信・64KTV電話発信・TV電話画像選択

音声発信……………音声電話で発信します。
32KTV電話発信 ……32Kのテレビ電話で発信します。
64KTV電話発信 ……64Kのテレビ電話で発信します。
TV電話画像選択 ……テレビ電話中に相手に送信する画像を「自画像」「内蔵」「自作」「キャラ電」から選択します。

3 発信

- 中止する場合は「中止」を選択し、 を押します。
- 発信者番号を通知する場合は「発番号通知する」を選択し、 を押します。
  通知しない場合は「発番号通知しない」を選択し、 を押します。
- 電話をかけることを途中で中止するときは、 を押します。

<受信アドレス一覧>

受信したメールの履歴を表示する

メニュー 2 4

P.13

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）を受信すると、受信アドレス一覧に記憶され、相手のメールアドレスや電話番号が確認できます。
受信アドレス一覧には30件まで記憶されます。

1 メニュー ▶ ユーザデータ ▶ 着信履歴 ▶ 全着信 ▶ ｉ（機能）▶ 受信アドレス一覧

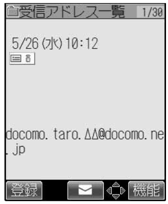


<受信アドレス一覧画面>

- 待受画面で ◎ を押しても「着信履歴」は表示されます。
- 「不在着信」を選択した場合も同様の手順で「受信アドレス一覧画面」を表示できます。

SMS･･･ショートメッセージ（SMS）を表します。
･･･ｉモードメールを表します。

2 表示したい履歴を選択 ▶ ◉



<受信アドレス詳細画面>

- 表示されたメールアドレスや電話番号にメールを送る場合は、◉ を押します。（P.257参照）
- 電話帳に登録する場合は、✉（登録）を押します。（基本編P.132参照）

お知らせ

- 表示されているメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されているときは、名前で表示されます。
- 「履歴表示設定」（基本編P.220参照）の「着信履歴」を「OFF」に設定している場合は表示できません。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

受信アドレス一覧画面または受信アドレス詳細画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

着信履歴表示

P.13

着信履歴一覧を表示します。

1 **受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面▶ⓘ（機能）▶着信履歴表示**

お知らせ

●表示される着信履歴画面は「全着信」（すべての着信履歴を表示）です。

メールメンバーを作成する

メールアドレスをグループごとに登録することができます。決まった複数のメンバーにメールを送るときに便利です。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。
グループは20件まで作成できます。

1 **メニュー ▶ ユーザデータ ▶ メールメンバー ▶ 登録したいメールメンバーを選択 ▶ ◉**



＜メールメンバー一覧画面＞

2 **＜未登録＞ ▶ ✉（編集）**

●＜未登録＞を選択し、機能メニューから「アドレス編集」を選択しても操作できます。
●すでに登録されているメールアドレスを選択して ◉ を押した場合は、メールアドレス確認画面が表示されます。
✉（編集）を押すとメールアドレス編集の画面が表示されます。
●電話帳や履歴から呼び出す場合はP.264参照。



＜メールアドレス一覧画面＞

3 **メールアドレスを入力 ▶ ◉**

手順2～3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。
●半角50文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●PIMロック（基本編P.218参照）設定中は、メールメンバーは表示できません。
●同じ宛先をメールメンバーに登録してメールを送信しようとすると、「同じ宛先があります 削除して送信しますか？」と表示されます。「YES」を選択して ◉ を押すと、重複しているアドレスを削除して送信します。中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メールメンバー一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

メンバー名編集

選択しているメールメンバーの名前を変更することができます。

1 **メールメンバー一覧画面▶ⓘ（機能）▶メンバー名編集▶メールメンバー名を入力▶◉**



●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

ｉモードメール作成

選択しているメールメンバーに登録されているメールアドレスを、ｉモードメールの宛先に入力してメールを送信します。

1 **メールメンバー一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成**



宛先欄にメールアドレスが入力されています。
以降、P.150手順3から操作を行ってメールを作成します。
●メールメンバー一覧画面で ✉（✉）を押しても同様の画面が表示されます。

メンバー名初期化

変更されたメールメンバーの名前をお買い上げ時の名前に戻します。

1 **メールメンバー一覧画面▶ⓘ（機能）▶メンバー名初期化▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メールアドレス一覧画面やメールアドレス確認画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
アドレス編集	P.264
アドレス参照入力	P.264
1件削除	P.264
全削除	P.264

操作により実行できない項目があります。

アドレス編集

新しくメールアドレスを入力したり、すでに入力されているメールアドレスを修正することができます。

1 メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面 ▶ (i)（機能）▶ アドレス編集



以降、P.262手順3から操作を行います。

●メールアドレス一覧画面やメールアドレス確認画面で (✉)（編集）を押しても同様の画面が表示されます。

アドレス参照入力

電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧からメールアドレスを呼び出してメールメンバーに追加することができます。

1 メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面 ▶ (i)（機能）▶ アドレス参照入力

電話帳 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P.153「宛先参照入力（電話帳）」手順2

送信アドレス一覧 ‥‥‥P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2

受信アドレス一覧 ‥‥‥P.153「宛先参照入力（送信・受信アドレス一覧）」手順2

●メールアドレス一覧画面ですでに入力されているメールアドレスを選択していた場合や、メールアドレス確認画面で選択した場合、「メールアドレスを上書きしますか？」と表示されます。「YES」を選択し、(◉)を押します。中止する場合は「NO」を選択し、(◉)を押します。

お知らせ

●「履歴表示設定」（基本編P.220参照）の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定している場合、「送信アドレス一覧」は表示できません。

●「履歴表示設定」（基本編P.220参照）の「着信履歴」を「OFF」に設定している場合、「受信アドレス一覧」は表示できません。

1件削除

選択しているメールアドレスを削除します。

1 メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面 ▶ (i)（機能）▶ 1件削除 ▶ YES

●中止する場合は「NO」を選択し、(◉)を押します。

全削除

選択しているメールメンバー内のメールアドレスをすべて削除します。

1 メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面 ▶ (i)（機能）▶ 全削除 ▶ YES

●中止する場合は「NO」を選択し、(◉)を押します。

マルチメディア編

カメラをご利用になる前に

撮影して保存した静止画や動画を利用する

カメラを使って静止画（スナップ・連続撮影）や動画を撮影することができます。
撮影した静止画や動画を表示・再生するだけでなく、以下のようなことができます。

- 電話帳に登録する……………………P.327、362
- 待受画面などの壁紙に登録する…………P.321、364
- ｉモードメールに添付して送信する……P.323、361
- データ転送する…………………………P.402、494
- 編集する…………………………………P.329、367
- miniSDメモリーカードに保存する ……P.325

撮影時の留意事項

- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、ピントが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面が明るくなったり暗くなったりする「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影したもの、またサイト（番組）の情報やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）などは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製や編集、および複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法はお控えください。
また、FOMA端末を利用して写真等の画像データを複製、編集等する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人で楽しむなどの目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、撮影または記録したものをインターネットのホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラのご使用について

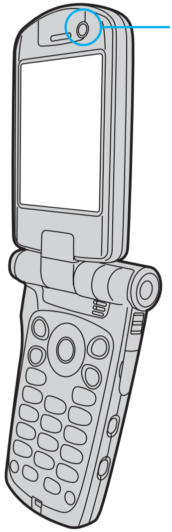
カメラを使って静止画や動画を撮影することができます。
カメラは前面（フロントカメラ）と側面（サイドカメラ）の2カ所にあり、それぞれスタイルを変更して使います。スタイル切替についてはP.14参照。

■ノーマルスタイル

フロントカメラを使って自分の顔などを撮影できます。



＜ノーマルスタイル画面＞



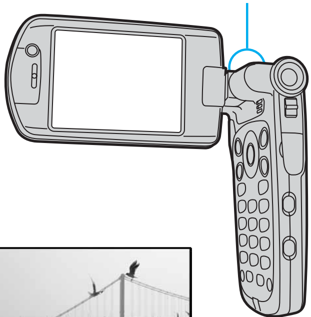
■撮影時に使用するボタン

ボタン	機能
	シャッター・保存
	望遠
	広角
	機能メニュー呼出
	撮影モード切替
0 わをん	ヘルプ表示
1 あ	色調切替
2 ABC か	ホワイトバランス
3 DEF さ	明るさ
6 MNO は	セルフタイマー設定
7 PQRS ま	ナイトモード
HLD・クリア	カメラ終了・戻る

■ムービースタイル

サイドカメラを使って人や風景などを撮影できます。
「スタイル連動設定」が「連動する」に設定されている状態で、待受画面表示中にムービースタイルに切り替えると、サイドカメラが起動します。
ムービースタイルでの撮影時は、FOMA端末をしっかり持って落下などに注意してご使用ください。

サイドカメラ





＜ムービースタイル画面＞

■撮影時に使用するボタン

ボタン	機能
	シャッター・保存
	望遠
	広角
（クリア）	カメラ終了・キャンセル・戻る
（機能／メニュー）	フォトライト
	撮影モード切替
	撮影後動画再生確認・ 手動連続撮影中止

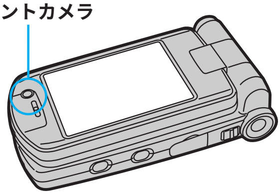
■ビューアスタイル

フロントカメラを使って自分の顔などを撮影できます。
「スタイル連動設定」が「連動する」に設定されている状態で、ムービースタイルでサイドカメラを起動中にビューアスタイルに変更すると、イメージビューアまたはｉモーションプレーヤーが起動します。（クリア）を数回押して待受画面を表示し、カメラを起動してください。



＜ビューアスタイル画面＞

フロントカメラ



■撮影時に使用するボタン

ボタン	機能	ボタン	機能
	シャッター・保存	（機能／メニュー）	機能メニュー呼出
	望遠	（機能／メニュー） （1秒以上押す）	Main Menu 表示
	広角		
（クリア）	カメラ終了・戻る		撮影モード切替

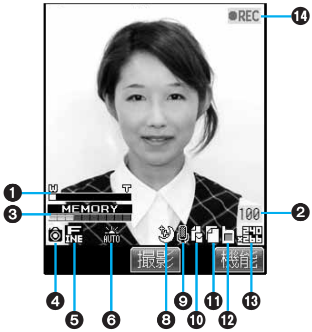
お知らせ

●フロントカメラとサイドカメラを同時に起動させることはできません。
●PIMロックを設定中の場合、カメラは起動できません。

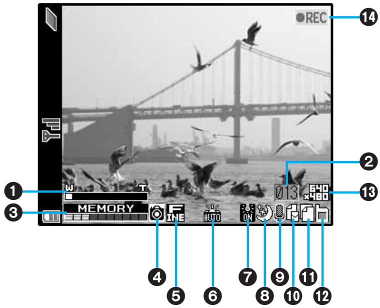
撮影画面の見かたと保存形式

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

■ノーマルスタイル・ビューアスタイル



■ムービースタイル



アイコン・バー名	アイコン	説　　明		ページ
❶ズームバー		望遠・広角の状態を表します。		285
❷記録可能枚数／記録可能時間	–	静止画の撮影可能枚数を表示します。		–
		手動連続撮影時の記録可能枚数を表示します。		
		動画の記録可能時間を表示します。		
❸使用メモリ量バー※	MEMORY	メモリ使用状況を10段階で表します。メモリや保存件数がいっぱいのときは赤色で表示されます。		–
❹撮影モード	（スナップ）	スナップ撮影モードを表します。		274
	（録画）	動画撮影モードを表します。		281
	（自動連続撮影）	自動連続撮影モードを表します。		276
	（手動連続撮影）	手動連続撮影モードを表します。		
❺画質	（ノーマル）	スナップ画質	静止画撮影時の画質：標準画質だが撮影可能枚数が多い。	291
	（ファイン）		静止画撮影時の画質：高画質	
	（スーパーファイン）		静止画撮影時の画質：最高画質だが撮影可能枚数が少ない。	
	（長時間モード）	録画画質	動画撮影時の画質：低画質だが撮影可能時間は長い。	292
	（標準モード）		動画撮影時の標準画質	
	（高品質モード）		動画撮影時の画質：高画質だが撮影可能時間は短い。	
	（ノーマル）	SD録画画質	SDに保存する動画撮影時の画質：標準画質	292
	（ファイン）		SDに保存する動画撮影時の画質：高画質	
	（スーパーファイン）		SDに保存する動画撮影時の画質：最高画質	

<table>
<tr><th>アイコン・バー名</th><th>アイコン</th><th colspan="6">説　　明</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">❻ホワイトバランス</td><td>（オート）</td><td colspan="6">ホワイトバランスを自動で調節します。</td><td rowspan="4">289</td></tr>
<tr><td>（電球）</td><td colspan="6">電球照明下で撮影するとき</td></tr>
<tr><td>（晴天）</td><td colspan="6">屋外晴天下で撮影するとき</td></tr>
<tr><td>（曇天）</td><td colspan="6">曇天や日陰で撮影するとき</td></tr>
<tr><td rowspan="2">❼フォトライト</td><td>（ON・High）</td><td colspan="6">フォトライトがHighに設定中であることを表します。</td><td rowspan="2">287</td></tr>
<tr><td>（ON）</td><td colspan="6">フォトライトが設定中であることを表します。</td></tr>
<tr><td>❽ナイトモード</td><td></td><td colspan="6">夜間に撮影するとき</td><td>298</td></tr>
<tr><td rowspan="2">❾映像／音声選択</td><td>（音声のみ）</td><td colspan="6">動画撮影時、音声のみ記録します。</td><td rowspan="2">297</td></tr>
<tr><td>（映像のみ）</td><td colspan="6">動画撮影時、映像のみ記録します。</td></tr>
<tr><td>❿スナップ制限・録画制限</td><td>（メール添付モード）</td><td colspan="6">メール添付モードに設定中であることを表します。</td><td>295</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⓫ファイル制限</td><td>（ファイル制限なし）</td><td colspan="6">ファイル制限が「なし」に設定中であることを表します。</td><td rowspan="2">296</td></tr>
<tr><td>（ファイル制限あり）</td><td colspan="6">ファイル制限が「あり」に設定中であることを表します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⓬記録媒体選択</td><td>（本体）</td><td colspan="6">記録媒体選択：「本体」</td><td rowspan="2">293</td></tr>
<tr><td>（SDカード）</td><td colspan="6">記録媒体選択：「SDカード」</td></tr>
<tr><td rowspan="8">⓭画像サイズ</td><td>（UXGA）</td><td rowspan="7">サイドカメラスナップ</td><td colspan="4"></td><td>UXGA（1600×1200）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td>（SXGA）</td><td colspan="4"></td><td>SXGA（1280×960）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td>（VGA）</td><td colspan="4"></td><td>VGA（640×480）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td>（CIF）</td><td rowspan="4">フロントカメラスナップ</td><td rowspan="2">連続撮影</td><td colspan="2"></td><td>CIF（352×288）サイズに設定中であることを表します。</td><td>290</td></tr>
<tr><td>（QCIF）</td><td rowspan="2">サイドカメラ動画</td><td rowspan="2">フロントカメラ動画</td><td>QCIF（176×144）サイズに設定中であることを表します。</td><td>291</td></tr>
<tr><td>（Sub-QCIF）</td><td></td><td>Sub-QCIF（128×96）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td>（壁紙）</td><td colspan="3"></td><td>壁紙（240×266）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td>（QVGA）</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">サイドカメラ動画</td><td>QVGA（320×240）サイズに設定中であることを表します。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">⓮REC・セルフタイマー</td><td>（REC）</td><td colspan="6">動画を録画中であることを表します。</td><td>281</td></tr>
<tr><td>（セルフタイマー）</td><td colspan="6">セルフタイマー設定中であることを表します。</td><td>297</td></tr>
</table>

※スナップ・連続撮影モード中は静止画の使用メモリ量、動画撮影モード中は動画の使用メモリ量、記録媒体選択が「SDカード」のときはminiSDメモリーカードの使用メモリ量を表しています。

次ページにつづく

静止画ファイルについて

ファイル形式	JPEG
画素数	スナップ：UXGA（1600×1200）、SXGA（1280×960）、VGA（640×480）、CIF（352×288）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）、壁紙（240×266） 連続撮影：CIF（352×288）、QCIF（176×144）
拡張子	jpg
タイトル	保存日時により自動設定（2004年5月26日10時00分に撮影した場合） 「2004/05/26 10：00」 日付時刻設定が未設定の場合：「----/--/-- --:--」
ファイル名	保存日時により自動設定（2004年5月26日10時00分に撮影した場合） スナップ：「200405261000」 連続撮影：「200405261000XX」（XXは2桁の連続した番号） 日付時刻設定が未設定の場合 スナップ：「image」 連続撮影：「image1～image4」（CIF（352×288）の場合） 「image1～image9」（QCIF（176×144）の場合） 「P1000001～P1000004」（CIF（352×288）、「記録媒体選択」が「SDカード」の場合） 「P1000001～P1000009」（QCIF（176×144）、「記録媒体選択」が「SDカード」の場合）
ファイルサイズ	VGA以上は100Kバイト以下に、CIF以下は9000バイト以下に変更できます。（P.295、344参照）
メール添付・出力	メール添付やminiSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
最大保存件数	本体内　100件　※miniSDメモリーカードについてはP.278参照 ●データサイズや他の静止画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
表示方法	イメージビューア

動画ファイルについて

ファイル形式	MP4（本体）、ASF（miniSDメモリーカード）
符号化方式	映像：MPEG4※1　音声：AMR
画素数	QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）
拡張子	asf、3gp※2
タイトル	撮影日時により自動設定（2004年5月26日10時00分に撮影した場合） 「2004/05/26 10：00」 日付時刻設定が未設定の場合：「----/--/-- --:--」
ファイル名	撮影日時により自動設定（2004年5月26日10時00分に撮影した場合） 「200405261000」 日付時刻設定が未設定の場合：「movie」 「MOL001」（「記録媒体選択」が「SDカード」の場合）
ファイルサイズ	約800Kバイト（「記録媒体選択」が「本体」のとき） 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。（P.295、378参照）
メール添付・出力	メール添付やminiSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
最大保存件数	本体内　50件　※miniSDメモリーカードについてはP.283参照。 ●データサイズや他の動画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
表示方法	ｉモーションプレーヤー

※1 MPEG4とはMoving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化（データ圧縮）方式です。

※2 asf、3gpのファイル生成についてはP.418参照。

■動画再生ソフトのご紹介

- パソコンで動画（MP4）を再生するには、「QuickTime6.3」と「3GPPコンポーネント」または「QuickTime6.4」以降が必要です。QuickTimeは、アップルコンピュータ（株）のホームページから無償でダウンロードできます。

<静止画撮影>
静止画を撮影する

静止画を撮影する

P.13

カメラを使ってスナップを撮影します。撮影したスナップ・連続撮影は本体の「カメラ」フォルダ（最大100枚、約1.4Mバイトまで）またはminiSDメモリーカードに保存されます。保存先を選択するには「記録媒体選択」（P.293参照）、「保存先フォルダ選択」（P.351参照）。

1 待受画面でムービースタイルに切り替える

サイドカメラが起動し、カメラで写している映像が画面に表示されます。
- 「スタイル連動設定」が「連動しない」のときはムービースタイルに切り替えてもサイドカメラは起動しません。ムービースタイルに切り替えてから を1秒以上押してサイドカメラを起動してください。
- カメラショートカットで を選択して を押すと「サイドカメラスナップサイズ」が「UXGA」に設定された状態でサイドカメラを起動できます。

2 を数回押してスナップ撮影モードに切り替える

「 （スナップアイコン）」を表示します。



<撮影画面>

3 を押す



4 を押す
- 保存しない場合は （クリア）を押します。



<ポストビュー画面>

5 カメラを終了するには （クリア）を押す

カメラが終了します。
- 保存した静止画を再生するには、P.318参照。

ノーマルスタイル

1 (メニュー) ▶ アクセサリ ▶ **カメラ**

フロントカメラが起動し、カメラで写している映像が画面に表示されます。

- 待受画面で (カメラ) を1秒以上押してもフロントカメラを起動できます。
- カメラショートカットで カメラ を選択して (●) を押してもフロントカメラを起動できます。

2 (▲) **を数回押してスナップ撮影モードに切り替える**

「(スナップアイコン)（スナップアイコン）」を表示します。



スナップアイコン

＜撮影画面＞

3 (●) **を押す**

- フロントカメラで自画像を撮影するときなどは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。

4 (●) **を押す**

- 保存しない場合は (クリア) を押します。
- (✉)（(✉)）を押すと撮影した静止画を簡単にｉモードメールに添付できます。（P.279参照）



＜ポストビュー画面＞

5 カメラを終了するには (HLD) **または** (クリア) **を押す**

カメラが終了します。

- 保存した静止画を再生するには、P.318参照。

■ポストビュー画面について

「ポストビュー画面」とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

お知らせ

- 「撮影サイズ」や「スナップ制限」（P.295参照）により画質が粗くなることがあります。また、ポストビュー画面では拡大して表示されるため、画質が粗くなることがあります。

連続撮影する

P.13

カメラを使って自動または手動で静止画を連続撮影します。自動連続撮影モードで画像サイズがCIFのときは約0.8秒間隔で4枚、QCIFのときは約0.4秒間隔で9枚撮影します。連続撮影の画像サイズはQCIFまたはCIFのみで、「連続撮影サイズ」で設定します。撮影したスナップ・連続撮影は本体の「カメラ」フォルダ（最大100枚、約1.4Mバイトまで）またはminiSDメモリーカードに保存されます。保存先を選択するには「記録媒体選択」（P.293参照）、「保存先フォルダ選択」（P.351参照）。自動、手動を切り替えるには「連続撮影モード切替」（P.293参照）。

1 待受画面でムービースタイルに切り替える

サイドカメラが起動し、カメラが写している映像が画面に表示されます。

●「スタイル連動設定」が「連動しない」のときはムービースタイルに切り替えてもサイドカメラは起動しません。ムービースタイルに切り替えてから を1秒以上押してサイドカメラを起動してください。

2 を数回押して連続撮影モードに切り替える

「 （自動連続撮影アイコン）」または「 （手動連続撮影アイコン）」を表示します。



＜撮影画面＞

3 を押す

手動連続撮影の場合は、撮影枚数分 を押します。すべての枚数（4枚または9枚）を撮影しない場合は を押します。

●手動連続撮影中は、ズーム機能を使用できます。

●手動連続撮影中に、しばらく操作しないでいると、自動的にポストビュー画面になります。



4 を押す

●保存しない場合は （クリア）を押します。



＜ポストビュー画面＞

5 カメラを終了するには （クリア）を押す

カメラが終了します。

●保存した静止画を再生するには、P.318参照。

ノーマルスタイル

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **カメラ**

フロントカメラが起動し、カメラで写している映像が画面に表示されます。

●待受画面で を1秒以上押してもフロントカメラを起動できます。

●カメラショートカットで カメラ を選択して を押してもフロントカメラを起動できます。

2 **を数回押して連続撮影モードに切り替える**

「A（自動連続撮影アイコン）」または「M（手動連続撮影アイコン）」を表示します。



自動連続撮影アイコン／手動連続撮影アイコン

＜撮影画面＞

3 **を押す**

手動連続撮影の場合は、撮影枚数分 を押します。すべての枚数（4枚または9枚）を撮影しない場合は （中止）を押します。

●フロントカメラで自画像を撮影するときなどは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。

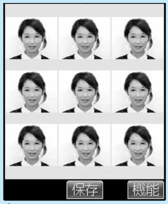
4 **を押す**

●保存しない場合は クリア を押します。

5 **カメラを終了するには または クリア を押す**

カメラが終了します。

●保存した静止画を再生するには、P.318参照。



＜ポストビュー画面＞

■連続撮影のポストビュー画面

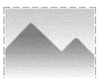


QCIF・9枚



CIF・4枚

※手動連続撮影を途中で中止した場合や使用状況により枚数分（QCIF・9枚、CIF・4枚）撮影されない場合があります。その場合は以下のような画像が表示されます。



保存できるスナップ枚数の目安

保存できる枚数は「スナップ画質」、画像サイズや撮影環境によって変わります。
※本体・miniSDメモリーカードには保存可能なファイル数に上限があります。

FOMA端末に保存可能な枚数

FOMA端末で撮影した静止画は「カメラ」フォルダに保存されます。

画像サイズ		UXGA (1600×1200)	SXGA (1280×960)	VGA (640×480)	CIF (352×288)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)	壁紙 (240×266)
スナップ画質	スーパーファイン	約1枚	約2枚	約11枚	約21枚	約61枚	約100枚	約23枚
	ファイン	約2枚	約3枚	約13枚	約28枚	約78枚	約100枚	約32枚
	ノーマル	約3枚	約4枚	約19枚	約54枚	約100枚	約100枚	約73枚

●「スナップ制限」を「制限なし」にした場合の目安です。

miniSDメモリーカードに保存可能な枚数

FOMA端末で撮影した静止画は「SDカード」フォルダに保存されます。

画像サイズ		UXGA (1600×1200)	SXGA (1280×960)	VGA (640×480)	CIF (352×288)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)	壁紙 (240×266)
スナップ画質	スーパーファイン	約15枚	約20枚	約100枚	約200枚	約400枚	約850枚	約200枚
	ファイン	約20枚	約30枚	約150枚	約250枚	約400枚	約850枚	約250枚
	ノーマル	約30枚	約50枚	約200枚	約400枚	約850枚	約850枚	約400枚

●「スナップ制限」を「制限なし」にした場合の目安です。
●付属のminiSDメモリーカード（試供品）を使用した場合の目安です。なお、miniSDメモリーカード製造メーカによって保存できる枚数は異なります。

お知らせ

●miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードの付け外しをしないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
●撮影時にはマナーモード等の設定に関わらずシャッター音が鳴ります。音量はレベル4に固定されており、変更することはできません。
●ポストビュー画面表示中にスタイルを変更したり電話がかかってきた場合は、撮影した静止画が保存されます。ただし、ポストビュー画面に「保存/Save クリアキャンセル/Cancel」が表示される前にスタイルを変更したり電話がかかってきた場合は保存されません。電話がかかってきた場合は通話終了後に撮影画面に戻ります。
●連続撮影中に電話がかかってきた場合は撮影が中断され、それまで撮影した静止画は保存されず、通話終了後に撮影画面に戻ります。
●電池残量が少ないとき、スナップ・連続撮影を保存できない場合があります。
●本体の記録可能容量が100Kバイト未満の場合、またはminiSDメモリーカードの記録可能容量が120Kバイト（CIF）や144Kバイト（QCIF）未満の場合は、警告音が鳴り、連続撮影できません。
●ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
●本体またはminiSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、そのデータの保証はいたしません。
●電源OFF、SDチェックディスク、SDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」（P.351参照）で設定してください。
●パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」（P.351参照）で設定してください。
●撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
●フロントカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
●撮影時に着信／充電ランプが赤色で点灯します。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点灯します。被写体によってはムービースタイルでの撮影時に、着信／充電ランプの色が映ることがあります。
●テレビ電話中は静止画を撮影できません。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ポストビュー画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

ｉモードメール作成	本ページ参照
鏡画像で保存	P.280
再生確認	P.280

操作により実行できない項目があります。
上記の機能メニューは、ムービースタイル時には選択できません。

ｉモードメール作成

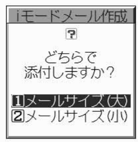
撮影した静止画・動画を保存し、ｉモードメールに添付します。

1 ポストビュー画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成

●ポストビュー画面で ✉（✉）を押してもｉモードメールを作成できます。

■静止画のファイルサイズが10000バイトより大きいときは右の画面が表示されます。

「メールサイズ（大）」または「メールサイズ（小）」を選択し、◉ を押します。
メールサイズ（大）・・・・・大容量画像としてｉモードメールに添付します。
ファイルサイズが102400バイトより大きい場合は102400バイト以下に変換します。
メールサイズ（小）・・・・・静止画をQCIF（176×144）サイズに縮小・切り抜き、ファイルサイズを9000バイト以下に変換します。



※画像によりQCIFサイズにならない場合があります。

お知らせ

●動画のデータサイズが102400バイトを超える場合は、警告音が鳴り、ｉモードメールに添付できません。「メールサイズ切り出し」を行うか、「録画制限」を「メール添付モード」にして撮影し直す必要があります。
●メールの送信、保存についてはP.150、177参照。
●連続撮影時は、この機能は使用できません。
●10000バイトを超える静止画は大容量画像となります。
●大容量画像を添付した場合、パソコンに送ることはできますが、FOMA端末およびｉモード端末に送ることはできません。

鏡画像で保存

フロントカメラでフレームを付けずに撮影した静止画を鏡像（左右反転）のまま保存します。

1 **ポストビュー画面▶ⓘ（機能）▶鏡画像で保存**

再生確認

P.13

撮影した静止画・動画を再生します。

1 **ポストビュー画面▶ⓘ（機能）▶再生確認**

●ムービースタイル時に動画を再生する場合は、ポストビュー画面で▼を押します。
●静止画を再生した場合は◉を押して静止画を保存できます。

お知らせ

●音声の記録された動画をマナーモード中に再生確認しようとすると、「マナーモード中です 再生時に音声再生しますか？」と表示されます。「YES」または「NO」を選択し、◉を押すと動画を再生します。

＜動画撮影＞

動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。動画とともに音声も記録されます。撮影した動画は本体の「カメラ」フォルダ（最大50件、3.3Mバイトまで）またはminiSDメモリーカードに保存されます。保存先を選択するには「記録媒体選択」（P.293参照）、「保存先フォルダ選択」（P.351参照）。

1 待受画面でムービースタイルに切り替える

サイドカメラが起動し、カメラで写している映像が画面に表示されます。

●「スタイル連動設定」が「連動しない」のときはムービースタイルに切り替えてもサイドカメラは起動しません。ムービースタイルに切り替えてから（カメラキー）を1秒以上押してサイドカメラを起動してください。

2 （▲）を数回押して動画撮影モードに切り替える

「（録画アイコン）」を表示します。



＜撮影画面＞

3 （◎）を押す

録画を開始します。



4 （◎）を押す

録画を終了します。

●「記録媒体選択」が「SDカード」の場合、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順5の操作は不要です。



5 （◎）を押す

●保存しない場合は（　）（クリア）を押します。

●（▼）を押すと動画を再生できます。



＜ポストビュー画面＞

6 カメラを終了するには（　）（クリア）を押す

カメラが終了します。

●保存した動画を再生するには、P.356参照。

次ページにつづく

ノーマルスタイル

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **カメラ**

フロントカメラが起動し、カメラで写している映像が画面に表示されます。

●待受画面で を1秒以上押してもカメラを起動できます。

●カメラショートカットで メール用ムービー を選択して を押すと動画撮影モードで「録画制限」が「メール添付モード」に、「動画サイズ」が「Sub-QCIF」に設定された状態でカメラを起動できます。
スーパーファインムービー を選択して を押すと動画撮影モードで「記録媒体選択」が「SDカード」に、「SD録画画質」が「スーパーファイン」に設定された状態でカメラが起動できます。

2 **を数回押して動画撮影モードに切り替える**

「 (録画アイコン)」を表示します。

録画アイコン



＜撮影画面＞

3 **を押す**

録画を開始します。

●フロントカメラで自画像を撮影するときなどは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。

4 **を押す**

録画を終了します。

5 **を押す**

●フロントカメラで撮影した動画のポストビュー画面は、正像で表示されます。

●保存しない場合は クリア を押します。

● （ ）を押すと撮影した動画を簡単にｉモードメールに添付できます。（P.279参照）

6 **カメラを終了するには または クリア を押す**

カメラが終了します。

●保存した動画を再生するには、P.356参照。



＜ポストビュー画面＞

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ポストビュー画面を表示中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

ｉモードメール作成	P.279
再生確認	P.280

操作により実行できない項目があります。
上記の機能メニューは、ムービースタイル時には選択できません。また、「記録媒体選択」を「SDカード」で撮影した場合、ポストビュー画面は表示されないため操作できません。

録画時間の目安（本体）

撮影できる時間は「録画画質」や撮影環境によって異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

録画画質	音声のみ	映像のみ		音声と映像	
		Sub-QCIF（128×96）	QCIF（176×144）	Sub-QCIF（128×96）	QCIF（176×144）
高品質モード	約57秒（約488秒）	約11秒（約93秒）	約11秒（約93秒）	約9秒（約78秒）	約9秒（約78秒）
標準モード	約57秒（約488秒）	約17秒（約148秒）	約17秒（約148秒）	約13秒（約114秒）	約13秒（約114秒）
長時間モード	約105秒（約889秒）	約44秒（約372秒）	約29秒（約248秒）	約31秒（約262秒）	約23秒（約194秒）

●（　）は「録画制限」で「制限なし」選択時の記録秒数です。

録画時間の目安（miniSDメモリーカード）

撮影できる時間は「SD録画画質」や撮影環境によって異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

SD録画画質	動画サイズ	128Mバイト	64Mバイト	32Mバイト	16Mバイト	8Mバイト
スーパーファイン	QVGA（320×240）	約18分	約9分	約4分	約2分	約1分
	QCIF（176×144）	約35分	約17分	約8分	約4分	約2分
	Sub-QCIF（128×96）	約63分	約31分	約15分	約7分	約3分
ファイン	QVGA（320×240）	約35分	約17分	約8分	約4分	約2分
	QCIF（176×144）	約89分	約44分	約21分	約10分	約4分
	Sub-QCIF（128×96）	約89分	約44分	約21分	約10分	約4分
ノーマル	QVGA（320×240）	約51分	約25分	約12分	約5分	約2分
	QCIF（176×144）	約142分	約70分	約34分	約16分	約7分
	Sub-QCIF（128×96）	約142分	約70分	約34分	約16分	約7分

●「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合の目安です。なお、miniSDメモリーカード製造メーカにより録画できる時間は異なります。
●記載している時間は、各miniSDメモリーカードの最大録画時間です。
●miniSDメモリーカードに録画した動画はASFファイルとなります。

お知らせ

●miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードの付け外しをしないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
●撮影開始時・終了時にはマナーモード等の設定に関わらず「ピッ」と鳴ります。音量はレベル4に固定されており、変更することはできません。
●録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
●以下の場合は自動的に録画を終了します。（それまでに録画した動画は自動保存されます。）
・録画中にスタイルを変更したとき　・記録可能容量を超えたとき　・電池切れのとき
・録画中の動画のメモリがｉモーションメールに添付可能なサイズまたは約800Kバイト（録画制限なしの場合）を超えたとき
・録画中に電話がかかってきたとき（通話終了後は撮影画面に戻ります。）
●ポストビュー画面表示中にスタイルを変更すると、撮影した動画が保存されます。
●電池残量が少ないとき、動画を保存できない場合があります。
●保存先が本体で残容量が12Kバイト未満、または保存先がminiSDメモリーカードで残容量が160Kバイト未満の場合、撮影できません。ただし、保存先がminiSDメモリーカードで動画サイズがQVGA、かつ録画画質がスーパーファインの場合、残容量が208Kバイト未満のとき撮影できません。
●ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
●本体またはminiSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、そのデータの保証はいたしません。
●電源OFF、SDチェックディスク、SDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」（P.351参照）で設定してください。
●パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」（P.351参照）で設定してください。
●録画中は着信／充電ランプが赤色で点滅します。miniSDメモリーカードへの保存時には緑色で点滅します。被写体によってはムービースタイルでの撮影時に、着信／充電ランプの色が映ることがあります。
●動画によっては、待受画面に設定できないものもあります。
●音声通話中は動画録画できません。

撮影時の設定をする

撮影時のカメラの設定をします。カメラの設定は、カメラを起動している状態で設定します。

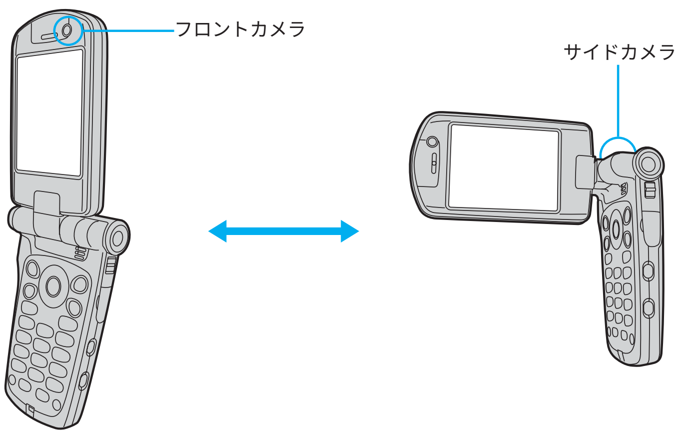
カメラを切り替える

P.13

フロントカメラとサイドカメラを切り替えます。
フロントカメラは自分の顔などの撮影、サイドカメラは人や風景の撮影に便利です。

1 フロントカメラからサイドカメラに切り替えるには、ノーマルスタイルからムービースタイルに切り替える

●サイドカメラからフロントカメラに切り替えるには、ムービースタイルからノーマルスタイルに切り替えます。







お知らせ

●フロントカメラとサイドカメラを同時に起動させることはできません。
●スタイル切替についてはP.14参照。

ズームする

P.13

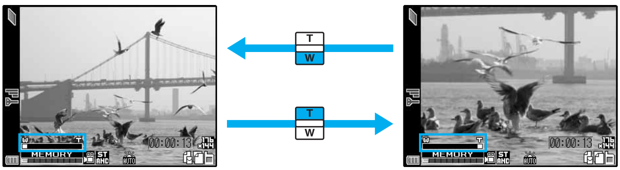
カメラで写している映像を望遠（Tele）・広角（Wide）で表示します。
サイドカメラでの各サイズにおける最大望遠倍率は、以下のとおりです。

撮影モード	サイズ	最大望遠倍率
スナップ	VGA（640×480）	約2.5倍
	CIF（352×288）	約4.1倍
	QCIF（176×144）	約8.1倍
	Sub-QCIF（128×96）	約12.0倍
	壁紙（240×266）	約4.1倍
連続撮影	QCIF（176×144）	約2.0倍
動画	QCIF（176×144）	約2.0倍
	Sub-QCIF（128×96）	約3.1倍

※スナップ撮影モード時のUXGA・SXGA、連続撮影モード時のCIF、動画撮影モード時のQVGAでは望遠・広角表示はできません。

1 撮影画面で [T/W] を押す

望遠（T）･･･ [T] を数回押す。
広角（W）･･ [W] を数回押す。
●それぞれのキーを1秒以上押し続けると、ズーム倍率が連続的に変化します。
● [ ]（クリア）を押すか、2秒以上望遠・広角の操作をしなかった場合、または一度FOMA端末を閉じるとズームバーの表示が消えます。



＜広角＞　＜望遠＞

ノーマルスタイル

フロントカメラでの各サイズにおける最大望遠倍率は、以下のとおりです。

撮影モード	サイズ	最大望遠倍率
スナップ	QCIF（176×144）	約2.0倍
	Sub-QCIF（128×96）	約2.8倍
連続撮影	QCIF（176×144）	約2.0倍
動画	QCIF（176×144）	約2.0倍
	Sub-QCIF（128×96）	約2.8倍

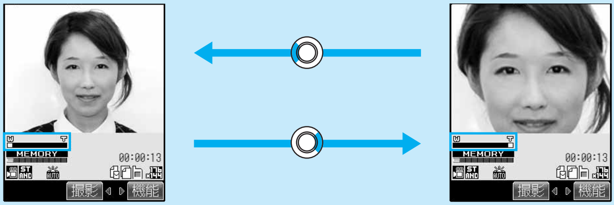
※スナップ撮影モード時のCIF・壁紙、連続撮影モード時のCIFでは望遠・広角表示はできません。

1 撮影画面で を押す

望遠（T）････ を数回押す。

広角（W）････ を数回押す。

● クリア を押すか、2秒以上望遠・広角の操作をしなかった場合、または一度FOMA端末を閉じるとズームバーの表示が消えます



＜広角＞　＜望遠＞

お知らせ

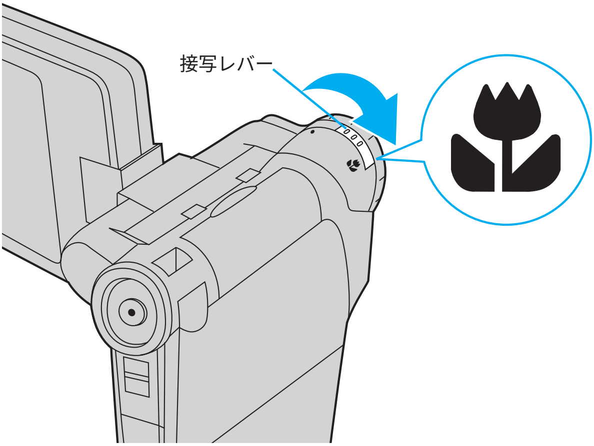
●望遠・広角にすると画質は多少変化することがあります。

●以下の場合、望遠・広角は解除されます。
- カメラを終了したとき
- カメラを切り替えたとき
- サイズを変更したとき
- 撮影モードを切り替えたとき
- フレームを選択したとき
- フレーム選択ONの場合に他のタスクを起動したとき

接写する

P.13

被写体に約10cmの距離まで接近して撮影することができます。
「 」の方向に接写レバーを動かします。
サイドカメラのみ接写モードに設定できます。
接写終了後は、接写レバーを「 ● 」の方向に戻します。



フォトライト

P.13

お買い上げ時
OFF

暗い場所などでサイドカメラを使用して撮影するときに、フォトライトをフラッシュさせたり、補助光として点灯させます。ムービースタイル時のみ利用できます。

1 撮影画面で ( )（機能／メニュー）を押す

● ( )（機能／メニュー）を押すたびにフォトライトの設定が以下の順で切り替わります。
- ・スナップ撮影モードの場合、ON（High）→ON→OFF→ON（High）…の順。
- ・連続撮影モードの場合、ON→OFF→ON…の順。
- ・動画撮影モードの場合、ON→OFF→ON…の順。

ON（High）･･･フォトライトを点灯させます。撮影の瞬間に強く光ります。
ON･･････････フォトライトを点灯させます。
OFF･････････フォトライトをフラッシュまたは点灯させません。

お知らせ

●ノーマルスタイル・ビューアスタイル時はフォトライトは使用できません。
●ナイトモード設定が「ON」に設定されている場合、フォトライトを「ON（High）」に設定することはできません。
●フォトライトを「ON（High）」または「ON」に設定中に撮影モードを切り替えるとフォトライトは「OFF」になります。
●カメラを終了するとフォトライトは「OFF」になります。

カメラ機能を利用する
撮影時の設定をする

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニューから、カメラ撮影時・ファイル保存時のさまざまな設定ができます。

●カメラ撮影時・ファイル保存時の設定はカメラを終了しても戻りません。再度カメラを起動すると、前回カメラ終了時の設定となります。だたし、「フレーム選択」と「セルフタイマー設定」は「OFF」に戻ります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

撮影画面を表示中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。
上記の機能メニューは、ムービースタイル時には選択できません。機能メニューを使う場合は、一度スタイルをノーマルスタイルに変更してから操作してください。

カメラ調整（明るさ）

お買い上げ時
±0

画面の明るさを調整します。明るさは5段階（－2/－1/±0/＋1/＋2）で調整します。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶カメラ調整▶明るさ



－2 ・・・・・・・暗くなります。
－1 ・・・・・・・やや暗くなります。
±0 ・・・・・・・標準
＋1 ・・・・・・・やや明るくなります。
＋2 ・・・・・・・明るくなります。
●撮影画面から 3 を押しても明るさを調整できます。

お知らせ

●この設定は撮影画面とテレビ電話画面に反映されます。

カメラ調整（ホワイトバランス）

お買い上げ時
オート

カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶カメラ調整▶ホワイトバランス



（晴天）・・・・・・・・・・・屋外晴天下で撮影するとき
（曇天）・・・・・・・・・・・曇天や日陰で撮影するとき
（オート）・・・・・・・・・・ホワイトバランスを自動で調節します。
（電球）・・・・・・・・・・・電球照明下で撮影するとき
●撮影画面から 2 を押してもホワイトバランスを調整できます。

お知らせ

●この設定は撮影画面とテレビ電話画面に反映されます。

カメラ調整（色調切替）

お買い上げ時
通常

「セピア」、「通常」、「美肌」、「モノクロ」の4種類から選択して、カメラで写している映像の色調を切り替えます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶カメラ調整▶色調切替



セピア・・・・・セピア調で撮影します。
通常・・・・・・・標準の色調で撮影します。
美肌・・・・・・・人物の肌を美しく撮影します。
モノクロ・・・モノクロ調で撮影します。
●撮影画面から 1 を押しても色調を調整できます。

フロントカメラスナップサイズ

お買い上げ時
QCIF（176×144）

フロントカメラでスナップを撮影、保存する際の画像サイズを設定します。スナップ撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶フロントカメラスナップサイズ

CIF（352×288）········352×288ドット
QCIF（176×144）······176×144ドット
Sub-QCIF（128×96）···128×96ドット
壁紙（240×266）·······240×266ドット

お知らせ

- 「フレーム選択」が「ON」のときは「フロントカメラスナップサイズ」を選択できません。

サイドカメラスナップサイズ

お買い上げ時
VGA（640×480）

サイドカメラでスナップを撮影、保存する際の画像サイズを設定します。スナップ撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶サイドカメラスナップサイズ

UXGA（1600×1200）··1600×1200ドット
SXGA（1280×960）···1280×960ドット
VGA（640×480）······640×480ドット
CIF（352×288）········352×288ドット
QCIF（176×144）······176×144ドット
Sub-QCIF（128×96）···128×96ドット
壁紙（240×266）·······240×266ドット

お知らせ

- 「フレーム選択」が「ON」のときは「サイドカメラスナップサイズ」を選択できません。

連続撮影サイズ

お買い上げ時
QCIF（176×144）

連続撮影時の画像サイズを、「CIF」または「QCIF」に設定します。連続撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶連続撮影サイズ

CIF（352×288）·····352×288ドット
QCIF（176×144）····176×144ドット

お知らせ

- 「フレーム選択」が「ON」のときは「連続撮影サイズ」を選択できません。

フロントカメラ動画サイズ

お買い上げ時
QCIF（176×144）

**動画をフロントカメラで撮影、保存する際の画像サイズを設定します。
動画撮影モード時のみ設定できます。**

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶フロントカメラ動画サイズ**

QCIF（176×144）······176×144ドット
Sub-QCIF（128×96）···128×96ドット

サイドカメラ動画サイズ

お買い上げ時
QCIF（176×144）

**動画をサイドカメラで撮影、保存する際の画像サイズを設定します。
動画撮影モード時のみ設定できます。**

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶サイドカメラ動画サイズ**

QVGA（320×240）·····320×240ドット
QCIF（176×144）······176×144ドット
Sub-QCIF（128×96）···128×96ドット

お知らせ

●記録媒体選択が「本体」の場合、「QVGA（320×240）」を選択できません。
●サイドカメラ動画サイズを「QVGA（320×240）」に設定しているときに記録媒体選択を「SDカード」から「本体」に変更すると、サイドカメラ動画サイズは「QCIF（176×144）」に切り替わります。

スナップ画質

お買い上げ時
ファイン

スナップ撮影する際の画質を、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3種類から選択して設定します。スナップ撮影モード時、連続撮影モード時のみ設定できます。

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶スナップ画質**

ノーマル··············標準画質／撮影可能枚数が多くなります。
ファイン··············高画質
スーパーファイン······最高画質／撮影可能枚数が少なくなります。

録画画質

お買い上げ時
標準モード

本体に動画を保存する際の画質を、「長時間モード」、「高品質モード」、「標準モード」の3種類の中から選択して設定します。記録媒体選択が「本体」のときで、動画撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶録画画質

長時間モード ･･････････低画質／撮影可能時間は長くなります。
標準モード ････････････標準画質
高品質モード ･･････････高画質／撮影可能時間は短くなります。

お知らせ

●miniSDメモリーカードに動画を保存する場合の画質の設定は、「SD録画画質」参照。

SD録画画質

お買い上げ時
ファイン

miniSDメモリーカードに動画を保存する際の画質を設定します。記録媒体選択が「SDカード」のときで、動画撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶SD録画画質

ノーマル ･･････････････標準画質で録画します。
ファイン ･･････････････高画質で録画します。
スーパーファイン ･･････最高画質で録画します。

お知らせ

●miniSDメモリーカードに動画を保存するには、「記録媒体選択」で「SDカード」を選択します。
●本体内に動画を保存する場合の画質の設定は、「録画画質」参照。

連続撮影モード切替

お買い上げ時
自動連続撮影

連続撮影をするときに、手動でシャッターを押すか自動でシャッターを押すか選択します。連続撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶連続撮影モード切替

自動連続撮影・・・・・・・・・・自動で連続撮影をします。
手動連続撮影・・・・・・・・・・手動で連続撮影をします。

記録媒体選択

お買い上げ時
スナップ・連続撮影モード・・・本体
動画撮影モード・・・・・・・・・・・・・本体

撮影した静止画や動画の保存先を「本体」または「SDカード」に設定します。スナップ・連続撮影モード時と動画撮影モード時を個別に設定できます。

1 撮影画面・テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶記録媒体選択

本体・・・・・・・FOMA端末の「カメラ」フォルダ内に静止画・動画を保存します。
SDカード・・miniSDメモリーカード内に静止画・動画を保存します。

お知らせ

- miniSDメモリーカード内の保存先を設定するにはP.351「保存先フォルダ選択」参照。
- テレビ電話での設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

フレーム選択

お買い上げ時
OFF

静止画撮影時にフレームを合成して表示します。フレームはCIFサイズ・QCIFサイズ・壁紙サイズ各3種類の中から選択することができます。
スナップ撮影モード時、連続撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶(i)(機能)▶フレーム選択▶ON

CIF（352×288）·····CIFサイズのフレームを使用します。
QCIF（176×144）····QCIFサイズのフレームを使用します。
壁紙（240×266）·····壁紙サイズのフレームを使用します。

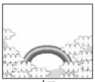
- 「ON」に設定すると、フロントカメラ、サイドカメラの画像サイズは、選択したフレームのサイズになります。
  「OFF」に設定すると、もとの画像サイズに戻ります。

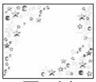
2 フレームを選択▶(●)

- (▼) を押すたびにフレームが順に切り替わって表示されます。

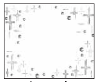
■フレーム一覧


スクープ！


虹


天の川


花園


キラキラクロス

お知らせ

- フロントカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- 連続撮影モードの場合、壁紙サイズのフレームは選択できません。
- フレームをONの状態でムービースタイルに切り替えても、フレームはONのままとなります。
- カメラを終了するとフレームは「OFF」になります。

スナップ制限

お買い上げ時
制限なし

静止画を撮影する際、メールに添付できるファイルサイズに制限します。
UXGA・SXGA・VGAサイズは大容量画像メールに添付できる100Kバイトに、
CIF・QCIF・Sub-QCIF・壁紙サイズは9000バイトに制限します。
スナップ撮影モード時のみ設定できます。

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶スナップ制限**

メール添付モード・・・・・・ｉモードメールに添付できるファイルサイズに制限します。
制限なし・・・・・・・・・・・・・・ファイルサイズに制限を設定しません。

お知らせ

- 撮影後の静止画をメール添付用にファイルサイズ変更するには「メール用サイズ変更」参照。
- 「メール添付モード」で撮影すると、ファイルサイズが制限されるため、画質が粗くなることがあります。
- 100Kバイトを超えるファイルは、メールに添付して送ることができません。

録画制限

お買い上げ時
メール添付モード

動画を録画する際、メールに添付できるファイルサイズに制限します。
動画撮影モード時のみ設定できます。

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶録画制限**

メール添付モード・・・・・・ｉモードメールに添付可能なファイルサイズに制限して録画します。
制限なし・・・・・・・・・・・・・・1回の撮影で約800Kバイトまで録画できます。（「記録媒体選択」が「本体」のとき）

お知らせ

- 撮影後の動画をメール添付用にファイルサイズ変更するには「メールサイズ切り出し」参照。
- 100Kバイトを超えるファイルは、メールに添付して送ることができません。

ファイル制限

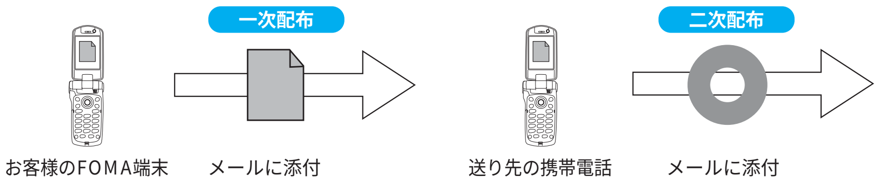
お買い上げ時
なし

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を「あり」または「なし」に設定します。ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールへの添付をできなくなります。

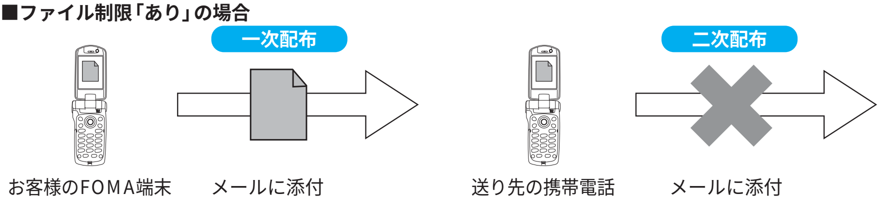
1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶ファイル制限

なし・・・・・・・ファイルに制限を設定しません。
あり・・・・・・・二次配布できなくなります。

■ファイル制限「なし」の場合



■ファイル制限「あり」の場合



お知らせ

- 「ファイル制限」をありにした場合でも、赤外線通信機能で送信したときや、miniSDメモリーカードへエクスポートした静止画や動画は、送信先からFOMA端末外へ出力できます。
- 保存後も「ファイル制限」(P.345参照)で設定を変更することができます。
- 動画撮影モードで記録媒体選択を「SDカード」に設定しているときは、「ファイル制限」を設定することはできません。

シャッター音選択

お買い上げ時
シャッター音1

静止画撮影時のシャッター音を3種類の中から設定します。
スナップ撮影モード時、連続撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶シャッター音選択▶シャッター音1・シャッター音2・シャッター音3

映像／音声選択

お買い上げ時
映像＋音声

動画撮影時の映像・音声の有無を設定します。
動画撮影モード時のみ設定できます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶映像／音声選択

映像＋音声 …………映像と音声を録画・録音します。
映像のみ ……………映像のみ録画します。
音声のみ ……………音声のみ録音します。

お知らせ

- 「音声のみ」で撮影した場合、miniSDメモリーカードに保存したりエクスポートすることはできません。
- 動画撮影モード時の記録媒体選択を「SDカード」に設定している場合、映像／音声選択を「音声のみ」に設定することはできません。映像／音声選択を「音声のみ」に設定しているときに記録媒体選択を「SDカード」に変更すると、映像／音声選択は「映像＋音声」に切り替わります。
- 「音声のみ」に設定して撮影する場合でも、「カメラ起動中」が表示されます。

セルフタイマー設定

お買い上げ時
OFF

セルフタイマーを「ON」にすると、セルフタイマーが働き、約10秒後に撮影されます。

1 撮影画面▶ⓘ（機能）▶セルフタイマー設定

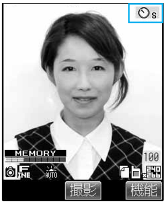
ON ……セルフタイマー設定を有効にします。
OFF……セルフタイマー設定を無効にします。

- 撮影画面から6を押してもセルフタイマーを設定できます。

■セルフタイマー設定を「ON」に設定すると

「ON」に設定すると、撮影画面にセルフタイマーアイコンが表示されます。
◉を押すと確認音が鳴り、着信／充電ランプが点滅して、約10秒後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、着信／充電ランプが点滅中にクリアを押します。



お知らせ

- 手動連続撮影時はセルフタイマーで撮影できません。
- 以下の操作をするとセルフタイマーは「OFF」になります。
  - ・セルフタイマー撮影終了時
  - ・「連続撮影モード切替」を「手動連続撮影」に切り替えたとき
  - ・カメラを終了したとき

ナイトモード

お買い上げ時
OFF

「ナイトモード」に設定すると、暗い場所でも撮影ができます。

1 撮影画面▶i(機能)▶ナイトモード

ON ・・・・・・・ナイトモードを有効にします。
OFF・・・・・・・ナイトモードを無効にします。
●撮影画面から7を押してもナイトモードを設定できます。

お知らせ

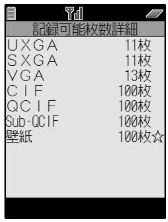
●連続撮影時はナイトモードに設定することはできません。
●ナイトモード時は露光が長くなり特にぶれやすくなるので、ご注意ください。
●この設定は撮影画面とテレビ電話画面に反映されます。

記録可能枚数詳細

本体またはminiSDメモリーカードに保存できる静止画の残り枚数を表示します。
「記録媒体選択」で設定している保存先の枚数が表示されます。

1 撮影画面▶i(機能)▶記録可能枚数詳細

●現在、設定されている画像サイズの横に「☆」が付きます。「フレーム選択」が「ON」の場合、設定しているフレームの画像サイズの横に「☆」が付きます。
●確認が終わればクリアを押します。



お知らせ

●表示される残り枚数は目安であり、保存できる枚数は「スナップ画質」、画像サイズや撮影環境により異なります。（P.278参照）
●記録媒体選択が「本体」のとき、表示される枚数は最大「100枚」です。記録媒体選択が「SDカード」のとき、表示される枚数は、miniSDメモリーカードの記録可能容量により異なります。
●連続撮影モード時に表示される「UXGA」「SXGA」「VGA」「Sub-QCIF」「壁紙」の残り枚数は、スナップ撮影の枚数です。
●残り枚数が999枚を超えても、「999枚」と表示されます。
●記録媒体選択が「SDカード」のときで、以下の状態の場合は「＊＊＊」と表示され、残り枚数を確認できません。
・miniSDメモリーカード未装着のとき
・FOMA P900iVが対応していないメモリーカードを装着しているとき
・FOMA P900iVが対応していないカード容量のminiSDメモリーカードを装着しているとき
・miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき
・miniSDメモリーカードがフォーマット不良のとき

ヘルプ表示

カメラの操作方法がわからないときに操作方法を表示します。

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶ヘルプ表示**

「撮影モード切替」と「ズーム」の操作方法が表示されます。

●撮影画面から0を押してもヘルプを表示できます。

<カメラOFF設定>
カメラOFFを設定する

お買い上げ時
5分

カメラを操作していない状態から自動的にカメラがOFFになるまでの時間を指定します。

1 **メニュー▶各種設定▶カメラ▶カメラOFF設定**

無効・・・・・・・・・・・・・・・・・・・カメラOFF設定を無効にします。

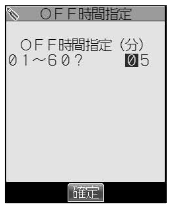
OFF時間指定・・・・・・・・・・・一定の時間でカメラが自動的にOFFになります。

「OFF時間指定」にすると、指定時間を入力する画面になります。

●「無効」にするとカメラOFF設定が解除され設定が終了します。

2 **OFF指定時間（分）を入力▶◉**

●「01」～「60」の2桁を入力します。



お知らせ

●カメラOFF設定が無効でカメラを起動したままでいると、待受時間が短くなることがあります。

<えチャット>

えチャットを使う

音声電話中の相手に静止画を送ることができます。言葉では伝えられない風景などをその場で撮影して送ることもできます。静止画はｉモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。
えチャットを利用するには、事前に通話中の相手の電話番号とメールアドレスが同じ電話帳に登録されている必要があります。
相手がFOMA P900i／P900iV以外のとき、通話中に画像を見られない場合があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

音声電話中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

えチャット撮影／送信	本ページ参照
えチャット選択／送信	P.301
えチャット表示	P.301
ｉモード問い合わせ	P.302

操作により実行できない項目があります。

えチャット撮影／送信

P.13

その場で撮影した静止画を送信します。

1 音声電話中▶ⓘ（機能）▶えチャット撮影／送信

カメラが起動します。

2 ◉を押す



<撮影画面>

静止画が撮影されます。
●カメラについてはP.268参照。
●撮影画面でスタイルを変更すると、フロントカメラとサイドカメラが切り替わります。
●◎または T/W で望遠表示／広角表示になります。
● HLD または クリア を押すと通話画面に戻ります。

3 ◉を押す



●機能メニューから「送信」を選択し、◉を押してもメールアドレスの選択画面が表示されます。
また、「保存&送信」を選択し、◉を押すと、撮影した静止画を保存してから送信することができます。
●中止する場合は クリア を押します。

4 メールアドレスを選択▶◉

静止画が送信されます。送信後、「OK」を押して通話画面に戻ります。
●ムービースタイルで撮影した場合は、ノーマルスタイルに戻してください。
●複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択し、◉を押します。
●中止する場合は「中止」を選択し、◉を押します。

お知らせ

- ●撮影画面で ▲ を押して撮影モードを切り替えることはできません。
- ●スナップサイズを「Sub-QCIF」「QCIF」以外に設定することはできません。（カメラ起動時は「QCIF」に設定されています。）
- ●「フレーム選択」を「ON」に設定した場合、スナップサイズは「QCIF」に固定されます。
- ●「スナップサイズ」を「Sub-QCIF」に設定した場合、「フレーム選択」を選択することはできません。

えチャット選択／送信

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中▶ i （機能）▶えチャット選択／送信

カメラ ················画像を「カメラ」フォルダから選択します。
ｉモード ··············画像を「ｉモード」フォルダから選択します。
SDカード ·············画像をminiSDメモリーカードから選択します。
編集 ··················画像を「編集」フォルダから選択します。
キャラ電イメージ ······画像を「キャラ電イメージ」フォルダから選択します。

2 静止画を選択▶ ◉ ▶メールアドレスを選択▶ ◉



- ●複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択し、 ◉ を押します。
- ●中止する場合は「中止」を選択し、 ◉ を押します。

お知らせ

- ●壁紙（横240×縦266）サイズの静止画を送信しても、FOMA P900iVでは「えチャット表示」できません。

えチャット表示

受信したえチャットの静止画を表示します。
「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で手順1の画面が表示されます。

1 音声電話中▶ i （機能）▶えチャット表示



えチャットメールを受信していた場合、静止画が表示されます。

- ●複数のえチャットを受信したときは、 ◎ で静止画を切り替えることができます。
- ●通話中の画面に戻るには i （閉）、 HLD または クリア を押します。
- ●「ｉモード問い合わせ」を選択し、えチャットメールを受信していた場合でも静止画を表示できます。

お知らせ

- ●横長のQCIF（横176×縦144）、横長のSub-QCIF（横128×縦96）の静止画のみえチャット表示できます。

i モード問い合わせ

音声電話中に i モード問い合わせを行います。（P.182参照）

1 音声電話中▶ (i) (機能) ▶ i モード問い合わせ

●えチャットを受信し、「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、P.301「えチャット表示」手順1の画面が表示されます。
● i モード問い合わせを行い、通常のメールとえチャットメールを受信した場合は、えチャットの静止画が表示されます。

■「えチャット表示設定」および「受信表示設定」によるえチャット受信時の画面表示について

●通話中

えチャット表示設定 / 受信表示設定	自動表示する	自動表示しない
操作優先	えチャット表示	変更なし
通知優先	えチャット表示	受信結果画面

●えチャット表示中

えチャット表示設定 / 受信表示設定	自動表示する	自動表示しない
操作優先	変更なし※	変更なし※
通知優先	変更なし※	受信結果画面

※ (◎) で静止画を切り替えることができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

撮影画面を表示中に (i) (機能) を押すと以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

スナップサイズ

えチャットで送信する画像サイズを選択します。

1 **撮影画面▶ⓘ（機能）▶スナップサイズ**

QCIF（176×144）‥‥‥‥‥‥‥176×144ドット
Sub-QCIF（128×96ドット）‥‥‥128×96ドット

お知らせ

●次の場合に本機能は利用できません。
・通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
・通話中の相手の電話番号とメールアドレスが「シークレットモード」「シークレット専用モード」で電話帳に登録されているとき
・音声電話を受けた側が、電話番号が通知されない状態（非通知設定、通知不可能など）のとき（ただし、電話をかけた側からは可能です。）
・指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
・PIMロック中のとき
・保存BOXがいっぱいのとき（送信できません。）
・受信BOXが未読または保護されているメールでいっぱいのとき（受信できません。）
・キャッチホン中のとき
●画像サイズがQCIF（176×144）を超える画像はQCIF（176×144）に縮小して送信します。
●データ量が9000バイトを超える画像は画質を下げて送信します。
●以下の画像はえチャット送信できません。
・データ量が9000バイト以上のGIFファイル
・「ｉモード」フォルダのFOMA端末外への出力が禁止されているファイル
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったキャラ電イメージ
・miniSDメモリーカード内のSXGA（1280×960）を超えるファイル
●通話中の相手に対して複数のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、送信確認の画面では次の優先順位で表示（反転表示）されます。
①ｉモードのアドレス（@（アットマーク）よりあとが「docomo.ne.jp」）
②ドメイン（@（アットマーク）よりあとの文字）のないアドレス、電話番号
③電話帳に登録されている1番目のアドレス
なお、通話中の相手に送る場合は、通話中の相手のメールアドレスを選択してください。
●送受信したえチャットは、題名が電話番号で本文のない画像添付メールとして送信BOX／受信BOXに保存されます。
●「添付ファイル設定」で「画像有効」のチェックを外していると、受信時に添付ファイルが削除されます。

<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

サイドカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、電話番号、メールアドレス、URL、静止画、メロディなどのデータとして登録することができます。
登録したデータを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

・接写レバーを「 」に動かしてから、読み取りを行ってください。
・コードに対してカメラを約10cm離して読み取ってください。ただし、コードが小さい場合はガイド枠内に大きく写るようにゆっくりカメラを近づけてください。
・コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
・コードがガイド枠内に入るようにして読み取ってください。
・読み取り終了後は接写レバーを「 ● 」に戻します。
・接写についてはP.287参照。



■JANコード

4 942857 112597

JANコードとは、幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
●FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコード

QRコードとは、縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
文字として表示されるのは、英数字・文字（漢字・カナ・絵文字）です。
●FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

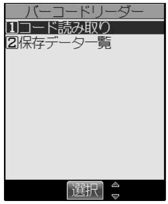
コードを読み取る

お買い上げ時
フォトライト・・・OFF
ズーム・・・・・・・・・1.85倍

読み取った5件まで登録できます。
16個までのQRコードを連結することもできます。コードを読み取るときはムービースタイルにしてください。

1 メニュー▶アクセサリ▶バーコードリーダー▶コード読み取り

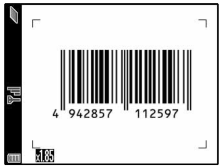
●カメラショートカットで バーコードリーダー を選択し、 を押しても右の画面が表示されます。
●撮影画面の機能メニューから「バーコードリーダー」を選択し、 を押しても右の画面が表示されます。



<バーコードリーダー選択画面>

2 ムービースタイルに切り替える▶接写モードにする

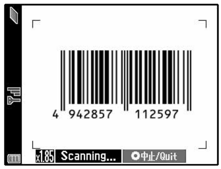
サイドカメラが起動します。
●バーコードリーダー一覧画面で機能メニューから「新規読み取り」を選択し、 を押してムービースタイルに切り替えても、右の画面が表示されます。
●文字入力（編集）画面の機能メニューで「バーコードリーダー」が選択可能な場合、「バーコードリーダー」を選択し、 を押してムービースタイルに切り替えても右の画面が表示されます。
● （機能／メニュー）を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
● を押すと1.25倍に を押すと1.85倍のズームに替わります。



<コード認識待受画面>

3 を押す

コードが読み取られます。（シャッター音は鳴りません。）
●認識を中止する場合は （クリア）または を押します。
●認識が完了すると「ピッ」と音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量はレベル4に固定されており、変更することはできません。ただし、マナーモード設定中は音が鳴りません。
●静止画のデータは「 」、メロディのデータは「 」、対応していないデータは「 」で表示されます。
●文字入力（編集）中の場合はコード認識結果表示画面は表示されず、読み取ったコードが入力された文字入力（編集）画面に戻ります。静止画、メロディのデータは入力されません。また、入力できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。
●読み取ったコードが連結可能なQRコードの場合、 を押すと次のデータを読み込むためにコード認識待受画面が表示されます。手順3の操作を繰り返してください。2回目以降のデータ認識完了時にも「ピッ」と音が鳴り着信／充電ランプが点灯します。
●読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、自動的に読み取りを中断し、コード認識待受画面に戻ります。
●連結コードの読み込み中に読み込みが中断された場合は、それまでの認識データはすべて破棄されます。



次ページにつづく

4 **ノーマルスタイルに切り替える▶ (機能)▶認識結果保存**



<コード認識結果表示画面>

5 **<未登録>を選択▶**

読み取ったデータが登録され、データのタイトルがバーコードリーダー一覧画面に表示されます。

●すでに登録済みの項目を選択し、 を押すと「すでに保存されています上書きしますか？」の確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択し を押します。



<バーコードリーダー一覧画面>

お知らせ

●PIMロック中は、バーコードリーダーを起動できません。
●JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取ることができません。
●読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
●傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく認識できない場合があります。
●バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

コード認識結果表示画面を表示中に (機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
コピー	P.307
電話帳登録	P.308
Bookmark登録	P.309
コンテンツ保存	P.309、310
認識結果保存	P.306

操作により実行できない項目があります。

コピー

読み取ったデータをコピーします。

1 コード認識結果表示画面▶ⓘ（機能）▶コピー▶コピーする始点を選択▶◎▶コピーする終点を選択▶◎

●全角1024文字まで、半角2048文字までコピーできます。
●コピーした文字を貼り付けるには基本編P.330参照。

電話をかける

読み取ったデータの電話番号に電話をかけます。（基本編P.66、基本編P.85参照）

1 コード認識結果表示画面▶電話番号の情報を選択▶◎

音声発信……………音声電話で発信します。
32KTV電話発信 ……32Kのテレビ電話で発信します。
64KTV電話発信 ……64Kのテレビ電話で発信します。
TV電話画像選択 ……テレビ電話中に相手に送信する画像を「自画像」「内蔵」「自作」「キャラ電」から選択します。

2 発信

●中止する場合は「中止」を選択し、◎を押します。
●発信者番号を通知する場合は「発番号通知する」を選択し、◎を押します。通知しない場合は「発番号を通知しない」を選択し、◎を押します。
●電話をかけることを途中で中止するときは、（HLD）を押します。

お知らせ

●「110」「119」「118」を読み取って、緊急通報することはできません。
●「指定発信制限」（基本編P.157参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）、「セルフモード」（基本編P.221参照）を設定しているときは、電話をかけることはできません。設定を解除してください。

メールを送信する

読み取ったデータのメールアドレスにメールを送ります。

1 コード認識結果表示画面▶メールアドレスの情報を選択▶◎



宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。
以降、P.150手順3から操作を行ってメールを作成します。
●メール情報を持ったQRコードを読み取った場合、コード認識結果表示画面で「メール作成」を選択し◎を押すと、新規メールの宛先、題名、本文にコード認識結果表示画面のデータが入力されます。

電話帳に登録する

読み取ったデータの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
すでに登録してある電話帳に追加登録するときは、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録します。
例：FOMA端末（本体）の電話帳に追加登録するとき

1 コード認識結果表示画面▶電話番号やメールアドレスの情報を選択▶ⓘ（機能）▶電話帳登録▶YES▶本体

●コード認識結果表示画面で「電話帳登録」を選択し◉を押すと、電話帳の名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモにコード認識結果表示画面のデータが登録されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカード」を選択します。

2 追加登録

●手順1で「FOMAカード」を選択した場合は、「上書き登録」と表示されます。
●新規に登録するときは「新規登録」を選択し、◉を押したあと「FOMA端末（本体）に電話帳を登録する」（基本編P.122参照）の操作をして登録します。
FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカードに電話帳を登録する」（基本編P.129参照）の操作をして登録します。

3 検索方法を選択▶◉▶電話帳を検索

●電話帳の検索方法については基本編P.133参照。
●手順1でFOMA端末（本体）の電話帳を選択している場合、すでに電話番号が4件またはメールアドレスが3件登録され、これ以上登録できない電話帳はグレー表示になり選択することができません。

4 登録する電話帳を選択▶◉▶◉

電話番号やメールアドレスが自動的に入力されます。
以降、「電話帳を修正する」（基本編P.144参照）の操作を行って追加登録します。



お知らせ

●「指定発信制限」（基本編P.157参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）を設定しているときは、電話帳に登録できません。設定を解除してください。

URLに接続する

読み取ったデータのURLに接続します。（P.52参照）

1 コード認識結果表示画面▶URLの情報を選択▶◉▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●ページを取得中に中止する場合は✉（中止）またはクリアを押します。

ブックマークに登録する

読み取ったデータのURLをブックマークに登録します。（P.58参照）

1 **コード認識結果表示画面▶URLの情報を選択▶ⓘ（機能）▶Bookmark登録▶YES▶OK▶登録したいフォルダを選択▶◉**

●コード認識結果表示画面で「ブックマーク登録」を選択し◉を押すと、サイト名とURLが登録されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●お買い上げ時は「Bookmark」フォルダのみ選択できます。

お知らせ

●URLが256バイトを超える場合、先頭から256バイト分のみ登録できます。

ｉアプリを起動する

読み取ったデータからｉアプリを起動します。（P.94参照）

1 **コード認識結果表示画面▶ｉアプリの起動情報を選択▶◉▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●「ｉアプリ To 設定」で「バーコードからｉアプリ To」のチェックを外していると、読み取ったデータを利用してのｉアプリ起動はできません。
●指定したソフトがない場合、ｉアプリを起動できません。

画像を保存する

読み取ったデータの静止画を「カメラ」フォルダ（P.318参照）に保存します。

1 **コード認識結果表示画面▶「 」を選択▶ⓘ（機能）▶コンテンツ保存**

●「 」を選択し、◉を押すと静止画が表示されます。

お知らせ

●保存された静止画のファイル名、タイトルは以下のようになります。
（例）2004年5月26日10時00分に保存した場合
ファイル名：200405261000
タイトル：2004/05/26 10:00

メロディを保存する

読み取ったデータのメロディを「オリジナル着信音」（P.388参照）に登録し、着信音などに設定します。

1 コード認識結果表示画面▶「♪」を選択▶（機能）▶コンテンツ保存

●「♪」を選択し、を押すとメロディが再生されます。

2 YES

電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・音声電話がかかってきたときの着信音を設定します。
TV電話・・・・・・・・・・・・・・・・・テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。
メール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音を設定します。
メッセージリクエスト・・・・メッセージリクエストを受信したときの着信音を設定します。
メッセージフリー・・・・・・・・メッセージフリーを受信したときの着信音を設定します。
●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

お知らせ

●保存されたメロディのファイル名は以下のようになります。
（例）2004年5月26日10時00分に保存した場合
　ファイル名：200405261000
●タイトルが付けられていないメロディは一覧で「無題」と表示されます。
●マナーモード設定中は、メロディを再生する際、「マナーモード中です 再生しますか？」と表示されます。再生する場合は「YES」を選択し、を押します。中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●メロディを再生する際、「着信音量」（基本編P.83参照）の「電話／TV電話」で設定された音量で再生されます。
●通話中はメロディの再生ができません。

一覧を表示する

P.13

読み取ったデータのタイトルの一覧を5件まで表示します。

1 （メニュー）▶アクセサリ▶バーコードリーダー▶保存データ一覧

登録済みの項目はタイトルが表示されます。
●（起動）を押すかまたは機能メニューから「新規読み取り」を選択し、を押してムービースタイルに切り替えてもコード認識待受画面が表示され、データを読み取ることができます。
●すでに登録済みの項目を選択しを押すと、コード認識結果表示画面が表示されます。



<バーコードリーダー一覧画面>

お知らせ

●読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
（例）2004年5月26日10時00分に保存した場合
　タイトル名：2004/05/26 10:00

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

バーコードリーダー一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

デスクトップ貼付	P.311
1件削除	P.311
全削除	P.311
新規読み取り	P.305

操作により実行できない項目があります。

デスクトップ貼付

P.13

バーコードリーダー機能をデスクトップに貼り付けます。

1 **バーコードリーダー一覧画面▶ⓘ（機能）▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

■デスクトップのアイコンからバーコードリーダー機能を呼び出すには

1. 待受画面で◎を押します。
2. ◎でバーコードリーダーのアイコンを選択し、◎を押します。
   ●バーコードリーダー選択画面が表示されます。



お知らせ

●バーコードリーダーで読み取ったデータをデスクトップに貼り付けることはできません。
●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

1件削除・全削除

1 **バーコードリーダー一覧画面▶ⓘ（機能）▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●「全削除」の場合は、端末暗証番号を入力し◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

<テキストリーダー>

テキストリーダーを利用する

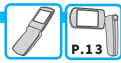
サイドカメラを使って印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどを読み取り、文字情報として登録することができます。登録した文字情報を使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■テキストリーダーで読み取りを行うときは
- 接写レバーを「 」に動かしてから、読み取りを行ってください。
- 読み取りたい文字列に対してカメラを約10cm離して読み取ってください。約10cmの距離からずれた位置で読み取りを行った場合、認識率が低下します。
- 読み取りたい文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- 読み取りたい文字列を認識範囲内に入るようにして読み取ってください。
- 読み取り終了後は接写レバーを「 ● 」に戻します。
- 接写についてはP.287参照。



認識範囲

文字を読み取る

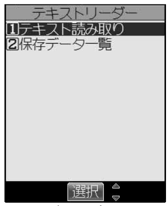


お買い上げ時	
認識モード	自動
フォトライト	OFF

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、20件まで登録できます。一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取ることができます。
文字を読み取るときは、ムービースタイルにしてください。

1 **(メニュー) ▶ (アクセサリ) ▶ テキストリーダー ▶ テキスト読み取り**

●カメラショートカットで を選択し、 を押しても右の画面が表示されます。
●撮影画面の機能メニューから「テキストリーダー」を選択し、 を押しても右の画面が表示されます。



<テキストリーダー選択画面>

2 **ムービースタイルに切り替える ▶ 接写モードにする**

サイドカメラが起動します。
●テキストリーダー一覧画面で機能メニューから「新規読み取り」を選択し、 を押してムービースタイルに切り替えても、右の画面が表示されます。
● (▲) を押すと、認識モードを以下の5種類の順に設定できます。
- AUTO（自動）･････････････文字の種類を自動で判別します。
- URL（URL）･･･････････････URLを読み取る場合に選択します。
- （メールアドレス）･･･メールアドレスを読み取る場合に選択します。
- （電話番号）･････････電話番号を読み取る場合に選択します。
- （フリー）･･･････････特に指定せずに文字を読み取る場合に選択します。

● （機能／メニュー）を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。



<テキスト認識待受画面>

認識モード

3 を押す



認識範囲内の文字が読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)
- 認識を中止する場合は (クリア)を押します。
- 認識が完了すると「ピッ」と音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量はレベル4に固定されており、変更することはできません。ただし、マナーモード設定中は音が鳴りません。
- 半角50文字以上を読み取る場合はP.316「連結」参照。

4 ノーマルスタイルに切り替える▶ (機能)▶保存



<テキスト認識結果表示画面>

5 <未登録>を選択▶



<テキストリーダー一覧画面>

読み取った文字が登録されます。
- すでに登録済みの項目を選択し、 を押すと「すでに保存されています 上書きしますか？」の確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択し を押します。

お知らせ

- PIMロック中は、テキストリーダーは起動できません。
- 読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 認識できる文字は、半角の英字(大文字・小文字)と半角の数字、半角の記号（# & ( ) − . / : @ [ ] _ ~ ? = % +)です。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。
- 手書きの文字は認識することができません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。
- FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

テキスト認識結果表示画面を表示中に (機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
連結	P.316
編集	P.316
コピー	P.317
電話帳登録	P.314
Bookmark登録	P.315
保存	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

電話をかける

読み取った電話番号に電話をかけます。（基本編P.66、基本編P.85参照）

1 テキスト認識結果表示画面▶電話番号の情報を選択▶◉

音声発信 ･･････････････音声電話で発信します。
32KTV電話発信 ･･････32Kのテレビ電話で発信します。
64KTV電話発信 ･･････64Kのテレビ電話で発信します。
TV電話画像選択 ･･･････テレビ電話中に相手に送信する画像を「自画像」「内蔵」「自作」「キャラ電」から選択します。

2 発信

●中止する場合は「中止」を選択し、◉を押します。
●発信者番号を通知する場合は「発番号通知する」を選択し、◉を押します。通知しない場合は「発番号を通知しない」を選択し、◉を押します。
●電話をかけることを途中で中止するときは、📞を押します。

お知らせ

●「110」「119」「118」を読み取って、緊急通報することはできません。
●「指定発信制限」（基本編P.157参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）、「セルフモード」（基本編P.221参照）を設定しているときは、電話をかけることはできません。設定を解除してください。

メールを送信する

読み取ったメールアドレスにメールを送ります。

1 テキスト認識結果表示画面▶メールアドレスの情報を選択▶◉

宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。
以降、P.150手順3から操作を行ってメールを作成します。



電話帳に登録する

読み取った電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
すでに登録してある電話帳に追加登録するときは、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録します。
例：FOMA端末（本体）の電話帳に追加登録するとき

1 テキスト認識結果表示画面▶電話番号やメールアドレスの情報を選択▶ⓘ（機能）▶電話帳登録▶YES▶本体

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカード」を選択します。

2 追加登録

●手順1で「FOMAカード」を選択した場合は、「上書き登録」と表示されます。
●新規に登録するときは「新規登録」を選択し、◉を押したあと「FOMA端末（本体）に電話帳を登録する」（基本編P.122参照）の操作をして登録します。
FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカードに電話帳を登録する」（基本編P.129参照）の操作をして登録します。

3 検索方法を選択▶◉▶電話帳を検索

●電話帳の検索方法については基本編P.133参照。
●手順1でFOMA端末（本体）の電話帳を選択している場合、すでに電話番号が4件またはメールアドレスが3件登録され、これ以上登録できない電話帳はグレー表示になり選択することができません。

4 登録する電話帳を選択▶◉▶◉

電話番号やメールアドレスが自動的に入力されます。
以降、「電話帳を修正する」（基本編P.144参照）の操作を行って追加登録します。



お知らせ

●「指定発信制限」（基本編P.157参照）、「ダイヤル発信制限」（基本編P.219参照）を設定しているときは、電話帳に登録できません。設定を解除してください。

URLに接続する

読み取ったURLに接続します。（P.52参照）

1 テキスト認識結果表示画面▶URLの情報を選択▶◉▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●ページを取得中に中止する場合は ✉（中止）または クリア を押します。

ブックマークに登録する

読み取ったURLをブックマークに登録します。（P.58参照）

1 テキスト認識結果表示画面▶URLの情報を選択▶ i （機能）▶Bookmark登録▶YES▶OK▶登録したいフォルダを選択▶◉

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●お買い上げ時は「Bookmark」フォルダのみ選択できます。

連結

P.13

半角50文字以上の長い文字情報は分割して読み取り、連結します。1件につき半角256文字まで連結できます。

1 テキスト認識結果表示画面▶ i （機能）▶連結

2 ムービースタイルに切り替える▶ ◎ を押す

認識範囲内の文字が読み取られます。
認識した文字は直前に読み取った文字の後ろに追加されます。
●手順1、2の操作を繰り返して文字を連結します。

編集

読み取った文字を編集します。

1 テキスト認識結果表示画面▶ ✉ （編集）

●ビュースタイルでは ✉ を使用できません。
●テキスト認識結果表示画面で機能メニューから「編集」を選択し、 ● を押しても編集画面が表示されます。

2 文字を編集▶ ●

●半角の英数字・記号が入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



<テキスト編集画面>

一覧を表示する

P.13

読み取ったデータの一覧を20件まで表示します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶テキストリーダー▶保存データ一覧

登録済みの場合は、最初の半角20文字までが表示されます。
● ✉ （起動）を押すかまたは機能メニューから「新規読み取り」を選択し、 ● を押してムービースタイルに切り替えてもテキスト認識待受画面が表示され、データを読み取ることができます。
●すでに登録済みの項目を選択し ● を押すと、テキスト認識結果表示画面が表示されます。



<テキストリーダー一覧画面>

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

テキストリーダー一覧画面を表示中に i （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
コピー	P.317
デスクトップ貼付	P.317
1件削除	P.317
全削除	P.317
新規読み取り	P.312

操作により実行できない項目があります。

コピー

読み取ったデータをコピーします。

部分的にコピーする場合

1 **テキスト認識結果表示画面・テキスト編集画面▶ i（機能）▶コピー▶コピーする始点を選択▶ ◉ ▶コピーする終点を選択▶ ◉**

●半角256文字までコピーできます。
●コピーした文字を貼り付けるには基本編P.330参照。

一括コピーする場合

1 **テキストリーダー一覧画面▶登録済みの項目を選択▶ i（機能）▶コピー**

選択していた登録済みの項目が一括コピーされます。
●コピーした文字を貼り付けるには基本編P.330参照。

デスクトップ貼付

P.13

テキストリーダー機能をデスクトップに貼り付けます。

1 **テキストリーダー一覧画面▶ i（機能）▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

■デスクトップのアイコンからテキストリーダー機能を呼び出すには

1. 待受画面で ◉ を押します。
2. ◎ でテキストリーダーのアイコンを選択し、◉ を押します。
テキストリーダー選択画面が表示されます。



お知らせ

●テキストリーダーで読み取った文字をデスクトップに貼り付けることはできません。
●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

1件削除・全削除

1 **テキストリーダー一覧画面▶ i（機能）▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。
●「全削除」の場合は、端末暗証番号を入力し ◉ を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

<イメージビューア>

画像を表示する

メニュー 4 6

P.13

撮影した静止画（P.274、276参照）、ダウンロードした静止画（P.69参照）またはminiSDメモリーカード内に保存した静止画などを表示します。
FOMA端末ではJPEGファイル、GIFファイル、Flash画像、テレビ電話画像を表示することができます。ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。
静止画一覧表示についてはP.342参照。

1 メニュー ▶ マルチメディア ▶ イメージ

カメラ ……………… カメラで撮影し、本体に保存した静止画を一覧表示します。
ｉモード …………… ダウンロードやメール添付された静止画を一覧表示します。
SDカード …………… miniSDメモリーカード内のフォルダを表示します。
編集 ………………… 「イメージ編集」で編集した静止画を一覧表示します。
キャラ電イメージ …… キャラ電撮影した静止画を一覧表示します。
アイテム …………… フレーム、マーカースタンプなどのアイテムを一覧表示します。
内蔵待受・ウェイクアップ … お買い上げ時に登録されている待受・ウェイクアップ画像を一覧表示します。
自作アニメ ………… 自作アニメを表示します。手順2の操作は必要ありません。
TV電話画像 ………… テレビ電話画像を表示します。

- 「SDカード」を選択した場合、フォルダの一覧画面が表示されます。フォルダを選択し、● を押して静止画を一覧表示します。
- 「TV電話画像」を選択した場合、「内蔵TV電話画像」または「自作TV電話画像」を選択し、● を押して静止画を一覧表示します。

2 ファイルを選択 ▶ ●

- Flash画像を表示した場合、✉（リトライ）を押すか、スタイルを変更して縦表示→横表示（または横表示→縦表示）に切り替えると、もう一度はじめから再生します。



ビューアスタイル

1 □（機能／メニュー）を1秒以上押す
2 T/W で マルチメディア を選択 ▶ ◎ ▶ T/W で「イメージ」を選択 ▶ ◎
3 T/W で表示したいフォルダを選択 ▶ ◎
4 T/W でファイルを選択 ▶ ◎



お知らせ

- UXGA（1600×1200）サイズを超える静止画は表示されません。
- 700Kバイトを超えるminiSDメモリーカード内の静止画は表示されません。
- 本体・miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- 自作アニメについてはP.354参照。

■「スタイル連動設定」が「連動する」に設定されている状態でカメラ起動中にビューアスタイルに変更すると
「カメラ」フォルダ内の最新の静止画または動画／ｉモーションが表示されます。
●スナップ撮影モードや連続撮影モードでカメラが起動していた場合は静止画が表示され、動画撮影モードでカメラが起動していた場合は動画／ｉモーションが表示されます。
●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定されている場合は、設定されているフォルダ内の最新の静止画または動画／ｉモーションが表示されます。

お知らせ

●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合はFOMA端末で作成した最新フォルダの最新の静止画または動画／ｉモーションを表示します。
・miniSDメモリーカードを挿入した直後の場合
・miniSDメモリーカードのチェックディスクを実行した直後の場合
・電源を入れた直後の場合
●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合は「カメラ」フォルダ内の静止画または動画／ｉモーションが表示されます。
・miniSDメモリーカードが挿入されていない場合
・miniSDメモリーカード内にファイルがない場合
・miniSDメモリーカードにエラーが発生した場合
●「カメラ」フォルダ内にファイルがない場合は、「イメージ」または「ｉモーション」のフォルダ一覧画面が表示されます。

イメージビューア

静止画再生時の操作

静止画の再生画面から、下記の操作を行うことができます。



<ノーマルスタイル画面>


<ムービースタイル画面（横表示）>


<ビューアスタイル画面>

操　作	ボタン操作		
	ノーマルスタイル時	ムービースタイル時	ビューアスタイル時
次のファイルを表示※	◎ または [T/W] を押します。	[T/W] を押します。	[T/W] を押します。
前のファイルを表示※	◎ または [T/W] を押します。	[T/W] を押します。	[T/W] を押します。

※ファイル一覧表示の並び順で表示します。

静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG、GIF、Flash
画素数	UXGA（1600×1200）以下のファイル
拡張子	jpg（Exif／CIFF／JFIF形式のBaseline、Progressive）、gif、swf、ifm

画像を利用する

静止画再生中の機能メニューから、撮影した静止画をさまざまな用途に利用することができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

静止画再生中に (i) (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

イメージ貼付

**再生・選択している静止画ファイルを待受画面などに貼り付けて表示します。
貼り付ける静止画の位置や範囲については「貼付表示位置」「切り出し範囲」参照。**

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶ⓘ(機能)▶イメージ貼付

待受画面 ··············待受画面に貼り付けます。(基本編P.187参照)
ウェイクアップ表示 ····ウェイクアップ画面に貼り付けます。(基本編P.189参照)
電話発信 ··············電話発信画面に貼り付けます。(基本編P.190参照)
電話着信 ··············電話着信画面に貼り付けます。(基本編P.190参照)
メール送信 ············メール送信画面に貼り付けます。(基本編P.190参照)
メール受信 ············メール受信画面に貼り付けます。(基本編P.190参照)
問い合わせ ············「iモード問い合わせ」「SMS問い合わせ」画面に貼り付けます。(基本編P.190参照)
TV電話応答保留 ·······テレビ電話応答保留画面に貼り付けます。(基本編P.103参照)
TV電話通話中保留 ·····テレビ電話通話中保留画面に貼り付けます。(基本編P.103参照)
TV電話代替画像 ·······テレビ電話代替画像に貼り付けます。(基本編P.103参照)
TV電話伝言メモ準備 ···テレビ電話伝言メモ準備画面に貼り付けます。(基本編P.103参照)
TV電話伝言メモ録画 ···テレビ電話伝言メモ録画画面に貼り付けます。(基本編P.103参照)
TV電話動画メモ ·······テレビ電話動画メモ画面に貼り付けます。(基本編P.103参照)

●すでに貼付されている項目の横には「★」が付きますが、テレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。
●テレビ電話関連の項目を選択した場合、「応答保留／On Hold」、「保留／Holding」、「カメラオフ／Camera off」、「伝言メモ準備中／Preparing」、「伝言メモ録画中／Recording」、「動画メモ録画中／Recording」と表示されます。◎で表示位置を設定し、◉を押します。
●ファイル形式によっては貼付できないものもあります。

イメージ貼付先	ファイル形式		
	GIF	JPEG	Flash
待受画面	○	○	○
ウェイクアップ表示	○	○	×
電話発信	○	○	×
電話着信	○	○	×
メール送信	○	○	×
メール受信	○	○	×
問い合わせ	○	○	×
TV電話応答保留	▲	△	×
TV電話通話中保留	▲	△	×
TV電話代替画像	▲	△	×
TV電話伝言メモ準備	▲	△	×
TV電話伝言メモ録画	▲	△	×
TV電話動画メモ	▲	△	×

○：一部貼付不可能(100Kバイトを超える静止画)
▲：一部貼付不可能(アニメーション、iモードフォルダ内のファイル制限ありのファイル、画像サイズがVGA、QVGA、CIF、QCIF、Sub-QCIF以外のファイル)
△：一部貼付不可能(iモードフォルダ内のファイル制限ありのファイル、撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったキャラ電イメージフォルダの静止画ファイル、画像サイズがVGA、QVGA、CIF、QCIF、Sub-QCIF以外の静止画)
×：貼付不可能

次ページにつづく

お知らせ

●VGAサイズより大きな静止画はイメージ貼付できません。
●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
●miniSDメモリーカードの静止画はイメージ貼付できません。
●アイテムフォルダ内の静止画はイメージ貼付できません。
●内蔵待受・ウェイクアップフォルダ内の静止画は、待受画面とウェイクアップ表示にのみ貼付できます。
●ファイルによってはイメージ貼付できない場合があります。
●自作アニメをテレビ電話関連の項目にイメージ貼付することはできません。

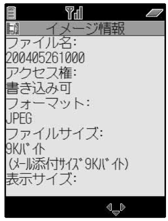
イメージ情報

P.13

再生・選択している静止画の情報を表示します。

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶ i (機能)▶イメージ情報

● ◎ でスクロール表示します。
●自作アニメのイメージ情報では、イメージ貼付の項目のみ表示されます。



項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
アクセス権	アクセス権の有無を表示。情報がない場合は「書き込み可」と表示されます。
フォーマット	ファイル形式を表示。Flashファイルの場合は表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
表示サイズ	表示サイズを表示。UXGA（1600×1200）より大きい静止画の場合は「不明」と表示されます。Flashファイルの場合は表示されません。
保存元	ファイルの保存元を表示。内蔵の静止画の場合は空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示されます。
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。
イメージ貼付	設定している貼付先を表示。（テレビ電話関連は表示されません。）
DPOF設定	DPOF設定のあり／なしと枚数を表示。100枚以上設定されている場合、「＊＊」が表示されます。（miniSDメモリーカードの静止画のみ。）

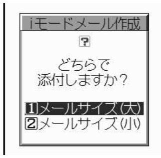
ｉモードメール作成

再生・選択しているファイルを添付して、ｉモードメールを送ります。

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成

●メールの送信、保存についてはP.150、177参照。

■静止画のファイルサイズが10000バイトより大きいときは右の画面が表示されます。



「メールサイズ（大）」または「メールサイズ（小）」を選択し、◉を押します。

メールサイズ（大）・・・・・大容量画像としてｉモードメールに添付します。
102400バイトを超えるVGA（640×480）サイズ以上の静止画は、VGAサイズに縮小・切り抜かれます。
ファイルサイズが102400バイトより大きい場合は102400バイト以下に変換します。

メールサイズ（小）・・・・・静止画をQCIF（176×144）サイズに縮小・切り抜き、ファイルサイズを9000バイト以下に変換します。

お知らせ

●「メールサイズ（大）」または「メールサイズ（小）」に変換した場合、添付ファイル名は「image」となります。

お知らせ

●以下の場合はｉモードメール作成できません。
・保存メールが10件あるとき
・10000バイトを超えるGIFファイルのとき
・ｉモードフォルダ内のファイル制限ありのファイルのとき
・miniSDメモリーカード内のJPEG以外のファイルのとき
・miniSDメモリーカード内のUXGAサイズを超えるファイルのとき
・miniSDメモリーカード内の700Kバイトを超えるファイルのとき
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイルのとき
・Flash画像のとき
・「アイテム」フォルダ内のファイルのとき

●10000バイトを超える静止画は大容量画像となります。

●大容量画像を添付した場合、パソコンに送ることはできますが、FOMA端末およびｉモード端末に送ることはできません。

●ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.296参照。

画像表示設定

お買い上げ時
静止画 ‥標準
動画 ‥‥等倍表示

再生している静止画・動画の表示方法を設定します。

1 **静止画再生中・動画一時停止中・動画停止中・動画再生終了時 ▶ (i)(機能) ▶ 画像表示設定**

標準※ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥本来のサイズ(等倍)で表示します。
(画面サイズを超える静止画・動画は画面サイズに縮小されます。)
画面サイズで表示 ‥‥‥画面サイズに合わせて表示します。
※動画一時停止中・動画停止中・動画再生終了時の場合は、「等倍表示」と表示されます。

お知らせ

- QCIFサイズ(176×144)、QVGAサイズ(320×240)以外のサイズの動画は「画面サイズで表示」に設定しても画面サイズで表示されないことがあります。
- 「画面サイズで表示」に設定すると、AV出力でテレビに表示される動画も画面サイズに合わせて表示されます。

デスクトップ貼付

再生・選択しているファイルの貼り付けアイコン(基本編P.203参照)を、デスクトップに作成します。一度作成しておくと、次回からはデスクトップのアイコンを選択するだけで、目的のファイルを表示・再生することができます。最大12件まで登録できます。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面 ▶ (i)(機能) ▶ デスクトップ貼付 ▶ YES**

- 中止する場合は「NO」を選択し、(◉)を押します。

お知らせ

- 貼り付けアイコンからのファイルの再生方法については基本編P.201参照。
- 元のファイルを削除すると、貼り付けアイコンは残りますが再生はできません。貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。
- 「カメラ」、「ｉモード」、「編集」、「キャラ電イメージ」、「キャラ電ムービー」フォルダ以外のファイルはデスクトップ貼付できません。
- 再生制限付きファイルはデスクトップ貼付できません。

エクスポート

再生・選択しているFOMA端末内のファイルをminiSDメモリーカードへコピーします。ただし、JPEGファイル（Exif／JFIF形式のBaseline、Progressive）、MP4ファイルのみエクスポート可能です。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶エクスポート**

●中止する場合は◎（中止）を押します。



お知らせ

●エクスポート処理中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
●「カメラ」、「ｉモード」、「編集」、「キャラ電イメージ」、「キャラ電ムービー」フォルダ内のファイルのみエクスポートできます。
●音声のみを録音した動画はエクスポートできません。
●miniSDメモリーカードの保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成し、その中にファイルを保存します。
エクスポートが完了すると、「保存先フォルダ XXXXXXXに変更しました」（XXXXXXXはフォルダ名）と表示されます。
●エクスポート後のファイル名は以下のようになります。
・静止画ファイル：PXXXXXXX（Xは数字です。）
・動画ファイル　：MOLXXX（Xは英数字です。）
●以下の場合はエクスポートできません。
・Flash画像のとき
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイルのとき
・ｉモードフォルダ内のファイル制限ありのファイルのとき
・再生制限付きファイルのとき
・miniSDメモリーカードがライトプロテクト中のとき
・miniSDメモリーカードのメモリがいっぱいのとき
・128Mバイトを超えるminiSDメモリーカードを装着したとき
・miniSDメモリーカードにエラーが発生したとき
・エクスポートすると700Kバイトを超える静止画のとき
・miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき
●miniSDメモリーカードへエクスポートすると、画質が劣化したりファイルサイズが大きくなる場合があります。
●保存日時が「----/--/-- --:--」のファイルをエクスポートすると、ファイルの保存日時は「2004/01/01 00:00」となります。
●VGAサイズを超えるJPEGファイルをエクスポートする場合、VGAサイズに縮小されることがあります。

インポート

P.13

再生・選択しているminiSDメモリーカード内にあるファイルを、本体内のカメラフォルダに取り込みます。ただし、JPEGファイル、MP4ファイルのみインポート可能です。ASFファイル、800Kバイトを超えるMP4ファイル、QVGAサイズのファイルは、800Kバイト以内に切り出し・変換・縮小してインポートします。

1 miniSDメモリーカードの静止画再生中・静止画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面 ▶ i （機能）▶ インポート



●中止する場合は ◎（中止）を押します。

お知らせ

●インポート処理中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
●本体メモリがいっぱいのときは、インポートできません。
●Flash画像はインポートできません。
●700Kバイトを超える画像はインポートできません。
●UXGAサイズを超える画像はインポートできません。
●MP4ファイルでも拡張子が「MP4」「SDV」の動画ファイルはインポートできません。
●ASFファイルをインポートすると、再生時間が長くなる場合があります。また、ASFファイルによってはインポートできない場合があります。
●動画インポート時は動画を切り出し・変換・縮小を行うため、画質が劣化したり、ファイルサイズが増減することがあります。
●テロップ付のASFファイル、または800Kバイトを超えるテロップ付のMP4ファイルをインポートする場合、テロップ情報が失われる旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押します。
●QVGAサイズの動画をインポートする場合、QCIFサイズに変換してテロップ情報が失われる旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押します。
●QVGAサイズの動画、ASFファイル、800Kバイトを超えるファイルをインポートする場合、時間がかかる旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押します。
●800Kバイトを超える動画ファイルで以下の場合はインポートできません。
・非対応コーデックを含んでいるとき
・音声コーデックがAACのとき
・映像、音声がないとき
・動画像ビットレートが768kbpsを超えるとき
・動画サイズがQVGA・QCIF・Sub-QCIF以外のとき
・シークができないとき
上記の条件以外でもｉモーションによってはインポートできない場合があります。
●インポート後のファイルのタイトルは以下のようになります。
・静止画ファイル
miniSDメモリーカード内で設定したタイトル
miniSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合はファイル名
・動画ファイル
miniSDメモリーカード内で設定したタイトル
miniSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合はファイル名
●インポート後のファイル名は「YYYYMMDDhhmm」となります。日付時刻が設定されていない場合は「image」（静止画）、または「movie」（動画）となります。（Y: 西暦、M: 月、D: 日、h: 時、m: 分）
●VGAサイズを超えるJPEGファイルをインポートする場合、VGAサイズに縮小されることがあります。

電話帳イメージ登録

再生・選択している静止画ファイルを電話帳に登録します。登録した電話番号から着信があったとき、静止画が表示されます。

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶i（機能）▶電話帳イメージ登録

●電話帳の登録などの操作については基本編P.122参照。

お知らせ

●電話帳イメージ登録、電話帳ｉモーション登録に設定できる件数は静止画・動画をあわせて70件までです。
●指定発信制限中、ダイヤル発信制限中は使用できません。
●カメラフォルダ・ｉモードフォルダ・編集フォルダ・キャラ電イメージフォルダ内にある元の静止画ファイルを削除しても、電話帳で登録した静止画はそのまま表示されます。
●以下の場合は電話帳登録できません。
・GIF形式ファイル、Flash画像のとき
・20Kバイトを超えるファイルのとき
・ファイル制限ありのファイルのとき
・miniSDメモリーカード内のファイルのとき
・「アイテム」フォルダ内のファイルのとき

貼付表示位置

お買い上げ時　中央に表示
P.13

再生・選択している静止画ファイルを待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。イメージ貼付についてはP.321参照。

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶i（機能）▶貼付表示位置

中央に表示…………画面の中央に表示します。
上部に表示…………画面の上部に表示します。
下部に表示…………画面の下部に表示します。

■待受画面に貼り付けた例



<中央に表示>



<上部に表示>



<下部に表示>

お知らせ

●Flash画像に貼付表示位置を設定することはできません。
●画像のサイズによっては、設定した表示位置が機能しない場合があります。
●設定した表示位置は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。

切り出し範囲

お買い上げ時 中央を表示 P.13

再生・選択している静止画ファイルを待受画面などに貼り付けて表示するときの範囲を設定します。イメージ貼付についてはP.321参照。

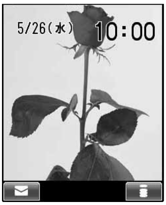
1 静止画再生中・静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶切り出し範囲

中央を表示…………静止画の中央部を表示します。
上部を表示…………静止画の上部を表示します。
下部を表示…………静止画の下部を表示します。

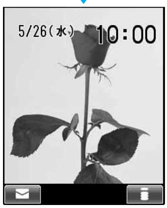
■待受画面に貼り付けた例



元の画像



＜中央を表示＞



＜上部を表示＞



＜下部を表示＞

お知らせ

- Flash画像に切り出し範囲を設定することはできません。
- 設定した切り出し範囲は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した切り出し範囲が機能しない場合があります。

DPOF設定

miniSDメモリーカード内の再生・選択している静止画に、プリントするかどうかの情報とその枚数情報を設定します。SDメモリーカード対応のサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンターを使えば、必要な静止画だけを簡単にプリントできます。

P.13

1 miniSDメモリーカードの静止画再生中・静止画一覧画面▶ (機能) ▶DPOF設定

プリント指定 ‥‥‥‥‥選択した静止画をプリントします。
プリント指定解除 ‥‥‥選択した静止画をプリントしないように設定します。
プリント指定全解除 ‥‥静止画をプリントしないように設定します。
「プリント指定」にすると、枚数を入力する画面になります。
●「プリント指定解除」、「プリント指定全解除」にすると、DPOF設定が解除され設定が終了します。

2 プリント枚数（枚）を選択▶



お知らせ

●999件までの画像にDPOF設定を設定することができます。
●700Kバイトを超える画像には設定できません。
●パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。
●miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。（アイコン表示とイメージ情報は設定済みとなります。）不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。

＜イメージ編集＞

静止画を編集する

フレームや文字を合成したり、明るさや色調を変更するなど、再生・選択している静止画を自由に編集することができます。編集した静止画は、「編集」フォルダ（P.318参照）に保存されます。

1 静止画再生中・静止画一覧画面▶ (機能) ▶イメージ編集

●編集する静止画がディスプレイより大きい場合は、 でスクロールできます。



＜イメージ編集画面＞

2 (機能) ▶静止画を編集する

操作方法についてはP.332～341をご覧ください。

次ページにつづく

3 ◎を押す



本体・・・・・・・編集フォルダに保存します。
SDカード‥miniSDメモリーカードに保存します。
編集した静止画が保存されます。
●編集した静止画を保存しない場合は、クリアを押すか、または☎を押して「YES」を選択し、◎を押します。

■**イメージ編集ができるフォルダ**

フォルダ	イメージ編集
カメラフォルダ	○
ｉモードフォルダ	○※1
SDカード	○
編集フォルダ	○
キャラ電イメージフォルダ	○※2
アイテム	×
内蔵待受・ウェイクアップ	×
自作アニメ	×
内蔵TV電話画像	×
自作TV電話画像	×

○…イメージ編集可　×…イメージ編集不可

※1 ファイル制限なしの静止画のみ
※2 撮影後ファイル制限なしのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行った静止画のみ

■**イメージ編集ができる静止画のサイズ**

- UXGA（1600×1200）サイズの静止画※
- SXGA（1280×960）サイズの静止画※
- VGA（640×480）サイズの静止画
- CIF（352×288）サイズ以下の静止画

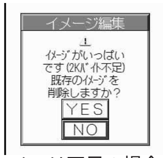
※編集時はVGA（640×480）サイズに縮小されます。

お知らせ

●編集後の静止画サイズがCIF（352×288）より大きい場合は、保存できません。

■保存されている画像がいっぱいのとき

すでに画像が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要な画像を削除してから保存します。



メモリ不足の場合

1.「YES」を選択し、◉を押します。
2. 削除したい画像をグレー表示にします。
   ◉を押すとグレー表示に切り替わります。
3. ✉（完了）を押します。
4.「YES」を選択し、◉を押します。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●撮影した静止画の画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
●編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合は、ひとつ前の編集までの状態で保存されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

イメージ編集画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
フレーム合成	P.332
マーカースタンプ	P.332
文字合成	P.333
イメージ合成	P.334
サイズ変更	P.335
トリミング	P.336
ｉモードメール作成	P.337
モザイク	P.338
回転	P.339
反転	P.339
明るさ	P.340
色調変更	P.340
画質設定	P.341
ファイル制限	P.341

操作により実行できない項目があります。

フレーム合成

編集中の静止画にフレームを合成します。

1 **イメージ編集画面▶ i（機能）▶フレーム合成▶フレームを選択▶◉▶◉**



お知らせ

- 編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。
- フレーム合成できるのは以下のサイズの静止画です。
  QVGA（320×240）、CIF（352×288）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）、メインLCD壁紙（240×266）、サブLCD壁紙（96×64）

マーカースタンプ

編集中の静止画にアイテムフォルダのマーカースタンプを合成します。

1 **イメージ編集画面▶ i（機能）▶マーカースタンプ▶マーカースタンプを選択▶◉**

- 編集する静止画より大きいマーカースタンプは選択できません。



2 **◎で位置を選択▶◉**

- 静止画からはみ出したマーカースタンプは、切り取られます。

■マーカースタンプを回転・拡大／縮小するには

<回転するには>

1. 手順1のあと▶ i（機能）▶右90度・左90度・180度

<拡大または縮小するには>

1. 手順1のあと▶ i（機能）▶拡大・縮小

繰り返し拡大や縮小ができます。

- 編集する静止画より大きく拡大することはできません。また、1ドット以下に縮小することはできません。

お知らせ

- 以下のサイズのマーカースタンプは選択できません。また、以下のサイズの縦横が入れ替わったサイズも選択できません。
  QVGA（320×240）、CIF（352×288）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）、メインLCD壁紙（240×266）、サブLCD壁紙（96×64）
- 編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、マーカースタンプを合成できません。

文字合成

編集中の静止画に文字を合成します。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶文字合成▶合成したい文字を入力▶◉



文字は全角14文字まで、半角28文字まで入力できます。

●文字の入力方法については基本編P.314参照。

2 ◎で位置を選択▶◉

●静止画からはみ出した文字は、切り取られます。

■文字色・フォント（書体）・文字サイズを変更するには

＜文字色を変更するには＞

1. 手順1のあと▶ⓘ（機能）▶文字色
2. 色を選択▶◉

● ✉（切替）で16色・256色を切り替えることができます。

＜フォント（書体）を変更するには＞

1. 手順1のあと▶ⓘ（機能）▶フォント
2. フォントを選択▶◉

＜文字サイズを変更するには＞

1. 手順1のあと▶ⓘ（機能）▶文字サイズ
2. サイズを選択▶◉

お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、文字を合成できません。

●編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

イメージ合成

編集中の静止画に他の静止画を貼り付けます。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶イメージ合成

カメラ・・・・・・・・・・・・・・・・カメラフォルダの静止画を貼り付けます。
ｉモード・・・・・・・・・・・・・・ｉモードフォルダの静止画を貼り付けます。
SDカード・・・・・・・・・・・・・SDカードフォルダの静止画を貼り付けます。
編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・編集フォルダの静止画を貼り付けます。
キャラ電イメージ・・・・・・キャラ電イメージフォルダの静止画を貼り付けます。

2 静止画を選択▶◉▶◯で位置を選択▶◉

●CIF（352×288）サイズ以下の静止画のみ選択できます。
●編集元の静止画からはみ出した静止画は切り取られます。



■貼り付ける静止画のサイズを変更するには

1. 手順2で静止画を選択したあと、✉（サイズ）を押します。
2. 縦倍率と横倍率を入力し、◉を押します。
   ●CIF（352×288）サイズより大きく拡大することはできません。



お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、イメージ合成できません。
●以下の静止画ファイルは合成できません。
・CIF（352×288）サイズより大きいファイル
・カメラフォルダ内のJPEG以外のファイル
・ｉモードフォルダ内のJPEG以外のファイル、またはファイル制限ありのファイル
・miniSDメモリーカード内のJPEG以外のファイル、またはファイルサイズが700Kバイトを超えるファイル
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイル

サイズ変更

編集中の静止画のサイズを変更します。

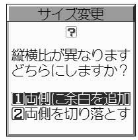
1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶サイズ変更

CIF（352×288）･････････････････CIFサイズに変更します。
QVGA（320×240）･････････････QVGAサイズに変更します。
QCIF（176×144）･･････････････QCIFサイズに変更します。
Sub-QCIF（128×96）･･･････････Sub-QCIFサイズに変更します。
メインLCD壁紙（240×266）･････スクリーンサイズに合わせて変更します。
サブLCD壁紙（96×64）･･････････プライベートウィンドウに合わせて変更します。
CIF縦（288×352）･･･････････････CIF縦サイズに変更します。
QVGA縦（240×320）･･･････････QVGA縦サイズに変更します。
QCIF縦（144×176）･･････････････QCIF縦サイズに変更します。
Sub-QCIF縦（96×128）･･････････Sub-QCIF縦サイズに変更します。
フリーサイズ ･････････････････････サイズを入力し、変更します。

■もとの静止画と変更するサイズの縦横比が異なる場合、右の画面が表示されます。

両側に余白を追加･･････････上下または左右に余白を追加し、指定サイズに収まるように拡大または縮小します。

両側を切り落とす･･････････上下または左右のはみ出した部分を切り落とし、指定サイズに収まるように拡大または縮小します。



■静止画のサイズを入力し、指定するには

1.手順1で「フリーサイズ」を選択し、数値を入力して、◉を押します。

- ✉（ﾁｪｯｸ）を押し、「縦横比を保持」にチェックを入れると、縦（もしくは横）に数値を入力したときに横（もしくは縦）に縦横比を保つ数値が自動的に入力されます。



お知らせ

- 352×288（288×352）を超えるサイズには変更されません。また、1×1より小さいサイズには変更できません。

2 ◉を押す

トリミング

編集中の静止画を一定の大きさに切り出します

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶トリミング

CIF（352×288）‥‥‥‥‥‥‥‥CIFサイズに切り出します。※
QVGA（320×240）‥‥‥‥‥‥QVGAサイズに切り出します。※
QCIF（176×144）‥‥‥‥‥‥‥QCIFサイズに切り出します。
Sub-QCIF（128×96）‥‥‥‥‥Sub-QCIFサイズに切り出します。
メインLCD壁紙（240×266）‥‥スクリーンサイズに合わせて切り出します。
サブLCD壁紙（96×64）‥‥‥‥プライベートウィンドウに合わせて切り出します。
CIF縦（288×352）‥‥‥‥‥‥CIF縦サイズに切り出します。※
QVGA縦（240×320）‥‥‥‥‥QVGA縦サイズに切り出します。※
QCIF縦（144×176）‥‥‥‥‥‥QCIF縦サイズに切り出します。
Sub-QCIF縦（96×128）‥‥‥‥Sub-QCIF縦サイズに切り出します。
フリーサイズ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥サイズを入力し切り出します。
●編集中の静止画のサイズ以上のトリミング枠は選択できません。
※編集中の静止画とトリミングする枠が縦横ともに1／2に縮小して表示されます。

■トリミング枠のサイズを入力し、指定するには

1.手順1で「フリーサイズ」を選択し、数値を入力して、◉を押します。
- ●✉（チェック）を押し、「縦横比を保持」にチェックを入れると、縦（もしくは横）に数値を入力したときに横（もしくは縦）に縦横比を保った数値が自動的に入力されます。



お知らせ

- ●352×288（288×352）を超えるサイズにはトリミングできません。また、5×5より小さいサイズにはトリミングできません。
- ●編集中の静止画が横240ドットまたは縦266ドットを超える場合は、編集中の静止画とトリミングする枠が縦横ともに1／2に縮小して表示されます。

2 ◎で切り出したい部分を選択▶◉



3 ◉を押す

お知らせ

- ●編集元の静止画が横5ドットまたは縦5ドットより小さい場合、トリミングできません。

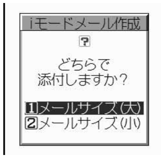
ｉモードメール作成

編集中の静止画をｉモードメールに添付して送信することができます。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成▶◉

●中止するには ✉（取消）を押します。
●ｉモードメール作成については、P.150参照。

■編集中の静止画のファイルサイズが10000バイトより大きいときは右の画面が表示されます。



「メールサイズ（大）」または「メールサイズ（小）」を選択し、◉を押します。

メールサイズ（大）・・・・・大容量画像としてｉモードメールに添付します。ファイルサイズが102400バイトより大きい場合は102400バイト以下に変換します。

メールサイズ（小）・・・・・静止画をQCIF（176×144）サイズに縮小・切り抜き、ファイルサイズを9000バイト以下に変換します。

お知らせ

●保存BOXに保存メールが10件あると、ｉモードメールを作成できません。
●10000バイトを超える静止画は大容量画像となります。
●大容量画像を添付した場合、パソコンに送ることはできますが、FOMA端末およびｉモード端末に送ることはできません。

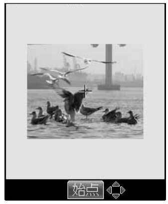
モザイク

編集中の静止画に領域を指定しモザイクをかけます。

1 **イメージ編集画面▶ i（機能）▶モザイク**

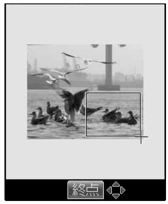
2 **◎で始点を選択▶◉**

●決定後、始点を選択し直すには、クリアを押します。

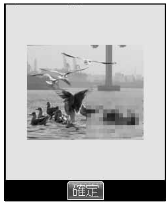


3 **◎で終点を選択▶◉**

●決定後、終点を選択し直すには、クリアを押します。



4 **◉を押す**



お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、モザイクを設定できません。

回転

編集中の静止画を90度または180度回転させます。

1 **イメージ編集画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 回転**

右90度‥‥時計回りに90度回転します。
左90度‥‥反時計回りに90度回転します。
180度 ‥‥180度回転します。

2 **◎を押す**

反転

編集中の静止画を上下、左右または上下左右に反転させます。

1 **イメージ編集画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 反転**

上下反転 ‥‥‥‥‥‥‥上下が反転します。
左右反転 ‥‥‥‥‥‥‥左右が反転します。
上下左右反転 ‥‥‥‥‥上下左右が反転します。

2 **◎を押す**

お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、反転できません。

明るさ

編集中の静止画の明るさを5段階（－2/－1/±0/＋1/＋2）で調整します。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶明るさ

－2 ・・・・・・・暗くなります。
－1 ・・・・・・・やや暗くなります。
±0 ・・・・・・・標準
＋1 ・・・・・・・やや明るくなります。
＋2 ・・・・・・・明るくなります。



2 ◉を押す

お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、明るさを調整できません。

色調変更

「セピア」、「通常」、「ネガポジ」、「モノクロ」の4種類から選択して、編集中の静止画の色調を変更します。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶色調変更

セピア・・・・・セピア調にします。
通常・・・・・・・色調を変更しません。
ネガポジ・・・ネガとポジを切り替えます。
モノクロ・・・モノクロにします。



2 ◉を押す

お知らせ

●編集元の静止画がUXGA（1600×1200）サイズ、SXGA（1280×960）サイズ、VGA（640×480）サイズの場合、色調を変更できません。

画質設定

編集中の静止画を保存するときの画質を選択します。

1 イメージ編集画面▶ⓘ（機能）▶画質設定

ノーマル ・・・・・・・・・・・・・・データ容量が小さいが、画質は粗い。
ファイン ・・・・・・・・・・・・・・標準のデータ容量と画質です。
スーパーファイン ・・・・・・データ容量は大きいが、画質は良い。

お知らせ

●撮影時に選択した画質より高い画質を選択しても、画質はよくなりません。

ファイル制限

編集中の静止画または動画にファイル制限の設定をします。
ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールへの添付をできなくなります。

1 イメージ編集画面・ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶ファイル制限

なし・・・・・・・ファイルに制限を設定しません。
あり・・・・・・・二次配布できなくなります。
●ファイル制限についてはP.296参照。

お知らせ

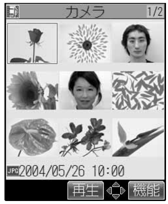
●ファイル制限のみ変更した場合は画像は保存できません。
●「ファイル制限」をありにした場合でも、赤外線通信機能で送信したときや、miniSDメモリーカードへエクスポートした静止画や動画は、送信先からFOMA端末外へ出力できます。

P.13

静止画の一覧を表示する

本体またはminiSDメモリーカードに保存されている静止画を一覧表示します。

1 (メニュー) ▶ マルチメディア ▶ イメージ



<静止画一覧画面>

カメラ ················カメラで撮影し、本体に保存した静止画を一覧表示します。
ｉモード ··············ダウンロードやメール添付された静止画を一覧表示します。
SDカード ·············miniSDメモリーカード内のフォルダを一覧表示します。
編集 ··················「イメージ編集」で編集したファイルを一覧表示します。
キャラ電イメージ ······キャラ電撮影した静止画を一覧表示します。
アイテム ··············フレーム・マーカースタンプなどのアイテムを一覧表示します。
内蔵待受・ウェイクアップ···お買い上げ時に登録されている待受・ウェイクアップ画像を一覧表示します。
自作アニメ ············自作アニメを表示します。
TV電話画像 ···········テレビ電話画像を表示します。

- 「TV電話画像」を選択した場合、「内蔵TV電話画像」または「自作TV電話画像」を選択し、◉を押して静止画を一覧表示します。
- ◎を1秒以上押すと、連続スクロールします。

- 「SDカード」を選択した場合、フォルダ一覧画面が表示されます。
  フォルダを選択し、◉を押して静止画を一覧表示します。



<miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面>

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ファイル名の前にあるアイコンは、そのファイルの種類を表しています。

ファイル形式	ファイルサイズ	DPOF設定	アイコン
JPEG形式	10001バイト以上	ON	
		OFF	
	10001バイト未満	ON	
		OFF	
GIF形式	10001バイト以上	―	
	10001バイト未満	―	
フレーム・マーカースタンプ	―	―	
Flash	―	―	

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「▭」がつきます。ただし、Flash画像にはつきません。また、miniSDメモリーカードのファイル一覧表示中は表示されません。
- FOMAカード動作制限のため表示できないファイルの場合、「▭」が表示されます。

ビューアスタイル

1 （機能／メニュー）を1秒以上押す▶ でマルチメディアを選択▶

2 で「イメージ」を選択▶ ▶ で表示したいフォルダを選択▶

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

静止画一覧画面を表示中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

イメージ編集	P.329
タイトル編集	P.344
イメージ貼付	P.321
イメージ情報	P.322
ｉモードメール作成	P.323
赤外線送信	P.402
デスクトップ貼付	P.324
インポート	P.326
エクスポート	P.325
電話帳イメージ登録	P.327
メール用サイズ変更	P.344
貼付表示位置	P.327
切り出し範囲	P.328
ファイル名編集	P.345
ファイル制限	P.345
DPOF設定	P.329
スライドショー	P.346
コピー	P.346
移動	P.346
1件削除	P.352
全削除	P.352
複数選択	P.347、348、353
保存容量確認	P.348
SD情報表示	P.415
ソート	P.351
一覧表示切替	P.349

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面を表示中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダタイトル編集	P.350
フォルダ作成	P.350
フォルダ削除	P.350
保存先フォルダ選択	P.351

操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

選択している静止画・動画のタイトルを編集します。

1 静止画一覧画面・動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶タイトル編集▶タイトルを入力▶◉

●全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●タイトル編集をしても、「情報表示」では編集前のタイトルが表示されます。

メール用サイズ変更

P.13

選択している静止画をｉモードメールに添付可能なファイルサイズ・画像サイズになるよう変更します。サイズ変更後のファイルは元ファイルとは別に新規保存されますので、元ファイルのサイズは変更されません。

1 静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶メール用サイズ変更

メールサイズ（大）……102400バイトを超える静止画を102400バイト以下に、102400バイトを超えるVGA（640×480）サイズより大きい静止画はVGAに変換します。
メールサイズ（小）……9000バイトを超える静止画を9000バイト以下に、QCIF（176×144）を超えるサイズの画像をQCIFに変換します。

2 ◉▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
●「イメージがいっぱいです（xxxバイト不足）既存のイメージを削除しますか？」と表示された場合は、「YES」を選択し、◉を押して不要なファイルを選択し、✉（完了）を押してください。「既存のイメージを削除して保存しますか？」と表示されたあと「YES」を選択して◉を押します。
●保存したファイルのファイル名、タイトル、保存先については以下のとおりです。
・ファイル名：YYYYMMDDhhmm（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
　image（日付時刻が未設定の場合）
・タイトル　：YYYY/MM/DD hh:mm（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
　----/--/-- --:--（日付時刻が未設定の場合）
・保存先　　：編集フォルダ

お知らせ

●以下の場合はメール用サイズ変更ができません。
・Flash画像のとき
・JPEG以外のファイルのとき
・「カメラ」「ｉモード」「編集」「キャラ電イメージ」フォルダで9000バイト以下のファイルのとき
・「ｉモード」フォルダのファイル制限ありのファイルのとき
・「アイテム」フォルダのファイルのとき
・miniSDメモリーカード内のUXGAサイズを超えるファイルのとき
・miniSDメモリーカード内の700Kバイトを超えるファイルのとき
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイルのとき
●大容量画像を添付した場合、パソコンに送ることはできますが、FOMA端末およびｉモード端末に送ることはできません。

ファイル名編集

選択している静止画・動画のファイル名を編集します。

1 **静止画一覧画面・動画一覧画面▶i（機能）▶ファイル名編集▶ファイル名を入力▶●**



●半角英数字で36文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

お知らせ

●以下の場合はファイル名編集できません。
・Flash画像のとき
・miniSDメモリーカード内のファイルのとき
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイルのとき
・ファイル制限ありのファイルのとき
●ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

ファイル制限

P.13

選択している静止画または動画に外部出力制限の設定をします。ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールへの添付をできなくなります。

1 **静止画一覧画面・動画一覧画面▶i（機能）▶ファイル制限**

なし・・・・・・・ファイルに制限を設定しません。
あり・・・・・・・二次配布できなくなります。
●ファイル制限についてはP.296参照。

お知らせ

●「ファイル制限」をありにした場合でも、赤外線通信機能で送信したときや、miniSDメモリーカードへエクスポートした静止画や動画は、送信先からFOMA端末外へ出力できます。
●以下の場合はファイル制限を設定できません。
・Flash画像のとき
・再配布情報のない動画ファイルのとき
・ファイル制限を設定することによって700Kバイトを超える静止画のとき
・ファイル制限を設定することによって800Kバイトを超える動画のとき
・JPEG以外の静止画のとき
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイルのとき
・「ｉモード」フォルダ内のファイルのとき
・「アイテム」フォルダ内のファイルのとき
・miniSDメモリーカード内のファイルのとき

スライドショー

選択しているファイルから順にフォルダの静止画を表示していきます。表示間隔は「標準」または「スロー」から選択することができます。

1 **静止画一覧画面▶ⓘ(機能)▶スライドショー**

標準・・・・・・・標準の間隔で表示します。
スロー・・・・・遅い間隔で表示します。
◎を押すとスライドショーを停止します。再度◎を押すとスライドショーを開始します。

お知らせ

●ファイルサイズにより表示される間隔が設定と異なることがあります。

コピー

選択しているminiSDメモリーカード内の静止画・動画をminiSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。

1 **miniSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面▶ⓘ(機能)▶コピー▶コピー先を選択▶◎**

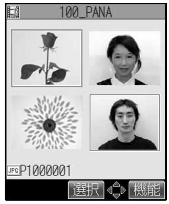
移動

選択しているminiSDメモリーカード内の静止画・動画をminiSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。

1 **miniSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面▶ⓘ(機能)▶移動▶移動先を選択▶◎**

複数選択（DPOF設定）

miniSDメモリーカード内の複数の静止画をまとめてDPOF設定することができます。最大50件まで選択できます。



1 miniSDメモリーカードの静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶複数選択▶ファイルを選択▶◎

●カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
●◎を押し続けると、連続スクロールします。
●すでに選択されているファイルを選択して、◎を押すと、選択を解除することができます。

2 ⓘ（機能）▶DPOF設定

プリント指定 ‥‥‥‥‥選択した静止画をプリントします。
プリント指定解除 ‥‥‥選択した静止画をプリントしないように設定します。
プリント指定全解除 ‥‥静止画をプリントしないように設定します。
「プリント指定」にすると、枚数を入力する画面になります。
●「プリント指定解除」、「プリント指定全解除」にすると、DPOF設定が解除され設定が終了します。

3 プリント枚数を選択▶◎



お知らせ

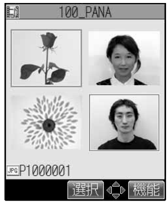
●999件までの画像にDPOF設定を設定することができます。
●700Kバイトを超える画像には設定できません。
●パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。
●miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。（アイコン表示とイメージ情報は設定済みとなります。）不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。
●DPOF設定についてはP.329参照。

複数選択（コピー）

P.13

miniSDメモリーカード内の複数のファイルを選択し、コピーすることができます。最大50件まで選択できます。

1 **miniSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 複数選択 ▶ ファイルを選択 ▶ ◉**



- カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
- ◎ を押し続けると、連続スクロールします。
- すでに選択されているファイルを選択して、◉ を押すと、選択を解除することができます。

2 **ⓘ（機能）▶ コピー ▶ コピー先を選択 ▶ ◉**

お知らせ

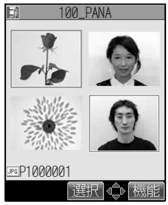
- コピー中に着信があった場合、コピーは途中でも中止されます。

複数選択（移動）

P.13

miniSDメモリーカード内の複数のファイルを選択し、移動することができます。最大50件まで選択できます。

1 **miniSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 複数選択 ▶ ファイルを選択 ▶ ◉**



- カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
- ◎ を押し続けると、連続スクロールします。
- すでに選択されているファイルを選択して、◉ を押すと、選択を解除することができます。

2 **ⓘ（機能）▶ 移動 ▶ 移動先を選択 ▶ ◉**

お知らせ

- 移動中に着信があった場合、移動は途中でも中止されます。

保存容量確認

P.13

各フォルダの使用容量と保存可能容量を確認します。
miniSDメモリーカードの保存容量についてはP.415参照。

1 **静止画一覧画面・動画一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 保存容量確認**

- 確認が終われば（クリア）を押します。

お知らせ

- 表示される容量は目安です。

一覧表示切替

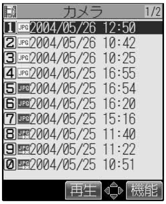
お買い上げ時
静止画一覧‥画像
動画一覧‥‥名前＋画像

静止画一覧画面・動画一覧画面でプレビュー画像（縮小画像）を表示するかしないかを設定します。静止画一覧と動画一覧で別に設定することができます。

1 静止画一覧画面・動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶一覧表示切替

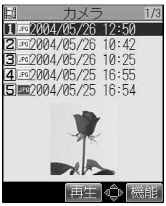
名前‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥タイトルまたはファイル名のみが表示されます。
名前＋画像‥‥‥‥‥‥タイトルまたはファイル名と選択中のプレビュー画像が表示されます。
画像‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥プレビュー画像のみが表示されます。静止画一覧でのみ表示されます。
タイトル表示／ファイル名表示‥「名前」または「名前＋画像」を選択したときに、miniSDメモリーカードの一覧画面でタイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択します。miniSDメモリーカードの一覧画面でのみ表示されます。

■一覧表示切替について



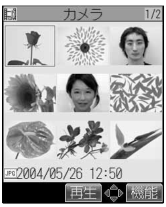
名前

「名前」で表示すると、画面に多くのタイトル・ファイル名を一覧表示させることができます。
- FOMA端末に保存された静止画・動画はタイトルが表示されます。
- miniSDメモリーカードに保存された静止画・動画はタイトルまたはファイル名が表示されます。
- タイトル・ファイル名は全角10文字、半角20文字で表示されます。



名前＋画像

「名前＋画像」で表示すると、タイトル・ファイル名とプレビュー画像が表示されるので、タイトル・ファイル名と画像を同時に確認しながら操作できます。
- FOMA端末に保存された静止画・動画はタイトルが表示されます。
- miniSDメモリーカードに保存された静止画・動画はタイトルまたはファイル名が表示されます。
- 動画ファイルでは最初の1コマ目のプレビュー画像が表示されます。
- タイトル・ファイル名は全角10文字、半角20文字で表示されます。



画像

「画像」で表示すると、画面に多くのプレビュー画像が表示されるので、画像を確認しながら操作できます。
- FOMA端末に保存された静止画は9枚表示されます。
- miniSDメモリーカードに保存された静止画は4枚表示されます。
- タイトル・ファイル名は全角11文字、半角22文字で表示されます。

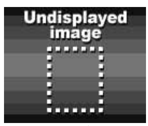
※再生制限期限切れのファイルなどプレビュー画像が表示できない場合、以下の画像が表示されます。



再生不可



再生制限期限切れ など



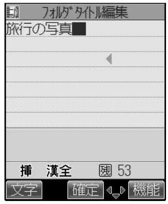
音声のみのデータ など

フォルダタイトル編集

選択しているフォルダのタイトルを編集します。

1 **miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面▶i（機能）▶フォルダタイトル編集▶フォルダ名を入力▶◎**

●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



フォルダ作成

miniSDメモリーカードに新しくフォルダを作成します。

1 **miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面▶i（機能）▶フォルダ作成▶フォルダ名を入力▶◎**

●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●miniSDメモリーカード内の静止画フォルダ数が900件のとき、動画フォルダ数が4095件のとき、フォルダ作成はできません。

フォルダ削除

P.13

選択しているフォルダを削除します。

1 **miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面▶i（機能）▶フォルダ削除▶YES**

お知らせ

●ファイルが保存されているフォルダを削除することはできません。
●選択したフォルダが保存先フォルダに設定されている場合、確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押すとフォルダが削除されます。
●選択したフォルダのアクセス権が読み取り専用に設定されている場合、確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押すとフォルダが削除されます。

保存先フォルダ選択

P.13

撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。

1 miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面▶ i （機能）▶保存先フォルダ選択▶YES

お知らせ

●保存先に設定されたフォルダにはminiSDメモリーカードフォルダ一覧画面で「 」のアイコンが表示されます。
●電源OFF、SDチェックディスク、SDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。
●パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

＜ソート＞

画像の並び順を変える

P.13

お買い上げ時
日時順（新→古）

静止画一覧表示で表示される順番を変更します。
静止画で設定した並び順は、静止画一覧と動画一覧で共通の設定となり、別に設定することはできません。

1 静止画一覧画面▶ i （機能）▶ソート

日時順（新→古）········保存日時が新しいものから順に並べ替えます。
日時順（古→新）········保存日時が古いものから順に並べ替えます。
タイトル順（あ→ん）····タイトル名の昇順で並べ替えます。
タイトル順（ん→あ）····タイトル名の降順で並べ替えます。
サイズ順（大→小）······ファイルサイズが大きいものから順に並べ替えます。
サイズ順（小→大）······ファイルサイズが小さいものから順に並べ替えます。
設定した並び順で表示されます。

■「タイトル順（あ→ん）」
半角数字→半角英字（大文字～小文字）→全角数字→全角英字（大文字～小文字）→ひらがな→全角カタカナ→漢字→半角カタカナ→絵文字（ ～ ）の順で優先されます。
■「タイトル順（ん→あ）」
絵文字（ ～ ）→半角カタカナ→漢字→全角カタカナ→ひらがな→全角英字（小文字～大文字）→全角数字→半角英字（小文字～大文字）→半角数字の順で優先されます。

お知らせ

●miniSDメモリーカード内のファイルをソートすることはできません。

画像を削除する

1件削除

再生・選択している静止画を1件削除します。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面▶ i （機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 ◎ を押します。

お知らせ

●以下の画像に設定されているファイルの場合、「イメージ貼付設定中 削除しますか？」と表示され、削除するとお買い上げ時の画像に戻ります。
- ・待受画面　・ウェイクアップ表示　・プライベートウィンドウの背景
- ・電話発信　・電話着信　・着信イメージ
- ・メール送信　・メール受信　・問い合わせ
- ・スケジュールのユーザアイコン

●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルの場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。

●自作アニメに設定されているファイルの場合、「自作アニメ設定中 削除しますか？」と表示されます。

●貼付元のファイルを削除しても、以下のイメージ貼付画像は変更されません。
- ・TV電話応答保留画像　・TV電話通話中保留画像　・TV電話代替画像
- ・TV電話伝言メモ準備画像　・TV電話伝言メモ録画画像　・TV電話動画メモ画像
- ・電話帳登録画像

全削除

静止画一覧で表示される全静止画を削除します。

1 **静止画一覧画面▶ i （機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶ ◎ ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 ◎ を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●以下のイメージ貼付画像に設定されているファイルが含まれている場合、「イメージ貼付設定中 すべて削除しますか？」と表示され、削除するとお買い上げ時の画像に戻ります。
- ・待受画面　・ウェイクアップ表示　・プライベートウィンドウの背景
- ・電話発信　・電話着信　・着信イメージ
- ・メール送信　・メール受信　・問い合わせ
- ・スケジュールのユーザアイコン

●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルのみの場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。

●アクセス権が読み取り専用と書き込み可に設定されているファイルの両方が含まれている場合、「読み取り専用以外を削除しますか？」と表示されます。

●自作アニメに設定されているファイルが含まれている場合、「自作アニメ設定中 すべて削除しますか？」と表示されます。

●貼付元のファイルを削除しても、以下のイメージ貼付画像は変更されません。
- ・TV電話応答保留画像　・TV電話通話中保留画像　・TV電話代替画像
- ・TV電話伝言メモ準備画像　・TV電話伝言メモ録画画像　・TV電話動画メモ画像
- ・電話帳登録画像

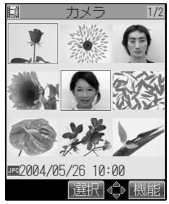
●miniSDメモリーカード内の静止画を削除中に着信があった場合は、削除は途中でも中止されます。

複数選択（削除）

静止画一覧表示画面で複数の静止画を選択し、削除することができます。最大50件まで選択できます。

P.13

1 **静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶複数選択▶ファイルを選択▶◉**



●カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
●◎を押し続けると、連続スクロールします。
●すでに選択されているファイルを選択して、◉を押すと、選択を解除することができます。

2 **ⓘ（機能）▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●以下のイメージ貼付画像に設定されているファイルが含まれている場合、「イメージ貼付設定中 削除しますか？」と表示され、削除するとお買い上げ時の画像に戻ります。
・待受画面　・ウェイクアップ表示　・プライベートウィンドウの背景
・電話発信　・電話着信　・着信イメージ
・メール送信　・メール受信　・問い合わせ
・スケジュールのユーザアイコン
●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルのみを選択した場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用と書き込み可に設定されているファイルを両方選択した場合、「読み取り専用以外を削除しますか？」と表示されます。
●自作アニメに設定されているファイルが含まれている場合、「自作アニメ設定中 削除しますか？」と表示されます。
●貼付元のファイルを削除しても、以下のイメージ貼付画像は変更されません。
・TV電話応答保留画像　・TV電話通話中保留画像　・TV電話代替画像
・TV電話伝言メモ準備画像　・TV電話伝言メモ録画画像　・TV電話動画メモ画像
・電話帳登録画像
●miniSDメモリーカード内の静止画を削除中に着信があった場合は、削除は途中でも中止されます。

＜自作アニメ＞

アニメを作成する

最大10コマまでの静止画を自作アニメとして登録し、アニメ再生することができます。自作アニメは1件登録することができます。

イメージビューア

自作アニメ

自作アニメ設定

カメラフォルダ、ｉモードフォルダ、編集フォルダ、キャラ電イメージフォルダのJPEGファイルを最大10件選択し、自作アニメとして登録します。

1 メニュー ▶ マルチメディア ▶ イメージ ▶「自作アニメ」を選択 ▶ ｉ（機能）▶ 自作アニメ設定



2 コマ順＜1コマ目＞〜＜10コマ目＞を選択 ▶ ◉ ▶ フォルダを選択 ▶ ◉ ▶ 静止画を選択 ▶ ◉

3 手順2を繰り返す

静止画の登録が完了したら、✉（完了）を押します。

■静止画を1コマ解除するには

1.手順2で静止画が登録されているコマを選択し、◉を押します。
2.「イメージ解除」を選択し、◉を押します。

お知らせ

- 静止画が登録されていないコマがある場合、登録されているコマのみ順番に再生します。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルまたはminiSDメモリーカード内の静止画は登録できません。
- 「アイテム」フォルダ内の静止画は登録できません。
- 自作アニメに登録した静止画を削除した場合、削除した静止画を除いた自作アニメが表示されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

「イメージ」フォルダ一覧画面で「自作アニメ」を選択中に Ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

自作アニメ解除

P.13

登録した自作アニメを解除します。

1 **イメージ一覧画面▶「自作アニメ」を選択▶ Ⓘ（機能）▶自作アニメ解除▶YES**

動画／ｉモーションを再生する

カメラで撮影した動画（P.281参照）、ダウンロードした動画（P.118参照）またはminiSDメモリーカード内に保存した動画などを再生します。
FOMA端末ではMP4ファイルやASFファイルを再生することができます。ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
動画一覧表示についてはP.380参照。

1 (メニュー) ▶ マルチメディア ▶ ｉモーション

カメラ ……………… カメラで撮影し、本体に保存した動画を一覧表示します。
ｉモード …………… ダウンロードやメール添付されたｉモーションを一覧表示します。
SDカード …………… miniSDメモリーカード内のフォルダを表示します。
編集 ………………… 「ｉモーション編集」で編集した動画を一覧表示します。
キャラ電ムービー …… キャラ電撮影したｉモーションを一覧表示します。
しおり ……………… しおり選択画面を表示します。

- 「SDカード」を選択した場合、フォルダの一覧画面が表示されます。フォルダを選択し、◉を押して動画を一覧表示します。
- カメラショートカットで ｉモーションプレーヤー を選択し、◉を押してもｉモーションプレーヤーを起動できます。

2 ファイルを選択 ▶ ◉

- 手順1で「しおり」を選択した場合は、しおりを選択して、◉を押します。
（機能メニューから「再生」を選択しても再生できます。）



ビューアスタイル

1. (機能／メニュー) を1秒以上押す
2. (T/W) で マルチメディア を選択 ▶ ◉ ▶ (T/W) で「ｉモーション」を選択 ▶ ◉
3. (T/W) で表示したいフォルダを選択 ▶ ◉
4. (T/W) でファイルを選択 ▶ ◉

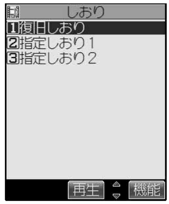


お知らせ

- マナーモード中に再生しようとすると、「マナーモード中です 再生時に音声再生しますか？」と表示されます。「YES」または「NO」を選択して ◉ を押します。
- 本体・miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- 動画／ｉモーションの再生中にメールやメッセージ（R/F）などを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
- 動画／ｉモーションによっては再生できない場合があります。

■しおり機能について

しおりには「指定しおり」と「復旧しおり」があります。
「指定しおり」とは、あらかじめ動画の任意の場面に登録しておくしおりで、2つまで作成できます。（P.363参照）
「復旧しおり」とは、動画再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなった場合など、再生が中断された場合に自動的に登録されるしおりです。
しおりを選択すると、登録された場面から再生することができます。



＜しおり選択画面＞

●しおりを登録した動画が削除されていた場合は再生できません。また、miniSDメモリーカード内の動画にしおりを登録しても、以下の場合は再生できません。
- ・miniSDメモリーカードを取り付けていない場合
- ・miniSDメモリーカードが挿入処理中の場合
- ・miniSDメモリーカードにエラーが発生した場合
- ・パソコンなどで動画のファイル名を変更した場合
- ・異なるフォルダに移動した場合
- ・フォルダ名やファイル名が同じでも、異なるminiSDメモリーカードの場合

●しおりを削除するには、右上の画面で（機能）を押して「削除」を選択し、を押します。「YES」を選択し、を押すとしおりが削除されます。中止する場合は「NO」を選択し、を押します。「復旧しおり」は削除できません。

●動画／iモーションによっては、しおりの登録ができない場合があります。

●カメラショートカットでを選択し、を押しても右上の画面が表示されます。

■「スタイル連動設定」が「連動する」に設定されている状態でカメラ起動中にビューアスタイルに変更すると

「カメラ」フォルダ内の最新の静止画または動画／iモーションが表示されます。

●スナップ撮影モードや連続撮影モードでカメラが起動していた場合は静止画が表示され、動画撮影モードでカメラが起動していた場合は動画／iモーションが表示されます。

●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定されている場合は、設定されているフォルダ内の最新の静止画または動画／iモーションが表示されます。

お知らせ

●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合はFOMA端末で作成した最新フォルダの最新の静止画または動画／iモーションを表示します。
- ・miniSDメモリーカードを挿入した直後の場合
- ・miniSDメモリーカードのチェックディスクを実行した直後の場合
- ・電源を入れた直後の場合

●「記録媒体選択」が「SDカード」に設定中、以下の場合は「カメラ」フォルダ内の静止画または動画／iモーションが表示されます。
- ・miniSDメモリーカードが挿入されていない場合
- ・miniSDメモリーカード内にファイルがない場合
- ・miniSDメモリーカードにエラーが発生した場合

●「カメラ」フォルダ内にファイルがない場合は、「イメージ」または「iモーション」のフォルダ一覧画面が表示されます。

■iモーションについて

- ・iモーションのダウンロードについてはP.118参照。
- ・iモーションのテロップ情報を用いて、Phone To 機能、Web To 機能、Mail To 機能をご利用可能なものもあります。
- ・iモーションによっては、再生制限が設定されているものがあります。（P.366参照）
- ・iモーションによっては、データを取得しても正しく再生できない場合があります。

動画再生時の操作

動画の再生画面から、下記の操作を行うことができます。



＜ノーマルスタイル画面＞



＜ムービースタイル画面（横表示）＞



＜ビューアスタイル画面（横表示）＞

操作	ボタン操作		
	ノーマルスタイル時	ムービースタイル時	ビューアスタイル時
一時停止	[決定]（[II]）または[マルチ]を押します。再開するには、[決定]（[▶]）または[マルチ]を押します。	[マルチ]を押します。再開するには、再度[マルチ]を押します。	[マルチ]を押します。再開するには、再度[マルチ]を押します。
停止	[メール]（[■]）、[1]～[0]※1、[*]※1、[#]※1を押します。再開するには、[決定]（[▶]）または[マルチ]を押します。	―	―
音量調節	[左右]または[▲][▼]を押します。押し続けると連続して音量が調整されます。	[▲][▼]を押します。押し続けると連続して音量が調整されます。	[▲][▼]を押します。押し続けると連続して音量が調整されます。
次のファイルを表示※2※3	[右]または[T/W下]を押します。	[T/W下]を押します。	[T/W上]を押します。（縦表示の場合は[T/W下]）
前のファイルを表示※2※3	[左]または[T/W上]を押します。※4	[T/W上]を押します。※4	[T/W下]を押します。※4（縦表示の場合は[T/W上]）
シーク（早送り）	[右]または[T/W下]を押し続けると、押している間、映像を早送りします。	[T/W下]を押し続けると、押している間、映像を早送りします。	[T/W上]を押し続けると、押している間、映像を早送りします。（縦表示の場合は[T/W下]）
シーク（早戻し）	[左]または[T/W上]を押し続けると、押している間、映像を早戻しします。	[T/W上]を押し続けると、押している間、映像を早戻しします。	[T/W下]を押し続けると、押している間、映像を早戻しします。（縦表示の場合は[T/W上]）

※1 ストリーミングタイプのｉモーションでは操作できません。
※2 ファイル一覧表示の並び順で表示します。
※3 ファイル一覧から再生、スタイル連動による再生、しおりから再生した場合は操作できます。
※4 再生時間が10秒以上過ぎた場合は、再生中のファイルの頭出しになります。

■コマ送り再生
一時停止中の画面で (コマ送) を押すと、コマ送り再生することができます。
 (コマ送) を押すごとに1コマずつ進みます。
● i モーションを取得しながら再生しているときは、コマ送りできません。

お知らせ
●ビューアスタイルではこの機能を利用できません。

お知らせ
●音量調節を行う前の i モーションプレーヤーの音量は着信音量設定と同じです。着信音量設定を消去またはステップにしていた場合、 i モーションプレーヤーの音量は1になります。音量はレベル0〜6まで設定でき、ここで調節した音量は i モーションプレーヤーを終了するまで有効です。
●シーク(早送り・早戻し)は、動画を一時停止・再生中(スロー再生・早送り再生も含む)に実行できます。ただし、シーク中は無音です。
●QVGAサイズの i モーションによっては早送りされないことがあります。
●データを取得しながら再生できる i モーション・ストリーミングタイプの i モーションは、スロー再生・早送り再生ができません。
●以下の場合はシーク(早送り・早戻し)できません。
・停止中のとき
・ストリーミングタイプの i モーションを再生中のとき
・データを取得しながら再生できる i モーションを再生中のとき
・シークポイントがないファイルのとき
・シークポイントの間隔が広いファイルのとき
・シークポイントが先頭にしかないファイルのとき
・音声のみのASFファイルでシーク情報がないファイルのとき
●シーク(早送り・早戻し)やコマ送り再生中にテロップは表示されません。
●テロップ表示中にスタイルを変更して画面表示を切り替えると、テロップが消えます。次のテロップから正常に表示されます。
●「フリップ閉再生」をONに設定してFOMA端末を閉じた状態で再生しているときは、 、 、 (クリア)、 (機能／メニュー)、 、 は無効となります。

動画再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF		
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263	音声：AMR、AAC
	ASFファイル	映像：MPEG4	音声：AMR、G.726
画素数	MPEG4：QVGA(320×240)以下のファイル		
	H.263：QCIF(176×144)以下のファイル		
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf		

■動画再生ソフトのご紹介
・パソコンで動画(MP4)を再生するには、「QuickTime6.3」と「3GPPコンポーネント」または「QuickTime6.4」以降が必要です。QuickTimeは、アップルコンピュータ(株)のホームページから無償でダウンロードできます。

i モーションプレーヤー

＜iモーション再生情報＞

iモーション再生中に情報を表示するかどうかを設定する

P.13

お買い上げ時 表示しない

ムービースタイルやビューアスタイルでiモーションを再生するときに再生時間、再生状態(「▷」など)、「🔊」、AV出力中を示す「☞」を表示するかしないかを設定します。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ ディスプレイ ▶ iモーション再生情報

表示する・・・・・・・・・・・・・・iモーションの再生情報を表示します。
表示しない・・・・・・・・・・・・・iモーションの再生情報を表示しません。

お知らせ

●他の機能を起動中の場合は、設定の変更はできません。

動画／iモーションを利用する

動画／iモーションを一時停止中・再生終了時・停止中の機能メニューから、撮影した動画／iモーションをさまざまな用途に利用することができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

一時停止中・再生終了時・停止中に ⓘ (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	ページ
通常再生	P.362
スロー再生	P.362
早送り再生	P.363
停止	P.363
再生位置選択	P.363
しおり登録	P.363
AV出力	P.386
iモーション編集	P.367
iモーションメール作成	P.361
着モーション設定	P.364
待受画面設定	P.364
情報表示	P.366
赤外線送信	P.402
インポート	P.326
エクスポート	P.325
デスクトップ貼付	P.324
画像表示設定	P.324
電話帳iモーション登録	P.362
電話帳登録	P.366
フリップ閉再生	P.365
液晶AI	P.365
iモーション再生情報	P.365
1件削除	P.382

操作により実行できない項目があります。

ｉモーションメール作成

再生・選択しているファイルを添付して、ｉモードメールを送ります。

1 一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉモーションメール作成

●メールの送信、保存についてはP.150、177参照。

■ｉモーションのファイルサイズが100Kバイトより大きいときは右の画面が表示されます。

「YES」を選択して◉を押すと、ｉモーションの先頭から100Kバイトまでを切り出します。

●テロップ付のｉモーションの場合は、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。



テロップなしの場合

お知らせ

●以下の場合は切り出せません。
- ・非対応コーデックを含んでいるとき
- ・音声コーデックがAACのとき
- ・映像、音声がないとき
- ・動画像ビットレートが768kbpsを超えるとき
- ・動画サイズがQCIF・Sub-QCIF以外のとき
- ・シークができないとき

●メールサイズに切り出した場合、添付ファイル名は「movie」となります。

お知らせ

●ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.296参照。

●ｉモードフォルダ内のファイル制限ありのファイルや再生制限付きのファイルのときは、ｉモーションメールを作成できません。

●キャラ電ムービーフォルダ内の撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影したファイルのときは、ｉモーションメールを作成できません。

●miniSDメモリーカード内のファイルのときは、ｉモーションメール作成できません。

●保存BOXに保存メールが10件あると、ｉモーションメールを作成できません。

●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。

電話帳ｉモーション登録

再生・選択している動画ファイルを電話帳に登録します。登録した電話番号から着信があったとき、動画が再生されます。

1 **一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶電話帳ｉモーション登録**

●電話帳の登録などの操作については基本編P.122参照。

お知らせ

●電話帳ｉモーション登録、電話帳イメージ登録に設定できる件数は静止画・ｉモーションをあわせて70件までです。
●指定発信制限中、ダイヤル発信制限中は使用できません。
●登録元の動画が削除されると、電話帳に登録された動画も削除されます。
●以下の場合は電話帳登録できません。
・画像が再生不可のとき
・画像サイズが0×0のとき、またはQCIF（176×144）を超えるとき
・テロップのあるファイルのとき
・ｉモードフォルダ内の動画のとき
・カメラフォルダ、編集フォルダ内の動画で、保存元がカメラ以外の場合
・miniSDメモリーカード内のファイルのとき

通常再生

P.13

1 **一時停止中▶ⓘ（機能）▶通常再生**

動画を通常の速度で再生します。

スロー再生

P.13

1 **一時停止中▶ⓘ（機能）▶スロー再生**

動画ファイルを通常の約1/2の速度で再生します。
●スロー再生を解除するには、「通常再生」または「停止」の操作を行います。

お知らせ

●スロー再生中は無音です。
●ストリーミングタイプのｉモーションやデータを取得しながら再生できるｉモーションは、スロー再生できません。

早送り再生

1 **一時停止中▶i（機能）▶早送り再生**

動画を通常の約2倍の速度で再生します。

●早送り再生を解除するには、「通常再生」または「停止」の操作を行います。

お知らせ

●早送り再生中は無音です。
●QVGAサイズのｉモーションによっては、早送りされない場合があります。
●ストリーミングタイプのｉモーションやデータを取得しながら再生できるｉモーションは、早送り再生できません。

停止

1 **一時停止中▶i（機能）▶停止**

●最初から再生するには、◉を押します。

再生位置選択

動画の再生を開始する位置を設定します。

1 **一時停止中・再生終了時▶i（機能）▶再生位置選択▶タイムバーのカーソル位置を選択▶◉**

選択した位置から動画を再生します。

●再生位置選択を解除するには、クリアを押します。

お知らせ

●動画／ｉモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

しおり登録

再生している動画にしおりを登録します。登録したい位置で一時停止して登録します。登録できるしおりは2件までです。

1 **一時停止中▶i（機能）▶しおり登録**

しおり1に登録 ･･････‥ しおり1に登録します。
しおり2に登録 ･･････‥ しおり2に登録します。

●すでに登録されている場合は、上書きする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◉を押すと上書き登録します。中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●動画／ｉモーションによっては、しおりを登録できない場合があります。

着モーション設定

P.13

再生・選択している動画ファイルを着モーションに設定します。

1 一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶i（機能）▶着モーション設定

電話 ･･････････････････音声電話着信時、動画を再生します。
TV電話 ･･････････････TV電話着信時、動画を再生します。
●着モーションを設定された項目には「★」が表示されます。

お知らせ

●着モーション設定「可」のｉモーションのみ着モーションに設定できます。着モーション設定「可」「不可」を確認するにはP.366「情報表示」参照。
●電話および着信時の着信音の優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着モーション設定」の順になります。また、着信音にｉモーションが選択されている場合は、「画面表示設定」（基本編P.187参照）などよりも優先してｉモーションが再生されます。
●映像と音を含んだｉモーションを着モーションに設定した状態で着信がきた場合、「画面表示設定」（基本編P.187参照）で設定した画像ではなく、着モーションに設定したｉモーションの映像を表示します。
●映像のないｉモーションを着モーションに設定した状態で着信がきた場合、お買い上げ時に設定されている画像を表示します。

待受画面設定

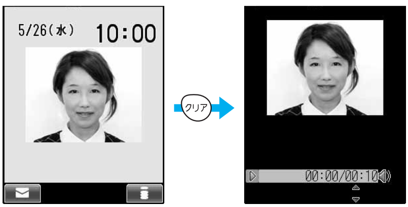
P.13

再生・選択している動画ファイルを待受画面として表示します。FOMA端末で撮影したｉモーションやサイトから取得したｉモーションなどを待受画面に設定することができます。

1 一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶i（機能）▶待受画面設定▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

■待受画面に設定した動画ファイルを再生するには



<待受画面>

動画が再生されます。
●再生中に◎または▲、▼を押すと、音量を調節できます。ビューアスタイル時は▲、▼で調節できます。
◎、▲、▼、（クリア）、（機能／メニュー）以外のボタンを押すと、再生を終了します。
ビューアスタイル時は◉、T/W、（クリア）、（機能／メニュー）を押すと再生を終了します。
●マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ

●待受画面に設定した動画ファイルを削除すると、待受画面も解除されます。
●以下の場合は待受画面に設定できません。
・miniSDメモリーカード内のファイルのとき
・映像のない動画のとき
・MP4以外の動画ファイルのとき
・再生制限のあるファイルのとき
・画像サイズが0×0のとき、またはQCIF（176×144）を超えるファイルのとき
・FOMA端末に対応していないファイルのとき
●ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
●ｉモーションによっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
●待受画面に設定したｉモーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To 機能は利用できません。

フリップ閉再生

お買い上げ時 OFF

再生中にFOMA端末を閉じても再生を継続するように設定できます。

1 停止中・一時停止中・再生終了時▶ⓘ（機能）▶フリップ閉再生

ON ・・・・・・・再生中にFOMA端末を閉じても再生を継続します。
OFF・・・・・・・再生中にFOMA端末を閉じると再生を終了します。

お知らせ

●本機能の設定は、現在の再生時のみ有効です。動画一覧画面に戻ったり、ｉモーション編集画面などを表示するとOFFに戻ります。

液晶AI

再生中の動画の動きや明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを自動で調整することができます。

1 停止中・一時停止中・再生終了時▶ⓘ（機能）▶液晶AI

ON ・・・・・・・ディスプレイの明るさを自動で調整します。
OFF・・・・・・・ディスプレイの明るさを自動で調整しません。

お知らせ

●AV出力中はOFFになります。
●本機能の設定は、現在の再生時のみ有効です。動画一覧画面に戻ったり、ｉモーション編集画面などを表示すると、各種設定の「液晶AI」（基本編P.197参照）の設定に戻ります。

ｉモーション再生情報

ムービースタイルやビュースタイルで再生するときに、再生時間、再生状態（「▷」など）、「🔊」、AV出力中を示す「☞」を表示するかしないかを設定できます。

1 停止中・一時停止中・再生終了時▶ⓘ（機能）▶ｉモーション再生情報

表示する ・・・・ｉモーションの再生情報を表示します。
表示しない ・・ｉモーションの再生情報を表示しません。

お知らせ

●ムービースタイルやビュースタイルでも縦表示で再生している場合は、「表示しない」に設定してもｉモーション再生情報が表示されます。
●本機能の設定は、現在の再生時のみ有効です。動画一覧画面に戻ったり、ｉモーション編集画面などを表示すると、各種設定の「ｉモーション再生情報」（P.360参照）の設定に戻ります。

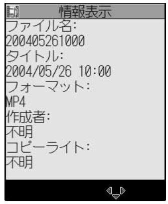
情報表示

P.13

再生・選択している動画の情報を表示します。

1 **停止中・一時停止中・再生終了時・動画一覧画面 ▶ (i)（機能）▶ 情報表示**

● (◎) でスクロール表示します。
●確認が終われば (クリア) を押します。



項　目	情報内容	
ファイル名	ファイル名を表示。	
タイトル※	ファイルのタイトル名を表示。タイトル名がない場合は「不明」と表示。	
フォーマット	ファイル形式を表示。	
作成者	ファイルの著作者情報を表示。情報がない場合は「不明」と表示。	
コピーライト	ファイルの著作権情報の有無を表示。情報がない場合は「不明」と表示。	
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示。	
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。	
表示サイズ	表示サイズを表示。音声のみの動画やQVGA（320×240）より大きい動画の場合は「不明」と表示。	
保存元	ファイルの保存元を表示。内蔵の動画の場合は空白になります。	
説明	ファイルの説明を表示。説明がない場合は「不明」と表示。	
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。	
再生制限	回数制限がある場合	「あとYY回（YY/XX）」（YY：残り再生回数、XX：全再生回数）と表示。
	期限制限がある場合	「ファイル登録日時～再生期限日時」を表示。
	期間制限がある場合	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示。
	再生制限がない場合	「なし」と表示。
ビデオ	画像のあり／なし／再生不可を表示。	
オーディオ	AAC／AMR／なし／再生不可／再生可能を表示。	
テキスト	テキストのあり／なし／再生不可を表示。	
着モーション設定	着モーション設定の可／不可を表示。着モーションに設定されている場合、設定先を表示。	

※ タイトル編集をしても、編集前のタイトルが表示されます。

電話帳登録

再生している動画／iモーションのテロップに下線の付いた電話番号やメールアドレスなどの情報があったときに、電話帳に登録することができます。

1 **再生終了後 ▶ (i)（機能）▶ 電話帳登録**

●電話帳の登録などの操作については基本編P.122参照。

＜ｉモーション編集＞

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションから静止画を切り出したり、あとから音声を吹き込むなど動画／ｉモーションのさまざまな編集ができます。編集した動画／ｉモーションは、「編集」フォルダ（P.356参照）に保存されます。

1 **一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶ i（機能）▶ｉモーション編集**

●〇または▼ ▲で音量を調節できます。



＜ｉモーション編集画面＞

2 **i（機能）▶動画／ｉモーションを編集する**

操作方法についてはP.341、369～379をご覧ください。

3 **●を押す**

●編集した動画／ｉモーションを保存しない場合は、クリア または 📞 を押して、「YES」を選択し、●を押します。



4 **YES**

編集した動画／ｉモーションが保存されます。

お知らせ

●ｉモーション編集中に表示されるファイルサイズは目安です。

次ページにつづく

■ｉモーション編集ができるフォルダ

フォルダ	ｉモーション編集
カメラフォルダ	○※1
ｉモードフォルダ	×
SDカード	×
編集フォルダ	○※1
キャラ電ムービーフォルダ	○※2

○…ｉモーション編集可　×…ｉモーション編集不可

※1 カメラで撮影した動画、データ通信で取得したｉモーションのみ

※2 撮影後ファイル制限なしのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行った動画のみ

■ｉモーション編集ができる動画

・QCIF（176×144）サイズの動画

・Sub-QCIF（128×96）サイズの動画

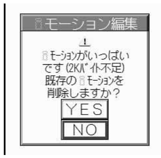
お知らせ

●ｉモーションにより編集できない場合があります。

■登録されている動画／ｉモーションがいっぱいのとき

すでに動画／ｉモーションが最大保存件数まで登録されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。

不要な動画／ｉモーションを削除してから保存します。



メモリ不足の場合

1.「YES」を選択し、◎を押します。

2. 削除したい動画／ｉモーションをグレー表示にします。

◎を押すとグレー表示に切り替わります。

3. ✉（完了）を押します。

4.「YES」を選択し、◎を押します。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。

●編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を閉じた場合は、ひとつ前の編集までの状態で保存されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ｉモーション編集画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

ｉモーション切り出し

編集中の動画／ｉモーションから任意の範囲を切り出します。

1 ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶ｉモーション切り出し

●テロップがある動画／ｉモーションの場合、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◉を押します。

2 ◎で開始フレームを選択▶✉（始点）

●◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。

●◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。

開始フレームが設定され、動画／ｉモーションが再生されます。

3 切り出したいところまで再生したら◉を押す

動画／ｉモーションの再生が一時停止します。

4 ◎で終了フレームを選択▶✉（終点）

切り出した範囲が再生されます。

●◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。

●◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。

●切り出された場合のおよそのファイルサイズが表示されます。
90Kバイトを超えると青色に、95Kバイトを超えると赤色に変わります。

●ファイルサイズが約800Kバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。

●表示されるサイズは目安です。

5 ◉を押す

●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。

お知らせ

●ｉモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。

イメージ切り出し

編集中の動画／ｉモーションから静止画を切り出します。
切り出した静止画は「イメージ」の「編集」フォルダに保存されます。

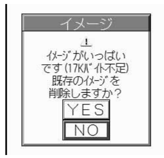
1 ｉモーション編集画面▶（機能）▶イメージ切り出し

2 でフレームを選択▶（確定）▶YES

- を1秒以上押すと早戻し、を1秒以上押すと早送りします。
- を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度を押すと一時停止します。
- 中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

■保存されている静止画がいっぱいのとき

すでに静止画が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、右の画面が表示されます。
不要な静止画を削除してから保存します。



メモリ不足の場合

1.「YES」を選択し、を押します。
2. 削除したい静止画をグレー表示にします。
   を押すとグレー表示に切り替わります。
3. （完了）を押します。
4. 「YES」を選択し、を押します。
   ●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

お知らせ

●「イメージ切り出し」をするとテロップは削除されます。

アフレコ編集

編集中の動画／ｉモーションの任意の範囲に音声を録音します。

1 **ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶アフレコ編集**

●テロップのある動画／ｉモーションの場合、テロップが削除される旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押します。

●最初のフレームから録音を開始するときは手順3に進みます。

2 **◎を押す**

3 **✉（始点）を押す**

録音が開始されます。送話口に向かってお話しください。

●平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのマイクから録音します。

4 **✉（終点）を押す**

録音が終了します。

●続けて録音する場合は、手順3〜4を繰り返します。

●アフレコ編集を終了するには、◎を押します。

5 **◎を押す**

●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。



テロップ編集

編集中の動画／ｉモーションのテロップ情報（再生中に表示される文字情報）を編集します。

「新規作成」の場合

1つの動画／ｉモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 **ｉモーション編集画面▶（機能）▶テロップ編集▶新規作成**

●すでにテロップ情報がある場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択し、を押します。

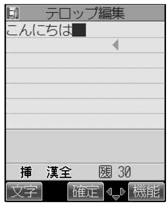
2 **で開始フレームを選択▶（始点）**

●を1秒以上押すと早戻し、を1秒以上押すと早送りします。

●を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度を押すと一時停止します。

●早戻しにより、以前設定したテロップの終点に到達した場合、始点を決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択してを押すと、始点が決定され、前のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

3 **テロップを入力▶**



テロップは全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。

●文字の入力方法については基本編P.314参照。

4 **テロップ効果を選択する**

文字色・・・・・・・・・・・・・・・・文字色を16色または256色から選択します。
背景色・・・・・・・・・・・・・・・・背景色を16色または256色から選択します。
文字サイズ・・・・・・・・・・・・文字サイズを「標準」または「拡大」から選択します。
文字位置・・・・・・・・・・・・・・文字位置を「左寄せ」、「センタリング」または「右寄せ」から選択します。
点滅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・点滅を「ON」または「OFF」から選択します。
下線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・下線を「ON」または「OFF」から選択します。
スクロール・・・・・・・・・・・・スクロール効果を「OFF」、「スクロールイン」、「スクロールアウト」または「スクロールイン・アウト」から選択します。
「OFF」以外を選択した場合は、スクロール方向を「右から左へ」、「左から右へ」、「下から上へ」または「上から下へ」から選択します。

●続けてテロップ効果を設定する場合は、手順4を繰り返します。

5 **設定完了**

6 **で終了フレームを選択▶（終点）**

●を1秒以上押すと早戻し、を1秒以上押すと早送りします。

●を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度を押すと一時停止します。

●開始フレームから終了フレームまで十分な間隔がない場合、終了フレームを選択できない場合があります。

●他のテロップが設定されているフレームを表示した場合、終了フレームを決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択してを押すと終了フレームが決定され、他のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

7 (機能)▶テロップ編集完了

●テロップの作成を続ける場合は手順2～6を繰り返します。

8 を押す



●(デモ)を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。
●(修正)を押すとテロップリスト画面が表示され、作成したテロップを修正できます。

お知らせ

●スクロールの速度は、始点から終点までの時間に合わせて自動的に設定されます。
●テロップを追加するときは、テロップどうしの始点と終点が重ならないようにしてください。
●赤外線通信やデータ通信で取得したｉモーションなどでテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
●FOMA P900iV未対応のテロップ効果は削除・変更される場合があります。

「編集」の場合

1 ｉモーション編集画面▶(機能)▶テロップ編集▶YES▶編集

登録されているテロップが表示されます。



＜テロップリスト画面＞

2 編集したいテロップを選択▶(機能)

文字変更 ……………テロップ文字を変更します。(P.372手順3参照)
効果変更 ……………テロップ効果を変更します。(P.372手順4～5参照)
開始位置変更 …………テロップの開始位置を変更します。(P.372手順2参照)
終了位置変更 …………テロップの終了位置を変更します。(P.372手順6参照)
テロップ追加 …………テロップを追加します。(P.374参照)
テロップ削除 …………テロップを削除します。「YES」を選択し、を押すと削除されます。

●テロップを選択してを押すと、そのテロップの詳細が確認できます。確認が終わればクリアを押します。
●続けてテロップを編集する場合は、手順2を繰り返します。

3 テロップリスト画面で(完了)▶

お知らせ

●テロップが１つも登録されていない場合は、編集できません。

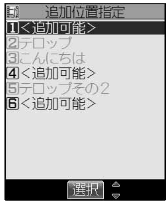
次ページにつづく

テロップ追加

テロップを追加します。
１つの動画／ｉモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 テロップリスト画面▶ⓘ（機能）▶テロップ追加

上が先頭フレーム、下が最終フレームと見立てて、テロップが登録されている位置が表示されます。



2 ＜追加可能＞

以降、P.372手順2～6を操作してテロップを作成します。

●5つのテロップを作成した場合は、テロップリスト画面に戻ります。
P.373手順3を操作します。

●テロップが5つ未満の場合は、P.373手順7～8を操作します。

αブレンド編集

編集中の動画／ｉモーションに撮影した静止画などを合成します。静止画を合成するときの透過度を設定したり、特殊効果を設定したりできます。

新規作成する場合

１回のαブレンド編集につき、合成できる静止画は5つまでです。

1 **ｉモーション編集画面▶(i)(機能)▶αブレンド編集**

2 **(◎)で開始フレームを選択▶(✉)(始点)**

● (◎)を1秒以上押すと早戻し、(◎)を1秒以上押すと早送りします。

● (◎)を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度(◎)を押すと一時停止します。

●早戻しにより、以前設定したαブレンドの終点に到達した場合、始点を決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択して(◎)を押すと、始点が決定され、前のαブレンドと隙間なくαブレンドを作成できます。

3 **合成する静止画を選択する**

カメラ・・・・・・・・・・・・・・・・カメラフォルダの静止画を合成します。
ｉモード・・・・・・・・・・・・・・ｉモードフォルダの静止画を合成します。
SDカード・・・・・・・・・・・・・miniSDメモリーカード内の静止画を合成します。
編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・編集フォルダの静止画を合成します。
キャラ電イメージ・・・・・・キャラ電イメージフォルダの静止画を合成します。

4 **効果設定を選択する**

透過度設定・・・透過度を「透過なし」、「濃い」または「薄い」から選択します。
特殊効果・・・・・特殊効果を「なし」、「スライドイン」または「フェードイン」から選択します。
「なし」以外を選択した場合は、始点効果時間を選択する画面が表示されます。
「1.00秒」から「5.00秒」までの間で始点効果時間を選択し、(◎)を押します。
始点効果時間が、最終フレームに到達してしまう場合、始点効果時間を自動調整するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して(◎)を押すと、始点効果時間が自動調整されます。「NO」を選択して(◎)を押すと、始点効果時間を選択する画面に戻り、設定可能な最大の始点効果時間を表示します。

5 **設定完了**

6 **(◎)で終了フレームを選択▶(✉)(終点)**

● (◎)を1秒以上押すと早戻し、(◎)を1秒以上押すと早送りします。

● (◎)を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度(◎)を押すと一時停止します。

●開始フレームから終了フレームまで十分な間隔がない場合、終了フレームを選択できない場合があります。

●早戻しにより、始点や始点効果時間に到達した場合、早戻しを中止する旨の警告画面が表示されます。「OK」を選択して(◎)を押すと、終了フレームを選択する画面に戻ります。

次ページにつづく

7 効果設定を選択する

特殊効果 ……特殊効果を「なし」、「スライドアウト」または「フェードアウト」から選択します。
「なし」以外を選択した場合は、終点効果時間を選択する画面が表示されます。
「1.00秒」から「5.00秒」までの間で終点効果時間を選択し、◉を押します。
終点効果時間が、始点や始点効果時間に到達してしまう場合、終点効果時間を自動調整するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して◉を押すと、終点効果時間が自動調整されます。「NO」を選択して◉を押すと、終点効果時間を選択する画面に戻り、設定可能な最大の終点効果時間を表示します。

●始点効果時間が終了後、終点までが1秒以内の場合、「特殊効果」は選択できません。

8 設定完了

●αブレンドの作成を続ける場合は、手順2～8を繰り返します。

9 i（機能）▶αブレンド編集完了

編集した動画／iモーションが再生されます。

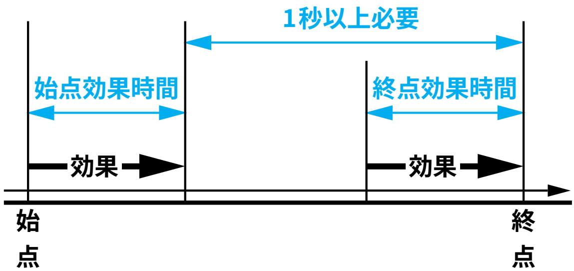
10 ◉を押す

●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。
●i（修正）を押すとαブレンドリスト画面が表示され、作成したαブレンドを修正できます。



＜αブレンド編集完了画面＞

■始点、始点効果時間、終点、終点効果時間の関係図

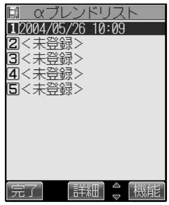


お知らせ

●以下の静止画ファイルは合成できません。
・カメラフォルダ内のJPEG以外のファイル
・ｉモードフォルダ内のJPEG以外のファイル、またはファイル制限ありのファイル
・SDカードフォルダ内のUXGA（1600×1200）サイズを超えるファイル、または700Kバイトを超えるファイル、JPEG以外のファイル
・撮影後ファイル制限ありのキャラ電モデルでキャラ電撮影を行ったファイル
●合成する静止画は、編集中の動画／ｉモーションと同じサイズに拡大／縮小されるため、静止画の縦横比が変わることがあります。
●動画／ｉモーションの再生終了間際に終点を設定した場合、動画／ｉモーションによっては終点効果の途中で終了することがあります。
●αブレンド編集を行って保存すると、αブレンドは1つの動画として保存されるため、設定したαブレンドを修正することはできません。
●αブレンド編集を行うと、テロップは削除されます。
●αブレンド編集を行うと、再生時間が長くなる場合があります。
●動画／ｉモーションによってはαブレンドが正しく再生されないことがあります。

修正する場合

1 αブレンド編集完了画面▶ⓘ（修正）



＜αブレンドリスト画面＞

2 修正したいαブレンドを選択▶ⓘ（機能）

始点変更 ・・・・・・・・・・・・・・ αブレンドの始点を変更します。（P.375手順2参照）
終点変更 ・・・・・・・・・・・・・・ αブレンドの終点を変更します。（P.375手順6参照）
始点効果変更 ・・・・・・・・・・ αブレンドの始点効果を変更します。（P.375手順4参照）
終点効果変更 ・・・・・・・・・・ αブレンドの終点効果を変更します。（P.376手順7参照）
イメージ変更 ・・・・・・・・・・ αブレンドの静止画を変更します。（P.375手順3参照）
αブレンド追加 ・・・・・・・・ αブレンドを追加します。（P.378参照）
αブレンド削除 ・・・・・・・・ αブレンドを削除します。「YES」を選択し、◉を押すと削除されます。

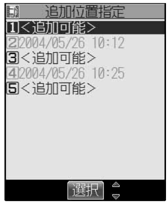
●αブレンドを選択して◉を押すと、そのαブレンドの詳細が確認できます。確認が終われば（クリア）を押します。
●続けてαブレンドを編集する場合は、手順2を繰り返します。

3 αブレンドリスト画面で✉（完了）▶◉

αブレンド追加

1 αブレンドリスト画面▶ⓘ（機能）▶αブレンド追加

上が先頭フレーム、下が最終フレームと見立てて、αブレンドが登録されている位置が表示されます。



2 <追加可能>

以降、P.375〜376手順2〜8を操作してαブレンドを作成します。

- 5つのαブレンドを作成した場合は、αブレンドリスト画面に戻ります。
  P.377手順3を操作します。
- αブレンドが5つ未満の場合は、P.376手順9〜10を操作します。

メールサイズ切り出し

編集中の動画／iモーションをiモーションメールに添付可能なサイズにします。

1 iモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶メールサイズ切り出し

2 ◎で開始フレームを選択▶✉（始点）

動画／iモーションが再生されます。iモーションメールに添付可能な最大サイズになると、自動的に再生が停止します。

- ◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。
- ◉を押すと動画／iモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。

3 ◉を押す

- ✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。

お知らせ

- 「メールサイズ切り出し」をするとテロップは削除されます。

iモーションメール作成

編集中の動画／iモーションをiモードメールに添付して送信することができます。

1 iモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶iモーションメール作成

- iモードメール作成については、P.150参照。

お知らせ

- ファイルサイズが100Kバイトを超える場合、iモーションメールは作成できません。
  iモーションメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。
- 保存BOXに保存メールが10件あると、iモーションメールを作成できません。

■デモ再生中・ｉモーション編集中の操作について



・ または を押すと一時停止します。再度 または を押すと再生されます。
・ または を1秒以上押すと早戻し、 または を1秒以上押すと早送りします。
・一時停止中に または を押すとコマ送りできます。
・ または を押すと音量を調節できます。
操作により実行できない項目があります。

■デモ再生一時停止中・ｉモーション編集中に機能メニューから以下の操作ができます。

通常再生…………動画／ｉモーションを再生します。
スロー再生………動画／ｉモーションをスロー再生します。
早送り再生………動画／ｉモーションを早送り再生します。
始点………………開始フレームを設定します。（「ｉモーション切り出し」、「メールサイズ切り出し」、「αブレンド編集」のとき）
終点………………終了フレームを設定します。（「ｉモーション切り出し」、「αブレンド編集」のとき）
確定………………フレームを設定します。（「イメージ切り出し」のとき）
停止………………動画／ｉモーションの再生が停止します。
テロップ表示始点‥‥開始フレームを設定します。（「テロップ編集」のとき）
テロップ表示終点‥‥終了フレームを設定します。（「テロップ編集」のとき）
テロップ編集完了‥‥テロップ編集を終了します。（「テロップ編集」のとき）
αブレンド編集完了‥αブレンド編集を終了します。（「αブレンド編集」のとき）

操作により実行できない項目があります。

動画／ｉモーションの一覧を表示する

本体またはminiSDメモリーカードに保存されているファイルを一覧表示します。

1 (メニュー) ▶ マルチメディア ▶ ｉモーション



＜動画一覧画面＞

カメラ････････････････カメラで撮影し、本体に保存した動画を一覧表示します。

ｉモード･･････････････ダウンロードやメール添付されたｉモーションを一覧表示します。

SDカード･････････････miniSDメモリーカード内のフォルダを一覧表示します。

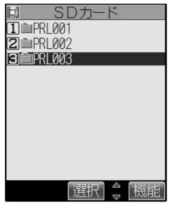
編集･･････････････････「ｉモーション編集」で編集した動画を一覧表示します。

キャラ電ムービー･･････キャラ電撮影したｉモーションを一覧表示します。

●（方向キー）を1秒以上押すと、連続スクロールします。

●カメラショートカットで（ｉモーションプレーヤー）を選択し、（決定）を押してもｉモーションプレーヤーを起動できます。

●「SDカード」を選択した場合、フォルダ一覧画面が表示されます。
フォルダを選択し、（決定）を押して動画を一覧表示します。



＜miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面＞

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ファイル名の前にあるアイコンは、そのファイルの種類を表しています。

ファイル形式	音声の形式	アイコン
MP4ファイル	AMR	（アイコン）
	AAC	（アイコン）
ASFファイル	－	（ASFアイコン）

●ｉモーションによっては、再生できる回数・期限・期間が設定（再生制限）されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには、「（再生制限付きアイコン）」（再生制限付き）または「（再生制限切れアイコン）」（再生制限切れ）がつきます。「情報表示」でファイルの再生制限を確認することができます。

●ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「（ファイル制限アイコン）」がつきます。ただし、miniSDメモリーカードのファイル一覧表示中は表示されません。

●FOMAカード動作制限のため再生できないファイルの場合、「（アイコン）」がつきます。

●miniSDメモリーカードのファイル一覧表示では、音声形式がAACのファイルも「（アイコン）」が表示されます。

ビューアスタイル

1 （機能／メニュー）を1秒以上押す ▶ （T/W）で（マルチメディア）を選択 ▶ （決定）

2 （T/W）で「ｉモーション」を選択 ▶ （決定） ▶ （T/W）で表示したいフォルダを選択 ▶ （決定）

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

動画一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

iモーション編集	P.367
タイトル編集	P.344
着モーション設定	P.364
待受画面設定	P.364
情報表示	P.366
iモーションメール作成	P.361
赤外線送信	P.402
インポート	P.326
エクスポート	P.325
デスクトップ貼付	P.324
電話帳iモーション登録	P.362
ファイル名編集	P.345
ファイル制限	P.345
コピー	P.346
移動	P.346
タイトル初期化	本ページ参照
1件削除	P.382
全削除	P.383
複数選択	P.348、383
保存容量確認	P.348
ソート	P.382
SD情報表示	P.415
一覧表示切替	P.349

操作により実行できない項目があります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

miniSDメモリーカードフォルダ一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダタイトル編集	P.350
フォルダ作成	P.350
フォルダ削除	P.350
保存先フォルダ選択	P.351

操作により実行できない項目があります。

タイトル初期化

P.13

動画の編集したタイトルを編集前のタイトルに戻します。

1 **動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶タイトル初期化▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

<ソート>

動画／iモーションの並び順を変える

お買い上げ時
日時順（新→古）

動画一覧表示で表示される順番を変更します。
動画で設定した並び順は、静止画一覧と動画一覧で共通の設定となり、別に設定することはできません。

1 動画一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ ソート

日時順（新→古）・・・・・・・・保存日時が新しいものから順に並べ替えます。
日時順（古→新）・・・・・・・・保存日時が古いものから順に並べ替えます。
タイトル順（あ→ん）・・・・タイトル名の昇順で並べ替えます。
タイトル順（ん→あ）・・・・タイトル名の降順で並べ替えます。
サイズ順（大→小）・・・・・・ファイルサイズが大きいものから順に並べ替えます。
サイズ順（小→大）・・・・・・ファイルサイズが小さいものから順に並べ替えます。
設定した並び順で表示されます。

■「タイトル順（あ→ん）」
半角数字→半角英字（大文字～小文字）→全角数字→全角英字（大文字～小文字）→ひらがな→全角カタカナ→漢字→半角カタカナ→絵文字（ ～ ）の順で優先されます。
■「タイトル順（ん→あ）」
絵文字（ ～ ）→半角カタカナ→漢字→全角カタカナ→ひらがな→全角英字（小文字～大文字）→全角数字→半角英字（小文字～大文字）→半角数字の順で優先されます。

お知らせ

●miniSDメモリーカード内のファイルをソートすることはできません。

動画／iモーションを削除する

1件削除

再生・選択している動画を1件削除します。

1 停止中・動画一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 1件削除 ▶ YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●待受画面に設定されているファイルの場合、「待受画面設定中 削除しますか？」と表示されます。
●着モーションに設定されているファイルの場合、「着モーション設定中 削除しますか？」と表示されます。
●電話帳に登録されているファイルの場合、「電話帳設定中 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルの場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。

全削除

動画一覧画面で表示される全動画を削除します。

1 **動画一覧画面▶（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●待受画面に設定されているファイルが含まれている場合、「待受画面設定中 削除しますか？」と表示されます。
●着モーションに設定されているファイルが含まれている場合、「着モーション設定中 削除しますか？」と表示されます。
●電話帳に登録されているファイルが含まれている場合、「電話帳設定中 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルのみの場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用と書き込み可に設定されているファイルの両方が含まれている場合、「読み取り専用以外を削除しますか？」と表示されます。
●miniSDメモリーカード内の動画を削除中に着信があった場合、削除は途中でも中止されます。

複数選択（削除）

P.13

動画一覧画面で複数の動画を選択し、削除することができます。
最大50件まで選択できます。

1 **動画一覧画面▶（機能）▶複数選択▶ファイルを選択▶**



●カーソルを移動すると選択されていることが確認できます。
●を押し続けると、連続スクロールします。
●すでに選択されているファイルを選択して、を押すと、選択を解除することができます。

2 **（機能）▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

お知らせ

●待受画面に設定されているファイルが含まれている場合、「待受画面設定中 削除しますか？」と表示されます。
●着モーションに設定されているファイルが含まれている場合、「着モーション設定中 削除しますか？」と表示されます。
●電話帳に登録されているファイルが含まれている場合、「電話帳設定中 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用に設定されているファイルのみを選択した場合、「読み取り専用 削除しますか？」と表示されます。
●アクセス権が読み取り専用と書き込み可に設定されているファイルを両方選択した場合、「読み取り専用以外を削除しますか？」と表示されます。
●miniSDメモリーカード内の動画を削除中に着信があった場合、削除は途中でも中止されます。

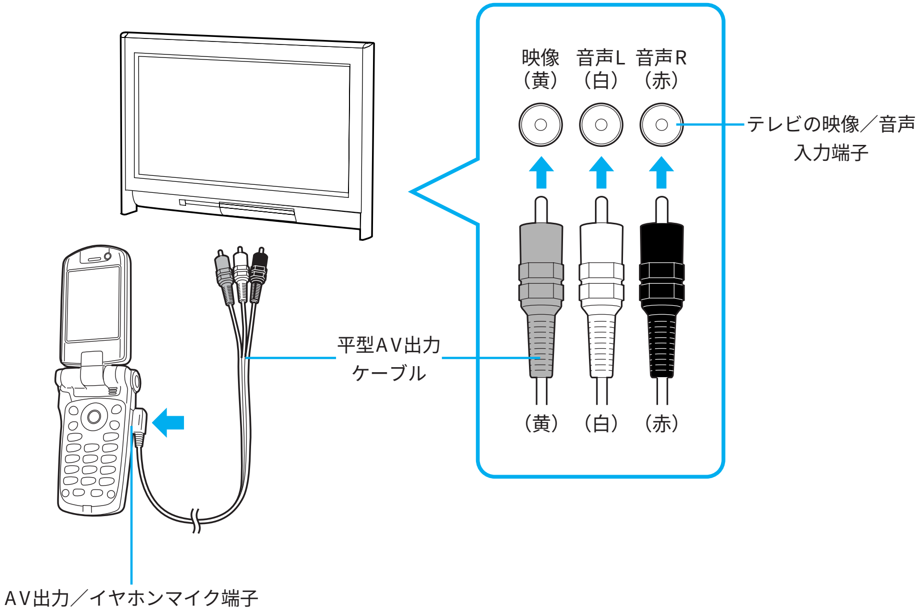
<AV出力>
テレビに静止画や動画／ｉモーションを表示する

FOMA端末をテレビに接続して、静止画、動画／ｉモーション再生中の画像やテレビ電話中の画像を見ることができます。静止画、動画／ｉモーション再生中の画像とテレビ電話中の画像が表示され、その他の画面は表示されません。

●テレビなどの機器によっては、画像の一部が表示されない場合や見え方が異なる場合があります。

FOMA端末とテレビを接続する

FOMA端末のAV出力／イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型AV出力ケーブルを接続します。テレビの映像／音声入力端子に平型AV出力ケーブルを接続します。



お知らせ

●テレビ以外の、他の機器にも接続して出力することができます。
●平型AV出力ケーブルを接続するときは、確実に差し込んでください。また、ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。
●平型AV出力ケーブルをテレビなどの機器に接続するときや抜くときは、接続する機器の音量を一度「OFF」にしてください。
●プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。

AV出力（各種設定）

お買い上げ時
OFF

FOMA端末を平型AV出力ケーブルでテレビに接続したとき、テレビに画像を表示させるかさせないかを設定します。また、テレビに表示する範囲を選択します。

1 (メニュー)▶(各種設定)▶**外部オプション**▶**AV出力**

ON ･････････････画像を表示させます。
OFF ････････････画像を表示させません。
●「OFF」に設定した場合はこれで操作終了です。

2 **上下方向・左右方向**

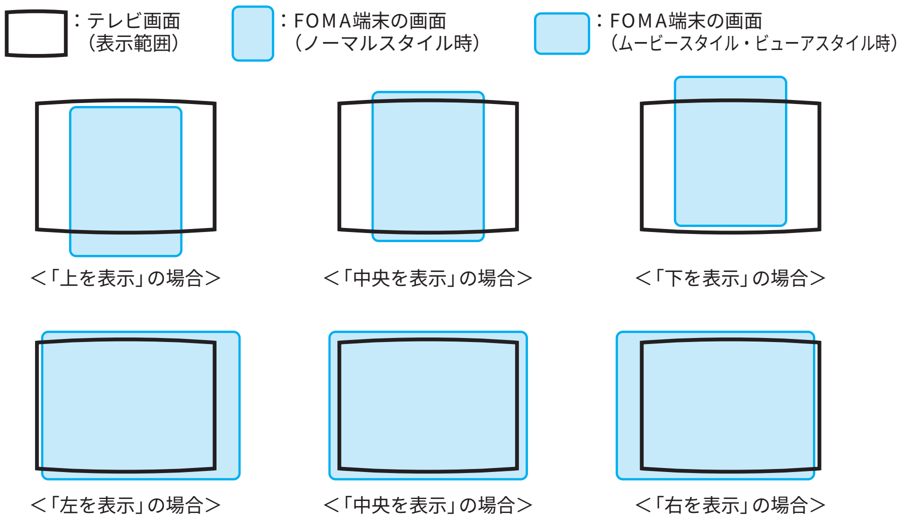
テレビに表示する範囲を選択します。

上下方向
上を表示 ･･････････････上部分を表示します。
中央を表示 ････････････中央部分を表示します。
下を表示 ･･････････････下部分を表示します。

左右方向
左を表示 ･･････････････左部分を表示します。
中央を表示 ････････････中央部分を表示します。
右を表示 ･･････････････右部分を表示します。

3 (✉)（完了）**を押す**

■テレビに表示される範囲例（イメージ図）



お知らせ

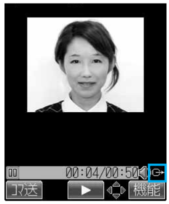
●テレビに表示される範囲を設定していても、静止画をAV出力した場合は、中央に表示されます。また、ノーマルスタイルで動画／ｉモーションをAV出力した場合は、「左右方向」は中央に表示されます。
●本機能の設定は、「カメラ」フォルダ、「SDカード」または「編集」フォルダ内のファイルに有効です。
●他の機能が起動中は、設定を変更できません。

FOMA端末の画像をテレビに表示する

P.13

静止画、動画／ｉモーション再生中やテレビ電話中に、画像をテレビに表示させることができます。FOMA端末に、平型AV出力ケーブルが接続されている場合にのみ、設定することができます。

1 静止画再生中・動画一時停止中・動画停止中・動画再生終了時・テレビ電話中▶ i（機能）▶AV出力



ON ･････････････画像を表示させます。

OFF ････････････画像を表示させません。

- スライドショー停止中に i（機能）を押してAV出力することもできます。
  スライドショー停止中にAV出力した場合は、画像の回転はできません。
- AV出力中は「 」が表示されます。静止画をAV出力した場合は「AV出力中」の画面が表示されます。

ビューアスタイル

1 静止画再生中・動画一時停止中・動画停止中・動画再生終了時▶ （機能／メニュー）

2 で「AV出力」を選択▶



ON ･････画像を表示させます。

OFF･････画像を表示させません。

- スライドショー停止中に （機能／メニュー）を押してAV出力することもできます。
- AV出力中は「 」が表示されます。静止画をAV出力した場合は「AV出力中」の画面が表示されます。

■表示中の静止画を回転させるには

テレビに表示している静止画を、回転させることができます。

（回転）を押すたびに、時計回りに90 °ずつ回転します。

お知らせ

- ムービースタイルやビューアスタイルではこの機能を利用できません。

AV出力

お知らせ

●静止画をAV出力中は、以下の機能メニューが操作できません。

- ・イメージ編集
- ・イメージ貼付
- ・イメージ情報
- ・ｉモードメール作成
- ・赤外線送信
- ・画像表示設定
- ・デスクトップ貼付
- ・インポート
- ・エクスポート
- ・電話帳イメージ登録
- ・貼付表示位置
- ・切り出し範囲
- ・DPOF設定
- ・1件削除

動画をAV出力中は、以下の機能メニューが操作できません。

- ・しおり登録
- ・ｉモーション編集
- ・ｉモーションメール作成
- ・着モーション設定
- ・待受画面設定
- ・情報表示
- ・赤外線送信
- ・インポート
- ・エクスポート
- ・デスクトップ貼付
- ・電話帳ｉモーション登録
- ・電話帳登録
- ・フリップ閉再生
- ・液晶AI
- ・1件削除

●機能メニューからのAV出力で画像を表示しても、各種設定の設定値は変更されません。

●AV出力中に平型AV出力ケーブルが抜かれた場合は、設定がOFFになります。

●AV出力中に他の機能が起動した場合は、出力が中止されます。

●「フリップ閉再生」を「ON」に設定していると、FOMA端末を閉じたまま動画を再生できます。

●テレビ電話をAV出力しているときは、「 （ハンズフリーマーク）」が表示されませんが、音声は接続している機器より出力されます。

●「液晶AI」をONに設定中にAV出力した場合、「液晶AI」がOFFになります。その際に一瞬画面がちらつくことがあります。

AV出力

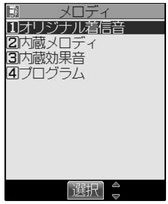
P.13

メロディを再生する

ダウンロードしたオリジナル着信音やFOMA端末に内蔵されているメロディ、効果音を演奏します。
お好きな曲を10曲まで選択してプログラム演奏をすることもできます。

1 メニュー ▶ マルチメディア ▶ メロディ

オリジナル着信音 ……「オリジナル着信音」に登録されているメロディを演奏します。
内蔵メロディ ……………お買い上げ時に登録されているメロディ（8曲）を演奏します。
内蔵効果音 ………………お買い上げ時に登録されている効果音を演奏します。
プログラム ………………メロディを10曲まで連続して演奏します。



<メロディプレーヤー画面>

●オリジナル着信音一覧画面の機能メニューから「メロディ再生」を選択し、◉を押してもメロディを再生することができます。

2 メロディを選択 ▶ ◉

演奏を止めるには ◉ を押します。



<メロディ演奏画面>

■音量を調節するときは
演奏中に ◎（または ▲ ）を押すと音量が上がり、◎（または ▼ ）を押すと音量が下がります。
音量を調節したら、◉ を押すか約2秒間待つと、メロディ演奏画面に戻ります。
※演奏中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」（基本編P.83参照）で設定されている音量に戻ります。

お知らせ

●「着信音量」の「電話／TV電話」（基本編P.83参照）で設定されている音量で演奏します。「着信音量」の「電話／TV電話」が「消去」または「ステップ」に設定されているときは、「レベル2」で演奏します。
●マナーモード中に再生しようとすると、「マナーモード中です 再生しますか？」と表示されます。「YES」または「NO」を選択して ◉ を押します。
●演奏中に ◎ を押すと、前の曲または次の曲を演奏することができます。
●演奏を終了するときは クリア を押します。
●演奏を止めるときは 0 ～ 9 、＊ 、＃ 、☎ 、📷 、✉ 、◉ のいずれかのボタンを押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メロディ演奏画面を表示中に (i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

着信音設定	P.391

操作により実行できない場合があります。

プログラム演奏

好きなメロディや効果音を10曲まで選択して、好きな順にプログラムして演奏します。プログラムを編集するにはP.390参照。

1 (メニュー) ▶ (マルチメディア) ▶ **メロディ ▶ プログラム**

プログラム編集で選択したメロディが繰り返し演奏されます。
演奏を止めるには ◉ を押します。



お知らせ

●マナーモード中に再生しようとすると、「マナーモード中です 再生しますか？」と表示されます。「YES」または「NO」を選択して ◉ を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メロディプレーヤー画面で「プログラム」を選択した状態で (i)（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

プログラム編集	P.390
プログラム解除	P.390

操作により実行できない項目があります。

プログラム編集

プログラム演奏するメロディの曲順を編集します。

1 **メロディプレーヤー画面▶「プログラム」を選択▶ Ⓘ（機能）▶プログラム編集**

2 **プログラム順<1曲目>～<10曲目>を選択▶ ◉**

メロディ一覧 ··········すべてのメロディが一覧表示されます。
オリジナル着信音 ······「オリジナル着信音」に登録されているメロディが一覧表示されます。
内蔵メロディ ··········お買い上げ時に登録されているメロディ（8曲）が一覧表示されます。
内蔵効果音 ············お買い上げ時に登録されている効果音が一覧表示されます。

3 **メロディを選択▶ ◉**

● ✉（デモ）を押すと、メロディを試聴できます。

4 **手順2～3を繰り返す**

プログラム編集が完了したら、✉（完了）を押します。

お知らせ

●メロディが1～10曲すべてに登録されていない場合、登録されたメロディのみ順番に演奏します。
●プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更すると、プログラムは全解除されます。

■プログラムを1曲解除するには
1.手順2でメロディを選択し、◉ を押します。
2.「メロディ解除」を選択し、◉ を押します。

メロディプレーヤー

プログラム解除

P.13

編集したプログラムをすべて解除します。

1 **メロディプレーヤー画面▶「プログラム」を選択▶ Ⓘ（機能）▶プログラム解除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

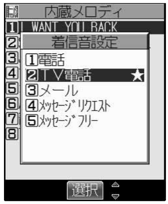
メロディを利用する

着信音設定

P.13

オリジナル着信音一覧画面の機能メニューから電話の着信音、メールの着信音、メッセージリクエストの着信音、メッセージフリーの着信音の設定ができます。

1 **オリジナル着信音一覧画面・内蔵メロディ一覧画面・内蔵効果音一覧画面・メロディ演奏画面▶ⓘ（機能）▶着信音設定**



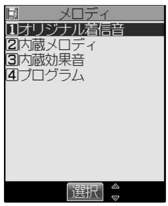
電話 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥音声電話がかかってきたときの着信音に設定します。
TV電話 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥テレビ電話がかかってきたときの着信音に設定します。
メール ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音に設定します。
メッセージリクエスト ‥‥メッセージリクエストを受信したときの着信音に設定します。
メッセージフリー ‥‥‥‥‥‥メッセージフリーを受信したときの着信音に設定します。
●すでに設定されている項目には「★」マークが付きます。

メロディの一覧を表示する

P.13

オリジナル着信音に登録されているメロディやお買い上げ時に登録されているメロディや効果音を一覧表示します。

1 **メニュー▶マルチメディア▶メロディ**



オリジナル着信音 ‥‥‥‥‥「オリジナル着信音」に登録されているメロディを一覧表示します。
内蔵メロディ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥お買い上げ時に登録されているメロディ（8曲）を一覧表示します。
内蔵効果音 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥お買い上げ時に登録されている効果音を一覧表示します。
プログラム ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥メロディを10曲まで連続して演奏します。

■オリジナル着信音一覧表示中のアイコンについて

アイコン	説　明	配布
(アイコン)	著作権がないメロディ	可※
(アイコン)	著作権があるメロディ	不可
(アイコン)	ダウンロードもしくはメールに添付されたメロディ	―
(アイコン)	赤外線通信やデータリンクソフトなどで転送されたメロディ	―

※FOMA端末向けに作られたメロディファイルのみｉモードメール添付、赤外線送信可能です。

次ページにつづく

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

オリジナル着信音一覧画面を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

タイトル編集	本ページ参照
ファイル名編集	P.393
メロディ再生	P.388
着信音設定	P.391
デスクトップ貼付	P.393
ｉモードメール作成	P.393
赤外線送信	P.402
メロディ情報	P.394
保存容量確認	P.394
タイトル初期化	P.394
1曲削除	P.395
全曲削除	P.395

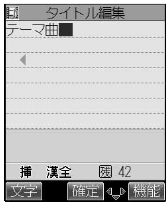
操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

タイトルは全角25文字まで、半角50文字まで入力できます。

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶タイトル編集▶タイトルを編集▶◉**

●文字の入力方法については基本編P.314参照。



ファイル名編集

ファイル名は半角英数字で36文字（拡張子を除く）まで入力できます。

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶ファイル名編集▶ファイル名を編集▶◎**

●文字の入力方法については基本編P.314参照。



お知らせ

●ダウンロードしたり、ｉモードメールに添付されていたり、メール転送されたオリジナル着信音で、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているオリジナル着信音（タイトルの前に「🎵」が付いているオリジナル着信音）はファイル名を変更することができません。

●ファイル名を編集するときは、記号や半角の「.」「@」「/」「(」「)」「,」「 - 」「_」「:」「'」「~」「&」「?」「!」「\」「.ne.jp」「.co.jp」「.ac.jp」「www.」「.com」「.html」「http://」「https://」「@docomo.ne.jp」は入力できません。

●ファイル名を編集する場合は、拡張子以外の部分が編集可能になります。拡張子は、ファイル形式に適した拡張子が自動的に追加されます。

デスクトップ貼付

P.13

オリジナル着信音をデスクトップに貼り付けアイコンとして貼り付けます。

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●貼り付けアイコンを削除するには基本編P.205参照。

ｉモードメール作成

オリジナル着信音をｉモードメールに添付することができます。オリジナル着信音が添付された新規メールを作成します。

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶ｉモードメール作成**

以降、P.150の操作を行ってメールを作成します。



お知らせ

●添付できないオリジナル着信音を選択したときは、「ｉモードメール作成」を実行することはできません。

メロディ情報

オリジナル着信音のメロディ情報を確認することができます。
メロディ情報では、メロディのタイトル、ファイル制限情報、着信イルミネーションやバイブレータと連動しているかいないか、着信音やアラーム音に指定されているかいないか、ファイルサイズ、ファイル名などの情報が確認できます。

1 オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ(機能)▶メロディ情報

●メロディ情報で参照できる項目は次のとおりです。

タイトル・・・・・・・・・・・・・・・・メロディデータのタイトルを表示します。
ファイル名・・・・・・・・・・・・・・メロディデータファイルのファイル名を表示します。
フォーマット・・・・・・・・・・・・ファイルの形式を表示します。
ファイルサイズ・・・・・・・・・・ファイルのサイズを表示します。
保存元・・・・・・・・・・・・・・・・・・ファイルの保存元を表示します。
保存日時・・・・・・・・・・・・・・・・ファイルの保存日時を表示します。日付時刻設定がされていない場合、「----/--/-- --:--」と表示されます。
ファイル制限・・・・・・・・・・・・ファイル制限がかけられているかどうかを、あり／なしで表示します。
バイブレータ連動・・・・・・・・バイブレータと連動しているかどうかを表示します。
着信イルミネーション連動・・着信イルミネーションと連動しているかどうかを表示します。
着信音設定・・・・・・・・・・・・・・着信音やアラーム音に設定されているかどうかを表示します。

お知らせ

●メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、メール添付や赤外線による転送ができないことがあります。

保存容量確認

空き容量、保存容量が表示されます。

1 オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ(機能)▶保存容量確認

お知らせ

●表示される容量は目安です。

タイトル初期化

ダウンロードしたメロディやｉモードメールに添付されていたメロディのタイトルを初期化します。タイトルを初期化すると、変更していたタイトルが元のタイトルに戻ります。

1 オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ(機能)▶タイトル初期化▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

メロディを削除する

1曲削除

P.13

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶1曲削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

全曲削除

1 **オリジナル着信音一覧画面▶ⓘ（機能）▶全曲削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●オリジナル着信音を登録すると、以下の機能の着信音やアラーム音の選択画面でオリジナル着信音のタイトルが表示されます。オリジナル着信音が登録されていないときは、選択画面に表示されません。

・着信音選択 ……………………………基本編P.179参照
・電話帳便利機能の着信音、メール着信音 ……基本編P.162参照
・グループ便利機能の着信音、メール着信音 …基本編P.183参照
・スケジュールのアラーム音 ………………基本編P.228参照
・アラーム ………………………………基本編P.223参照

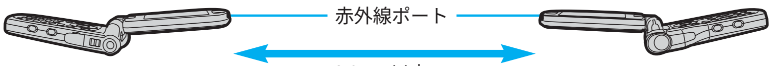
これらの機能に設定しているオリジナル着信音、またはプログラムに設定しているオリジナル着信音を削除しようとすると、警告メッセージが表示されます。
「YES」を選択し、◎を押すとオリジナル着信音が削除されます。

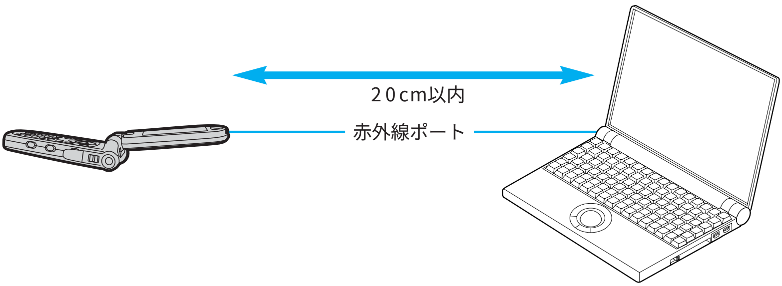
FOMA端末データ交換編

赤外線通信について

FOMAはIrMCバージョン1.1に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間で、電話帳やスケジュールなどを送受信できます。
ただし、相手機器がIrMCバージョン1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。
※FOMA P2101Vとは赤外線通信できません。
また、オリジナル着信音・静止画ファイル・動画ファイルは、FOMA P900iVからFOMA P2102Vには送信できません。（FOMA P2102VからFOMA P900iVには送信できます。）

- **赤外線の通信距離は、20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。**
- **FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。**
- **直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。**
- **受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。**





■赤外線通信時のご注意

・通話中やｉモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中、ショートメッセージ（SMS）送受信中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中は、赤外線通信をご利用になれません。
・マルチタスクにより他の機能が起動中のときは、赤外線通信できない場合があります。また、赤外線通信中に他の機能を起動することもできません。
・赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
・ダイヤル発信制限を設定中は、電話帳を赤外線で送受信することはできません。禁止設定を解除してから操作してください。
・指定発信制限を設定中は、電話帳を受信することはできません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、電話番号表示のデータを送信することができます。

赤外線を使って転送できるデータの一覧

転送条件 転送可能データ	1件	全件
電話帳（電話番号表示）	○	700件まで※1
スケジュール	○	100件まで
ToDo	○	100件まで
受信メール	○	1000件まで
送信メール	○	400件まで
保存メール	○	10件まで
フリーメモ	○	10件まで
オリジナル着信音※2	○	×
静止画ファイル※3	○	×
動画ファイル※4	○	×
ブックマーク※5	○	100件まで

※1 電話帳の全件送受信件数は、電話番号とメールアドレスがそれぞれ700件に到達するまでです。
※2 ファイルによっては送受信できません。（P.391参照）
※3 自作アニメは送受信できません。
また、VGAサイズを超えるJPEGファイルを送受信する場合、VGAサイズに縮小されることがあります。
※4 SDV、ASFファイルは送受信できません。
※5 ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

お知らせ

- 赤外線通信で受信した静止画・動画は、「カメラ」フォルダ内に保存されます。
- 認証に失敗したとき、データが容量を超えるときなどはその旨の警告画面が表示され、送信（受信）できないことがあります。
- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため電話がかかってきても着信せず、かけてきた相手には「電波が届かないか電源が入っていない」旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを「開始」に設定していると、留守番電話サービスセンター・転送先に転送されます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。

赤外線通信を行うと

赤外線通信中は、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。



認証パスワードについて

認証パスワードとは、赤外線通信で全件送信・全件受信を行う際、送信側と受信側を正確に認識するためのものです。送信、受信を始める前に任意の4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ番号を入力します。

データを受信する

データを1件受信する

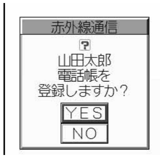
1 (メニュー)▶(アクセサリ)▶**赤外線通信**▶**1件受信**

●通信をキャンセルする場合は ◉ を押します。



2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。



お知らせ

●外部からの赤外線データ受信対応のｉアプリソフトをすでにダウンロード済みで、ソフトを起動する指示を受信した場合は、指定されたソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリTo」にチェックを入れていない場合は、自動起動しません。

●電話帳に登録される電話番号は、メモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。

●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録した電話帳を受信した場合、通常の電話帳として登録されます。

●受信した「電話番号表示」のデータは電話帳として登録されます。

●受信メールは「受信フォルダ一覧」の受信BOXフォルダに登録されます。受信メールの最大保存件数（P.24参照）を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール ②古い受信メールの順に上書きされます。

●送信メールは、送信BOXフォルダの保護されていないもっとも古い送信メールに上書きされます。

●静止画は695Kバイト、動画は800Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。

データを全件受信する

全件受信するには、送信側と同じ認証パスワードの入力が必要です。全件受信をすると、受信したデータにより上書きされ、保護を設定したデータを含め登録していたデータはすべて削除されますのでご注意ください。「シークレットモード」（基本編P.216参照）で登録されていたデータも削除されます。

1 (メニュー)▶(アクセサリ)▶**赤外線通信**▶**全件転送**▶**端末暗証番号を入力**▶◉▶**受信**

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

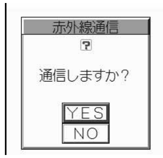
2 送信側で入力する認証パスワードと同じ番号を入力

●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。



3 YES

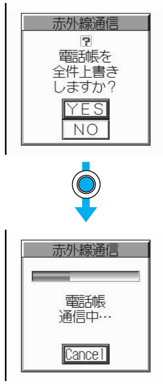
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。



4 YES

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

●通信をキャンセルする場合は◉を押します。



全件転送を行うと

●「電話番号表示」のデータは電話帳と一緒に送信されます。
●受信側の「電話番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
●保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

全件転送をする前に必ずお読みください

●全件受信を行うと、登録されていたデータは保護メールも含めすべて削除され、受信したデータが上書きされます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
●電話帳を全件受信すると、「電話番号表示」に登録されている個人データ（電話番号を除く）も上書きされます。
● 「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
●電話帳のデータは「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」が設定されているときは全件転送できません。
●受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
●全件転送の場合、通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなったり、通信の相手側と異なって見えることがあります。

データを送信する

FOMA端末から以下のデータを赤外線で1件または全件送信することができます。

送信方法	送信できるデータ
1件送信	電話帳、電話番号表示、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、オリジナル着信音、静止画ファイル、ブックマーク、動画ファイル
全件送信	電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク

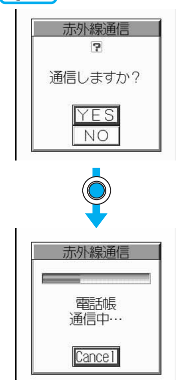
●貼付不可の静止画や動画、メロディ、FOMAカード内の電話帳は送信することができません。
●VGAサイズを超えるGIFデータは送信することができません。
●ｉアプリ To のあるメールを送信した場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。受信側で起動することはできません。
●電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードは送信されません。
●電話帳データに登録されている動画／ｉモーションは送信されません。

データを1件送信する

1 **送信したいデータの画面▶ⓘ（機能）▶赤外線送信▶受信側の「通信中」を確認▶YES**

送信を開始します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

●通信をキャンセルする場合は クリア または ◉ を押します。



お知らせ

●メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては送信されないことがあります。
●送信が中断され、続けるかどうかの確認画面が表示されたときは、「YES」を選択して◉を押すと、もう一度通信をやり直すことができます。
●シークレットモード時（基本編P.216参照）はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時（基本編P.216参照）は表示できるデータのみ送信できます。

データを全件送信する

メニュー 7 9

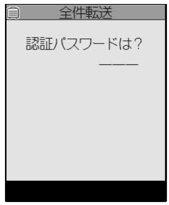
全件送信するには、認証パスワードが必要で任意の4桁の番号を入力します。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。
受信側を「通信中」にしてから下記手順で30秒以内に送信を開始します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ 赤外線通信 ▶ 全件転送 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ● ▶ 送信

電話帳 ················電話帳を全件送信します。
スケジュール ··········スケジュールを全件送信します。
ToDo ················ToDoを全件送信します。
フリーメモ ············フリーメモを全件送信します。
受信メール ············受信メールを全件送信します。
送信メール ············送信メールを全件送信します。
保存メール ············保存メールを全件送信します。
Bookmark ············Bookmarkを全件送信します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

2 受信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力

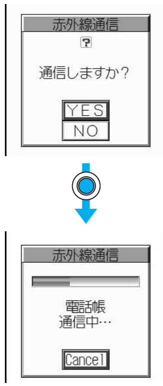
●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。



3 受信側の「通信中」を確認 ▶ YES

送信を開始します。
●中止する場合は「NO」を選択し、● を押します。

●通信をキャンセルする場合は ● または クリア を押します。



お知らせ

●ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
●メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては送信されないことがあります。
●送信が中断され、続けるかどうかの確認画面が表示されたときは、「YES」を選択して ● を押すと、もう一度通信をやり直すことができます。
●シークレットモード時(基本編P.216参照)に関係なく、選択した全てのデータが送信されます。

通信の設定を行う

お買い上げ時
する

P.13

赤外線、SD-PIMやデータリンクソフトで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **電話帳画像転送**

する・・・・・・・電話帳に登録されている静止画も転送します。
しない・・・・・電話帳に登録されている静止画は転送しません。

お知らせ

●電話帳データに登録されている動画／ｉモーションは転送されません。

miniSDメモリーカード使用時のご注意

■miniSDメモリーカードとは

小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止機能を備え、SDMI（デジタル音楽著作権保護協会）の規格に対応可能な著作権保護機能を持っています。1秒間に10Mバイトの書き換えができ、次世代メモリーカードの世界基準として、大きな期待が寄せられています。

●FOMA P900iVは、128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2004年5月現在）最新の対応情報については下記をご覧ください。
　iモード･･･････iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE→製品ガイド
　パソコンなど････http://panasonic.jp/mobile/sd/index.html
●miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。
●パソコンなど他機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードは使用できないことがあります。必ずFOMA P900iVでフォーマットしたminiSDメモリーカードをご使用ください。
●miniSDメモリーカードは、事故や故障によって消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします。
●miniSDメモリーカードのご利用により生じる直接的・間接的損害または付随的保証について、当社はその責任を負えない場合があります。あらかじめご了承ください。
　・通話や通信などにより、利用の機会を逃したために発生した被害
　・お客様がFOMA端末またはminiSDメモリーカードに記録したデータが消失したために発生した被害
●miniSDメモリーカードにラベルがついている場合は、ラベルをはがさないでください。miniSDメモリーカードに損傷を与えたりデータが破壊されることがあります。
●カード処理を行っているときは、着信／充電ランプが点灯・点滅します。着信／充電ランプ点灯中・点滅中はminiSDメモリーカードを絶対に抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。着信／充電ランプが消灯していることを確認してからFOMA端末の電源を切って、miniSDメモリーカードを抜いてください。
●動画録画など長時間データを記録するときは、電池の消耗による録画失敗を防ぐため、ACアダプタによる電源供給をおすすめします。
●miniSDメモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
●パソコンなど他機器で使用しているminiSDメモリーカードをFOMA P900iVで使用すると、FOMA P900iVで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。
●miniSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P900iVでminiSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
●FOMA P900iV未対応のデータをパソコンでminiSDメモリーカードに記録しても、FOMA P900iVでは認識できません。
●FOMA P900iVではminiSDメモリーカードにプロテクト設定はできません。データの取扱いにはくれぐれもご注意ください。
●付属のminiSDメモリーカード（16MB）およびminiSDメモリーカードアダプタは、試供品のため無料修理保証の対象外となります。

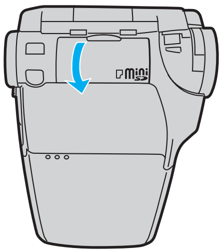
miniSDメモリーカードのフォーマットを行うとすべてのデータが消去されるのでご注意ください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

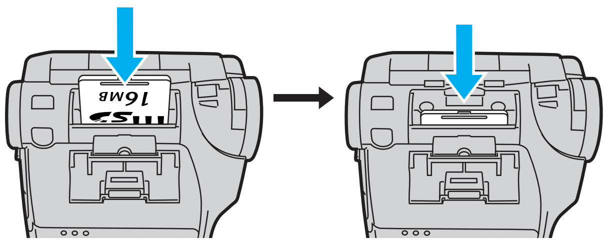
miniSDメモリーカード内のデータ保護のため、必ず電源を切った状態で付け外しをしてください。

取り付けかた

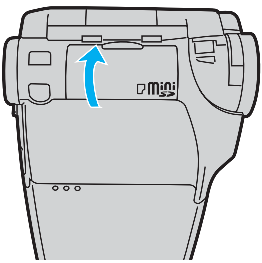
❶miniSDメモリーカード差込口のカバーを開ける。



❷miniSDメモリーカードのおもて面を上に向けてカチッと音がするまで差し込む。

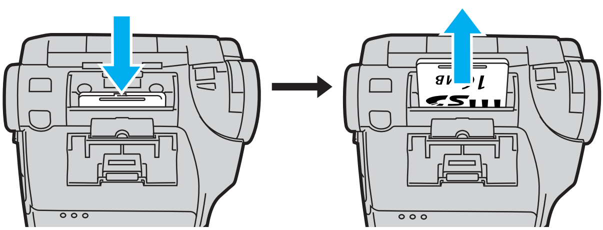


❸miniSDメモリーカード差込口のカバーを閉める。



取り外しかた

❶miniSDメモリーカード差込口のカバーを開ける。（「取り付けかた」❶参照）
❷miniSDメモリーカードをいったん奥まで押し込み、miniSDメモリーカードを抜き取る。
（奥まで押し込むとカードが出ます。）



❸miniSDメモリーカード差込口のカバーを閉める。（「取り付けかた」❸参照）

■**画面表示について**

miniSDメモリーカードを取り付けると以下のマークが表示されます。



：miniSDメモリーカードに保存したり、保存したデータを読み出すことができます。

：miniSDメモリーカードがプロテクト設定されている状態です。データを保存することはできません。

：miniSDメモリーカードを使用できません。
「SDフォーマット」または「SDチェックディスク」を行ってください。

- 「SDフォーマット」や「SDチェックディスク」を行っても「 」が表示される場合は、miniSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けてください。

お知らせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で付けたり外したりしないでください。miniSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- miniSDメモリーカードを装着したり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- miniSDメモリーカードを外したあとは、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。他の保護ケースで保管すると、miniSDメモリーカードが使用できなくなることがあります。
- miniSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります。）
- miniSDメモリーカード取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

<SD-PIM>

miniSDメモリーカードを使う

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードに保存し、大切なデータのバックアップをとることができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを表示したり、保存したデータをFOMA端末に取り込むこともできます。

- **miniSDメモリーカードに保存できる件数についてはP.418参照**
- **miniSDメモリーカードに静止画・動画／iモーションを保存するにはP.325参照**
- **miniSDメモリーカードから静止画・動画／iモーションを取り込むにはP.326参照**

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

P.13

miniSDメモリーカードに保存した電話帳などのデータを表示します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **SD-PIM**



<分類一覧表示画面>

2 **表示したい分類を選択する**

電話帳 ……………… miniSDメモリーカード内の電話帳を表示します。
スケジュール ……… miniSDメモリーカード内のスケジュール、ToDoを表示します。
受信メール ………… miniSDメモリーカード内の受信メールを表示します。
送信メール ………… miniSDメモリーカード内の送信メールを表示します。
保存メール ………… miniSDメモリーカード内の保存メールを表示します。
フリーメモ ………… miniSDメモリーカード内のフリーメモを表示します。
Bookmark ………… miniSDメモリーカード内のブックマークを表示します。



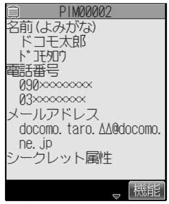
<miniSDファイル画面>
電話帳の場合

3 **表示したいminiSDメモリーカード内のファイルを選択** ▶ ◉



<データ一覧画面>
電話帳の場合

4 表示したいデータを選択▶◉



<データ詳細画面>
電話帳の場合

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータを表示中は、マルチタスクで他の機能を起動したり、他の機能に切り替えることはできません。
- PIMロック設定中は、miniSDメモリーカード内のデータを表示することはできません。また、各機能からのエクスポートもできません。
- デコメールを表示したときは、miniSDメモリーカードに保存する前のメールイメージを、正しく表示できません。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

分類一覧表示画面・miniSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面を表示中に
ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
タイトル編集	P.412
追加インポート	P.411
上書インポート	P.411
追加1件インポート	P.411
追加全件インポート	P.411
上書全件インポート	P.411
本体からエクスポート	P.410
1件削除	P.412
全削除	P.412
SD情報表示	P.415
SDフォーマット	P.413
SDチェックディスク	P.414

操作により実行できない項目があります。

エクスポート

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードにコピーします。
エクスポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

●ｉアプリ To のあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
●シークレットで登録されているデータは通常のデータとしてコピーされます。
●電話帳データに登録されている動画／ｉモーションはエクスポートされません。

1件エクスポート

P.13

FOMA端末内の1件のデータをminiSDメモリーカードにコピーします。
コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの画面▶ⓘ（機能）▶SDカードへエクスポート▶YES

全件エクスポート

FOMA端末内のデータを分類ごとにminiSDメモリーカードにコピーします。
コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・miniSDファイル画面▶ⓘ（機能）▶本体からエクスポート

■「スケジュール」「ToDo」を全件エクスポートするとき
1. 分類一覧表示画面・miniSDファイル画面▶スケジュール選択
2. ⓘ（機能）▶本体からエクスポート
   スケジュール･･･スケジュールを全件miniSDメモリーカードに保存します。
   ToDo･････････ToDoを全件miniSDメモリーカードに保存します。
   全て･･･････････スケジュール、ToDoを全件miniSDメモリーカードに保存します。

2 端末暗証番号を入力▶◎▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●電話帳データを全件エクスポートした場合、「電話番号表示」の内容もコピーされます。
●メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。

インポート

miniSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをFOMA端末に取り込みます。
インポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。

追加1件インポート

P.13

データ一覧画面で選択しているデータをFOMA端末に取り込みます。
また、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末に取り込みます。

1 データ一覧画面・データ詳細画面▶ i (機能)▶追加1件インポート▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

追加インポート・追加全件インポート

miniSDファイル画面で選択しているファイル内のデータを全件FOMA端末に取り込みます。
また、データ一覧画面で表示しているデータを全件FOMA端末に取り込みます。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 miniSDファイル画面・データ一覧画面▶ i (機能)▶追加インポート・追加全件インポート▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●取り込み中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でインポートが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。
●全件追加インポートをした場合、以下のデータはインポートされません。
・日付時刻の設定が同じスケジュール
・FOMA端末内のスケジュールと日付時刻の設定が同じスケジュール
・同じURLのブックマーク
・FOMA端末内のブックマークと同じURLのブックマーク

上書インポート・上書全件インポート

miniSDファイル画面で選択しているファイル内のデータを全件FOMA端末に取り込みます。
また、データ一覧画面で表示しているデータを全件FOMA端末に取り込みます。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

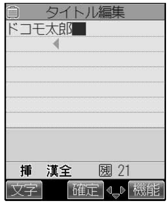
1 miniSDファイル画面・データ一覧画面▶ i (機能)▶上書インポート・上書全件インポート▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●電話帳を全件インポートした場合は、先頭のデータを「電話番号表示」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

タイトル編集

miniSDメモリーカード内のタイトルを編集します。

1 **miniSDファイル画面▶ⓘ（機能）▶タイトル編集▶タイトルを入力▶◎**



●全角15文字まで、半角31文字まで入力できます。
●文字の入力方法については基本編P.314参照。

1件削除

P.13

miniSDメモリーカード内の保存ファイルを1件削除します。

1 **miniSDファイル画面▶ⓘ（機能）▶1件削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

全削除

miniSDメモリーカード内の現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。

1 **miniSDファイル画面▶ⓘ（機能）▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●miniSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
●パソコンなど他機器でプロテクト設定されたminiSDメモリーカードには書き込みができません。

<SDフォーマット>

miniSDメモリーカードをフォーマットする

miniSDメモリーカードを初めて利用するときには、フォーマット（初期化）する必要があります。フォーマットは必ずFOMA P900iVで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードは正常に使用できない場合があります。

※フォーマットを行うと、miniSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1

（メニュー）▶アクセサリ▶SD-PIM▶（i）（機能）▶SDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶（●）▶YES

または

（メニュー）▶アクセサリ▶カメラ▶（i）（機能）▶SDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶（●）▶YES

または

（メニュー）▶マルチメディア▶（i）（機能）▶SDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶（●）▶YES

●フォーマットしない場合は「NO」を選択し、（●）を押します。

●端末暗証番号については基本編P.208参照。

お知らせ

●フォーマット中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。

●フォーマットを中止したminiSDメモリーカードに保存されたデータの保証はいたしかねます。

●プロテクト設定されたminiSDメモリーカードや未対応のメモリーカードはフォーマットできません。

●SDフォーマット中は着信／充電ランプが緑色で点滅します。

●SDフォーマット中に（●）（中止）や（HLD）を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。

●フォーマット中に、マルチタスクを使って他の機能を起動したり、他の機能に切り替えることはできません。

<SDチェックディスク>

miniSDメモリーカードをチェックする

miniSDメモリーカード内のシステム領域やディレクトリ等のチェックを行い、修復します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **SD-PIM** ▶ i (機能) ▶ **SDチェックディスク** ▶ **YES**

または

メニュー ▶ アクセサリ ▶ **カメラ** ▶ i (機能) ▶ **SDチェックディスク** ▶ **YES**

または

メニュー ▶ マルチメディア ▶ i (機能) ▶ **SDチェックディスク** ▶ **YES**

●チェックディスクしない場合は「NO」を選択し、● を押します。

お知らせ

●チェックディスク中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
●プロテクト設定されていたりフォーマットされていないminiSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
●miniSDメモリーカードのチェックディスクを行った場合、miniSDメモリーカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
●SDチェックディスク中は着信／充電ランプが緑色で点滅します。
●SDチェックディスク中に ● (中止) や HLD を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
●SDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
●miniSDメモリーカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。
●miniSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。
●チェックディスク中に、マルチタスクを使って他の機能を起動したり、他の機能に切り替えることはできません。

miniSDメモリーカードの容量を表示する

P.13

miniSDメモリーカードの使用容量と空き容量を表示します。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ **SD-PIM** ▶ i (機能) ▶ **SD情報表示**

または

メニュー ▶ マルチメディア ▶ i (機能) ▶ **SD情報表示**

または

miniSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面 ▶ i (機能) ▶ **SD情報表示**

●確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

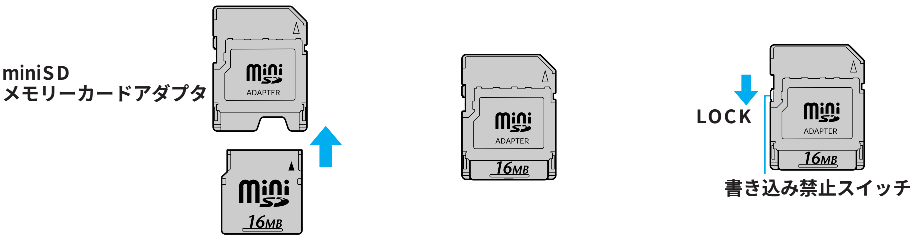
●以下の画面から i (機能) を押して表示することもできます。
SD-PIMのminiSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面

パソコンなどで使う

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタに接続すると、SDメモリーカード対応のパソコンなどで利用することができます。静止画・動画を表示・プリントアウトしたり、大切なデータのバックアップをとることができます。

SDメモリーカード対応機器で使うには

miniSDメモリーカードアダプタを使用すれば、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器でご利用になれます。



お知らせ

●miniSDメモリーカードアダプタ本体の書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にあるとライトプロテクトがかかり、miniSDメモリーカードへの書き込みやフォーマットなどができなくなります。
大切なデータを保護したい場合は書き込み禁止スイッチを「LOCK」側に、データの書き込み・フォーマットなどをしたい場合は書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。

■miniSDメモリーカード内のフォルダ構成について

FOMA端末からminiSDメモリーカードにファイルを書き込むとminiSDメモリーカード内に次のようなフォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを書き込んで利用する場合、以下のようなフォルダ構成・ファイル名にする必要があります。

- DCIM ……………………静止画用フォルダ
  - xxx_P900 ……………フォルダ
    - Pxxx####.JPG ……静止画ファイル（JPEGファイル）
- SD_VIDEO ………………動画用フォルダ
  - PRL＊＊＊ ……………フォルダ
    - MOL＊＊＊.3GP ……動画ファイル（3GPファイル）
    - MOL＊＊＊.SDV ……動画ファイル（SDVファイル）
    - MOL＊＊＊.ASF ……動画ファイル（ASFファイル）
    - MOL＊＊＊.MP4 ……動画ファイル（MP4ファイル）
- SD_PIM …………………電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク用フォルダ
  - PIM$$$$$.VCF ………電話帳ファイル（vCardファイル）
  - PIM$$$$$.VCS ………スケジュール、ToDoファイル（vCalendarファイル）
  - PIM$$$$$.VMG………メールファイル（vMessageファイル）
  - PIM$$$$$.VNT ………フリーメモファイル（vNoteファイル）
  - PIM$$$$$.VBM………ブックマークファイル（vBookmarkファイル）
- MISC ……………………DPOF用フォルダ
  - AUTPRINT.MRK ………DPOFファイル

●パソコンで編集した静止画をminiSDメモリーカードに保存するには、「xxx」を100～999の3桁の半角数字に、「####」を0001～9999の4桁の半角数字にして保存します。
（ファイル名の「xxx」はフォルダ名の「xxx」と同じ半角数字にします。）

●静止画ファイルは拡張子が「JPG」のJPEGファイルのみFOMA端末で表示することができます。

●パソコンで編集した動画をminiSDメモリーカードに保存するには、「＊＊＊」を0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字にして保存します。

●動画ファイルは拡張子が「3GP」、「SDV」、「MP4」のMP4ファイル、拡張子が「ASF」のASFファイルの動画のみFOMA端末で表示することができます。

●パソコンで編集した電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードに保存するには、「$$$$$」を00001～65535の5桁の半角数字にして保存します。

●お使いのパソコンによっては、フォルダ名・ファイル名が小文字で表示される場合があります。

※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。
［例］001,002…,009,00A,00B,00C,00D,00E,00F,010,011…,019,01A,01B,01C,01D,01E,01F,020…,1F9,1FA,1FB,1FC,1FD,1FE,1FF,200…

次ページにつづく

お知らせ

- ●パソコンで編集したファイルをminiSDメモリーカードに保存するとき、P.417に記載されている文字とは異なる文字をフォルダ名、ファイル名に使用した場合、FOMA P900iVでは表示もしくは再生されないことがあります。
- ●電源OFF、SDチェックディスク、SDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」(P.351参照)で設定してください。
- ●パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度「保存先フォルダ選択」(P.351参照)で設定してください。
- ●miniSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P900iVでminiSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
- ●FOMA P900iV未対応のデータをパソコンでminiSDメモリーカードに記録しても、FOMA P900iVでは認識できません。
- ●他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ●miniSDメモリーカード用USBリードライターおよびPCカードリードアダプタについては、miniSDメモリーカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。
- ●FOMA P900iV以外の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■miniSDメモリーカードに保存できる件数について

miniSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるminiSDメモリーカードの容量によって変わります。
1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数を次に示します。フォルダを追加して、エクスポートする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数・最大時間
DCIM	900件	P.278参照
SD_VIDEO	4,095件	P.283参照
SD_PIM	1件	65,535件（約900件※）

※付属のminiSDメモリーカード(試供品)を使用した場合の目安です。
miniSDメモリーカードの使用容量と空き容量は「SD情報表示」で確認できます。表示される容量は、ご使用のminiSDメモリーカードに記載されている容量より少なくなります。

■MPEG4とは

Moving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化(データ圧縮)方式の動画です。

■3gp形式について

「3gp」は3GPP(3rd Generation Partnership Project)により規定されたフォーマットです。

■asf形式について

Advanced Streaming Formatの略で、映像、音声や文字などの情報を持つことのできるストリーミング配信に適したフォーマットです。

記録媒体選択	保存先	ファイル形式	備　考
「本体」の場合	FOMA端末	MP4(3gp)	miniSDメモリーカードへエクスポート可
「SDカード」の場合	miniSDメモリーカード	MP4(asf)	本体へインポート可

データ通信編

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

利用できる通信形態

●データ通信におけるパソコンの動作環境は以下の通りです。

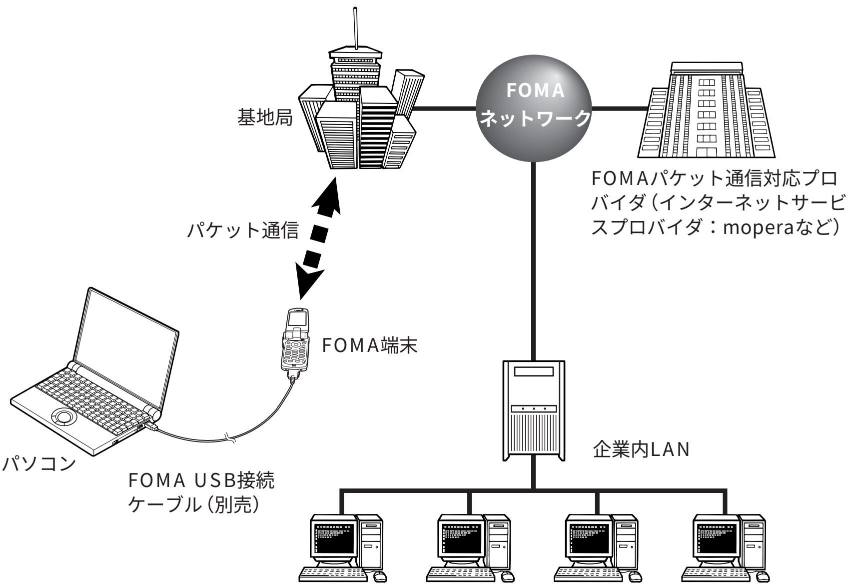
項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me：32Mバイト以上 ※ Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上 ※ Windows® XP Professional/Home Edition：128Mバイト以上 ※ （各日本語版）
ハードディスクの空き容量	5Mバイト以上 ※

※ 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationおよびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用します。
パケット通信はFOMA端末とFOMAパケット通信対応の機器（FOMA USB接続ケーブル（別売）やFOMA Mobile Card N2（別売））とパソコンとを接続し、各種設定を行うことで利用することができ、高速通信を必要とするアプリケーションの利用にも適しています。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。
P.426以降の説明にしたがって、設定と接続を行ってください。



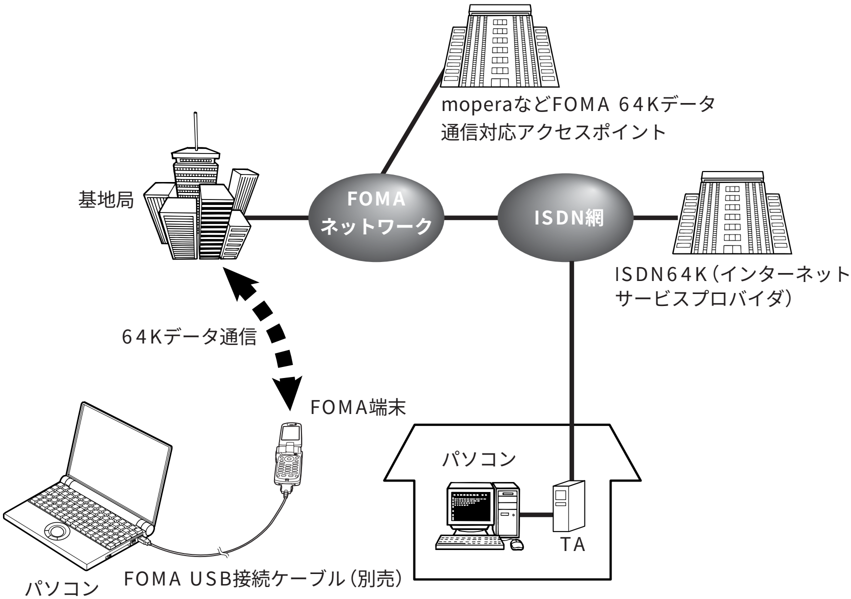
お知らせ

- ●パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- ●USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブル（別売）をお買い求めください。
（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- ●FOMA Mobile Card N2（別売）の接続と設定方法については、FOMA Mobile Card N2（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ●FOMA端末をドコモのPDA「musea」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

次ページにつづく

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA USB接続ケーブル（別売）やFOMA Mobile Card N2（別売）を使って64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応アクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。
P.426以降の説明にしたがって、設定と接続を行ってください。

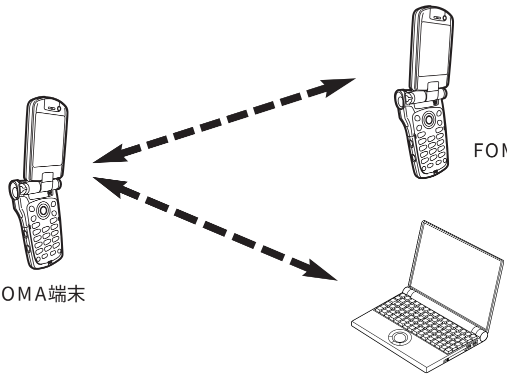


お知らせ

- ●64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- ●FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス（32Kデータ通信および、64Kデータ通信）はご利用できません。
- ●USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブル（別売）をお買い求めください。
  （パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- ●FOMA Mobile Card N2（別売）の接続と設定方法については、FOMA Mobile Card N2（別売）の取扱説明書をご覧ください。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信することができます。FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータ転送（OBEX）を行う際には、データリンクソフト（P.494参照）をインストールしてください。また、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使う場合はP900iV通信設定ファイルをインストールする必要があります。（P.430～438参照）

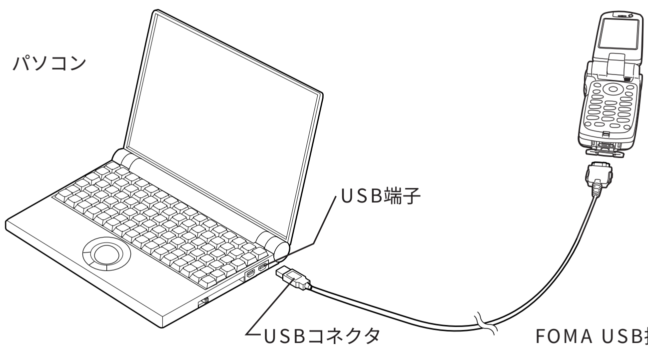


FOMA端末と他の機器との接続方法

パケット通信を行うときには、FOMA端末とパソコン以外に次の接続機器、ソフトウェアを使います。

FOMA USB接続ケーブルでの接続例

・FOMA USB接続ケーブル（別売）
・添付CD-ROM「FOMA P900iV用CD-ROM」



お知らせ

●USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブル（別売）をお買い求めください。
（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用すると、お申し込み手続き不要で、通信料のみでご利用いただけます。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
●DoPaのアクセスポイントには接続できません。
●PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用時のアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビ システムズ 株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビ システムズ 株式会社のホームページを参照してください。
※AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標または登録商標です。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA Mobile Card N2（別売）に対応したパソコンであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること
ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

■用語について

●APN

Access Point Nameの略です。パケット通信において、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。例えばmoperaの場合は「mopera.ne.jp」のような文字列で表します。

●cid

Context Identifierの略です。パケット通信をする際に、FOMA端末にあらかじめ登録するAPNの登録番号です。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

●Administrator権限

本書では、Windows® 2000 Professionalのシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。通常、Administratorsのグループに所属したユーザーはこの権限を持っています。一方、Administrator権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールができません。

●DNS

Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステムのことです。

●OBEX

OBEX（Object Exchange）は、IrDA（Infrared Data Association）が規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。

OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データの送受信ができます。

●IrDA

Infrared Data Associationの略です。赤外線を用いたデータ通信の規格の制定、促進を行う国際的な組織です。

●IrMC

Ir Mobile Communicationsの略です。IrDAが定めた規格で、電話帳、スケジュール、メール、フリーメモ等のデータ交換方法が定められています。また、機器間の通信には、OBEX規格を使用することが規定されています。

●QoS

Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質です。FOMA端末のQoS設定では、速度を限定しないで接続するかあるいは最高速度（上り64kbps、下り384kbps）でのみ接続するかを設定できます。（接続後の速度は可変します。）

詳しくはP.502、503参照。

●W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。「Wireless」、「W-CDMA」、「Windows®」の環境下でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要です。

●W-CDMA

世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つです。

FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信およびデータ転送（OBEX）を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

パケット通信・64Kデータ通信

データ転送（OBEX）：USB接続／赤外線

↓（パケット通信・64Kデータ通信、USB接続）

P900iV通信設定ファイルをインストールします
Windows® XP ……………………P.430
Windows® 2000 Professional…P.431
Windows® Me ……………………P.433
Windows® 98 ……………………P.435

↓

接続先の設定を行います	
FOMA PC設定ソフトを使う場合（P.440参照）	手動で設定する場合（P.468、P.492参照）

データ転送（OBEX）を行います	
USB接続の場合（P.494参照）	赤外線の場合（P.398参照）

↓

接続します
P.459またはP.489参照

■添付の「FOMA P900iV用CD-ROM」について
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続してパケット通信を行うときには、添付の「FOMA P900iV用CD-ROM」の「P900iV通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。
「P900iV通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール方法はP.430～438参照。
「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法はP.442参照。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。（P.430〜438参照）

●通信設定ファイルはOSごとに異なります。各OSのインストール操作どおりに、該当するディレクトリを指定してインストールしてください。

・Windows® XP、Windows® 2000 Professional：\USB Driver\Win2k_XP

・Windows® 98、Windows® Me：\USB Driver\Win98_ME

お知らせ

●何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（P.439参照）、再度インストールしてください。

●自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。一度、通信設定ファイルをアンインストールしてから、正しくインストールし直してください。

FOMA PC設定ソフトについて

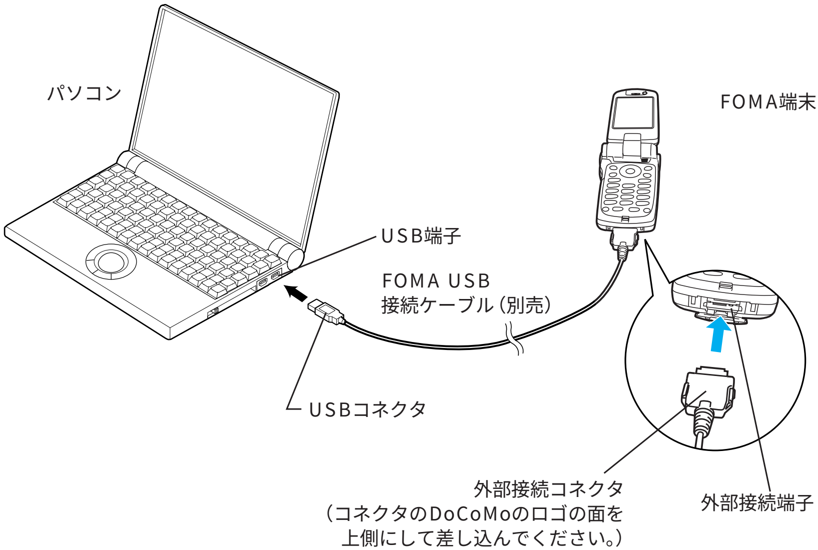
添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うのに必要なさまざまな設定を簡単な操作で行うことができます。（P.440参照）

パソコンとFOMA端末を接続する

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA USB接続ケーブル（別売）の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2 FOMA USB接続ケーブル（別売）のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

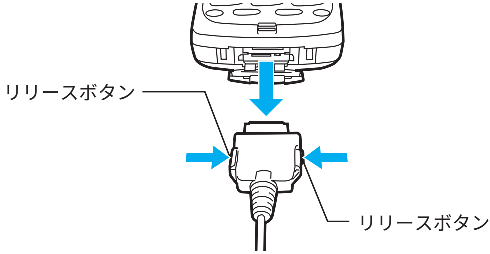


お知らせ

- ●FOMA USB接続ケーブル（別売）のコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- ●USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブル（別売）をお買い求めください。
  （パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- ●FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信の通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

●取り外し方

1.FOMA USB接続ケーブル（別売）の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。



2.パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブル（別売）を引き抜く。

お知らせ

●FOMA USB接続ケーブル（別売）は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
●FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け・取り外しは連続して行わないでください。
一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

Windows® XPにインストールする

Windows® XPでP900iV通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限で行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.428参照）

2 Windows®を起動し「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする

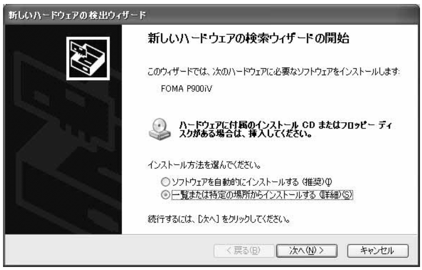
3 「ランチャ」画面を終了する

- この画面は「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合はそのまま手順4へと進みます。
- P900iV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブル（別売）をパソコンに接続する

5 インストールを始める

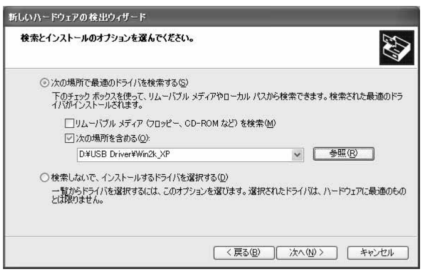
「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されたあと、右の画面が表示されます。
「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。



6 ドライバを選ぶ

「次の場所で最適のドライバを検索する」を選んだあと、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックします。
「参照」をクリックし、「＜CD-ROMドライブ名＞:\USB Driver\Win2k_XP」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

- ドライバはWindows® 2000 Professionalと共通です。



7 「完了」をクリックする



8 他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）もインストールする

手順5～7を参考にして、他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）（P.438参照）をすべてインストールします。
すべてのP900iV通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

引き続き、P900iV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。(P.437)

Windows® 2000 Professionalにインストールする

Windows® 2000 ProfessionalでP900iV通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行う場合は、必ずAdministrator権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーがインストールを行うとエラーとなります。Administratorの設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.428参照）

2 Windows®を起動し「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「ランチャ」画面を終了する

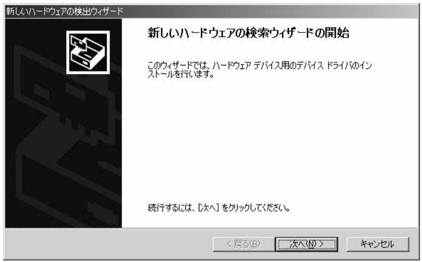
- この画面は「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合はそのまま手順4へと進みます。
- P900iV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブル（別売）をパソコンに接続する

次ページにつづく

5 インストールを始める

「次へ」をクリックします。

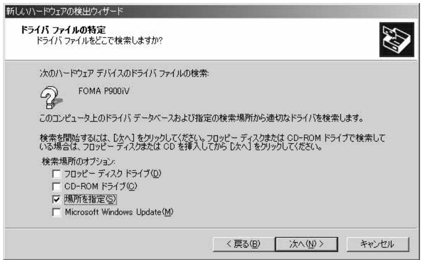


6 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

●お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

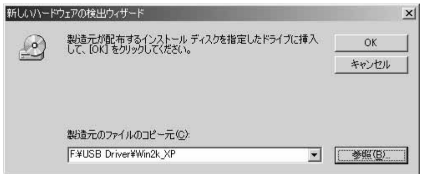


7 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックする



8 検索するフォルダを指定する

フォルダ名は、「＜CD-ROMドライブ名＞:\USB Driver\Win2k_XP」です。
検索するフォルダを指定したら、「OK」をクリックします。
（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

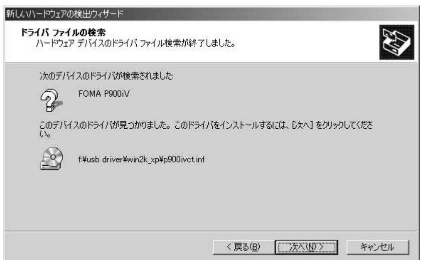


9 ドライバ名（P.438参照）を確認して、「次へ」をクリックする

（P.438参照）

ここでは「FOMA P900iV」と表示されます。

●お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。



10 「完了」をクリックする



11 他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）もインストールする

手順5～10を参考にして、他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）（P.438参照）をすべてインストールします。

引き続き、P900iV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。（P.437）

Windows® Meにインストールする

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.428参照）

2 Windows®を起動し「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「ランチャ」画面を終了する

- この画面は「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合はそのまま手順4へと進みます。
- P900iV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブル（別売）をパソコンに接続する

5 インストールを始める

「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックします。



次ページにつづく

6 ドライバを選ぶ

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」をチェックします。「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>:\USB Driver\Win98_ME」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

●ドライバはWindows® 98と共通です。



7 ドライバ名（P.438参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P900iV」と表示されます。



8 「完了」をクリックする



9 他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）もインストールする

手順5〜8を参考にして、他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）（P.438参照）をすべてインストールします。

引き続き、P900iV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。（P.437）

Windows® 98にインストールする

1 **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.428参照）**

2 **Windows®を起動し「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「ランチャ」画面を終了する**

●この画面は「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合はそのまま手順4へと進みます。
●P900iV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブル（別売）をパソコンに接続する**

5 **インストールを始める**

「次へ」をクリックします。



6 **「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする**



次ページにつづく

7 検索するフォルダを指定する

「検索場所の指定」を選択し、フォルダ名を指定します。
フォルダ名は、「＜CD-ROMドライブ名＞:\USB Driver\Win98_ME」です。
検索するフォルダを指定したら、「次へ」をクリックします。
（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）



8 「更新されたドライバ（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする



9 ドライバ名（P.438参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P900iV」と表示されます。



10 「完了」をクリックする



11 他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）もインストールする

手順5～10を参考にして、他のP900iV通信設定ファイル（ドライバ）（P.438参照）をすべてインストールします。

引き続き、P900iV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。（P.437）

インストールしたドライバを確認する

P900iV通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1

＜Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000 Professionalの場合＞

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

<Windows® XPの場合>

「スタート」▶「コントロールパネル」を開く▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」アイコンをクリックする

2

＜Windows® 98、Windows® Meの場合＞

「デバイスマネージャ」タブをクリックする

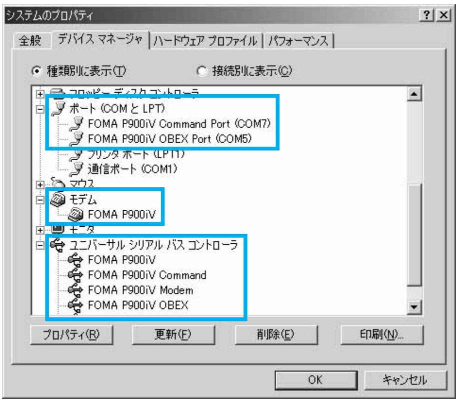
<Windows® 2000 Professional、Windows® XPの場合>

「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックする

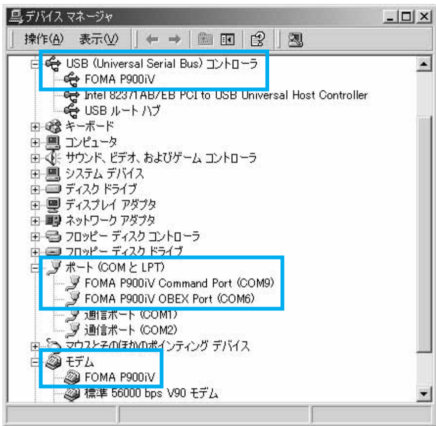
3

各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COM／LPT）」、「モデム」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

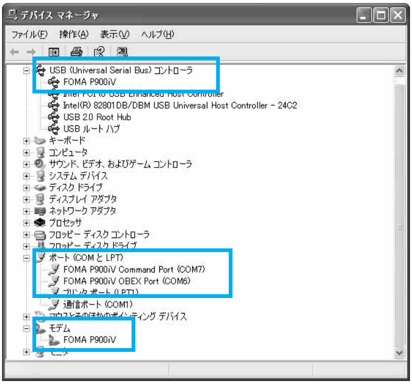


Windows® 98、Windows® Meの場合



Windows® 2000 Professionalの場合

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。



Windows® XPの場合

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

●P900iV通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	P900iV通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COM/LPT）	・FOMA P900iV Command Port ・FOMA P900iV OBEX Port
モデム	・FOMA P900iV
ユニバーサル　シリアルバス コントローラ、 または USB（Universal Serial Bus） コントローラ	・FOMA P900iV ・FOMA P900iV OBEX ※ ・FOMA P900iV Modem ※ ・FOMA P900iV Command ※

※ Windows® Me／Windows® 98のみ

FOMA PC設定ソフトを使って接続先の設定をするにはP.440参照。

FOMA PC設定ソフトを使わずに接続先の設定をするにはP.468参照。

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータ転送を行うにはP.494参照。

お知らせ

●P900iV通信設定ファイルをインストールするときは、必ずすべてのP900iV通信設定ファイルを一度にインストールしてください。インストールの途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブル（別売）を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、P900iV通信設定ファイルが正常にインストールされない場合があります。このような場合には、アンインストール（P.439参照）の手順にしたがってP900iV通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールし直してください。

●間違って異なるOSのP900iV通信設定ファイルをインストールすると、正しく動作しません。P900iV通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールし直してください。

通信設定ファイルをアンインストールする

P900iV通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。ここではWindows® XPを例にしてアンインストールを説明します。

1 **FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す**

2 **Windows®を起動し「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「ランチャ」画面の「閉じる」をクリックする**

●この画面は「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、そのまま手順4に進みます。

4 **「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する**

5 **CD-ROM内の「USB Driver」フォルダをダブルクリックする**

6 **「UnInst」フォルダをダブルクリックする**

7 **「p900ivun.exe」をダブルクリックする**

●お使いのパソコンの設定によって「p900ivun」と表示されることがあります。



8 **「OK」をクリックする**

●アンインストールを中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。



9 **「はい」をクリックしてWindows®を再起動する**

以上でアンインストールは終了です。

●「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。



FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。(P.468、492参照)
「FOMA PC設定ソフト」はデータ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
「mopera」については、APNがcid※の1番に登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。

※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP1
ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。

インストール方法についてはP.442参照。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合、「FOMA PC設定ソフト」のインストールはできません。「FOMA PC設定ソフト」はデータ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP2
設定前の準備

各種設定前の準備をします。

各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法ついてはP.428参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.437参照。P900iV通信設定ファイルのインストール方法についてはP.430～438参照。

STEP3
各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

かんたん設定からパケット通信を設定するにはP.448参照。
「mopera」を接続先として利用する場合 ‥‥‥‥‥‥P.448
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合 ‥‥‥‥P.451
かんたん設定から64Kデータ通信を設定するにはP.454参照。
「mopera」を接続先として利用する場合 ‥‥‥‥‥‥P.454
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合 ‥‥‥‥P.456
W-TCP設定でパケット通信性能を最適化するにはP.463参照。
接続先（APN）を設定するにはP.466参照。

STEP4
接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、W-TCPや接続先（APN）の設定ができます。
FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書をパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FOMA PC設定ソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合：USBポート （Universal Serial Bus Specification Rev 1.1準拠）
OS	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、 Windows® 2000 Professional、 Windows® XP（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me：64Mバイト以上 ※ Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上 ※ Windows® XP：128Mバイト以上 ※
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空容量 ※

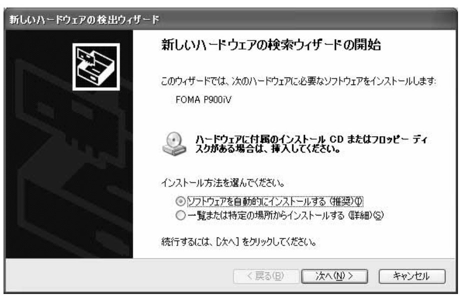
※ 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、FOMA端末がFOMA USB接続ケーブル（別売）により、ご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上にP900iV通信設定ファイル（P.438参照）が正しく登録されている必要があります。（P.437参照）

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると
右のようなウィザードが開始されます。
FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。

P900iV通信設定ファイルのインストールについてはP.430～438参照。



■パソコンの管理者権限について
Windows® 2000 Professional、Windows® XPで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

お知らせ

●FOMA端末がCOM20より大きい番号で認識されている場合は、APN設定の際、APN情報の取得・書き込みができません。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Microsoft® Windows® 98SE、Windows® Me、 Windows® 2000 Professional、Windows® XP（各日本語版） （Windows® 98には対応していません。）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98SE、Windows® Me、 Windows® 2000 Professional：32Mバイト以上 ※ Windows® XP：128Mバイト以上 ※
ハードディスク容量	10Mバイト以上の空容量 ※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows® XPの場合はMicrosoft® Internet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビ システムズ 株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビ システムズ株式会社のホームページを参照してください。

※AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標または登録商標です。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

ここではWindows® 2000 Professionalにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 添付の「FOMA P900iV用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 FOMA PC設定ソフトをインストールするには「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

何らかの原因によりCD-ROMが自動再生されない場合は、マイコンピュータ等でCD-ROMを参照して、「FOMA_PCSET」フォルダ内にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。



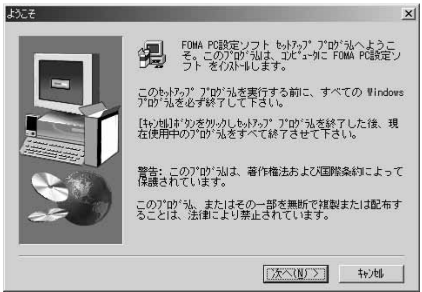
FirstPass PCソフトをインストールするには「FirstPass PCソフト」をクリックする

引き続き、CD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）の手順に従ってインストールしてください。

3 「次へ」をクリックする

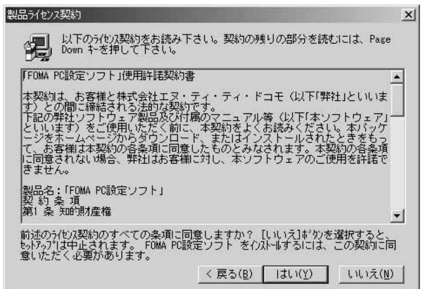
セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- 「旧W-TCP設定ソフト」、「旧APN設定ソフト」および「FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.446参照。



4 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックすると、インストールは中止されます。



5 コンポーネントを選択する

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」を常駐させるかどうか選択できます。「W-TCP設定」がタスクトレイにあれば、「W-TCP通信」の設定・解除が簡単に操作できます。特に問題がなければ、「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けたまま、「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。

● 「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定変更可能です。

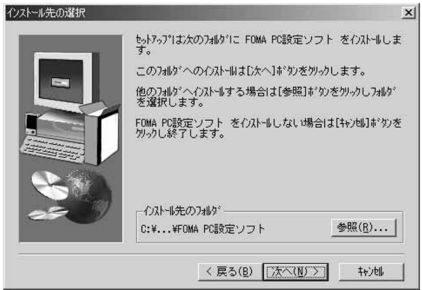


デスクトップの右下（通常）のタスクトレイに表示されます。



6 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
（ハードディスクスペースの問題などで、異なったドライブにインストールすることもできますが、通常はそのままお進みください。）



7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。



8 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。



次ページにつづく

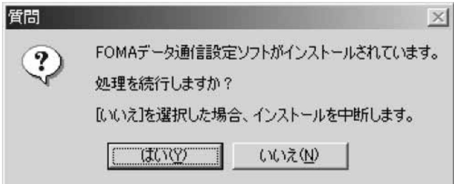
■FOMA PC設定ソフト インストール時の画面表示について

<「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合>



旧バージョンのW-TCP環境設定ソフトがインストールされている場合に表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンのW-TCP環境設定ソフトをアンインストールしてください。※

<「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合>



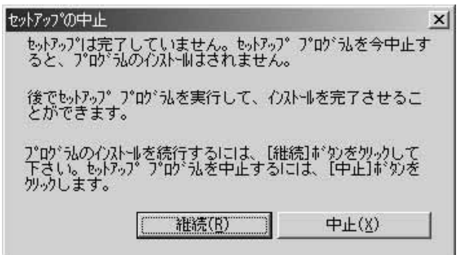
旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合に表示されます。
「はい」を選択すると、旧バージョンのAPN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われたあと、「FOMA PC設定ソフト」がインストールされます。※

<「FOMA PC設定ソフト」が既にインストールされている場合>



「FOMA PC設定ソフト」が既にインストールされている場合に表示されます。
「はい」をクリックしてください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>



セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックして、先へ進まない命令を出した場合、この画面が表示されます。インストールを継続する場合は「継続」を、意図的に中止する場合は「中止」をクリックしてください。

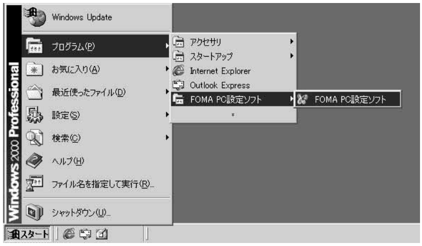
※「FOMA PC設定ソフト」はデータ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」と一定レベルのパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

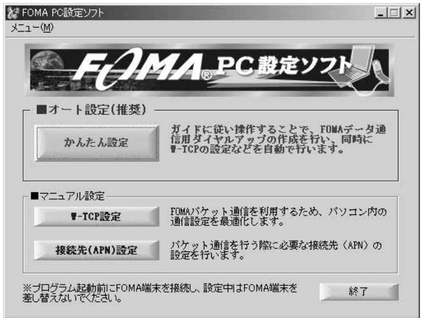
1 プログラムを起動する

「スタート」からプログラムを起動してください。



「FOMA PC設定ソフト」を起動すると、右のような画面が表示されます。

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。



・「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.448参照。
・「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.454参照。
・「W-TCP設定」を設定する場合はP.463参照。
・「接続先（APN）設定」をする場合はP.466参照。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera」を接続先として利用する場合

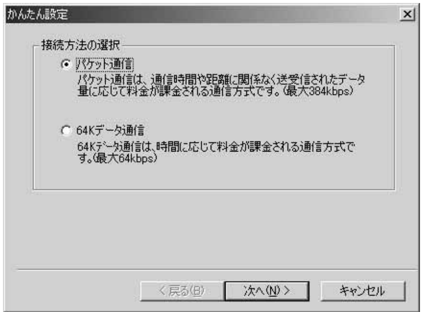
パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
moperaは契約申し込み不要で、通信料のみでインターネット接続をご利用いただけます。

1 **「かんたん設定」をクリックする**



2 **「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする**

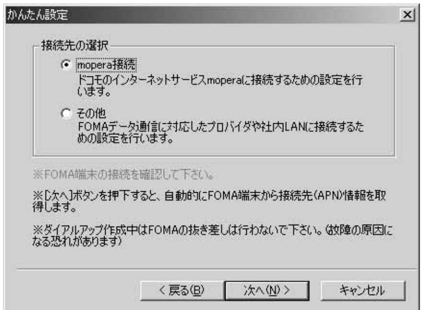
「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。



3 **「mopera接続」を選択して、「次へ」をクリックする**

「mopera接続」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

- 「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.451参照。



4 **「OK」をクリックする**

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。



5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

●半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「”」は入力できません。

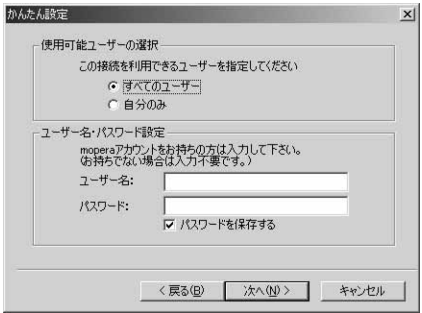


6 「次へ」をクリックする

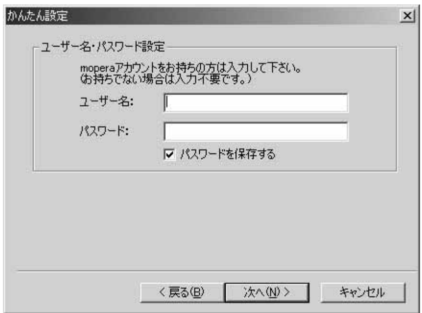
接続先が「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワード入力が省略できます。空欄のまま「次へ」をクリックしてください。

●Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合はユーザーの選択をしてください。

●Windows® MeおよびWindows® 98の場合は、使用可能ユーザーの設定を行う必要はありません。



Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合

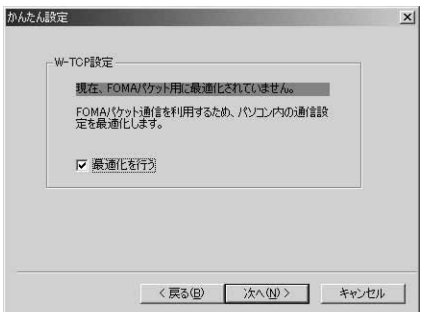


Windows® Me・Windows® 98の場合

7 「最適化を行う」を選択して、「次へ」をクリックする

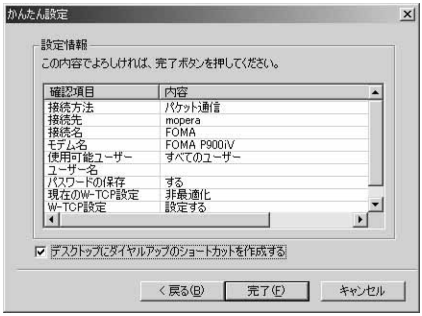
「最適化を行う」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックします。

●すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。



次ページにつづく

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする



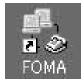
設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

●設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。

●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 設定が完了しました

デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、接続を開始します。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動し、通信することができます。（P.459参照）



●「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

■パケット通信では

送受信したデータ量に応じて課金されるため、時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状態の影響により通信速度が変化します。また、画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

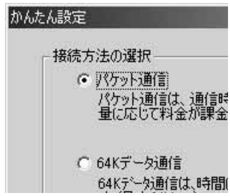
パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ここでは「mopera」以外のプロバイダを利用します。「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする



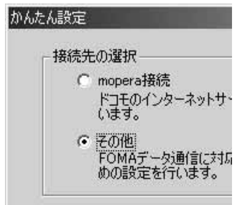
2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。



3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。



4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。



5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
●半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「”」は入力できません。
●「接続先（APN）の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp」が設定されていますが、「接続先（APN）設定」画面に進んでください。



次ページにつづく

6 「接続先（APN）設定」をクリックする





番号（cid）1には基本情報として「mopera.ne.jp」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先（APN）の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名（APN）を正しく入力して、「OK」をクリックします。

- ●プロバイダの接続先（APN）については、各プロバイダにお問い合わせください。
- ●「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先（APN）を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

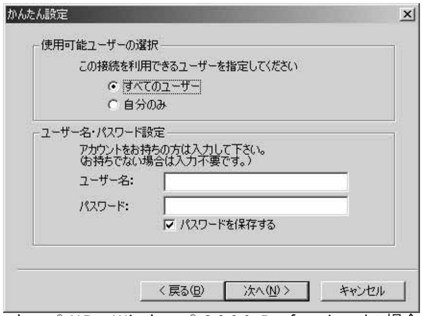


8 「次へ」をクリックする

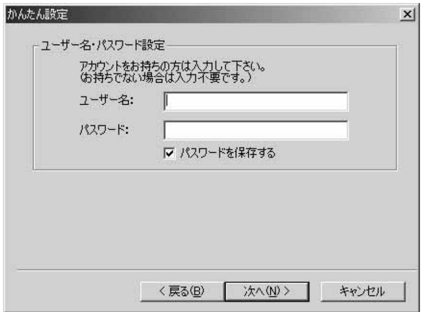
9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、サービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合はユーザーの選択をしてください。
- Windows® MeおよびWindows® 98の場合は、使用可能ユーザーの設定を行う必要はありません。



Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合



Windows® Me・Windows® 98の場合

10 「最適化を行う」を選択して、「次へ」をクリックする

「最適化を行う」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックします。

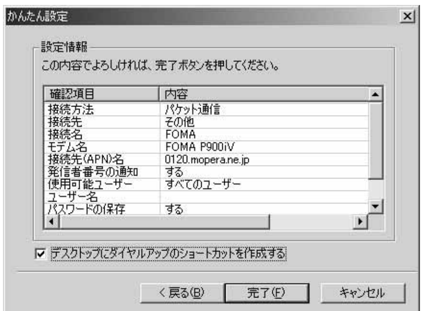
- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。



11 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

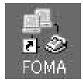
設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。



次ページにつづく

12 設定が完了しました



デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、接続を開始します。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動し、通信することができます。（P.459参照）

●「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

■パケット通信では

送受信したデータ量に応じて課金されるため、時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状態の影響により通信速度が変化します。また、画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera」を接続先として利用する場合

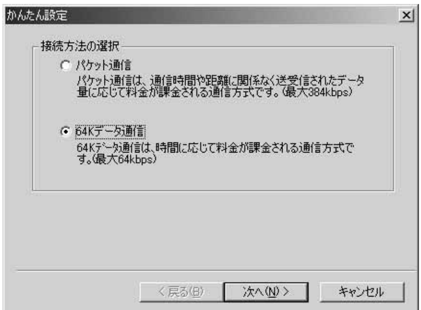
64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
moperaは契約申し込み不要で、通信料金のみでインターネット接続をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする



2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

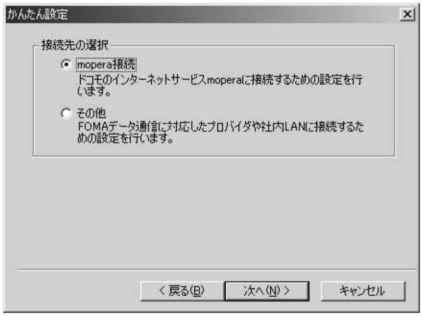
「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。



3 「mopera接続」を選択して、「次へ」をクリックする

「mopera接続」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

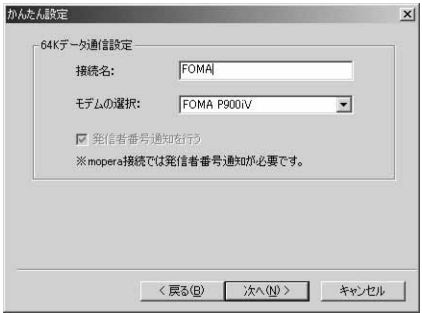
● 「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.456参照。



4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。また、「モデムの選択」欄で、FOMA P900iVが表示されていることをご確認ください。

●半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「”」は入力できません。

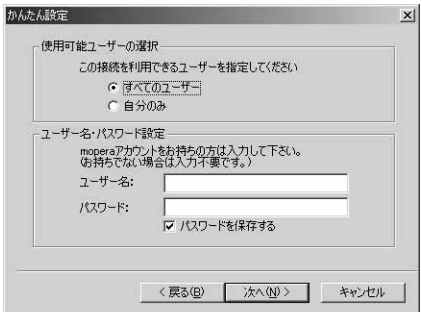


5 「次へ」をクリックする

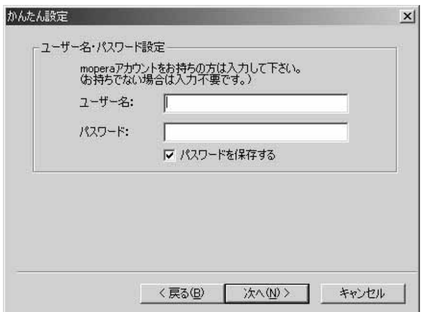
接続先が「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワード入力が省略できます。空欄のまま「次へ」をクリックしてください。

●Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合はユーザーの選択をしてください。

●Windows® MeおよびWindows® 98の場合は、使用可能ユーザーの設定を行う必要はありません。



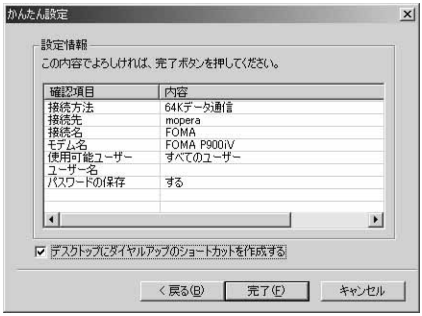
Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合



Windows® Me・Windows® 98の場合

次ページにつづく

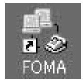
6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする



設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 設定が完了しました



デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、接続を開始します。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動し、通信することができます。（P.459参照）

■64Kデータ通信では
接続した時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

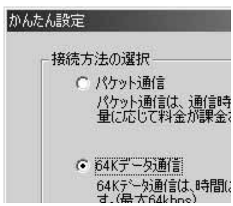
「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする



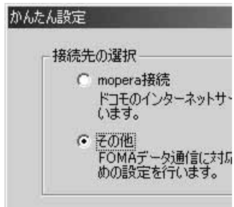
2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする



「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。



4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera」以外のISDN同期プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P900iV）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

● 「接続名」欄に半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「”」は入力できません。



5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。



6 「次へ」をクリックする

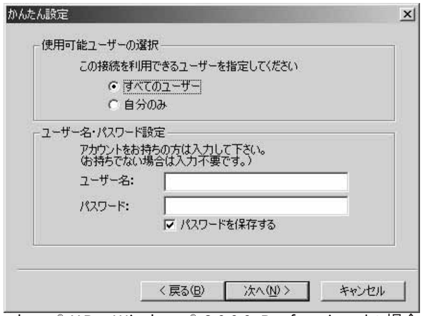
次ページにつづく

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

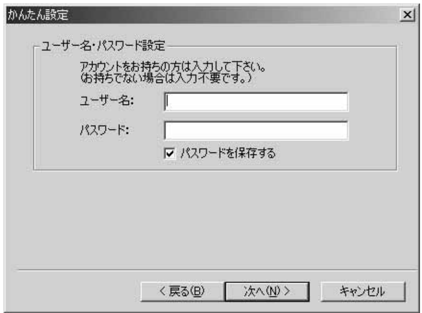
ユーザー名・パスワードの設定は、サービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

●Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合はユーザーの選択をしてください。

●Windows® MeおよびWindows® 98の場合は、使用可能ユーザーの設定を行う必要はありません。



Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合



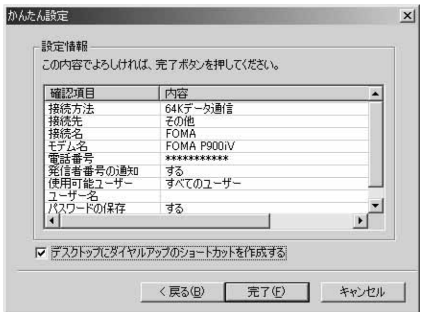
Windows® Me・Windows® 98の場合

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

●設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。

●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。



9 設定が完了しました

デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、接続を開始します。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動し、通信することができます。(P.459参照)



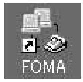
■64Kデータ通信では

接続した時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

設定した通信を実行する

ここではWindows® 2000 Professionalを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.428の手順にしたがって、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする



通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続が開始され、接続のプロパティが表示されます。

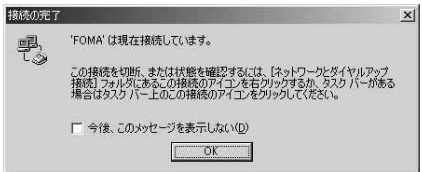
●ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。
Windows® XP：「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」
Windows® 2000 Professional：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」
Windows® 98、Windows® Me：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」

2 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックする



●「mopera」選択の場合は「ユーザー名」、「パスワード」とも空欄のまま、「ダイヤル」をクリックしてください。
●「パスワードを保存する」にチェックを付けると、次回から入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認して、「OK」をクリックする



●以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。
●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用することができます。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要になることがあります。
●FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
●パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

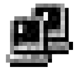


「 」(通信中、データ送信中)
「 」(通信中、データ受信中)
「 」(通信中、データ送受信なし)
「 」(発信中、または切断中)
「 」(着信中、または切断中)

次ページにつづく

切断のしかた

1　タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



ダイヤルアップアイコン

2　「切断」をクリックする

接続が切断されます。



お知らせ

- ●ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順にしたがって回線を切断してください。
- ●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

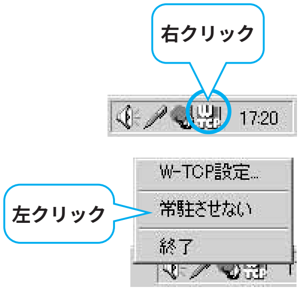
FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

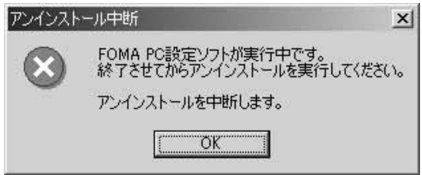
1 「W-TCP設定ソフト」をタスクトレイに常駐させないようにする

ウィンドウ右下タスクトレイの「W-TCP設定ソフト」を右クリックして、「常駐させない」を選択します。



2 起動中のプログラムを終了する

「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。





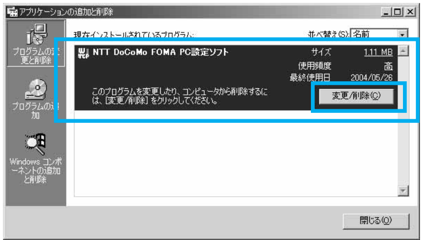
アンインストールをする

ここではWindows® 2000 Professionalでアンインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

1 「スタート」▶（「設定」※1▶）「コントロールパネル」▶「アプリケーションの追加と削除」※2を開く

※1 Windows® 98・Windows® Me・Windows® 2000 Professionalの場合
※2 Windows® XPの場合は、「プログラムの追加と削除」と表示されます。

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「変更／削除」をクリックする



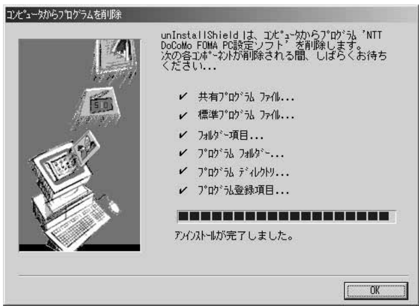
- Windows® 98・Windows® Meでは「追加と削除」と表示されます。
- Windows® XPでは「変更と削除」と表示されます。

3 削除するプログラム名を確認して、「はい」をクリックする



アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

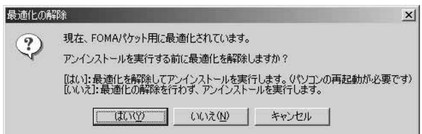
4 「OK」をクリックする



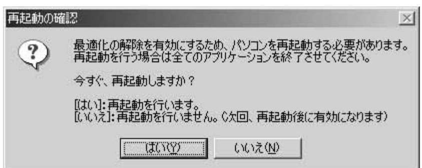
「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

■「W-TCP最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は、右の画面が出ます。最適化を解除する場合は「はい」をクリックしてください。



設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。



W-TCP設定

W-TCPソフトの役割

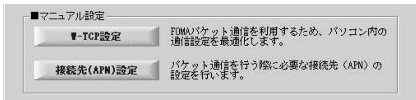
「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。
「かんたん設定」で「最適化を行う」にチェックを入れてダイヤルアップを作成した場合、ここでは最適化を行う必要はありません。

最適化の設定と削除

Windows® 98／Windows® Me／Windows® 2000 Professionalの場合

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>

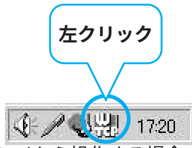
プログラム起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする



「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

<タスクトレイから操作する場合>

タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

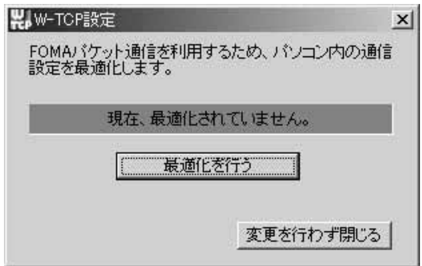


タスクトレイから操作する場合

2 <最適化されていない場合>

「最適化を行う」をクリックする

最適化を促す画面が表示されます。

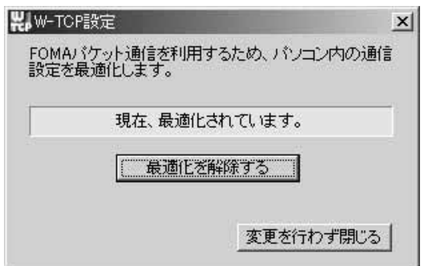


最適化されていない場合

<最適化されている場合>

「最適化を解除する」をクリックする

最適化解除の操作ができる画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。



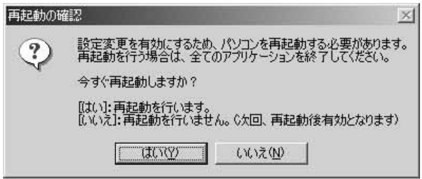
最適化されている場合

次ページにつづく

3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。

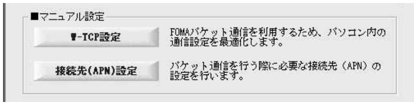


Windows® XPの場合

Windows® XPの場合はダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>

プログラム起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする



「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

<タスクトレイから操作する場合>

タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

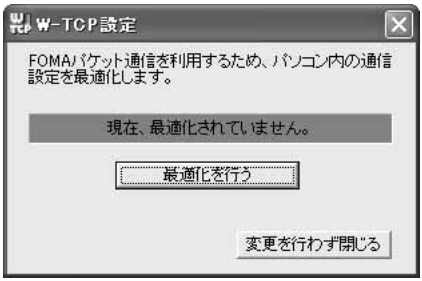


タスクトレイから操作する場合

2 <システム設定が最適化されていない場合>

「最適化を行う」をクリックする

最適化を促す画面が表示されます。



システム設定が最適化されていない場合

最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

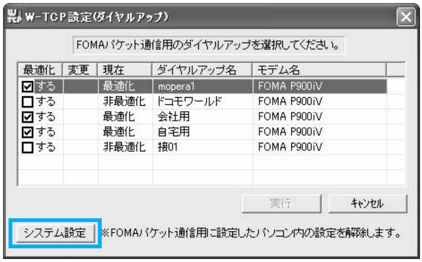


<システム設定が最適化されている場合>

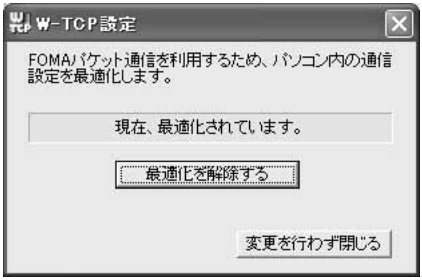
内容の変更などがある場合は設定を行ってください。

＜最適化を解除する場合＞

「システム設定」▶「最適化を解除する」をクリックする



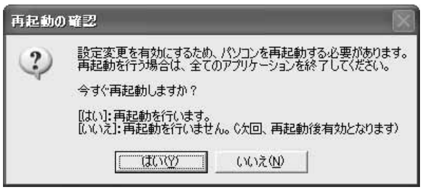
最適化解除の操作ができる画面が表示されます。FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。



3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

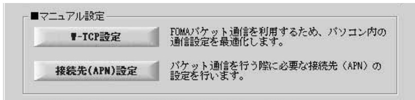
設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。



接続先（APN）の設定

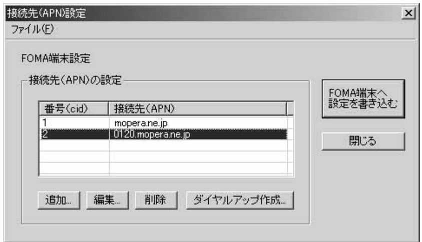
パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1には、moperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が登録されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定してください。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。

1 プログラム起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする



「接続先（APN）設定」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順2でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込むことができます。

2 接続先（APN）の設定をする



●FOMAが接続されていない場合、この画面は表示されません。

＜接続先（APN）の追加・編集・削除＞
- 接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。
- 登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。
- 登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。
  ※「cid1」に登録されている接続先（APN）は削除できません。

＜ファイルへの保存＞
メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

＜ファイルからの読み込み＞
メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

＜FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み＞
「FOMA端末から設定を取得」をクリックすると、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込むことができます。

＜FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み＞
「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

<ダイヤルアップ作成機能>

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。

任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（moperaの場合は不要）ユーザー名とパスワードを入力し（Windows® 2000 Professional・Windows® XPの場合は使用可能ユーザーの選択をして）「OK」をクリックしてください。

ご利用のサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。

設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。ダイヤルアップが作成されます。

「mopera」を利用する場合はP.448参照。

「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.451参照。

お知らせ

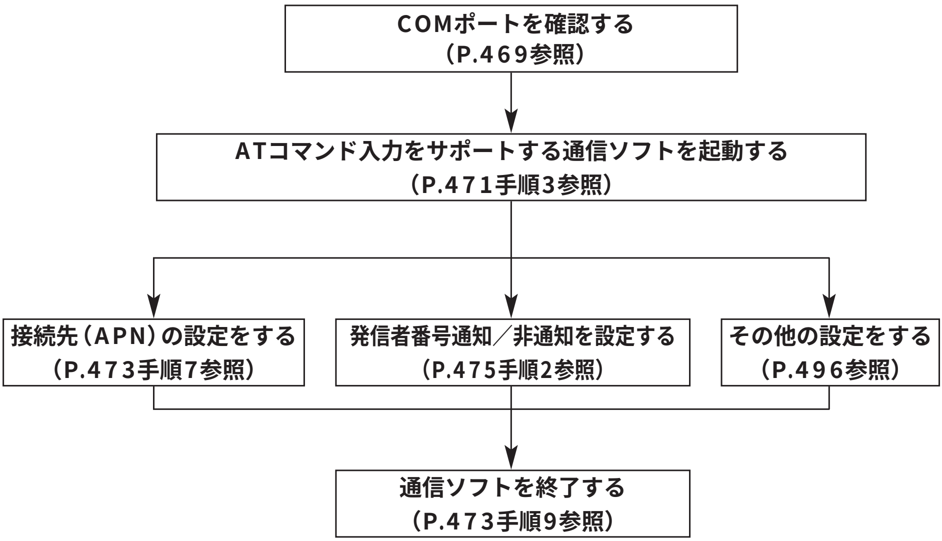
- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows®標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.471参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.475参照）は必要に応じて行います。（「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

＜ATコマンドによるパケット通信設定の流れ＞



■ATコマンドについて
- ●ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ●ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。
- ●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、P900iV通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA P900iV」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

●ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows® 98、Windows® Meの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「モデム」を開く

●コントロールパネルに「モデム」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

3 「FOMA P900iV」がセットアップされていることを確認して、「検出結果」タブをクリックする



4 「FOMA P900iV」が設定されているCOMポートを確認して、「OK」をクリックする

●確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.471参照)で使用します。

●プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。



次ページにつづく

Windows® 2000 Professionalの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P900iV」の「接続先」欄のCOMポートを確認して、「OK」をクリックする

●確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.471参照）で使用します。
●プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。



Windows® XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P900iV」の「接続先」欄のCOMポートを確認して、「OK」をクリックする

●確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.471参照）で使用します。
●プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。



接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。
接続先（APN）は10個まで登録できます。
接続先は1～10の「cid」（P.474参照）という番号で管理されます。
cid1には、すでにmoperaが設定されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定してください。
moperaの場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.476参照）での接続先番号となります。

Windows® XPの例

1 **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する**

2 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する**

3 **ハイパーターミナルを起動する**

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」 →「ハイパーターミナル」を開きます。
●Windows® 2000 Professional、Windows® Me、Windows® 98では、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
●Windows® 98では、「ハイパーターミナル」を開いたあと「Hypertrm.exe」をダブルクリックします。

4 **「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする**

ここでは例として「Sample」と入力します。



次ページにつづく

5 接続方法を選択する

＜「FOMA P900iV」のCOMポートを選択できる場合＞

「接続方法」で「FOMA P900iV」がインストールされたCOMポートを選択して「OK」をクリックします。このあと手順6へ進んでください。

●ここでは例として「COM6」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P900iV」のCOMポート番号についてはP.469参照。



＜「FOMA P900iV」のCOMポートを選択できない場合＞

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P900iV」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。



6 COMポートのプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

●手順5でCOMポートを選択した場合に表示されます。



7 接続先（APN）を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PPP","APN"の形式で入力します。

cid：2〜10までのうち任意の番号を入力します。

※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。

"APN"：APNを" "で囲んで入力します。

"PPP"についてはそのまま"PPP"と入力します。



（例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合）

AT+CGDCONT＝2,"PPP","XXX.abc"

入力後⏎を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

●現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？⏎」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。（P.474参照）

8 「OK」と表示されることを確認する



9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

●「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。

●「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。

●接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。

●パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1⏎」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、cid1には、接続先（APN）として「mopera.ne.jp」が登録されています。「mopera」以外に接続する場合は、cid2からcid10までのいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

＜お買い上げ時のcid登録＞

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp
2～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」

「＊99＊＊＊＜cid番号＞＃」

（例）cid2に登録した接続先（APN）に接続する場合

＊99＊＊＊2＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

・接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定のみ「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、cid=2～10の設定は未登録となります。

（入力方法）

AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

・接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。

（入力方法）

AT＋CGDCONT?↵

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定（P.476参照）でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

※「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかしないかの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定することができます。
発信者番号の通知／非通知は＊DGPIRコマンドで設定します。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

●「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.471参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.498参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

●発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、
AT＊DGPIR=1 ↵ と入力します。

●発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、
AT＊DGPIR=2 ↵ と入力します。



3 「OK」と表示されることを確認する



お知らせ

●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。
●ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

Windows® XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

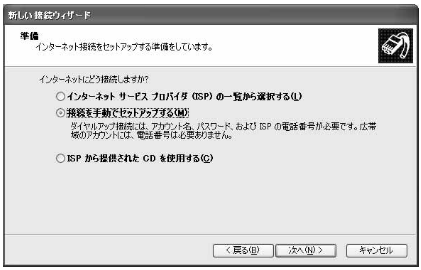
2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする



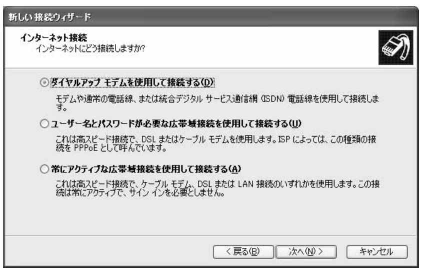
3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする



4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする



5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする



6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P900iV」にチェックを付けて「次へ」をクリックする

●「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。



7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。



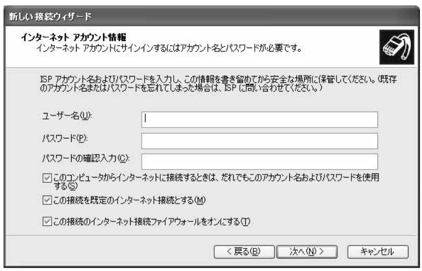
8 「電話番号」の欄に「＊99＊＊＊1＃」と入力して、「次へ」をクリックする

●電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際にはお客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。



9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

●moperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。



10 「完了」をクリックする



11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。



13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P900iV」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P900iV」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P900iV」以外のモデムのチェックを外してください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

● 「FOMA P900iV」に割り当てられるCOMポートは、お使いのパソコンによって異なります。

●電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際には、お客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。



14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。



15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする



16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

お知らせ

●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。
●ここでの接続に関する設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。
●電話番号に「＊99＊＊＊1＃」を指定するとmoperaに接続するように設定されています。mopera以外の接続先についてはP.474参照。

Windows® 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 **「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く**

2 **「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする**



3 **「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする**

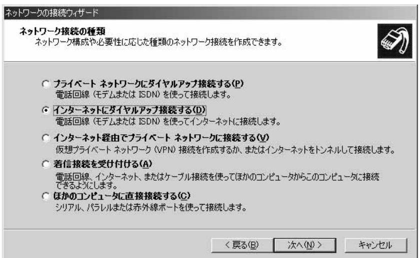
●「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
●2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 **「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする**

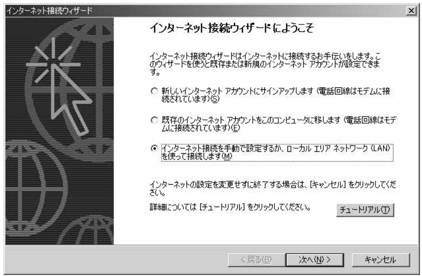
5 **「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする**



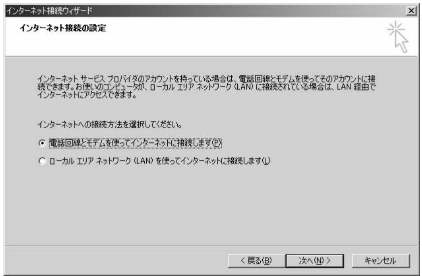
6 **「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする**



7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする



8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

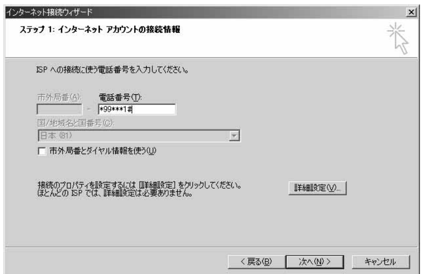


9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P900iV」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする



●選択されていない場合には、「FOMA P900iV」を選択します。
●お使いになるパソコンの動作環境によっては、右の画面は表示されません。その場合は、そのまま手順10へ進みます。

10 「電話番号」の欄に「＊99＊＊＊1＃」と入力する



●「市外局番」の欄には何も入力しません。
●「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
●電話番号はmoperaに接続する場合の例です。実際にはお客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。

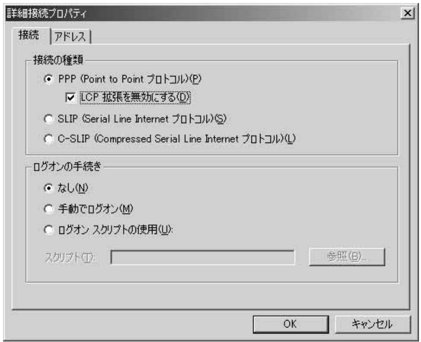
11 「詳細設定」をクリックする

次ページにつづく

12 「接続」タブの中の設定を行う

「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。

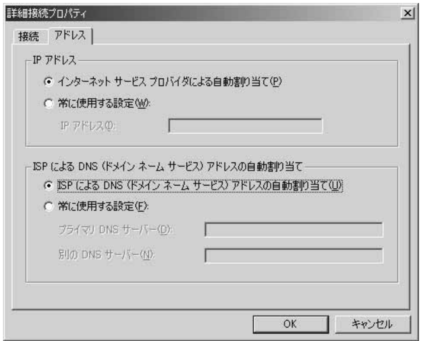
●「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。



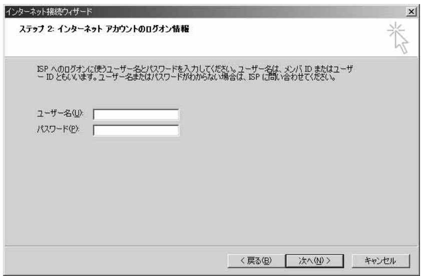
13 IPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

●IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。



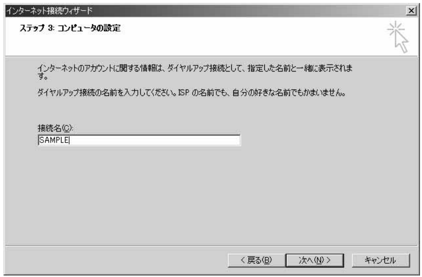
14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする



●moperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか?」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか?」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

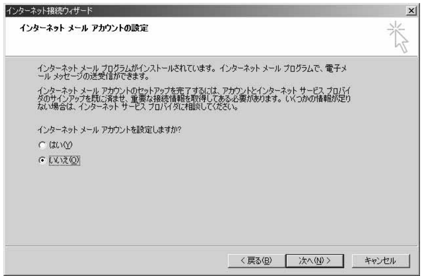
●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。



16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

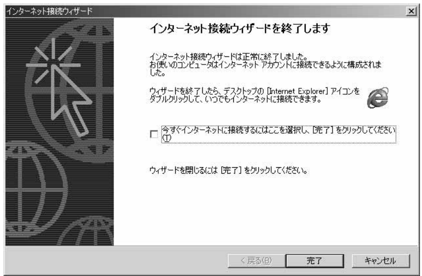
●インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。

●**設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**



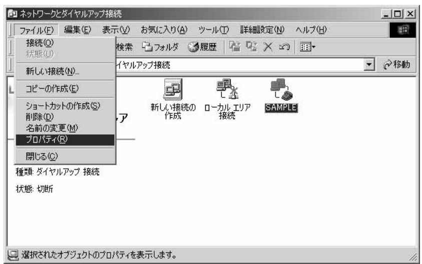
17 続いて「TCP/IP」の設定をする

●右の画面が表示された場合は、「今すぐインターネットを接続するには、ここを選び[完了]をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。



18 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する



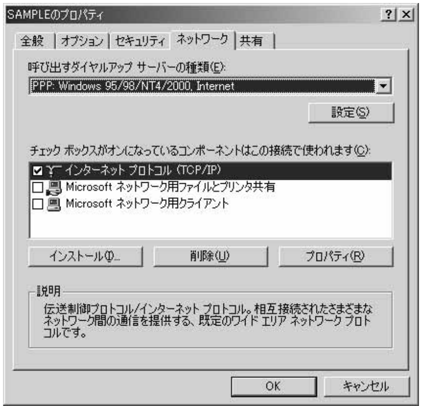
次ページにつづく

20 「全般」タブで設定を確認する



- ●パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P900iV」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- ●「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- ●「FOMA P900iV」に割り当てられるCOMポートは、お使いのパソコンによって異なります。
- ●電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際には、お客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。

21 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う



「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする



23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

お知らせ

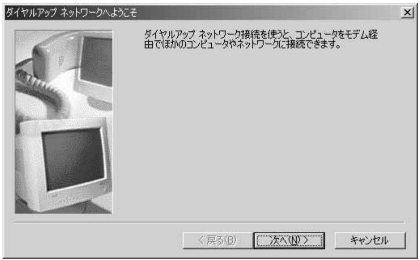
- ●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。
- ●ここでの接続に関する設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- ●電話番号に「＊99＊＊＊1＃」を指定するとmoperaに接続するように設定されています。mopera以外の接続先についてはP.474参照。

Windows® 98、Windows® Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

ここでは、Windows® Meの画面で説明しています。

1 **「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を開く**

2 **「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする**



●この画面はダイヤルアップネットワークを初めて起動したときのみ表示されます。「次へ」をクリックして、手順4に進んでください。
●2回目以降は、この画面は表示されず、手順3の「ダイヤルアップネットワーク」の画面が表示されます。

3 **「ダイヤルアップネットワーク」の中の「新しい接続」をダブルクリックする**



4 **「接続名」の欄に接続先名（任意の名前）を入力して、「次へ」をクリックする**



ここでは例として「SAMPLE」と入力します。
● 「モデムの選択」の欄が「FOMA P900iV」になっていない場合は、「FOMA P900iV」を選択します。

5 **「電話番号」の欄に「＊99＊＊＊1＃」と入力して、「次へ」をクリックする**

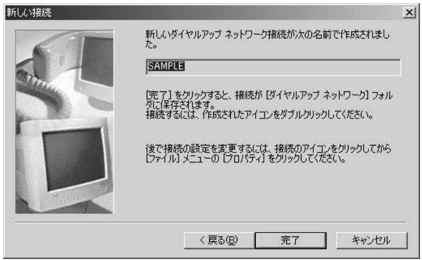


●「市外局番」の欄には何も入力しません。
● 「国／地域番号」は「日本（81）」を選択します。
●電話番号はmoperaに接続する場合の例です。実際にはお客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。

次ページにつづく

6 接続先名（任意の名前）を確認して、「完了」をクリックする

続いて「TCP/IP」の設定をします。



7 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を開く

8 手順4で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する



9 「全般」タブで「電話番号」の入力および「接続方法」の確認を行う

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外します。
- 「接続方法」の欄が「FOMA P900iV」になっていない場合は、「FOMA P900iV」を選択します。
- 電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際には、お客様がお使いになる接続先番号を入力します。mopera以外の接続先番号についてはP.474参照。



10 ＜Windows® 98の場合＞

「サーバーの種類」タブをクリックして、各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」、「詳細オプション」、「使用できるネットワークプロトコル」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

- 「サーバーの種類」タブは、お使いのパソコンによって表示位置が異なります。
- **「サーバーの種類」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

手順12へ進みます

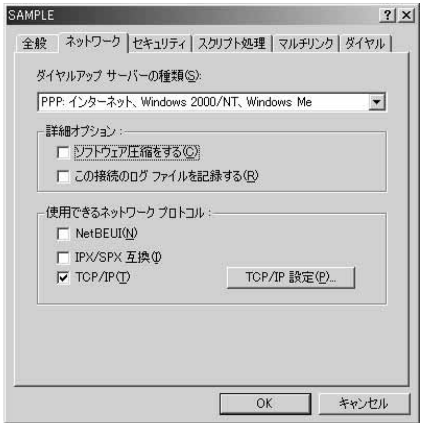


＜Windows® Meの場合＞

「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」、「詳細オプション」、「使用できるネットワークプロトコル」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

- 「ネットワーク」タブは、お使いのパソコンによって表示位置が異なります。
- **「ネットワーク」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**



次ページにつづく

11 「セキュリティ」タブをクリックして、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力する



- ●「自動的に接続する」にチェックをしておくと、接続時にユーザー名、パスワードなどを確認する画面が出なくなり、すぐに接続するようになります。
- ●パスワードを変更した場合は、この画面でパスワードを入力し直します。
- ●moperaへ接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

12 「OK」をクリックする

お知らせ

- ●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。
- ●ここでの接続に関する設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- ●電話番号に「＊99＊＊＊1＃」を指定するとmoperaに接続するように設定されています。mopera以外の接続先についてはP.474参照。

ダイヤルアップ接続する

ここではWindows® MeとWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。
P.428の手順にしたがって、FOMA端末とパソコンを接続します。

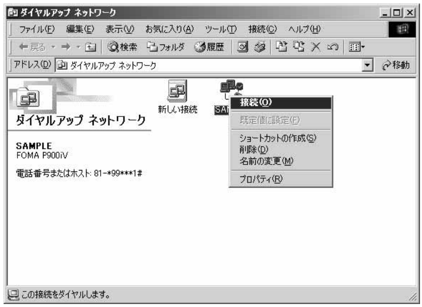
●パケット通信による接続を行うときには「W-TCP設定」(P.463参照)で通信性能を最適化することをおすすめします。最適化することでFOMAネットワークでの高速通信を最大限に生かして利用することができます。最適化を行うには「FOMA PC設定ソフト」(P.440参照)をインストールしてください。

Windows® Meの例

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定した接続先名(P.485参照)のアイコンを選択して「接続」メニュー→「接続」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。



3 「接続」をクリックする

内容を確認して、「接続」をクリックします。

●「自動的に接続する」をチェックした場合(P.488参照)、この画面は表示されません。

●Windows® 98の場合、「自動的に接続する」という表示はありません。

●右の画面はmoperaへ接続する場合の例です。moperaへ接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。



4 接続中の状態を示す画面が表示されます

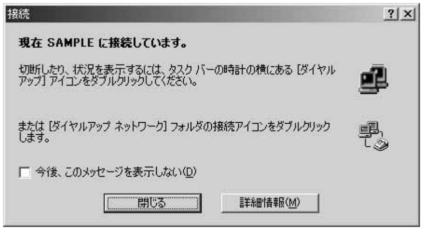
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。



次ページにつづく

5 接続完了です

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用することができます。
●この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。
（設定により表示されない場合があります。）



Windows® XPの例

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.477参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。



3 「ダイヤル」をクリックする

内容を確認して「ダイヤル」をクリックします。
●右の画面はmoperaへ接続する場合の例です。moperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。



4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。
接続が完了すると、タスクバーのインジケータから「（接続先名）に接続しました」というポップアップのメッセージが表示されます。



5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、右のようなメッセージが数秒間表示されます。

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用することができます。

●この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。



お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要になることがあります。

●FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。

●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。

●パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。



「 」(通信中、データ送信中)

「 」(通信中、データ受信中)

「 」(通信中、データ送受信なし)

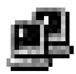
「 」(発信中、または切断中)

「 」(着信中、または切断中)

切断のしかた

ここではWindows® Meを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

接続が切断されます。



お知らせ

●お使いのパソコンにより画面の表示が異なる場合があります。

●ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順にしたがって回線を切断してください。

●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

次ページにつづく

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず次の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P900iV」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.420参照）を満たしているかを確認してください。 ・P900iV通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.468参照）と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

●64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力してください。（moperaに接続する場合、電話番号欄には「＊9601」と入力してください。）
●「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。（moperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
●設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.459、489の手順にしたがって操作してください。

付録

FOMA P900iV データリンクソフトについて

データリンクソフトを使うと、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、さまざまなデータを双方向に転送することができます。
パソコンに取り込むことにより、データの編集・バックアップなどが可能になります。
「FOMA P900iV データリンクソフト」については、WEBサイトからダウンロードできます。インストールにあたっては使用許諾と以下の動作環境をご確認の上、インストールしてください。

動作環境

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機でUSBポートが使用できる機器 （マルチプロセッサ搭載のパソコンではご利用できません。）
OS	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、 Windows® 2000 Professional　：64Mバイト以上 ※ Windows® XP Professional/Home Edition　：128Mバイト以上 ※ （各日本語版）
ハードディスクの空き容量	20Mバイト以上 ※
ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
ドライバ	P900iV通信設定ファイル

※ 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationおよびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

ダウンロードURL

http://panasonic.jp/mobile/p900iv/datalink/index.html

「FOMA P900iV データリンクソフト」に関するお問い合わせ先
パナソニックソフトウェアサポートデスク
電話番号　0120-568-721
受付時間　午前9:00〜午後5:00
（土・日・祝日は除く）

お知らせ

●FOMA P900iVでは、左記URLからダウンロードした「FOMA P900iV データリンクソフト」をご利用ください。他のデータリンクソフトはご利用になれませんのでご注意ください。

データリンクソフトを使って転送できるデータの一覧

転送条件 / 転送可能データ	1件	全件
電話帳	○	700件まで※1
スケジュール	○	100件まで
ToDo	○	100件まで
受信メール	○	1000件まで
送信メール	○	400件まで
保存メール	○	10件まで
フリーメモ	○	10件まで
オリジナル着信音※2	○	×
静止画ファイル※2、※3	○	×
動画ファイル※2、※4	○	×
ブックマーク	○	100件まで

※1 電話帳の全件送受信件数は、電話番号とメールアドレスを含めて700件です。
　電話帳に登録されている動画／ｉモーションは転送されません。
※2 FOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送できません。
※3 VGAサイズを超えるJPEGファイルを送受信する場合、VGAサイズに縮小されることがあります。
※4 ASFファイルは送受信できません。

免責事項について

パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアの瑕疵担保責任、その他一切の保証責任を負わないものとします。また、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、データリンクソフトおよび関連資料に関して、いかなる保証も行いません。データリンクソフトおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担より解決されるものとします。

AV機器とのリンクについて

他の機器からminiSDメモリーカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。

http://panasonic.jp/mobile/sd/index.html

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様相談センター

受付時間　午前9:00〜午後5:00
（土・日・祝日・所定の休日は除く）

一般電話からは　0120-15-8729
携帯電話・PHSからは　045-938-4023

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[AT]:FOMA P900iV Command Portで使用できるコマンドです。
[M]　:FOMA P900iV(モデム)で使用できるコマンドです。
[&F]:AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]:AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

●入力例

ATD＊99＊＊＊1#↵

- ↵：リターンマーク
- ＊99＊＊＊1#：パラメータ
- ATD：コマンド

●ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。
通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から↵を押した直前の文字までを「1行」とし、160文字(AT含む)まで入力できます。

お知らせ

●ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードのことです。
キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

- **「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。**
- **「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。**

●オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ON時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]がついているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]がついている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元することができます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [AT][M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*=0：CDは常にON *n*=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [AT][M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	*n*=0：ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） *n*=1：ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 *n*=2：ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&F*n* [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT&S*n* [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*=0：DRは常にON（初期値） *n*=1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&W*n* [AT][M]	現在の設定値を記憶します。	*n*=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT＊DANTE [M]	アンテナの本数を表示します。（0～3）	－	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK
AT＊DGANSM=*n* [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*=0：着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） *n*=1：着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 *n*=2：着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n* [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n* [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=*n* [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.475参照）	*n*=0：APNをそのまま使用します。（初期値） *n*=1：APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） *n*=2：APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値〜75：最大値）	―	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	―	―
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.504参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.502参照。	P.502参照。
AT+CGEQMIN [M]	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.502参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.502参照。
AT+CGEQREQ [M]	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.503参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.503参照。
AT+CGMR [AT][M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	―	AT+CGMR 1234512345123456 OK
AT+CGREG=*n* [AT][M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし。（初期値） *n*=1：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [AT][M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	―	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=*n* [M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示することができます。	*n*=0：通知しません。（初期値） *n*=1：通知します。 リザルト：+CLIP（*n*、*m*） *m*=0：発信時の相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時の相手に番号を通知するNW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP(0,1) OK
AT+CLIR=*n* [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0：サービスご契約通りになります。 *n*=1：番号を通知しません。 *n*=2：番号を通知します。（初期値）	AT+CLIR=0 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CMEE=*n* [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0：通常のERRORリザルトを用います。（初期値） *n*=1：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 *n*=2：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number　：電話番号 type　　：129もしくは145 129：国際アクセスコード＋を含まない 145：国際アクセスコード＋を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK
AT+CR=*n* [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しません。（初期値） *n*=1：表示します。 <serv>：パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。 （回線種別により"SYNC"、"AV32K"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：＋CRINGを使用しません。（初期値） *n*=1：＋CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK
AT+CREG=*n* [AT] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 （OSによっては設定できない場合があります。）	*n*=0：通知なし。（初期値） *n*=1：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：音声圏外 1：音声圏内 4：不明 5：音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	―	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P900iV）を表示します。	―	AT+GMM FOMA P900iV OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	―	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n,m* [AT][M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	*n*　：DCE by DTE *m*　：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御　初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+WS46=*n* [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	*n*=22：W-CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能です。（初期値）	AT+WS46=22 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	ー	RING ATA CONNECT
A/ [AT][M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	ー	A/ OK
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略することができます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATE*n* [AT][M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0：エコーバックなし *n*=1：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n* [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0：回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATI*n* [AT][M]	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 *n*=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） *n*=2：PPPパケット機能のバージョンを表示します。（+GMRと同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P900iV OK
ATO*n* [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [AT][M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0：リザルトコードを表示します。（初期値） *n*=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=*n* [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0：自動受信しません。（初期値） *n*=1～255：指定したリング回数で自動受信します。 （*n*≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動受信せず30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=*n* [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [AT][M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [AT][M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [AT][M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS7=*n* [M] [&F][&W]	接続完了までの待ち時間設定。発信時、設定時間以内に接続できなければ、回線を切断します。	*n*=1～120（初期値は60）（単位：秒） 121～255の指定は120とみなします。 ATS7?で設定値を問い合わせます。	ATS7=60 OK ATS7? 060 OK
ATS30=*n* [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	*n*=0-255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=*n* [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	*n*=0：＊（アスタリスク） *n*=1：／（スラッシュ）（初期値） *n*=2：\またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=*n* [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	*n*=0：＃（シャープ） *n*=1：％（パーセント）（初期値） *n*=2：＆（アンド）	ATS104=0 OK
ATV*n* [AT][M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送します。 *n*=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [AT][M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK
ATZ [AT][M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	ー	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT\S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	ー	AT\S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 \V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT\V*n* [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） *n*=1：拡張リザルトコードを使用します。	AT\V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

- AT（ATのみの入力）
- ATM
- ATP（パルス設定）
- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ATL
- ATT（トーン設定）
- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT　　　　　　[M]

・概要
パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式
+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明
パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※　　　　　　：1～10
<APN>※　　　　　　：任意
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが初期値として登録されていますが、書き換えは可能です。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGDCONT=　　　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　　　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　　　　：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例
AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが3の場合）

※〈cid〉＝1については初期値を持ちますが、書き換えは可能です。本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Ｚによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQMIN=[パラメータ]　　　　[M]

・概要
PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式
+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明
<cid>※　　　　　　　　　：1～10
<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）または384
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQMIN=　　　　　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>　　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例
以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK

(3)上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64
OK

(4)上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Z によるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQREQ=[パラメータ]　　　　　[M]

・概要
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式
+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明
<cid>※　　　　　　　：1〜10

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1〜10が登録できます。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQREQ=　　　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例
以下の1パターンのみ設定できます。（各cidに初期値として設定されています。）

(1)上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Z によるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CLIP

・概要
"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例
AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

64Kデータ通信

値	理　　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

パケット通信

値	理　　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　　味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
5	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
6	BUSY	話中音の検出中です
7	NO ANSWER	接続完了 タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました

お知らせ

- ●ATV*n*コマンド（P.501参照）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- ●従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- ●「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
2	AV32K	テレビ電話32Kで接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	PACKETで接続

リザルトコード表示例

●ATX0が設定されている場合

AT\Vコマンド（P.501参照）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1

●ATX1が設定されている場合※

・ATX1、AT\V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1 21

・ATX1、AT\V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞PACKET＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384
(mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1215

※ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT\V0だけでのご利用をおすすめします。

◆◇◆　ア　◆◇◆

◆◇◆　カ　◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆ ヤ ◆◇◆

◆◇◆ ラ ◆◇◆

◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（「基本編」P.148）

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード・スーパーサイレント）。

マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。

※ただし、シャッター音は消せません。

●ドライブモード（「基本編」P.111）

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

●バイブレータ（「基本編」P.153）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ機能（「基本編」P.113）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音または録画します。

※そのほかにも、留守番電話サービス（「基本編」P.284）、転送でんわサービス（「基本編」P.294）などのオプションサービスが利用できます。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道	株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ	株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸	株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国	株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州	

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK™

Trademark of American Soybean Association

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'05.1（第5版）

3TR002519EAA
F0504F4124 - Ⓠ